
協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書

令和4年1月
(令和3年7月実施)

豊 島 区

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査内容	3
4. 回収結果	3
5. 報告書を見る際の注意事項	3
6. 回答者の基本属性	4

II 調査結果

第1章 豊島区の印象について	13
1. 住み心地	13
(1) 住み心地〔問1〕	13
(2) 住み心地の変化〔問2〕	16
(3) 住み心地の変化の理由〔問2-1〕	19
2. 居住の経緯	22
(1) 居住の経緯〔問3〕	22
(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか〔問3-1〕	24
(3) 豊島区を選んだ理由〔問3-2〕	27
3. 定住意向	31
(1) 定住意向〔問4〕	31
(2) 住み続けたい理由〔問4-1〕	34
(3) 転居せざるをえない、転居したい理由〔問4-2〕	38
4. 地域への愛着	41
(1) 地域への愛着〔問5〕	41
(2) 豊島区に住んでいることを誇りに感じるか〔問6〕	44
第2章 地域の生活環境について	49
<<設問設定の考え方>>	49
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問7〕	52
(1) 参画・協働	52
(2) 平和・人権	53
(3) 福祉	54
(4) 健康・保健	55
(5) 子育て	56
(6) 教育	57
(7) みどり・環境	58
(8) 都市再生・交通	59
(9) 防災・治安	60
(10) 商工・観光	61
(11) 文化	62

目次

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問7〕	64
(1) 参画・協働	64
(2) 平和・人権	65
(3) 福祉	66
(4) 健康・保健	67
(5) 子育て	68
(6) 教育	69
(7) みどり・環境	70
(8) 都市再生・交通	71
(9) 防災・治安	72
(10) 商工・観光	73
(11) 文化	74
3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問7〕	75
(1) 参画・協働	76
(2) 平和・人権	78
(3) 福祉	80
(4) 健康・保健	82
(5) 子育て	84
(6) 教育	86
(7) みどり・環境	88
(8) 都市再生・交通	90
(9) 防災・治安	92
(10) 商工・観光	94
(11) 文化	96
4. 総合分析の経年比較〔問7〕	98
(1) 参画・協働	98
(2) 平和・人権	99
(3) 福祉	100
(4) 健康・保健	101
(5) 子育て	102
(6) 教育	103
(7) みどり・環境	104
(8) 都市再生・交通	105
(9) 防災・治安	106
(10) 商工・観光	107
(11) 文化	108

第3章 区の情報・区の政策等について	111
1. 区の情報・区政への参加について	111
(1) 区に関する情報の入手方法〔問8〕	111
(2) 区政情報が伝わっていると思うか〔問9〕	114
(3) 区政への関心〔問10〕	116
(4) 区の政策に区民の意見が反映されているか〔問11〕	118
(5) 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度〔問12〕	120
(6) 柔軟な区政運営ができているか〔問13〕	122
2. 地域との関わりについて	124
(1) 地域のために何か役に立ちたいか〔問14〕	124
(2) 町会、自治会などの地域活動への参加状況〔問15〕	126
3. SDGs（エス・ディー・ジーズ）について	128
(1) SDGsの認知度〔問16〕	128
4. 人権について	130
(1) 人権についての考え〔問17〕	130
(2) 差別や人権侵害されたと感じたことの有無〔問18〕	132
(3) 最もひどいと感じた差別や人権侵害〔問18-1〕	134
(4) 差別や人権侵害の対応〔問18-2〕	136
(5) 差別や偏見のない社会の実現に向けた取組〔問19〕	138
5. セーフコミュニティについて	140
(1) セーフコミュニティ活動の認知度〔問20〕	140
(2) けがや事故の経験〔問21〕	142
6. 環境保全活動について	144
(1) 環境保全活動への参加意向〔問22〕	144
(2) 現在参加している、参加したいグループ〔問22-1〕	146
(3) 参加するつもりがない理由〔問22-2〕	148
7. スポーツについて	150
(1) スポーツの実施頻度〔問23〕	150
(2) スポーツをしない理由〔問23-1〕	152
8. 生涯学習について	154
(1) 多様な生涯学習活動を選択する機会〔問24〕	154
(2) 多様な生涯学習活動を選択する機会があると思わない理由〔問24-1〕	156
9. 新型コロナウイルス感染症に関することについて	158
(1) 現在の日常生活での困りごとや不安に思うこと〔問25〕	158
(2) 今後の日常生活での困りごとや不安に思うこと〔問25〕	163
(3) 日常生活での困りごとや不安に思うことの時系列比較〔問25〕	168

目 次

10. 区制施行90周年に向けて	169
(1) 区制施行90周年を記念した事業での重要な取組〔問26〕	169
11. 区政全般への要望	171
(1) 現在、区が力を入れていると思う施策〔問27〕	171
(2) 特に力を入れてほしいと思う施策〔問27〕	175
(3) 総合分析〔問27〕	179
12. 自由意見	180
Ⅲ 調査票	183

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、多様な主体との協働によるまちづくりを推進するにあたり、地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等について、区民の意見や要望を把握し、基本計画が設定する成果指標・重点施策の確認とともに、これからの行政サービスのあり方の検討等に資するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査区域 豊島区全域
- (2) 調査対象 区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法 自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期 令和3年7月20日(火)～8月13日(金)
- (7) 調査機関 一般社団法人輿論科学協会

3. 調査内容

- (1) 豊島区の印象について
- (2) 地域の生活環境の評価と今後の優先度について
- (3) 区の情報・区の政策等について
- (4) 調査対象者の基本属性について

4. 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	2,009件	40.2%

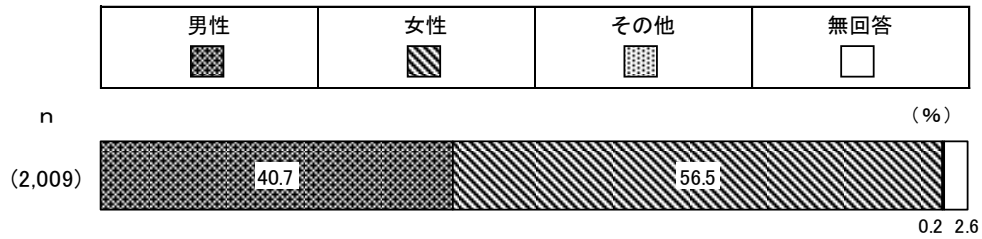
5. 報告書を見る際の注意事項

- (1) 図表中の「n」は、設問への回答者数を示している。
- (2) 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- (3) 複数選択ができる設問では、設問当該者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。
- (5) 回答者数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

6. 回答者の基本属性

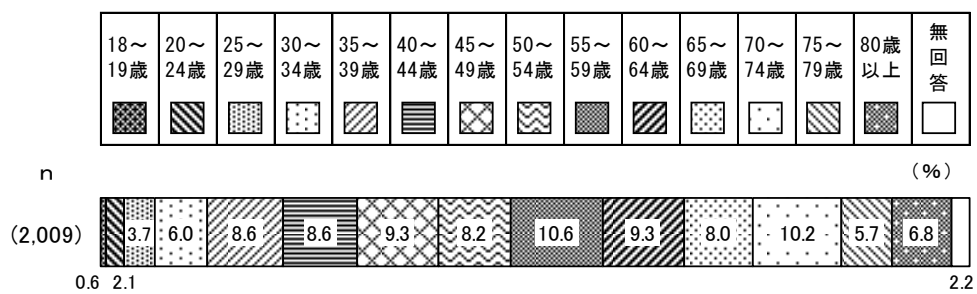
(1) 性別（自認する性）

「女性」(56.5%)が6割近く、「男性」(40.7%)が約4割となっている。



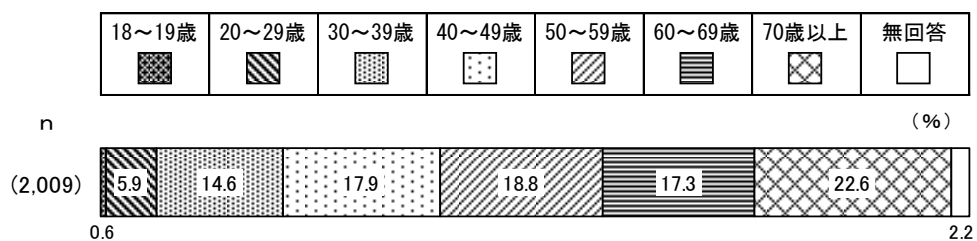
(2) 年齢

「45～49歳」(9.3%)、「55～59歳」(10.6%)、「60～64歳」(9.3%)、「70～74歳」(10.2%)が約1割となっている。



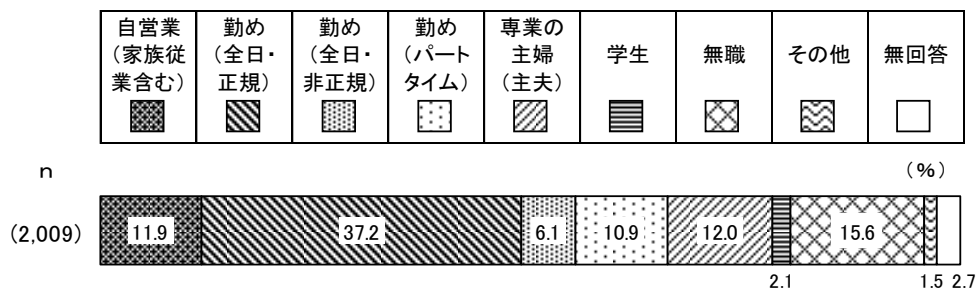
【10歳区分】

「70歳以上」(22.6%)が2割を超えている。



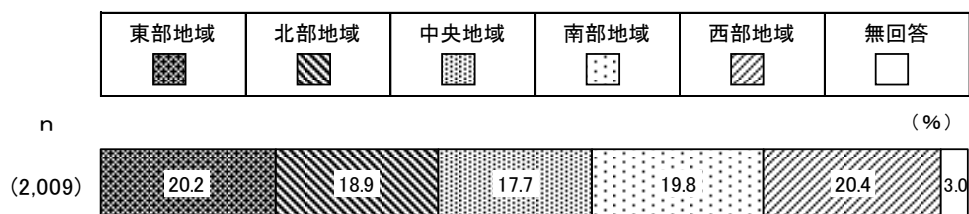
(3) 職業

「勤め（全日・正規）」（37.2%）が4割近くで最も高く、次いで「無職」（15.6%）、「専業の主婦（主夫）」（12.0%）、「自営業（家族従業員含む）」（11.9%）となっている。



(4) 居住地域

「東部地域」（20.2%）、「南部地域」（19.8%）、「西部地域」（20.4%）が2割となっている。



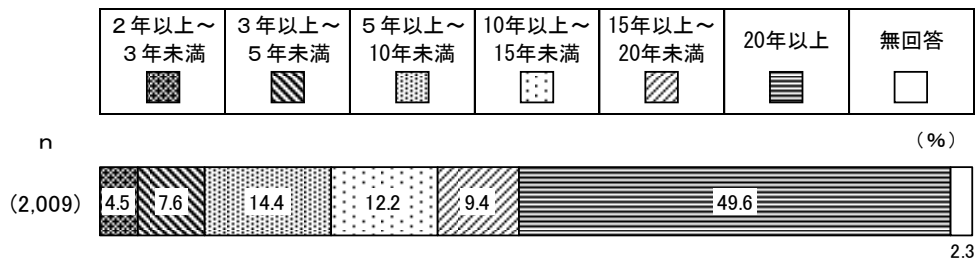
注) 5地区の町丁構成

東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
 北部地域 (西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)

I 調査の概要

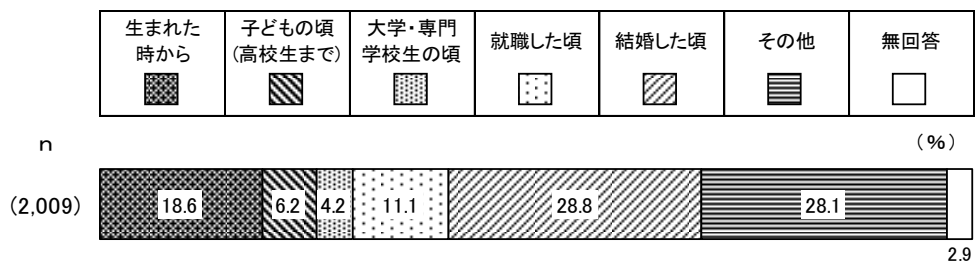
(5) 居住年数

「20年以上」(49.6%) が5割で最も高く、次いで「5年以上～10年未満」(14.4%)、「10年以上～15年未満」(12.2%) となっている。



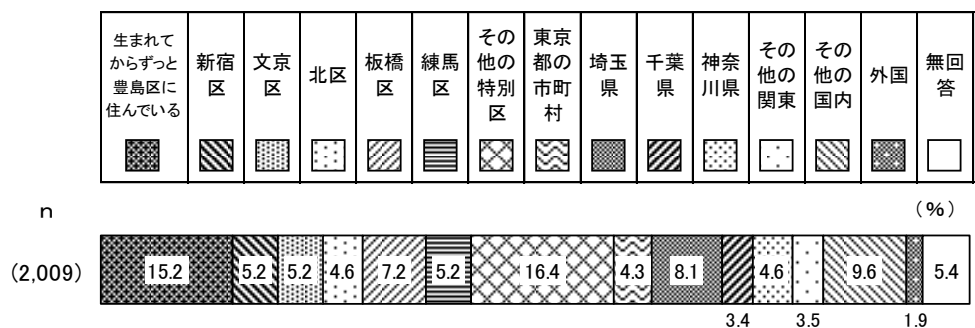
(6) 豊島区に住み始めた時期

「結婚した頃」(28.8%) が3割近くで最も高く、次いで「生まれた時から」(18.6%) となっている。また、「その他」への回答として、「転勤」、「子どもの出産」、「住宅購入」などが多くあげられている。



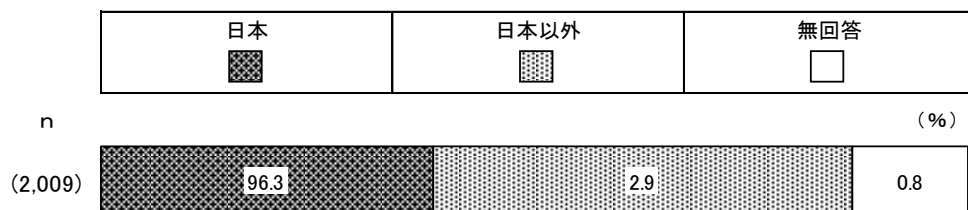
(7) 豊島区に住む前に住んでいた地域

「その他の特別区」(16.4%) と「生まれてからずっと豊島区に住んでいる」(15.2%) が1割半ば、「その他の国内」(9.6%) が1割となっている。



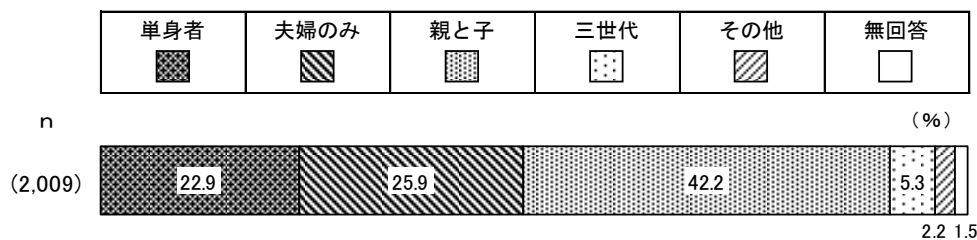
(8) 国籍

「日本」(96.3%)が9割半ば、「日本以外」(2.9%)はわずかとなっている。



(9) 世帯構成

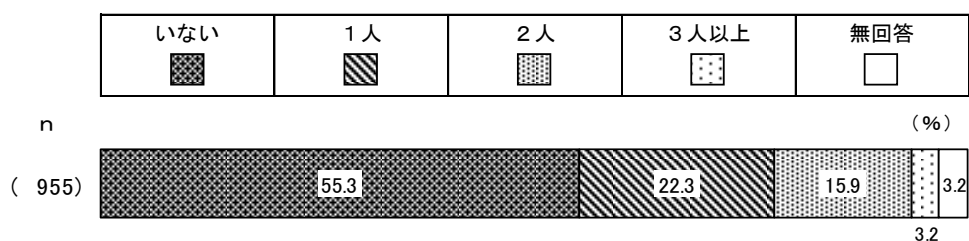
「親と子」(42.2%)が4割を超えて最も高く、次いで「夫婦のみ」(25.9%)、「単身者」(22.9%)、「三世代」(5.3%)となっている。



(10) 中学生以下の子どもの有無

「親と子」及び「三世代」の世帯構成のうち、「(中学生以下の子どもは) いない」(55.3%)が5割半ばとなっている。

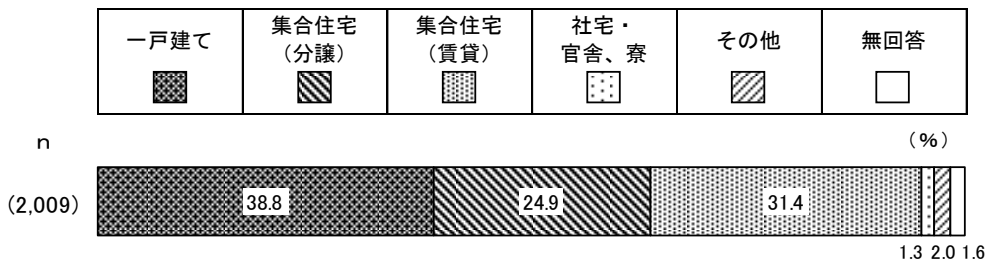
中学生以下の子どもがいる場合の子どもの数は、「1人」(22.3%)が2割を超えて最も高く、次いで「2人」(15.9%)、「3人以上」(3.2%)となっている。



I 調査の概要

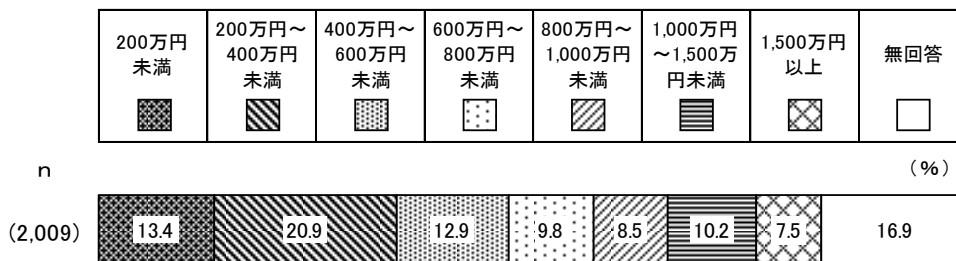
(11) 住まい形態

「一戸建て」(38.8%)が4割近くで最も高く、次いで「集合住宅(賃貸)」(31.4%)、「集合住宅(分譲)」(24.9%)となっている。



(12) 世帯年収

「200万円～400万円未満」(20.9%)が約2割で最も高く、次いで「200万円未満」(13.4%)、「400万円～600万円未満」(12.9%)となっている。



《今回調査と過去調査（令和2年度、令和元年度、平成30年度）の回答者の基本属性比較》

		(%)			
		令和3年度 調査（今回） (n=2,009)	令和2年度 調査（前回） (n=2,147)	令和元年度 調査（前々回） (n=1,825)	平成30年度 調査（3回前） (n=1,841)
①性別	男性	40.7	38.3	37.8	38.4
	女性	56.5	57.4	58.9	57.0
	その他	0.2	0.2	0.1	-
	無回答	2.6	4.1	3.3	4.6
②年齢	18～19歳	0.6	0.9	1.2	1.0
	20～29歳	5.9	7.2	6.1	5.8
	30～39歳	14.6	13.6	15.9	13.6
	40～49歳	17.9	18.9	16.9	18.7
	50～59歳	18.8	15.9	16.8	16.2
	60～69歳	17.3	15.6	16.2	19.1
	70歳以上	22.6	24.0	24.5	23.1
	無回答	2.2	3.9	2.5	2.4
③職業	自営業（家族従業員含む）	11.9	11.7	11.2	12.4
	勤め（全日・正規）	37.2	33.1	33.5	33.0
	勤め（全日・非正規）	6.1	5.7	5.6	5.3
	勤め（パートタイム）	10.9	10.9	10.6	10.5
	専業の主婦（主夫）	12.0	11.8	13.6	14.6
	学生	2.1	2.9	3.0	2.8
	無職	15.6	17.0	17.4	17.7
	その他 無回答	1.5 2.7	2.4 4.5	2.2 2.8	1.0 2.7
④居住年数	2年以上～3年未満	4.5	4.6	4.4	3.7
	3年以上～5年未満	7.6	6.5	7.8	6.6
	5年以上～10年未満	14.4	14.5	15.5	15.7
	10年以上～15年未満	12.2	12.1	13.2	11.2
	15年以上～20年未満	9.4	8.9	8.8	7.9
	20年以上	49.6	49.7	47.9	52.4
	無回答	2.3	3.8	2.3	2.5
⑤居住歴	ずっと住んでいる（一時的に 豊島区を離れた人も含む）	25.1	26.2	24.7	26.9
	他の地域からきた	73.9	73.3	74.8	70.0
	無回答	1.0	0.5	0.5	3.0
⑥居住地域	東部地域	20.2	21.9	21.5	20.2
	北部地域	18.9	18.6	20.0	18.6
	中央地域	17.7	16.3	16.5	18.0
	南部地域	19.8	19.1	19.2	20.9
	西部地域	20.4	19.2	19.1	18.8
	無回答	3.0	4.8	3.7	3.5
⑦国籍	日本	96.3	96.7	-	-
	日本以外	2.9	2.1	-	-
⑧世帯構成	単身者	22.9	23.6	23.1	22.9
	夫婦のみ	25.9	24.4	24.6	23.3
	親と子	42.2	41.9	41.2	43.4
	三世帯	5.3	5.9	6.3	6.2
	その他	2.2	2.5	3.1	1.8
	無回答	1.5	1.7	1.8	2.4
⑨中学生以下の 子どもの有無	いない	55.3	57.4	56.2	57.9
	1人	22.3	23.2	25.5	22.8
	2人	15.9	13.9	12.9	13.1
	3人以上	3.2	3.6	2.9	3.0
	無回答	3.2	1.9	2.4	3.3
⑩住まい形態	一戸建て	38.8	37.2	38.8	41.6
	集合住宅（分譲）	24.9	25.5	27.2	25.0
	集合住宅（賃貸）	31.4	30.6	28.8	28.5
	社宅・官舎、寮	1.3	2.1	1.5	1.9
	その他	2.0	2.3	1.9	0.9
	無回答	1.6	2.1	1.9	2.1
⑪世帯年収	200万円未満	13.4	13.2	13.6	12.1
	200万円～400万円未満	20.9	20.6	18.3	20.4
	400万円～600万円未満	12.9	14.5	13.3	14.5
	600万円～800万円未満	9.8	10.2	10.1	9.3
	800万円～1,000万円未満	8.5	8.2	7.5	8.4
	1,000万円～1,500万円未満	10.2	9.5	9.9	9.3
	1,500万円以上 無回答	7.5 16.9	5.4 18.4	6.4 21.0	6.4 19.6

注) ⑨中学生以下の子どもの有無は、⑧世帯構成で「親と子」「三世帯」に回答した人のみが回答。
(該当する回答者数は、令和3年度が955人、令和2年度が1,027人、令和元年度が866人、平成30年度が914人)

Ⅱ 調査結果

第1章 豊島区の印象について

Ⅱ 調査結果

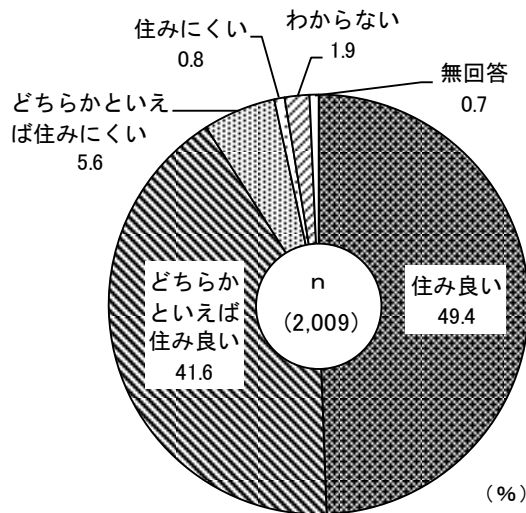
第1章 豊島区の印象について

1. 住み心地

(1) 住み心地

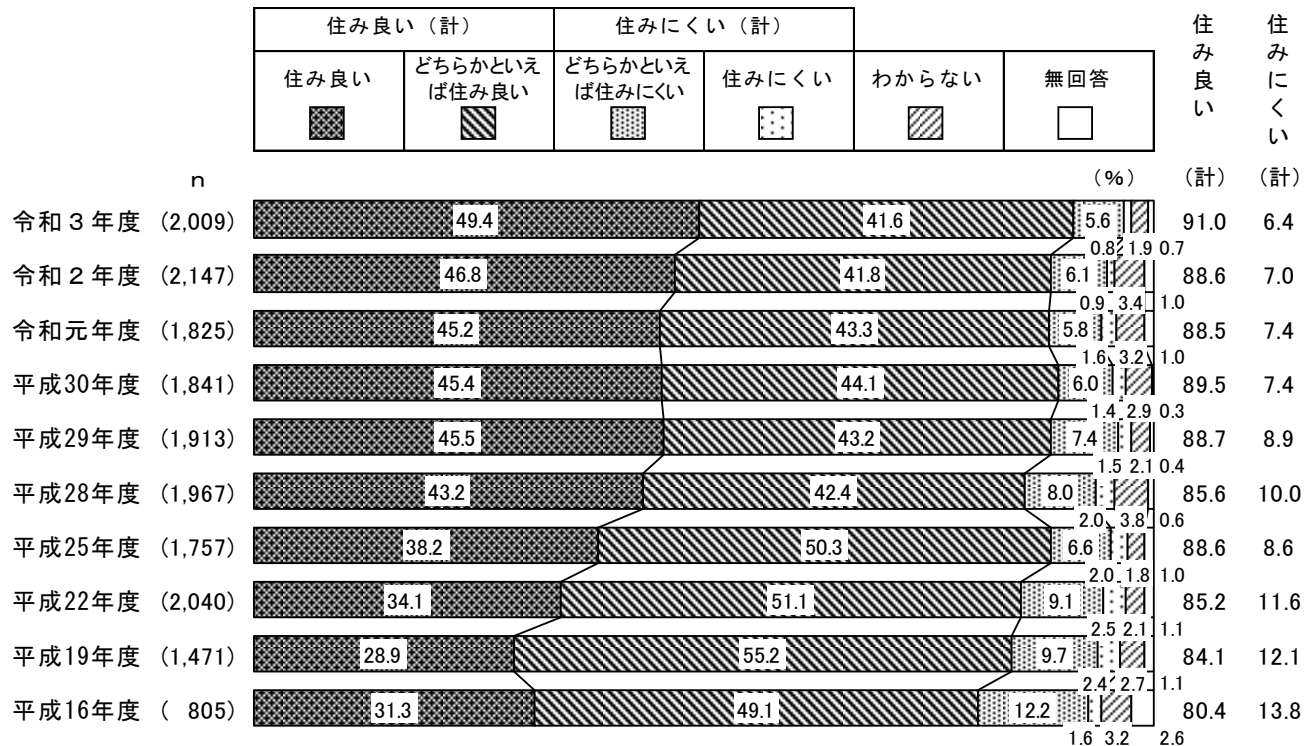
問1 あなたにとって現在お住まいの地域の^{ごこち}住み心地はどうか。(1つに○)

豊島区の住み心地を聞いたところ、「住み良い」(49.4%)と「どちらかといえば住み良い」(41.6%)を合わせた『住み良い(計)』(91.0%)は9割を超えている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(5.6%)と「住みにくい」(0.8%)を合わせた『住みにくい(計)』(6.4%)は1割未満となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『住み良い(計)』は平成16年度以降、最も高い値となっている。

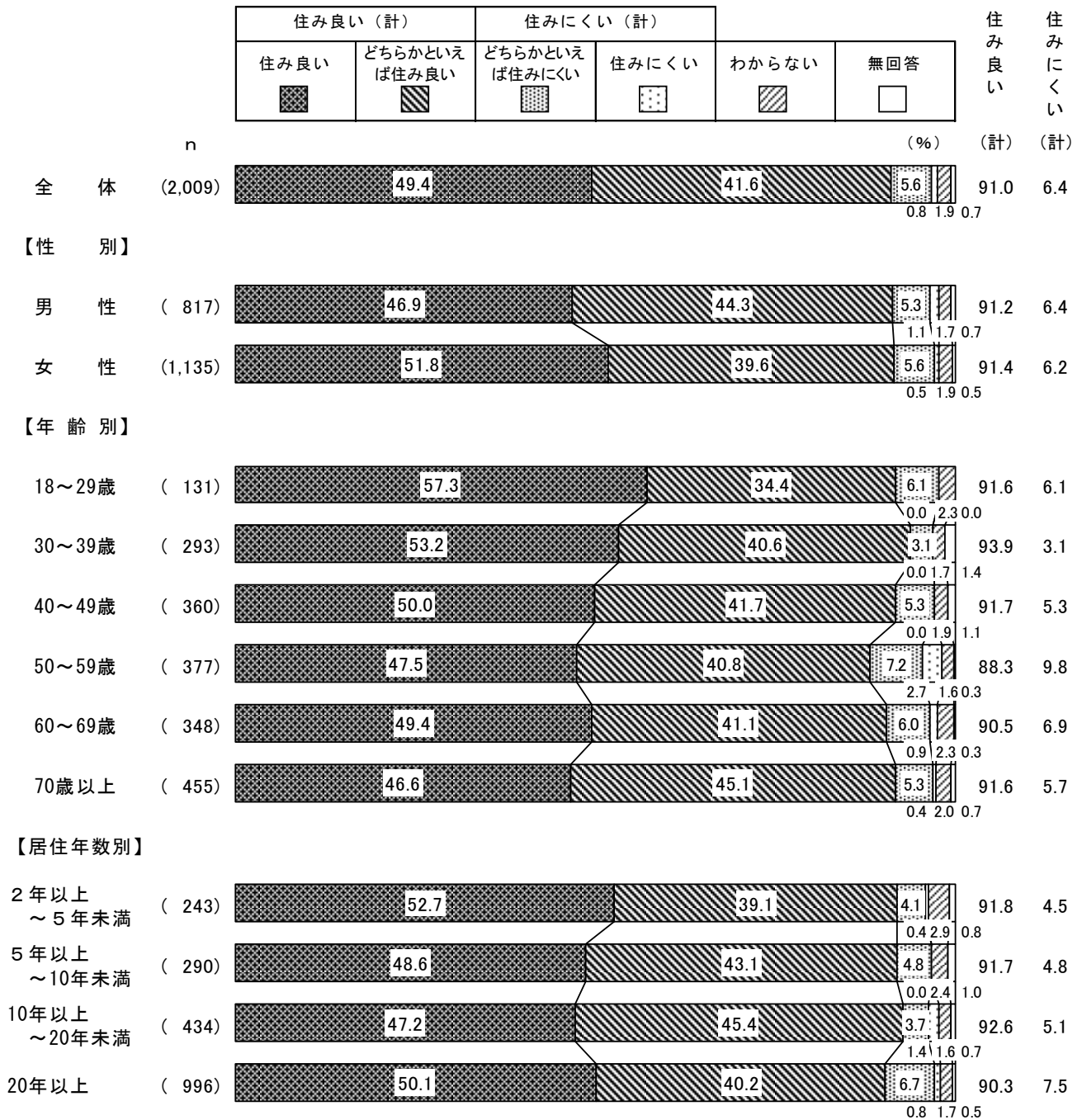


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「住み良い」は女性（51.8%）が男性（46.9%）より4.9ポイント高くなっている。「どちらかといえば住み良い」は男性（44.3%）が女性（39.6%）より4.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『住み良い（計）』は30～39歳（93.9%）で9割半ばと高くなっている。

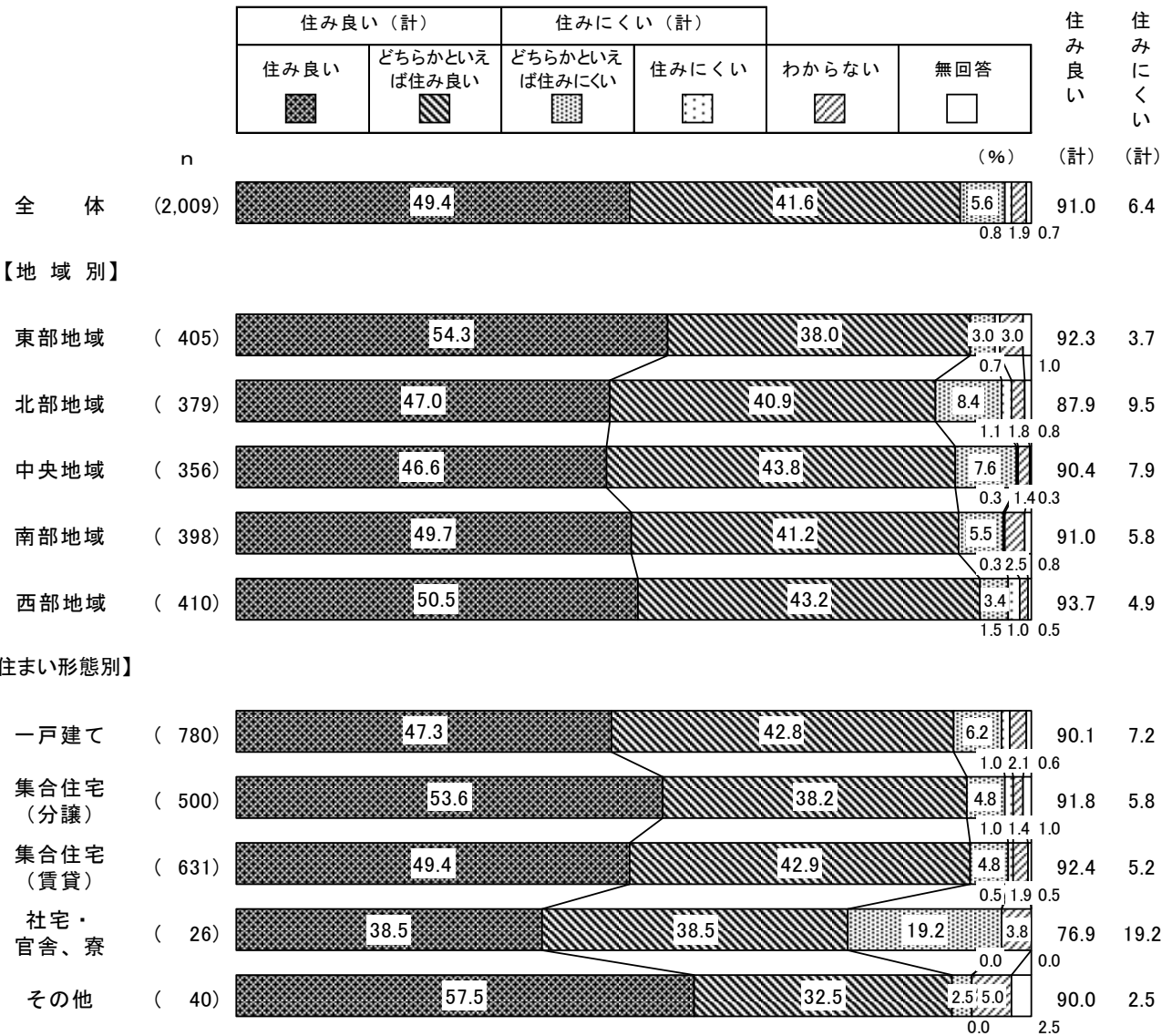
居住年数別でみると、『住みにくい（計）』は居住年数が長いほど高い傾向がみられる。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『住み良い（計）』は西部地域（93.7%）で9割半ばと高くなっている。

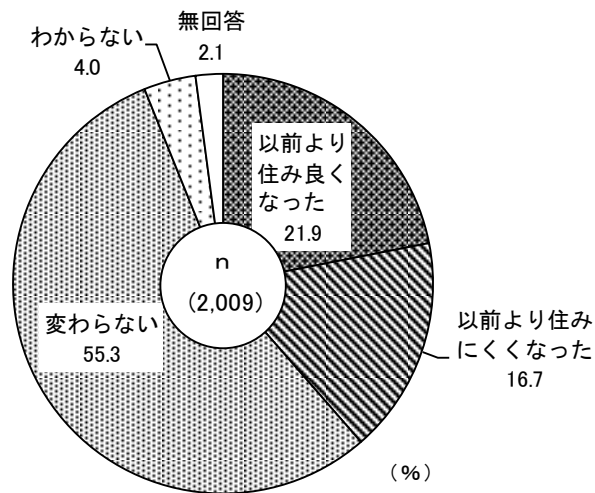
住まい形態別でみると、「住み良い」は集合住宅（分譲）（53.6%）で5割半ばと高くなっている。



(2) 住み心地の変化

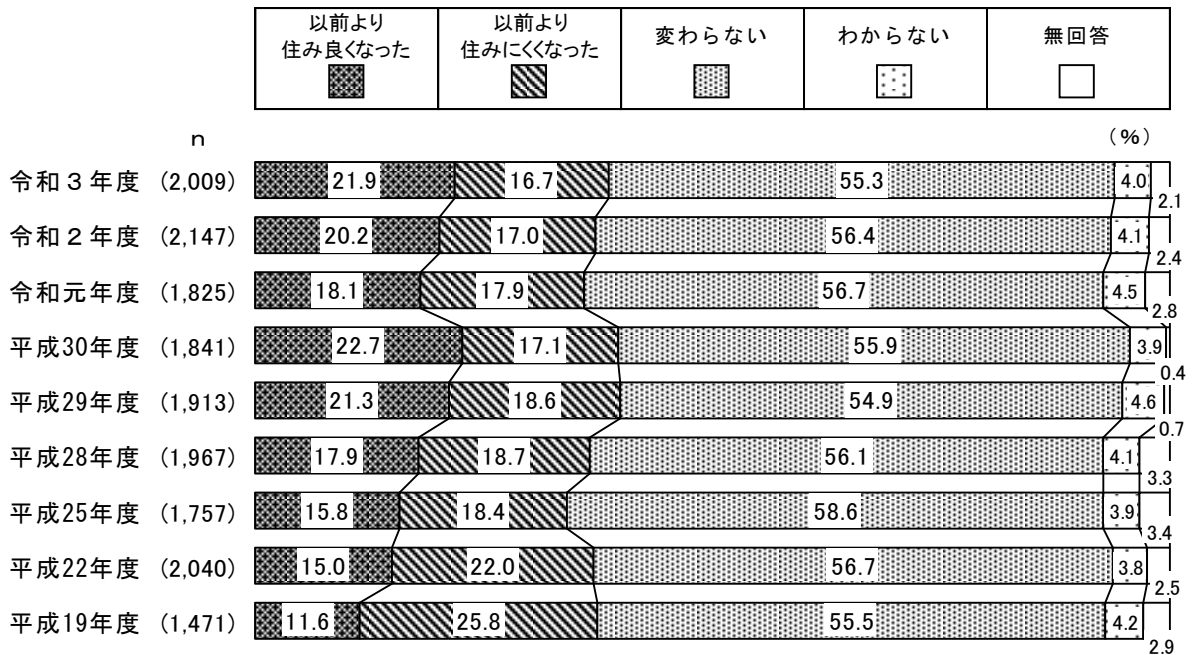
問2 以前と比べて住み心地ごこちに変化はありますか。(1つに○)

以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(55.3%)が5割半ばとなっている。「以前より住み良くなった」(21.9%)が2割を超え、「以前より住みにくくなった」(16.7%)が2割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、令和2年度と比べて大きな違いはみられない。

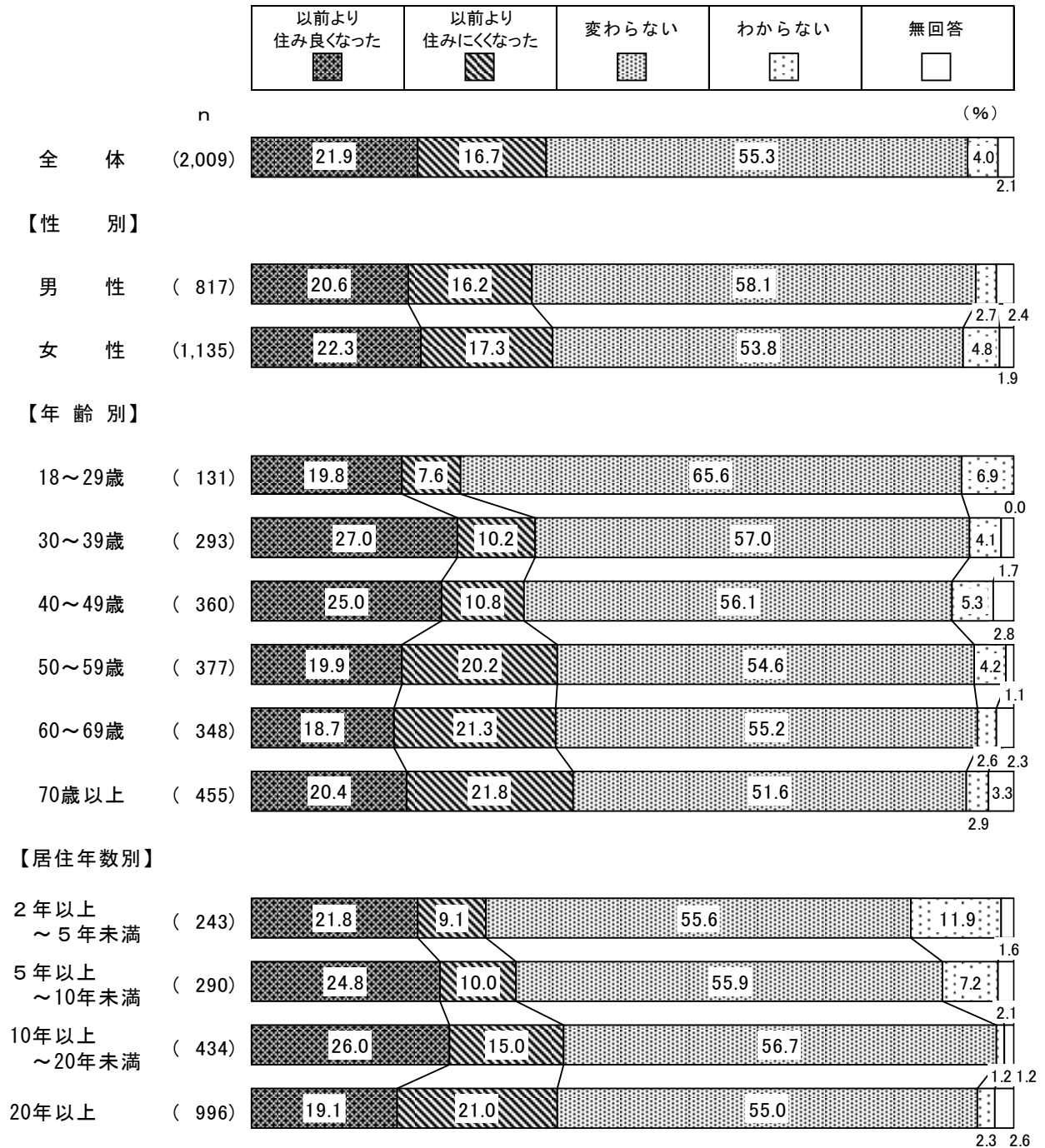


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「変わらない」は男性（58.1%）が女性（53.8%）より4.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「以前より住み良くなった」は30～39歳（27.0%）で3割近く、40～49歳（25.0%）で2割半ばと高くなっている。「以前より住みにくくなった」は50～59歳（20.2%）、60～69歳（21.3%）、70歳以上（21.8%）で2割を超えている。

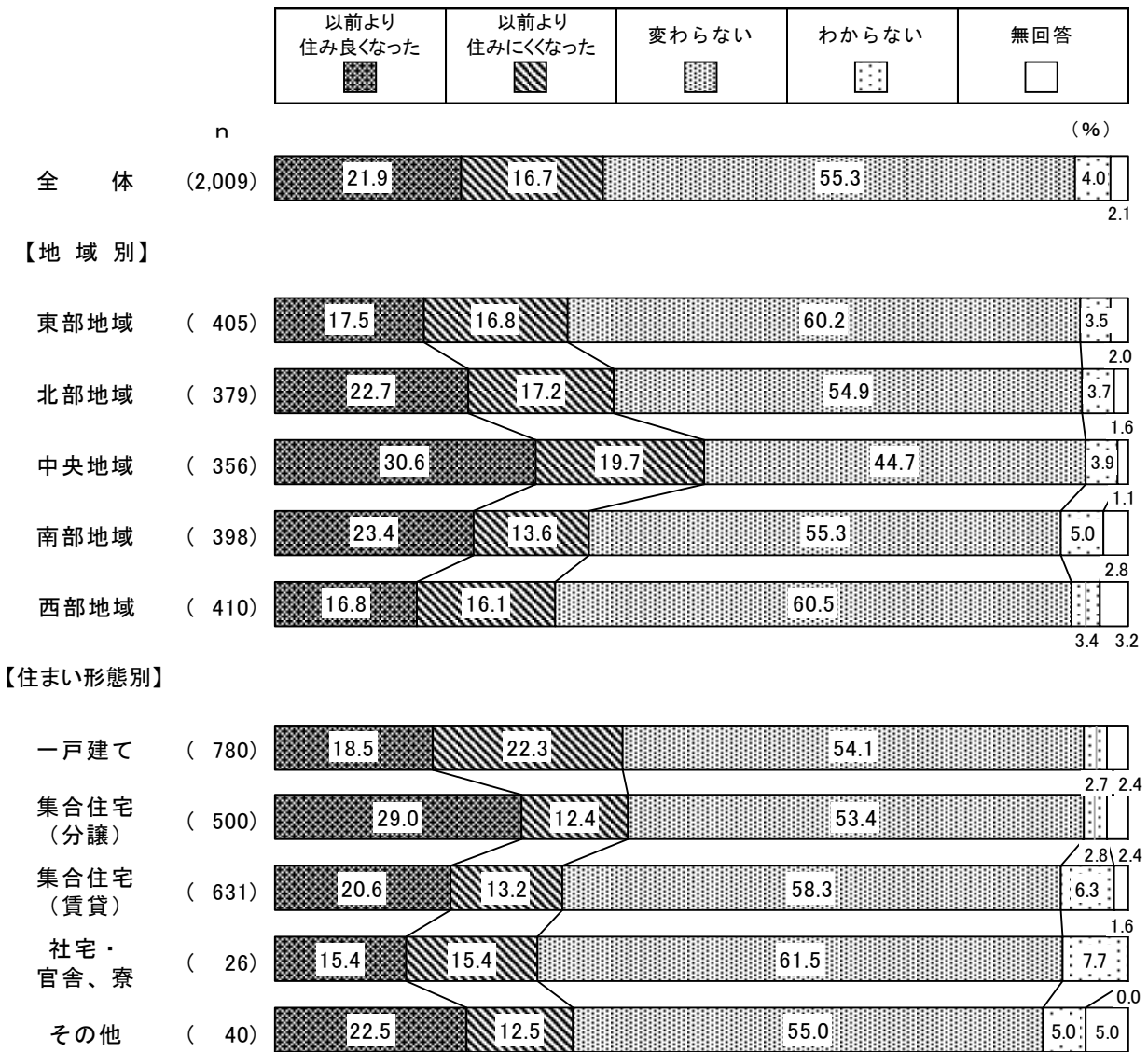
居住年数別でみると、「以前より住み良くなった」は10年以上～20年未満（26.0%）、5年以上～10年未満（24.8%）で2割半ばと高くなっている。「以前より住みにくくなった」は20年以上（21.0%）で2割を超えている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、「以前より住み良くなった」は中央地域（30.6%）で約3割と高くなっている。

住まい形態別でみると、「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（29.0%）で3割近くと高くなっている。



(3) 住み心地の変化の理由

《問2で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》
 問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことに
 ついて1つお答えください。(自由回答)

以前と比べた住み心地の変化で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」と答えた方に、その代表的な理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

【以前より住み良くなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見(要旨)
交通について	101	副都心線が開通して移動が便利になった
		IKEBUSは良いバスだと思う
		歩行者と車道が区別されて歩きやすくなった
		C2の高速が出来て出掛けやすくなった
街づくり	93	近隣の道路が拡張整備され散歩やマラソンができるようになった
		街の開発が進み、建物も新しくなり、公園も充実され散歩するのが楽しみになった
		大塚駅前がきれいになって気持ちが良い
		いろいろと再開発計画があつて活気が増し、区外からの注目も増している
各種施設について	85	公園やイケバス、親子向け施設が増えたため
		南池袋公園やイケサンパークなど公園が充実されたので
		公衆トイレがきれいに整備された
		保育園や公園、図書館などの公共施設が充実している
		学校や商業施設が建て替えられてきれいになった
		としま区民センターができた
生活環境が改善された	49	周りが静かになった
		安心して子供を連れて歩けるようになった
		駅周辺が整備され放置自転車がなくなった
		街全体が明るくなった
飲食店や商業施設について	45	近場に食べ物屋さんがたくさん増えた
		歩いて観劇に行けるのはとてもうれしい
		映画館が増えた
		駅前が整備され、商業施設も充実している
買い物について	41	近隣にスーパーなどが出店し生活環境が良くなった
		コンビニがふえている
		駅付近が発展していて買い物に困らなかった
福祉・医療が充実している	38	保育園が増えて待機児童が減った
		子育てへのサポートが前向きで良い
		コロナワクチンの対応が早かった
		各種検診の無料実施が充実している

分類項目	件数	主な意見（要旨）
安全・治安について	28	新しい小学校ができ大きな避難場所ができた
		街灯が増えて夜道が明るくなった
		神田川の河川が整備された
		呼び込みが減って歩きやすくなった
行政がよくなった	24	区役所の手続きが分かりやすく早くなった
		高齢者へのサービスや法律相談サービスに満足している
		以前に比べ区役所の職員の対応が親切になったと感じる
		区役所のサービスが良くなった（日曜営業、相談窓口等）
		外国人ですが、最近、区からの書類が様々な国の言葉で説明している
人間関係がよくなった	12	近所の方が親切でよく話しかけてくれるので新参者でもすぐなじめる
		引っ越して一戸建てに住み始め、近所の方たちとの交流が増えた
		若い世帯がふえて子供が多くなった
		若い人が増え、活気を感じられるようになった
その他	25	生活スタイルに合った環境の地域だから
		住み慣れてきたから
		周囲のことが分かるようになった

【以前より住みにくくなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見（要旨）
新しくマンションや住宅が建設され住環境が悪化した	59	マンションや駐車場が明るすぎる
		タワーマンションが増えてビル風が気になるようになった
		近隣に高層建物ができて眺望が悪くなり、人口増加により騒音も多くなった
		高層ビル建築による電波障害がおこりネット環境が悪くなった
		公園や緑（桜の木の伐採）が減り高層マンションの乱立で景観が悪くなった
外国人との関係	56	外国人が深夜大声で話している
		外国人のゴミの捨て方やたばこのマナーがよくない
		外国人が増えてコミュニティが薄れている
		民泊が増えて外国人が増えた
買い物が不便になった	56	コロナ禍の影響で近所のコンビニや銭湯がなくなった
		近所の個人経営の飲食店、商店がほとんどなくなった
		商店街の商店が減って活気がない
		古くからのお店が閉店してしまい、チェーン店が増えている
治安・マナー	56	不法な粗大ごみの放置が増えている
		犬を飼う人のマナー違反、糞を放置する人が増えた
		交通ルールを無視した自転車に乗る人が増え、歩道や交差点を歩いていて危険を感じることも多くなった
		マスクをせずに歩いている人が多い
		神田川沿いで歩きタバコが目立つようになった
		コロナウイルスの影響で路上飲みする人や駅の通路でさわぐ人が増えた

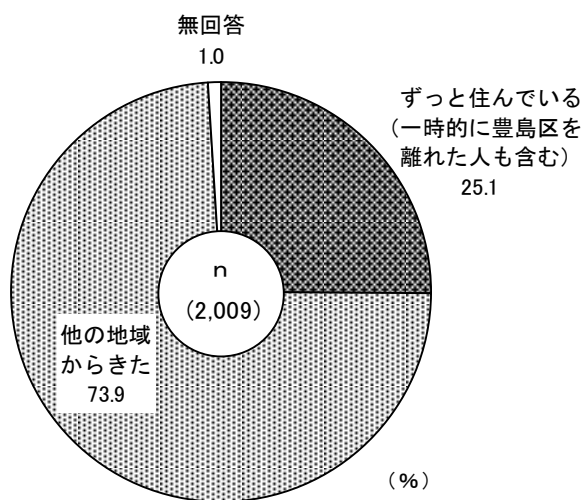
分類項目	件数	主な意見（要旨）
街づくり、都市開発	49	空間が少なくなった
		西巢鴨橋の架け替え工事が長すぎる
		コスプレ関係の店や電気店等が増えて街の品格が下がったと感じている。第二の秋葉原になって欲しくない
		老朽化するビルのあとにワンルームマンションばかり建ち、ファミリー世帯が住めるところが少ない
コミュニティ・近隣関係	41	人情が薄くなった
		新しい住宅が増え地域に知らない人が増えた
		町のイベント（盆踊り他）がどんどん少なくなっている
		個人商店が減って店の人と話をする機会も減った
騒音	26	隣の土地でマンション建設をしているため騒音がかなり気になる
		羽田新ルートによる飛行機の騒音により窓が開けられなくなった
		大型自動車の通りが多くなって家への振動が激しくなった。
道路・交通	12	車イスで行動するとき、信号を渡るときの道路の坂や段差がある
		道路工事、区画整理の工事が多い
緑・オープンスペース	10	緑が少なくなった
		公園が暗い
		街路樹が切られ、あるものは手入れがされていない
各種施設	7	庁舎、保健所の移転で分かりづらくなった
		自宅近くの病院や銭湯が減った
行政	6	住民税が高く支払いが大変と感じる
		開発にお金を使いすぎる
その他	5	転居して1年でコロナだから地域を知るための活動ができない

2. 居住の経緯

(1) 居住の経緯

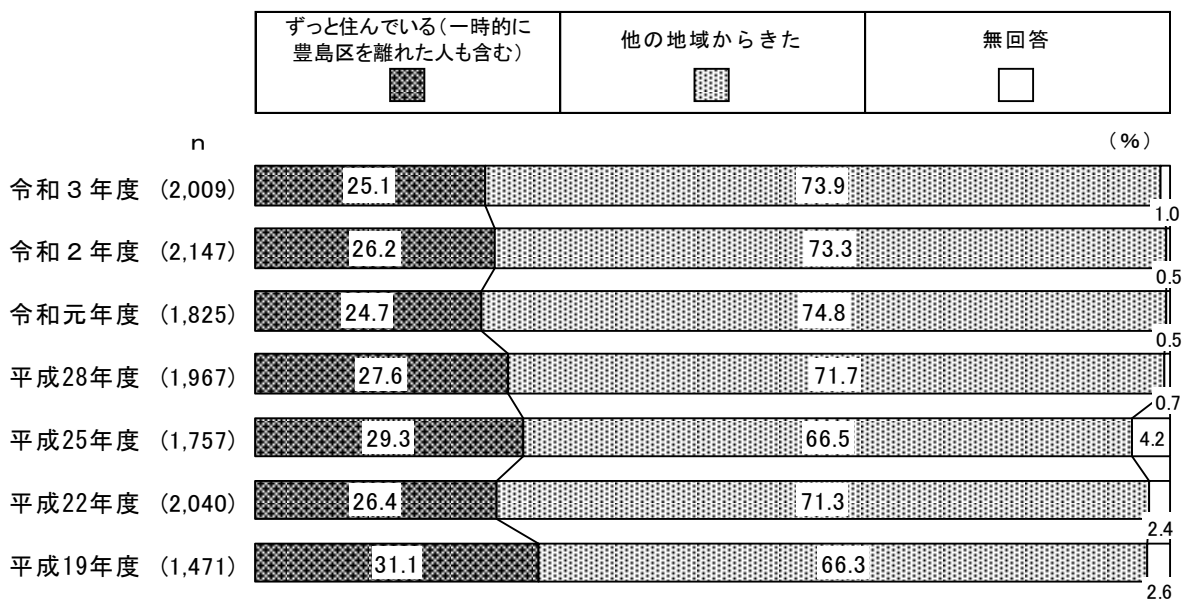
問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

生まれてからずっと豊島区に住んでいるか聞いたところ、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」(25.1%)が2割半ば、「他の地域からきた」(73.9%)が7割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、令和2年度と比べて大きな違いはみられない。

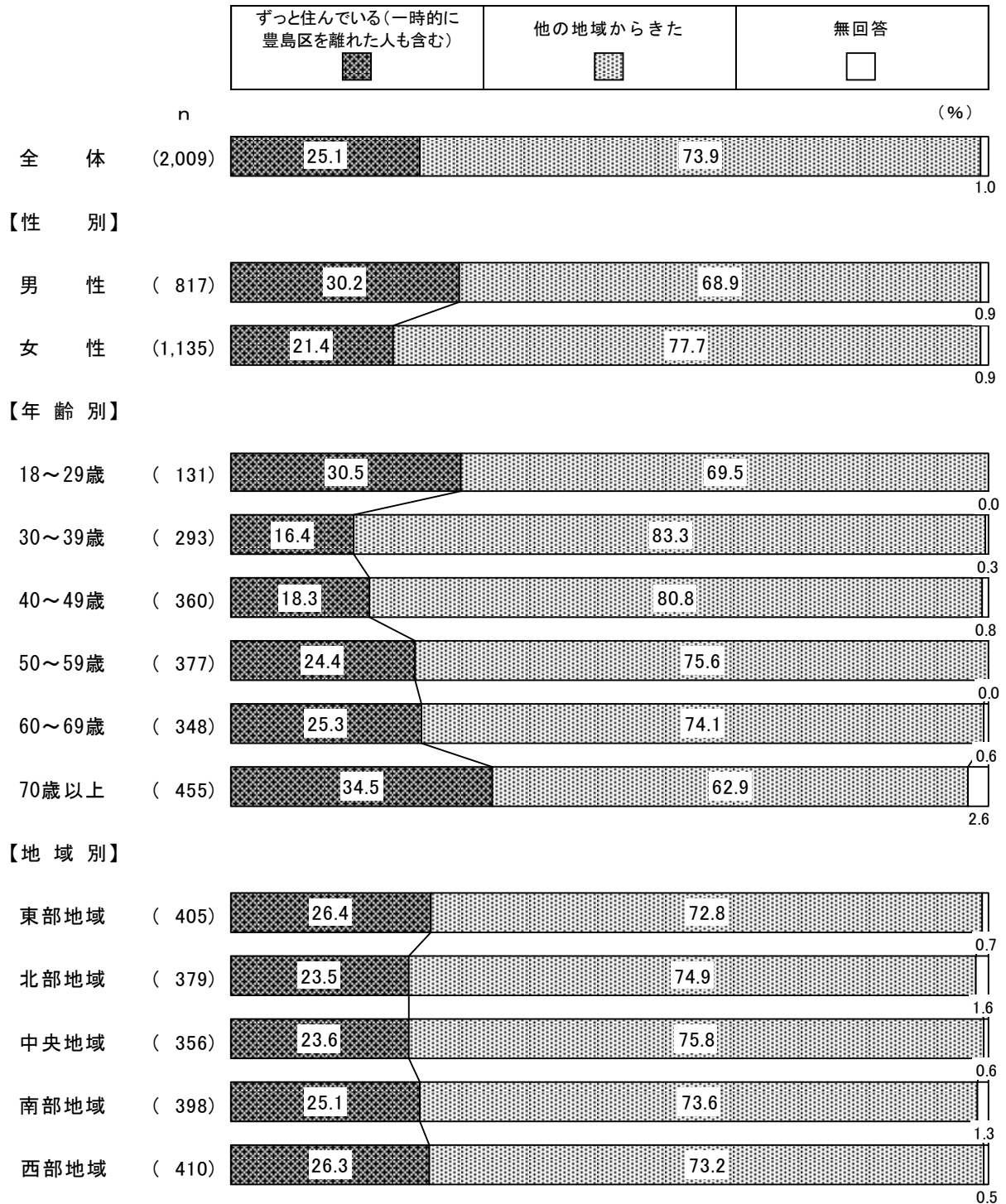


【性別、年齢別、地域別】

性別でみると、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」は男性(30.2%)が女性(21.4%)より8.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」は70歳以上(34.5%)で3割半ばと高くなっている。一方、「他の地域からきた」は30~39歳(83.3%)、40~49歳(80.8%)で8割台と高くなっている。

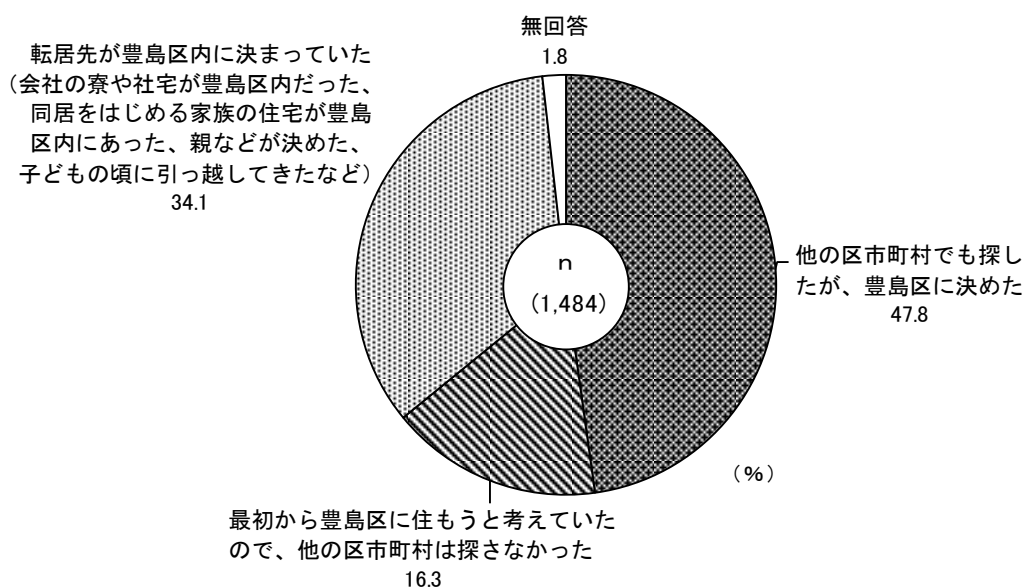
地域別でみると、大きな違いはみられない。



(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか

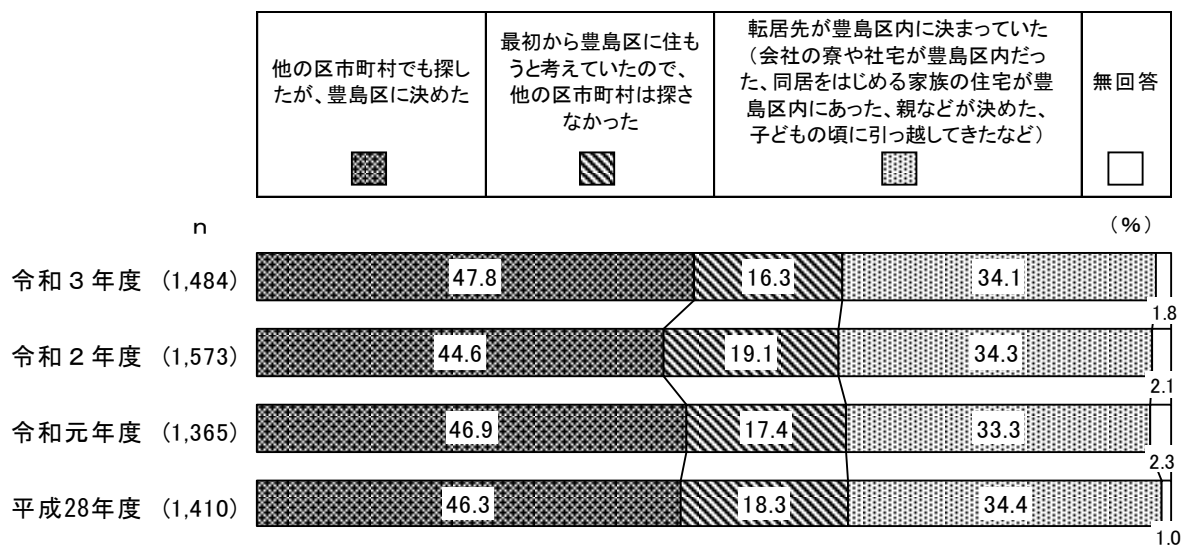
《問3で、「他の地域からきた」とお答えの方におたずねします》
 問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。
 (1つに〇)

居住の経緯で、「他の地域からきた」と答えた方に、転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか聞いたところ、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」(47.8%)が5割近くで最も高く、次いで「転居先が豊島区内に決まっていた(会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめ家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど)」(34.1%)、「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」(16.3%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は令和2年度より3.2ポイント増加している。

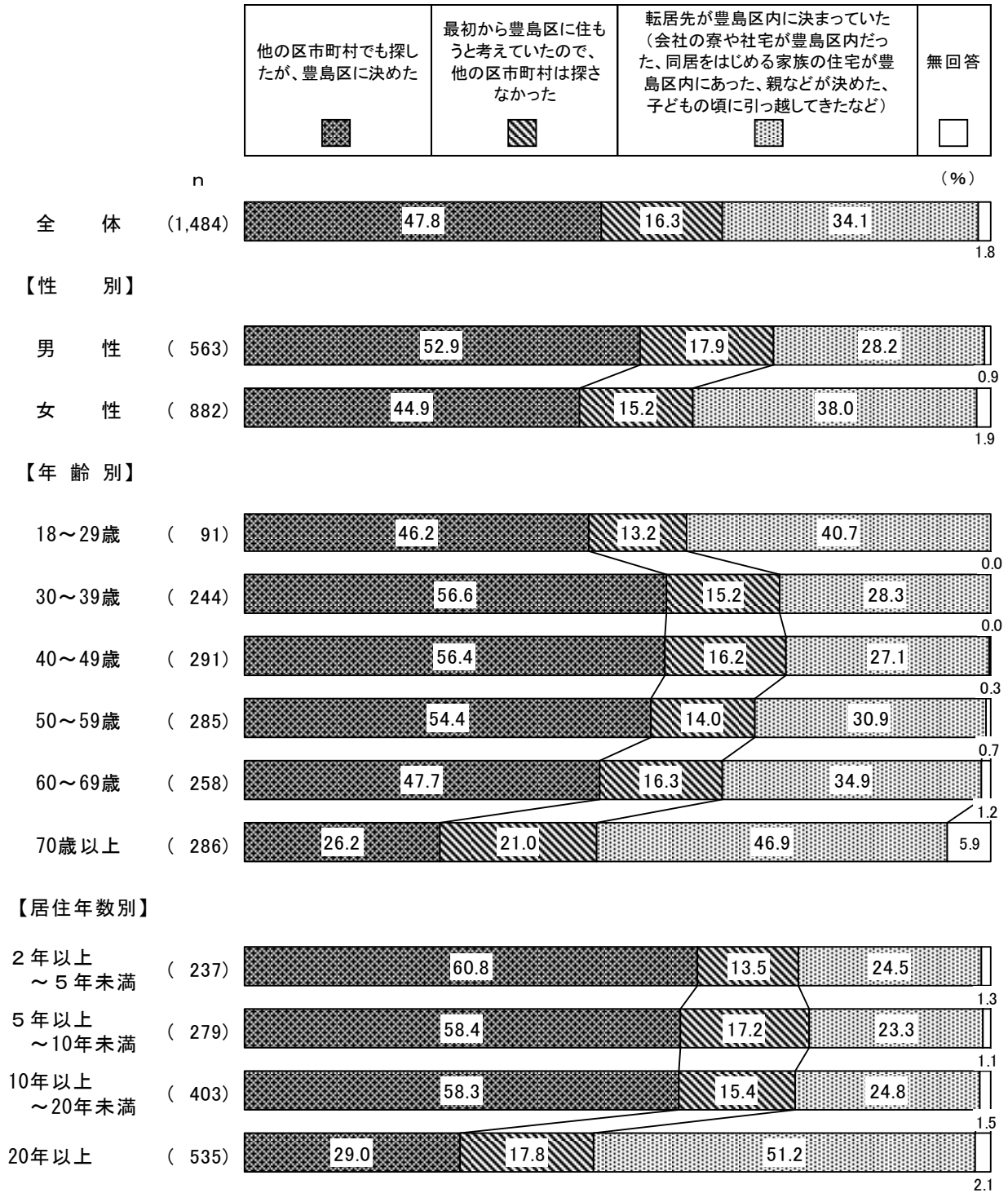


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は男性（52.9%）が女性（44.9%）より 8.0 ポイント高くなっている。一方、「転居先が豊島区内に決まっていた」は女性（38.0%）が男性（28.2%）より 9.8 ポイント高くなっている。

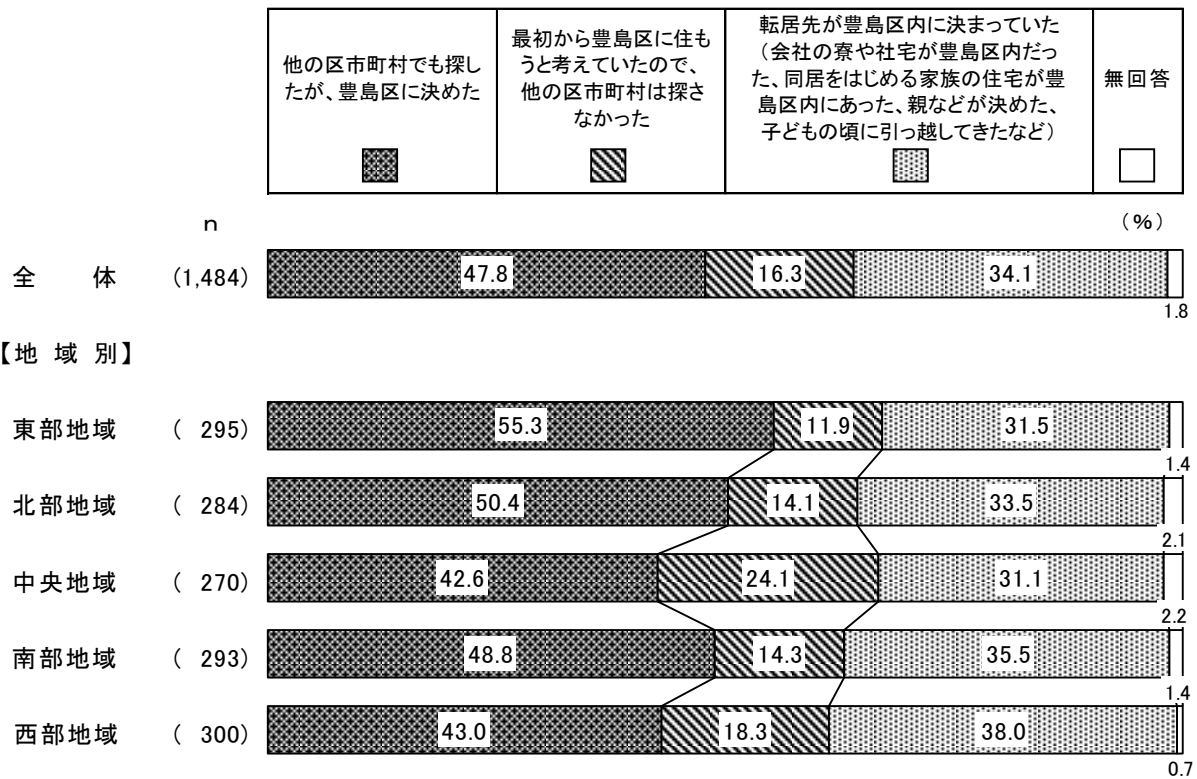
年齢別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は 30～39 歳（56.6%）、40～49 歳（56.4%）、50～59 歳（54.4%）で 5 割台となっている。「転居先が豊島区内に決まっていた」は 70 歳以上（46.9%）で 5 割近くと高くなっている。

居住年数別でみると、「転居先が豊島区内に決まっていた」は 20 年以上（51.2%）で 5 割を超えて高くなっている。



【地域別】

地域別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は東部地域（55.3%）で5割半ばと高くなっている。「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」は中央地域（24.1%）で2割半ばと高くなっている。

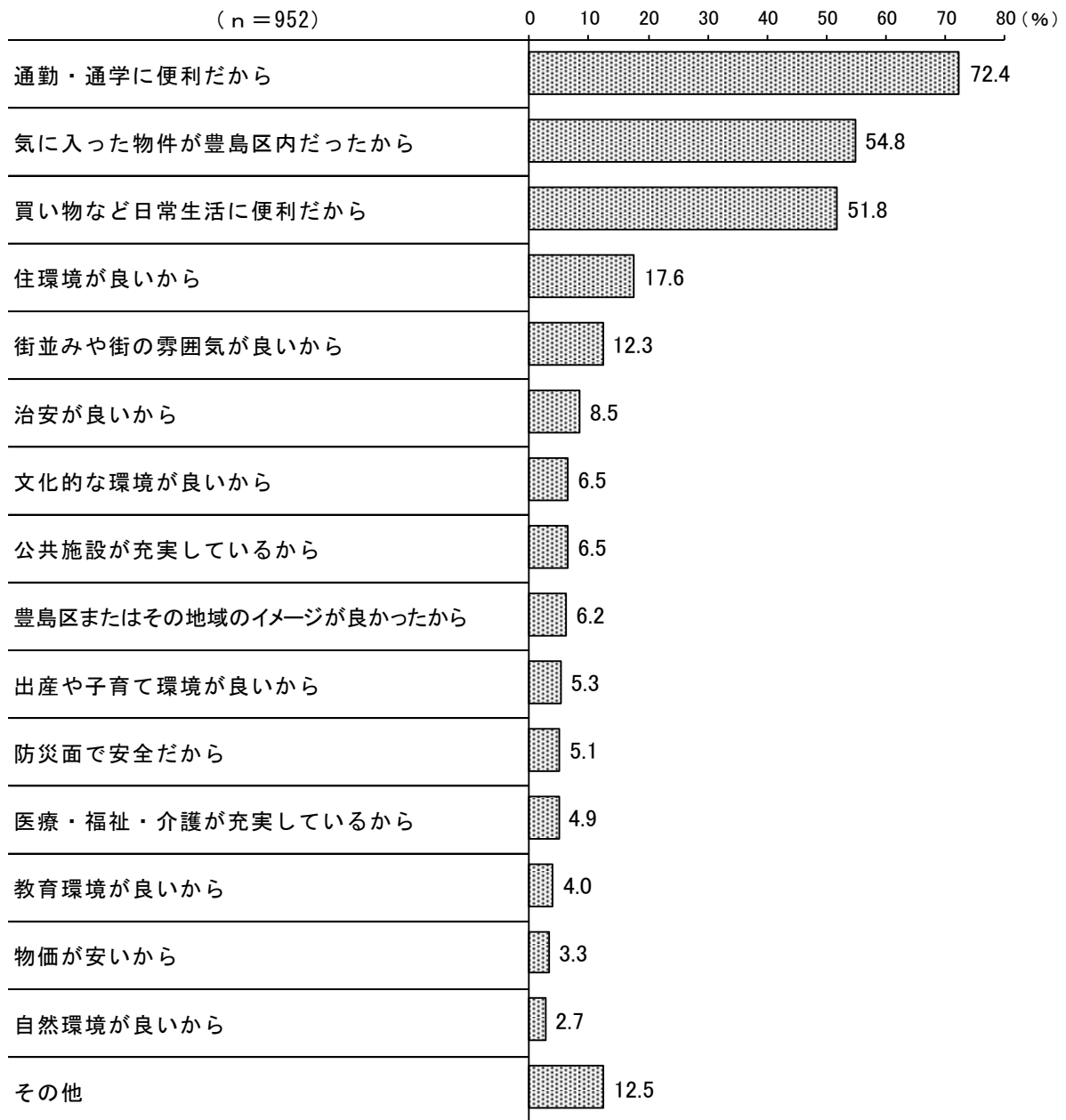


(3) 豊島区を選んだ理由

《問3-1で、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」とお答えの方におたずねします》

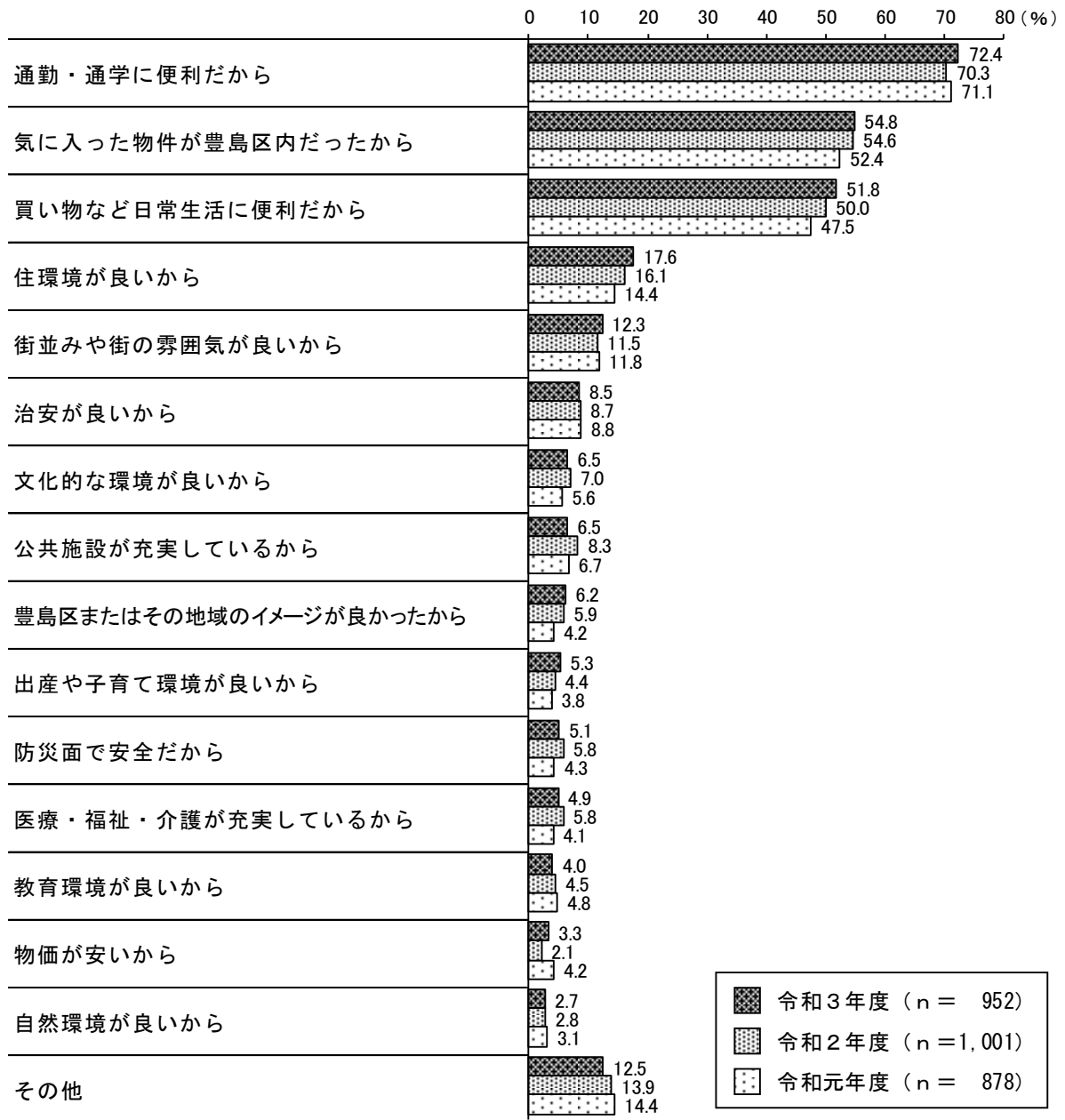
問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

転入するにあたり、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」と答えた方に、豊島区を選んだ理由を聞いたところ、「通勤・通学に便利だから」(72.4%)が7割を超えて最も高く、次いで「気に入った物件が豊島区内だったから」(54.8%)、「買い物など日常生活に便利だから」(51.8%)、「住環境が良いから」(17.6%)となっている。



【経年比較】

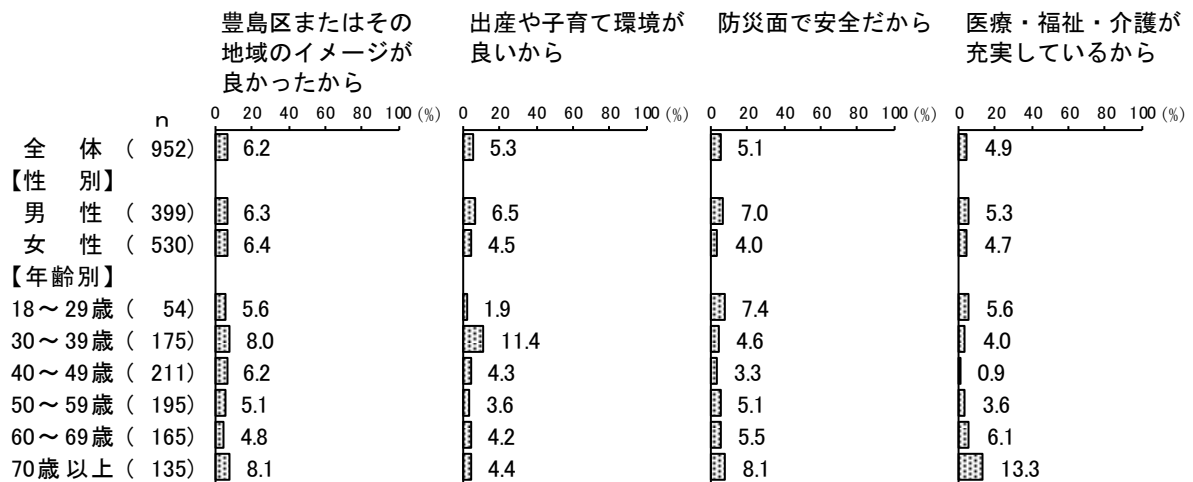
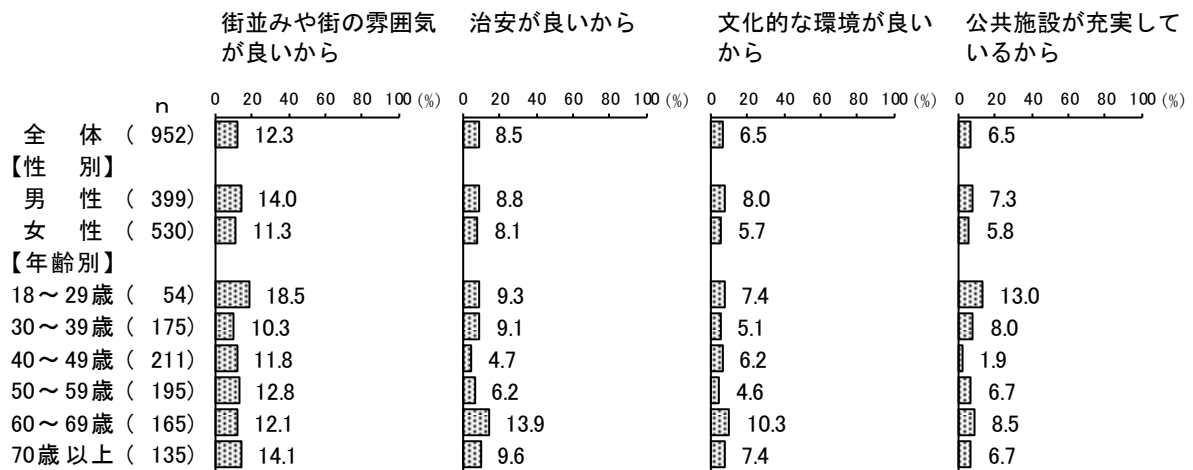
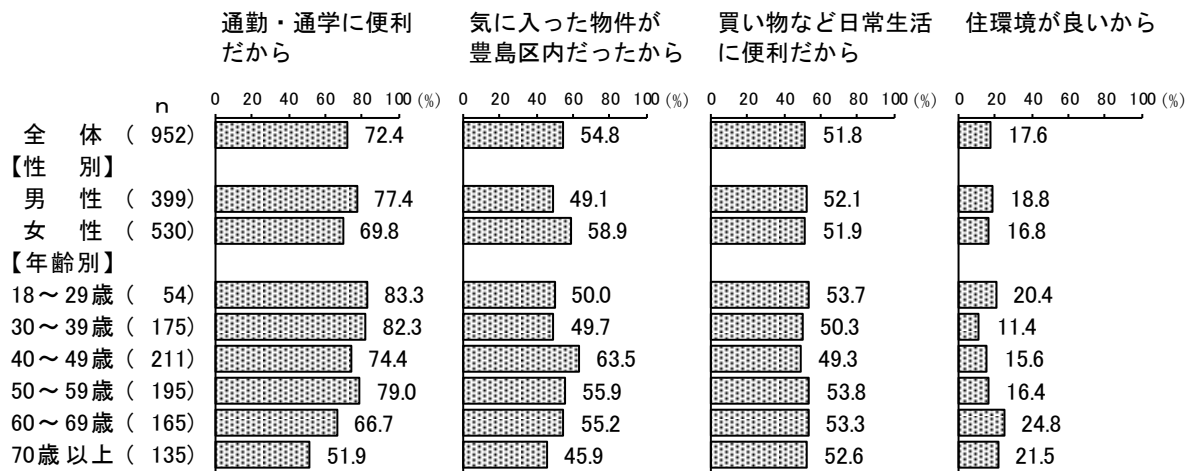
過去の調査結果と比較すると、令和2年度と比べて大きな違いはみられない。



【性別、年齢別】(上位12項目)

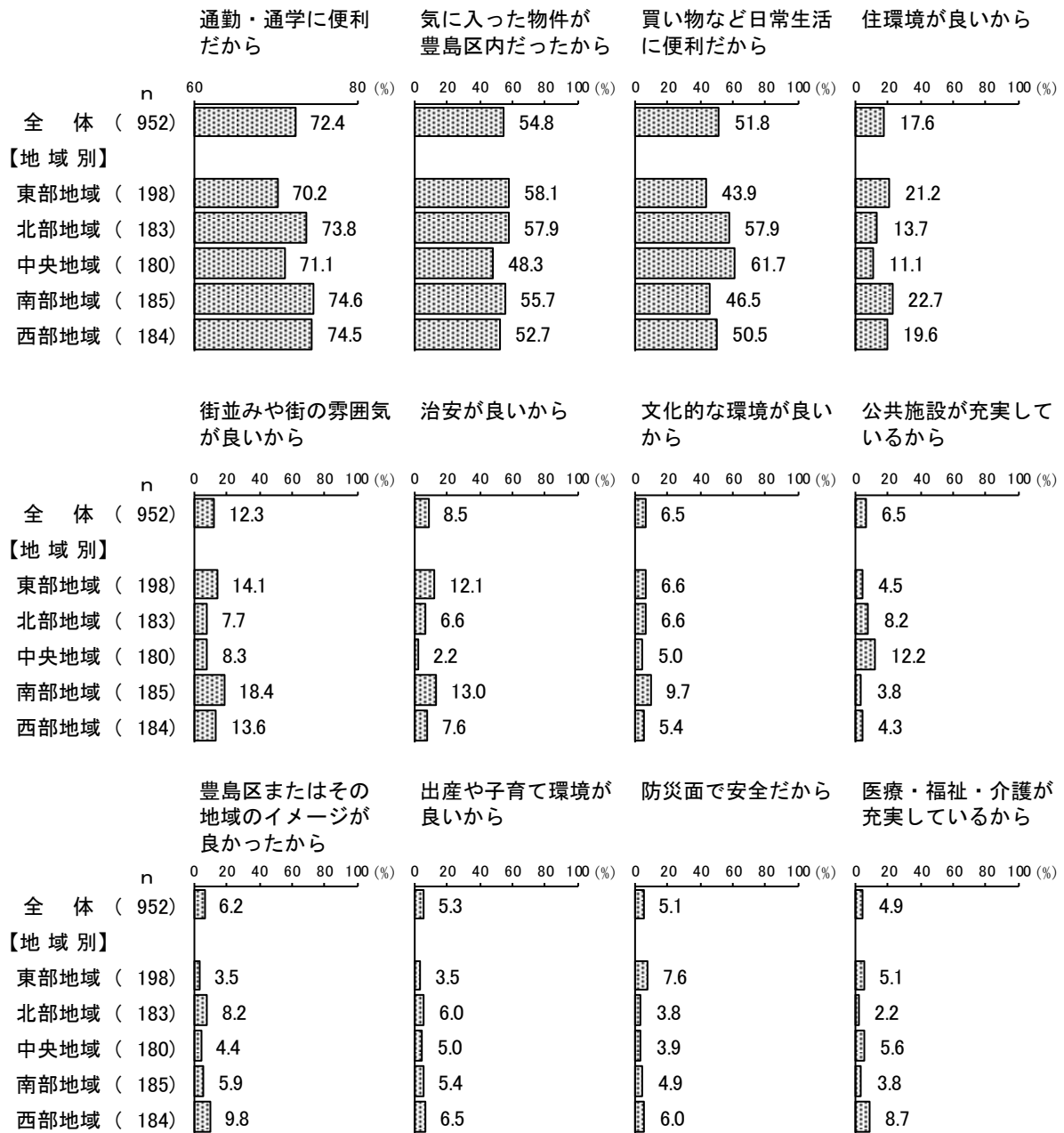
性別でみると、「通勤・通学に便利だから」は男性(77.4%)が女性(69.8%)より7.6ポイント高くなっている。一方、「気に入った物件が豊島区内だったから」は女性(58.9%)が男性(49.1%)より9.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「通勤・通学に便利だから」は18～29歳(83.3%)、30～39歳(82.3%)で8割を超えて高くなっている。「気に入った物件が豊島区内だったから」は40～49歳(63.5%)で6割半ばと高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（61.7%）で6割を超え、北部地域（57.9%）で6割近くと高くなっている。

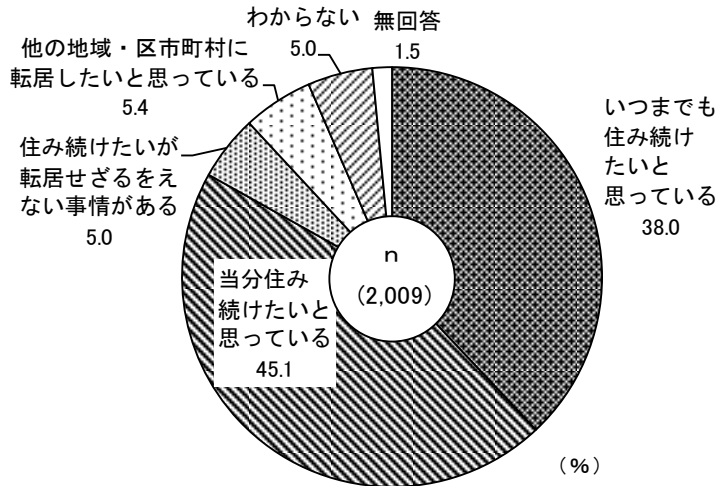


3. 定住意向

(1) 定住意向

問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

これからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思うか聞いたところ、「いつまでも住み続けたいと思っている」(38.0%)と「当分住み続けたいと思っている」(45.1%)を合わせた『住み続けたい(計)』(83.1%)は8割を超えている。一方、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(5.0%)と「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」(5.4%)はともに1割未満となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『住み続けたい(計)』は令和2年度と比べ2.2ポイント増加している。

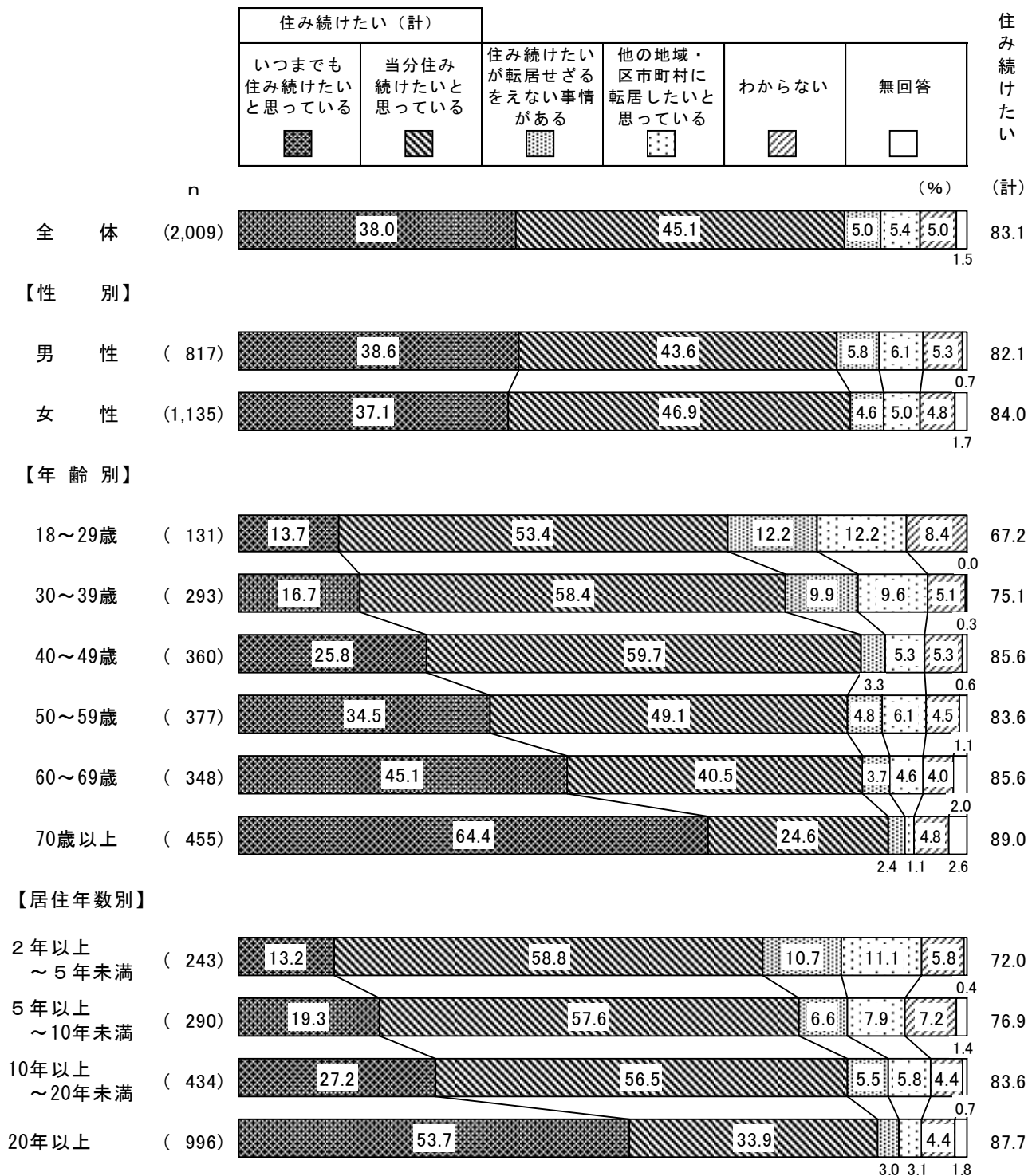
年次	n	住み続けたい(計)						住み続けたい(計)
		いつまでも住み続けたいと思っている	当分住み続けたいと思っている	住み続けたいが転居せざるをえない事情がある	他の地域・区市町村に転居したいと思っている	わからない	無回答	
令和3年度	(2,009)	38.0	45.1	5.0	5.4	1.5	1.5	83.1
令和2年度	(2,147)	36.7	44.2	4.9	5.8	1.6	1.6	80.9
令和元年度	(1,825)	39.3	42.9	4.8	5.2	1.3	1.3	82.2
平成30年度	(1,841)	40.6	43.7	5.1	4.2	0.3	0.3	84.3
平成29年度	(1,913)	39.7	45.7	4.0	4.7	0.3	0.3	85.4
平成28年度	(1,967)	39.1	42.9	4.5	5.9	0.8	0.8	82.0
平成25年度	(1,757)	40.6	44.2	4.5	4.4	1.0	1.0	84.8
平成22年度	(2,040)	40.8	42.0	4.5	5.3	1.0	1.0	82.8
平成19年度	(1,471)	38.3	45.8	4.4	4.3	1.1	1.1	84.1
平成16年度	(805)	49.6	36.3	3.7	5.3	2.9	2.2	85.9

【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「当分住み続けたいと思っている」は女性（46.9%）が男性（43.6%）より3.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（64.4%）で6割半ばと高くなっている。

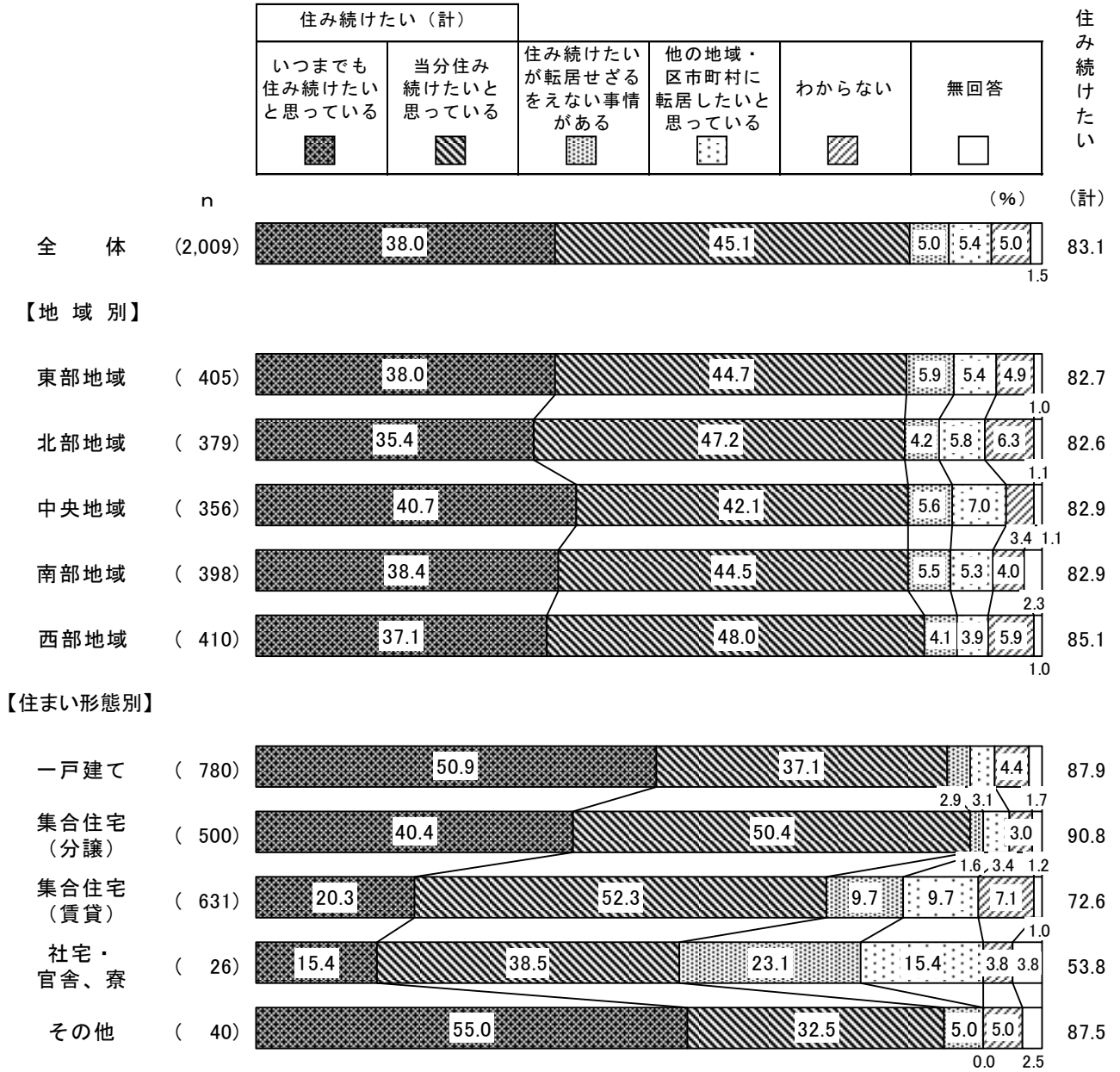
居住年数別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上（53.7%）で5割半ばと高くなっている。『住み続けたい（計）』は20年以上（87.7%）で9割近くと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は中央地域（40.7%）で約4割となっている。

住まい形態別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は一戸建て（50.9%）で約5割と高くなっている。『住み続けたい（計）』は集合住宅（分譲）（90.8%）で約9割と高くなっている。

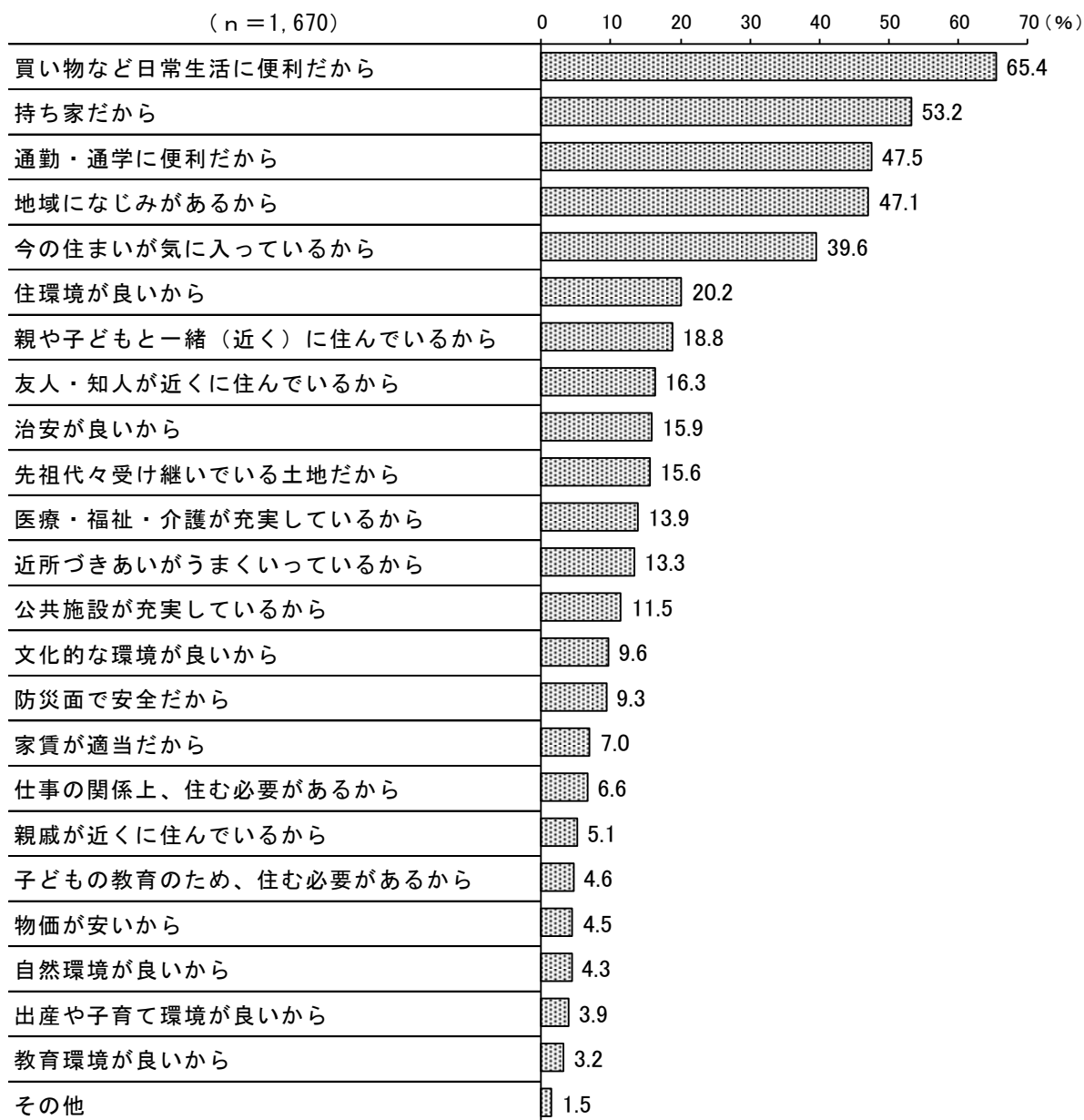


(2) 住み続けたい理由

《問4で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」とお答えの方におたずねします》

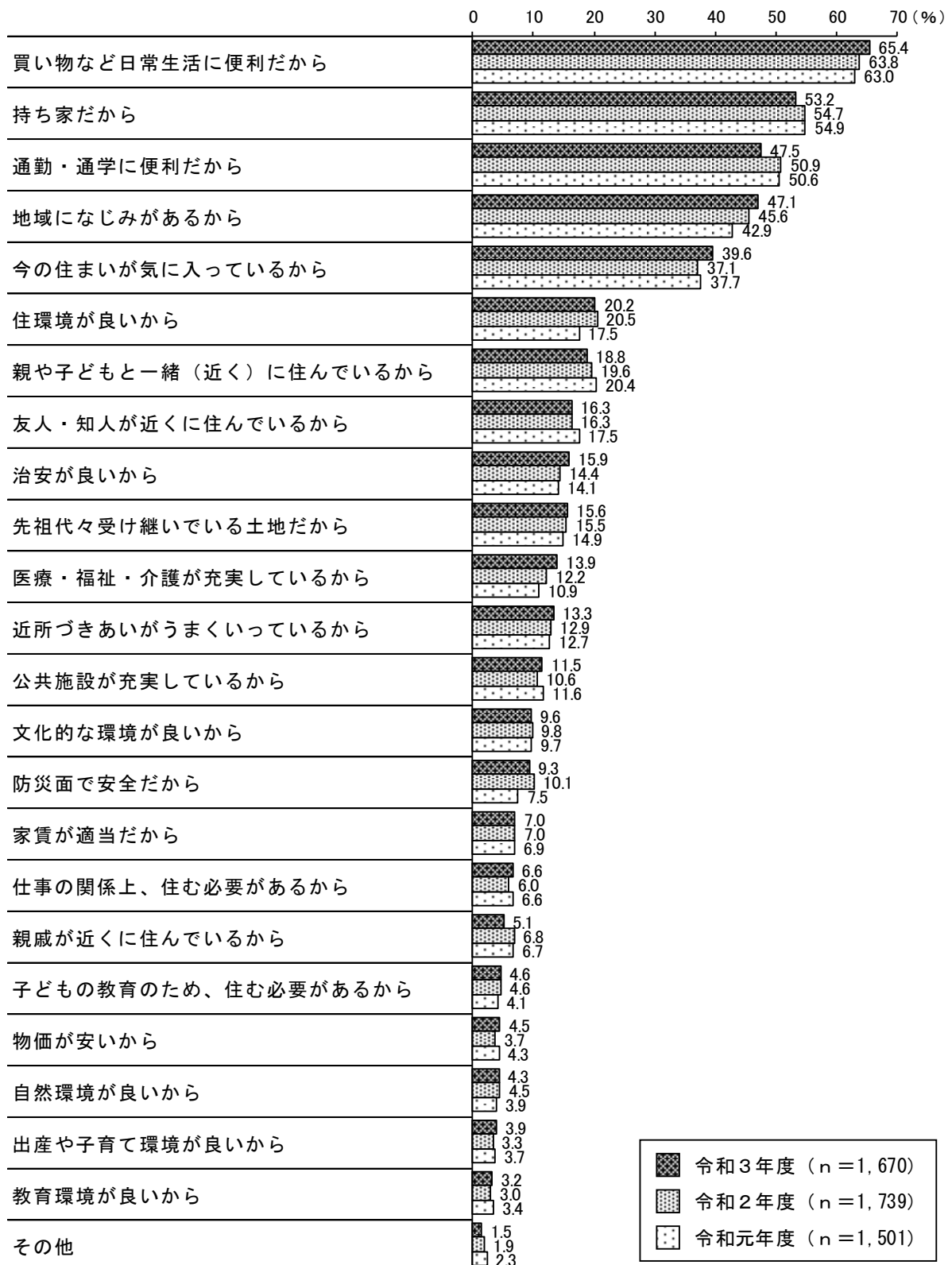
問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」と答えた方に、住み続けたい理由を聞いたところ、「買い物など日常生活に便利だから」(65.4%)が6割半ばで最も高く、次いで「持ち家だから」(53.2%)、「通勤・通学に便利だから」(47.5%)、「地域になじみがあるから」(47.1%)となっている。



【経年比較】

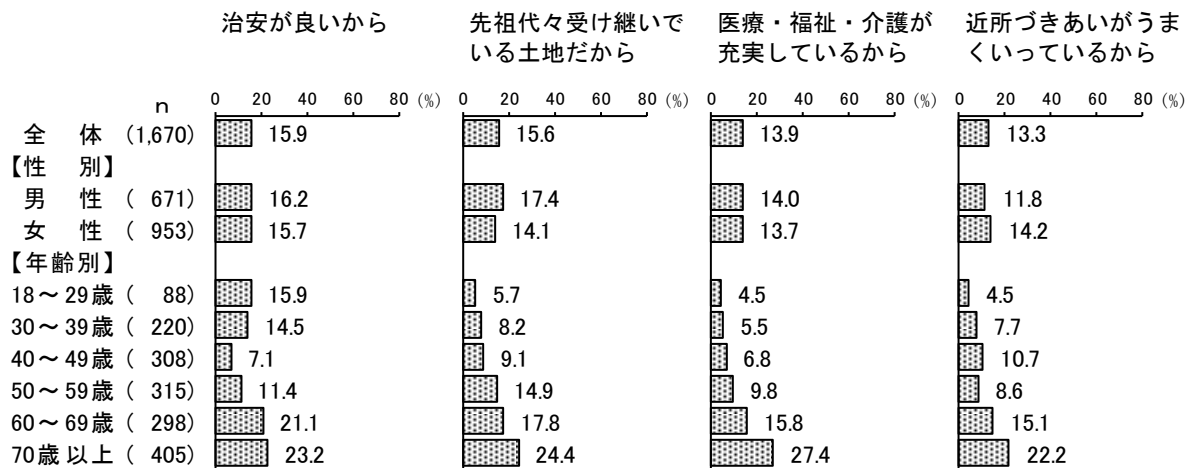
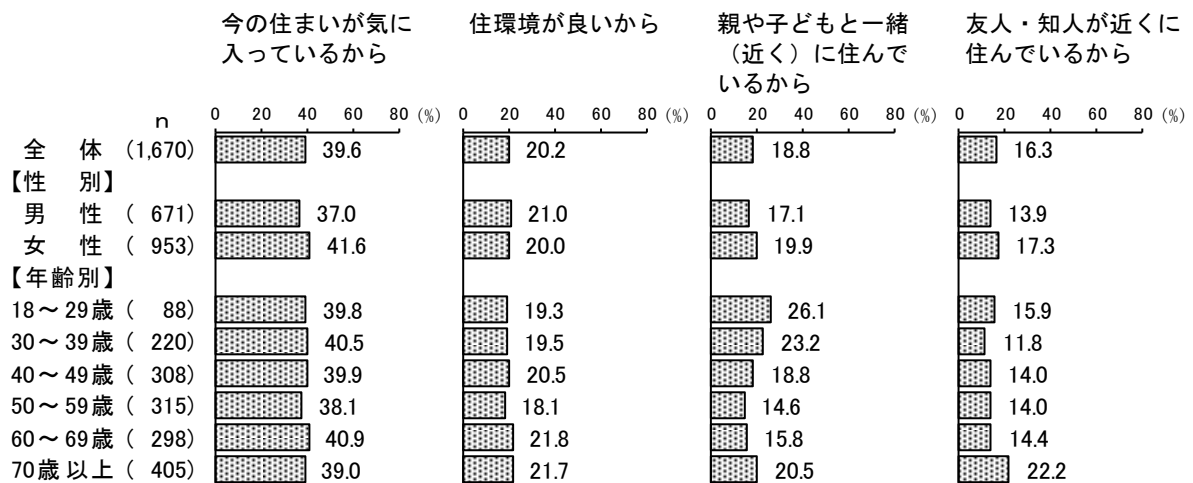
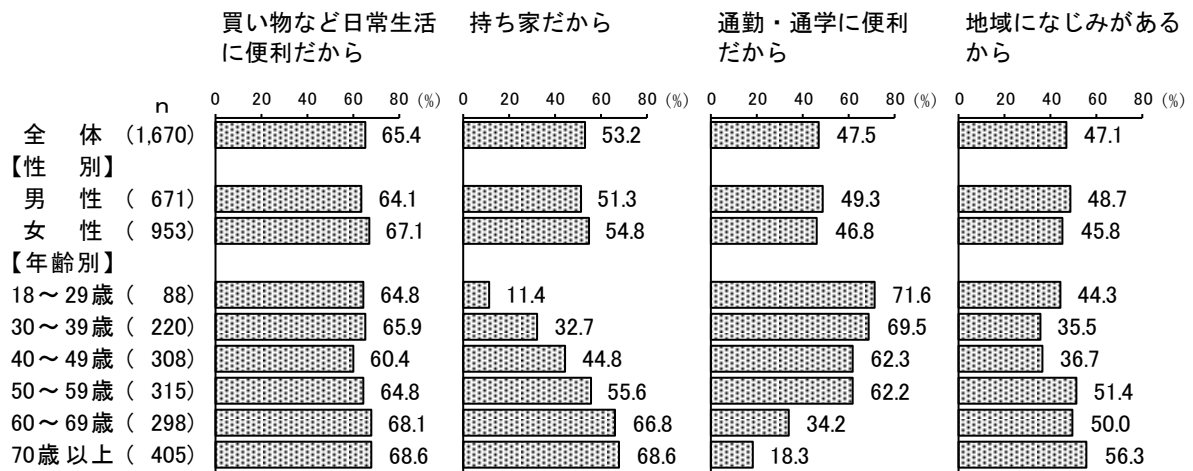
過去の調査結果と比較すると、「通勤・通学に便利だから」は令和2年度より3.4ポイント減少している。



【性別、年齢別】(上位12項目)

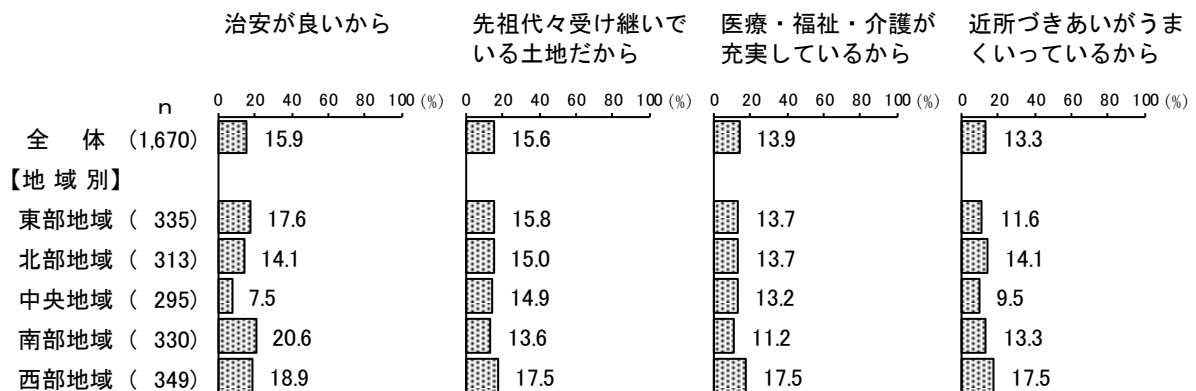
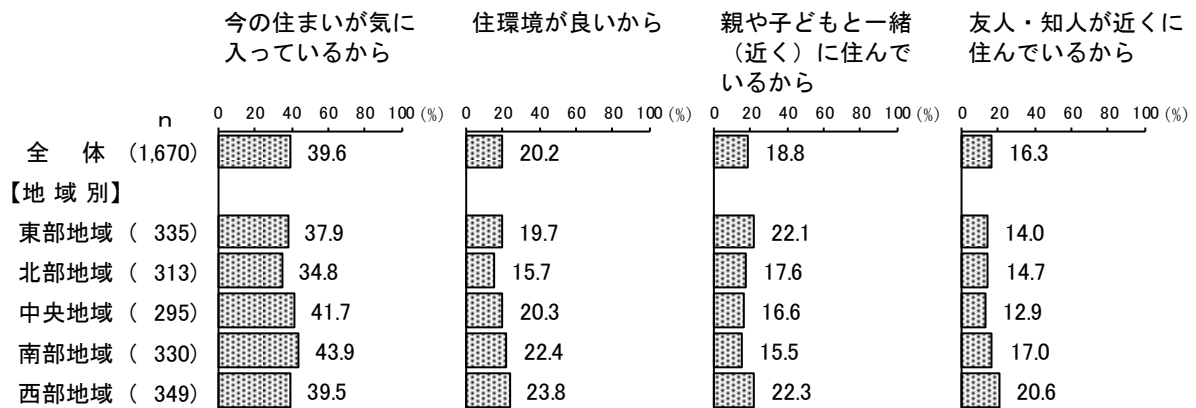
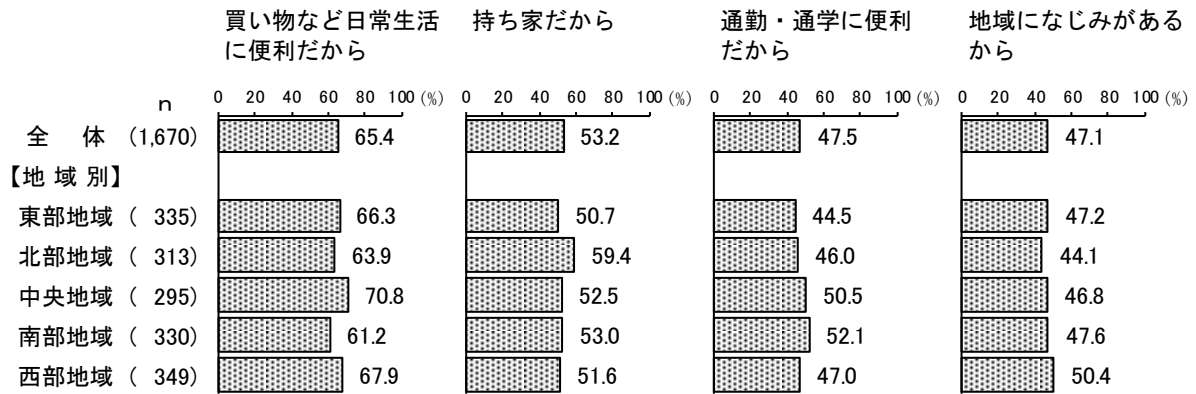
性別でみると、「今の住まいが気に入っているから」は女性(41.6%)が男性(37.0%)より4.6ポイント高くなっている。一方、「地域になじみがあるから」は男性(48.7%)が女性(45.8%)より2.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「持ち家だから」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上(68.6%)で7割近くと高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は18~29歳(71.6%)、30~39歳(69.5%)で約7割と高くなっている。「地域になじみがあるから」は70歳以上(56.3%)で5割半ばと高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

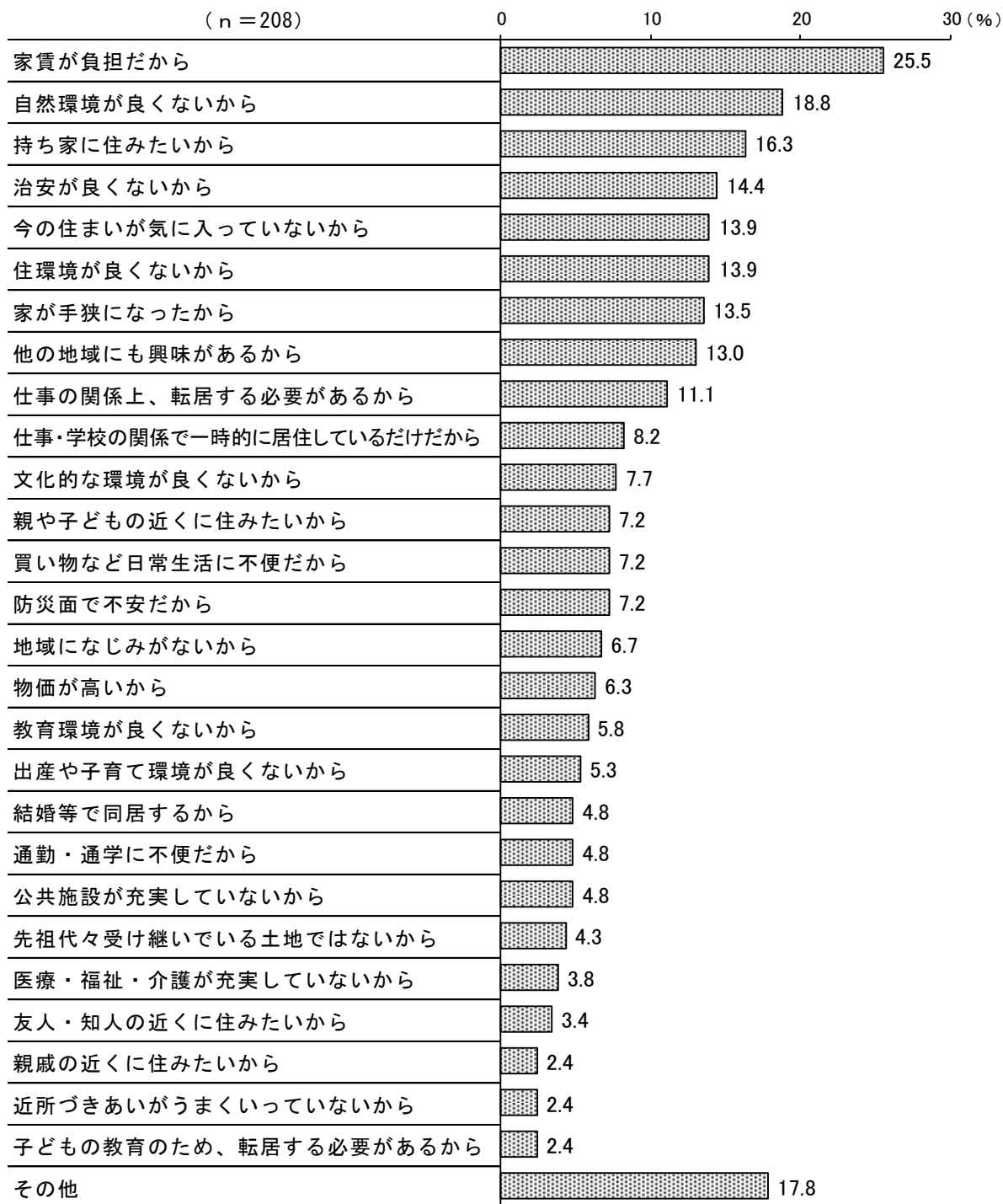
地域別でみると、「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（70.8%）で約7割と高くなっている。「持ち家だから」は北部地域（59.4%）で約6割と高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は南部地域（52.1%）、中央地域（50.5%）で5割台と高くなっている。



(3) 転居せざるをえない、転居したい理由

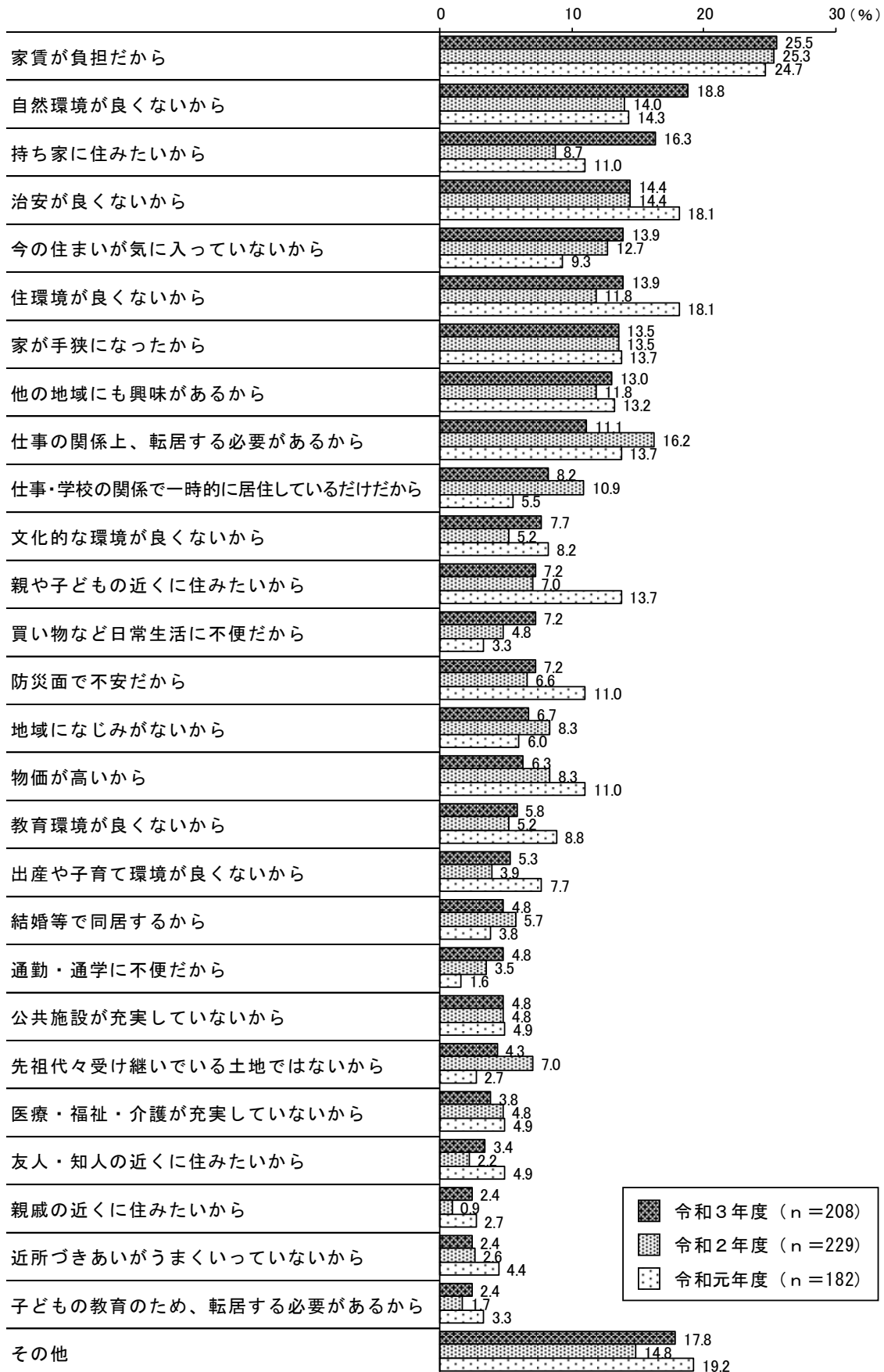
《問4で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」または「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」とお答えの方におたずねします》
 問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」または「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」と答えた方に、転居せざるをえない、転居したい理由を聞いたところ、「家賃が負担だから」(25.5%)が2割半ばで最も高く、次いで「自然環境が良くないから」(18.8%)、「持ち家に住みたいから」(16.3%)、「治安が良くないから」(14.4%)となっている。



【経年比較】

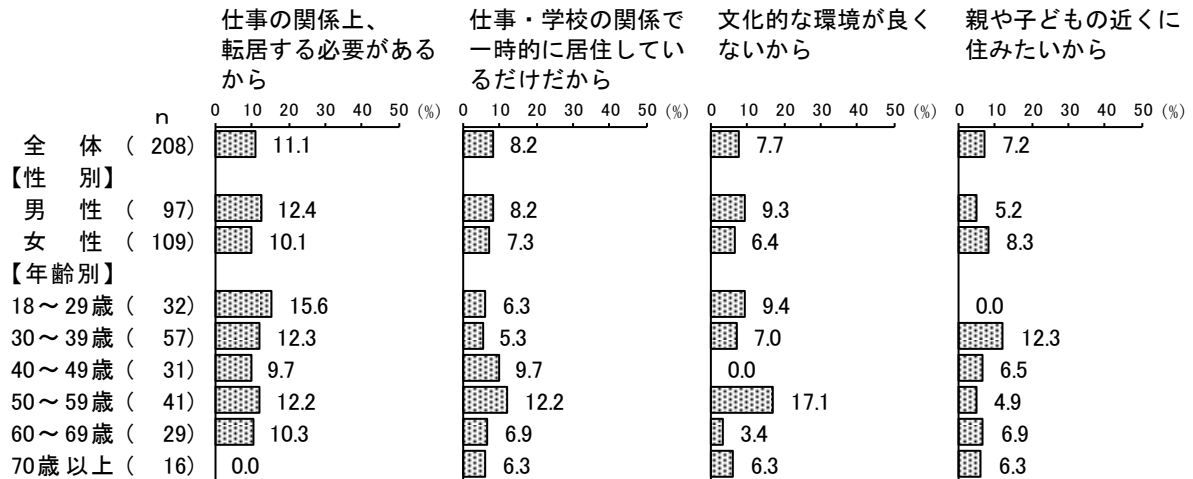
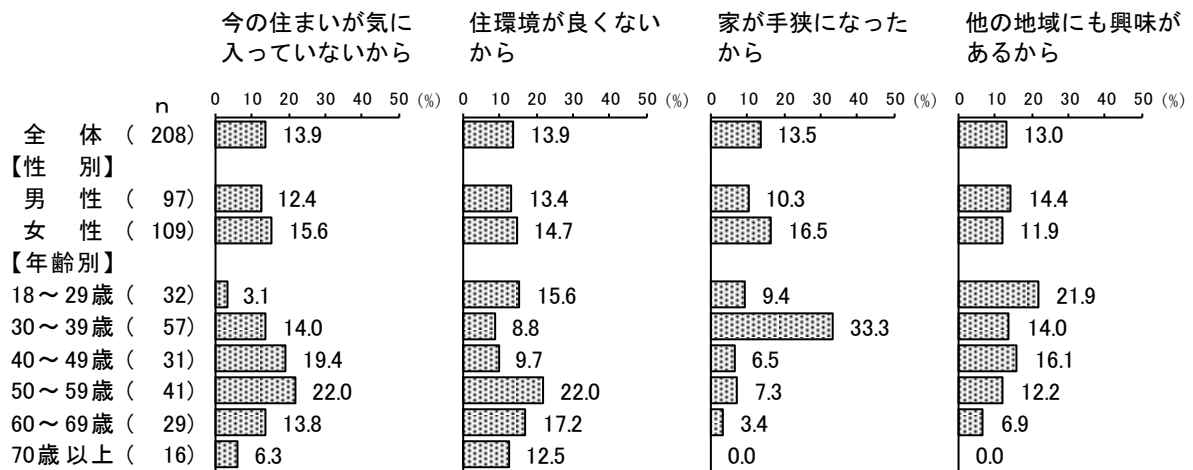
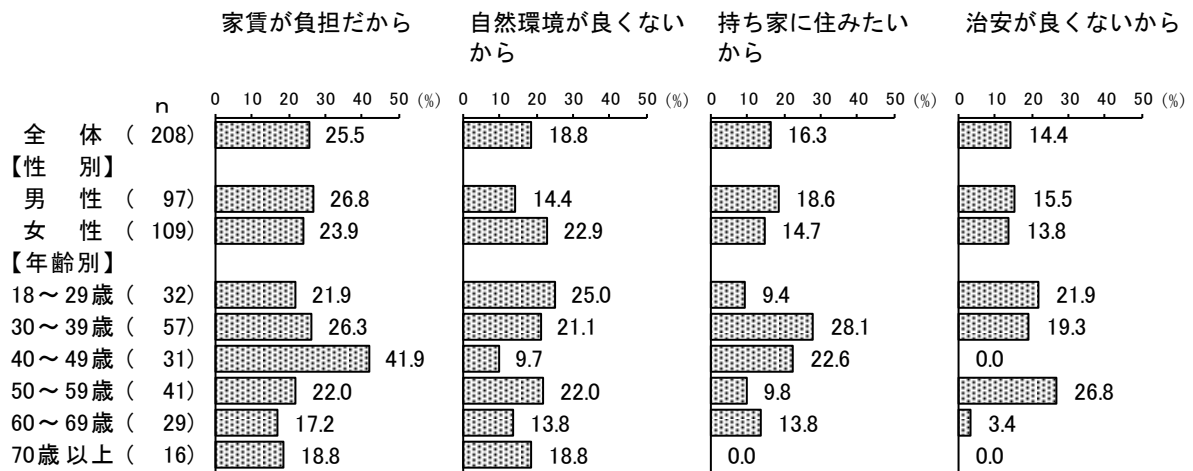
過去の調査結果と比較すると、「持ち家に住みたいから」は令和2年度より7.6ポイント、「自然環境が良くないから」は令和2年度より4.8ポイント、それぞれ増加している。一方、「仕事の関係上、転居する必要があるから」は令和2年度より5.1ポイント減少している。



【性別、年齢別】(上位12項目)

性別でみると、「自然環境が良くないから」は女性(22.9%)が男性(14.4%)より8.5ポイント高くなっている。一方、「持ち家に住みたいから」は男性(18.6%)が女性(14.7%)より3.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「家賃が負担だから」は40～49歳(41.9%)で4割を超えて高くなっている。「持ち家に住みたいから」は30～39歳(28.1%)で3割近くと高くなっている。「治安が良くないから」は50～59歳(26.8%)で3割近くと高くなっている。

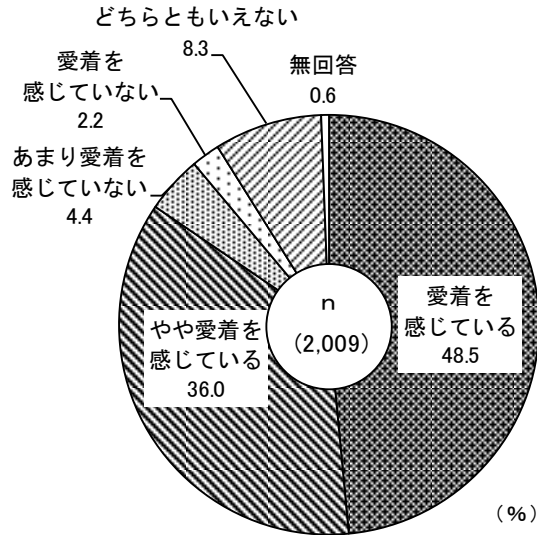


4. 地域への愛着

(1) 地域への愛着

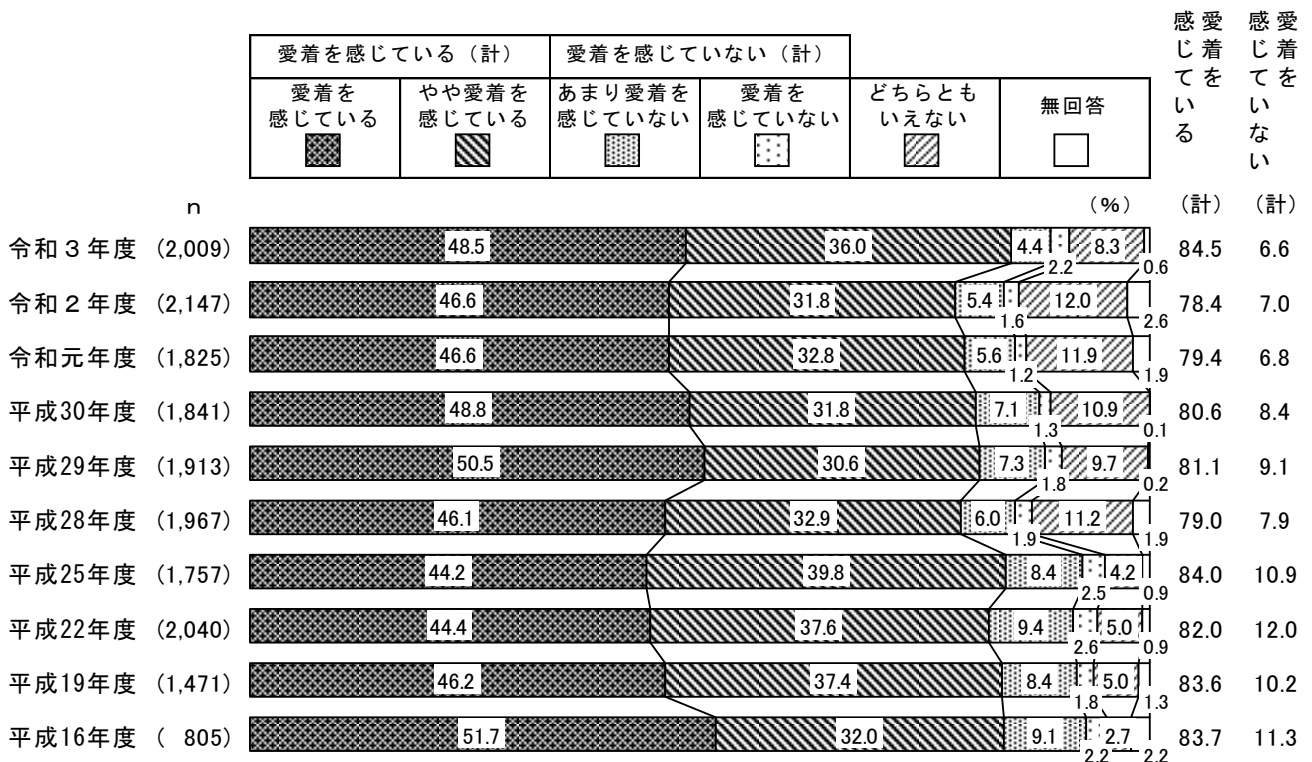
問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

現在お住まいの地域に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じている」(48.5%)と「やや愛着を感じている」(36.0%)を合わせた『愛着を感じている(計)』(84.5%)は8割半ばとなっている。一方、「あまり愛着を感じていない」(4.4%)と「愛着を感じていない」(2.2%)を合わせた『愛着を感じていない(計)』(6.6%)は1割未満となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『愛着を感じている(計)』は令和2年度より6.1ポイント増加している。

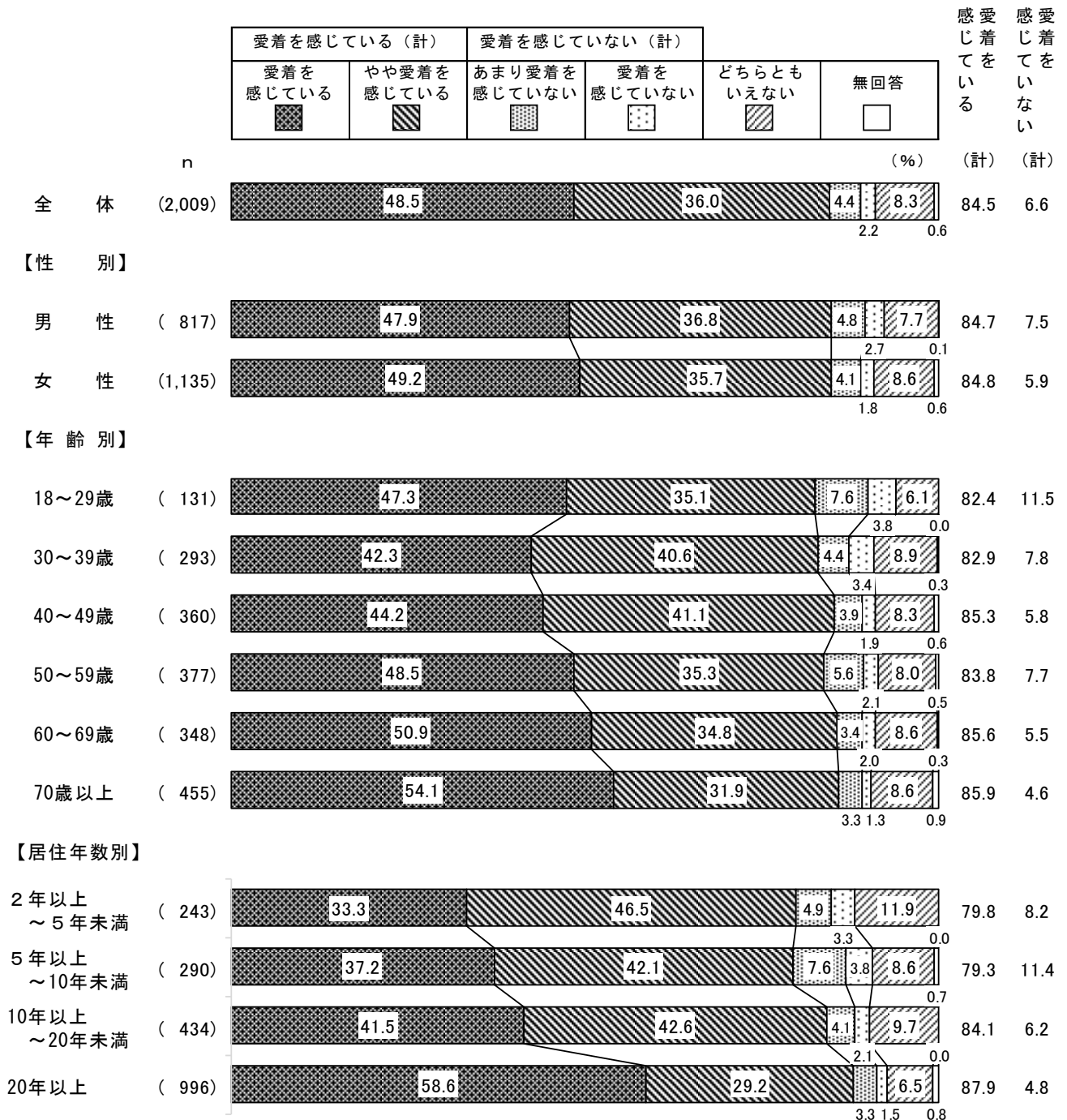


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

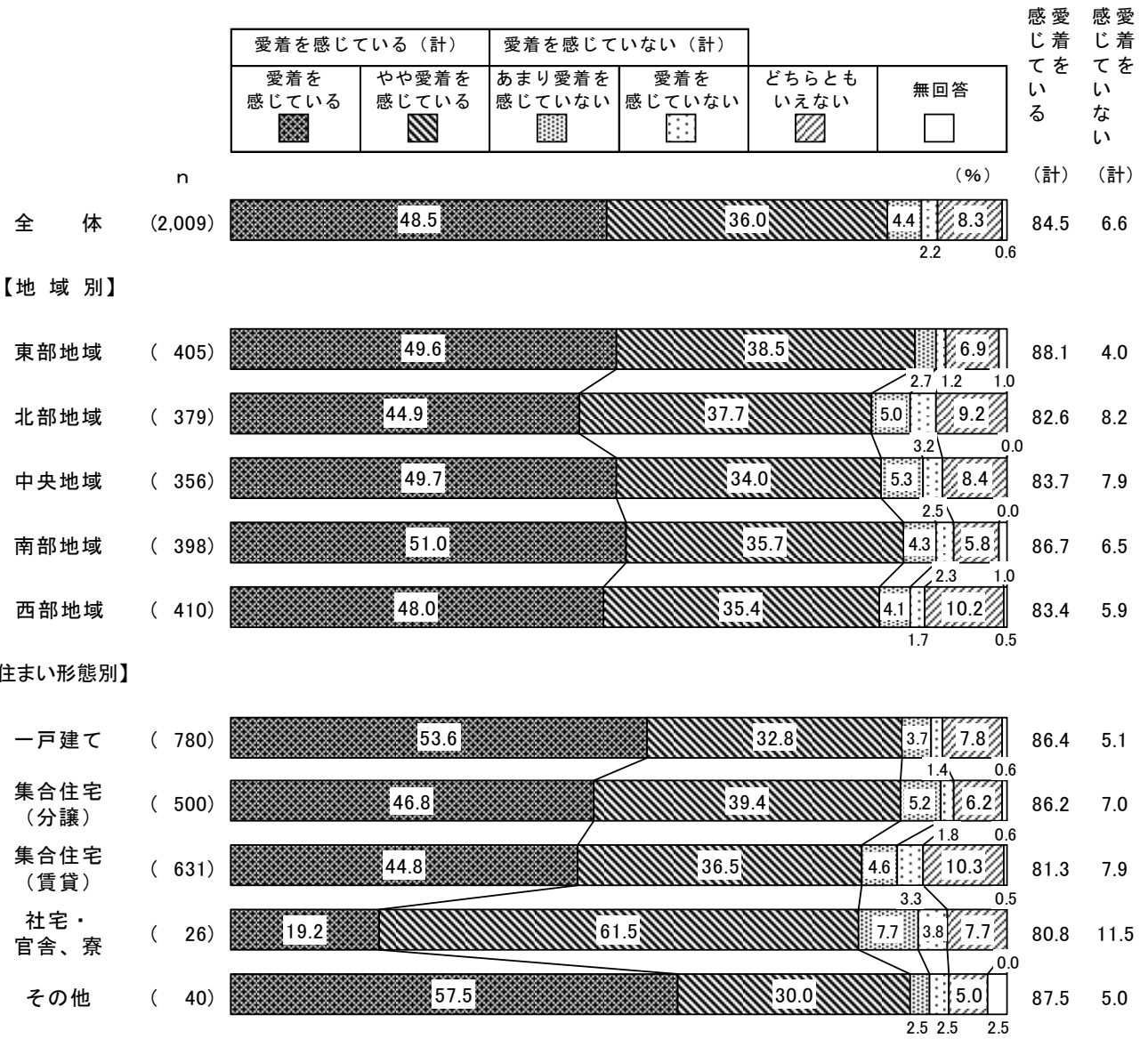
年齢別でみると、「愛着を感じている」は70歳以上（54.1%）で5割半ばと高くなっている。

居住年数別でみると、「愛着を感じている」は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上（58.6%）で6割近くと高くなっている。『愛着を感じている（計）』は20年以上（87.9%）で9割近くと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

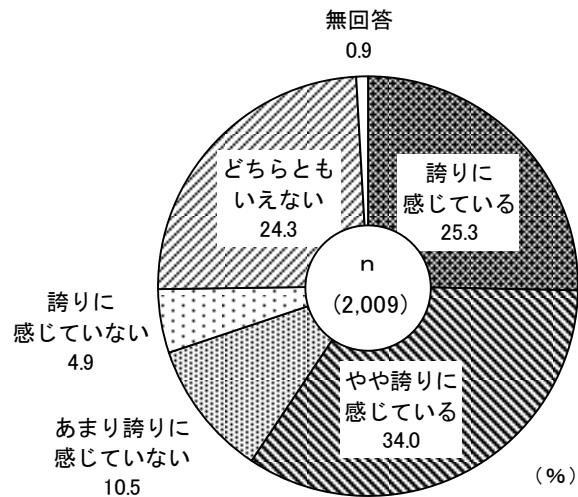
地域別でみると、『愛着を感じている（計）』は東部地域（88.1%）で9割近くと高くなっている。
 住まい形態別でみると、「愛着を感じている」は一戸建て（53.6%）で5割半ばと高くなっている。



(2) 豊島区に住んでいることを誇りに感じるか

問6 あなたは豊島区に住んでいることを誇りに感じますか。(1つに○)

豊島区に住んでいることを誇りに感じるか聞いたところ、「誇りに感じている」(25.3%)と「やや誇りに感じている」(34.0%)を合わせた『誇りに感じている(計)』(59.3%)は約6割となっている。一方、「あまり誇りに感じていない」(10.5%)と「誇りに感じていない」(4.9%)を合わせた『誇りに感じていない(計)』(15.4%)は1割半ばとなっている。

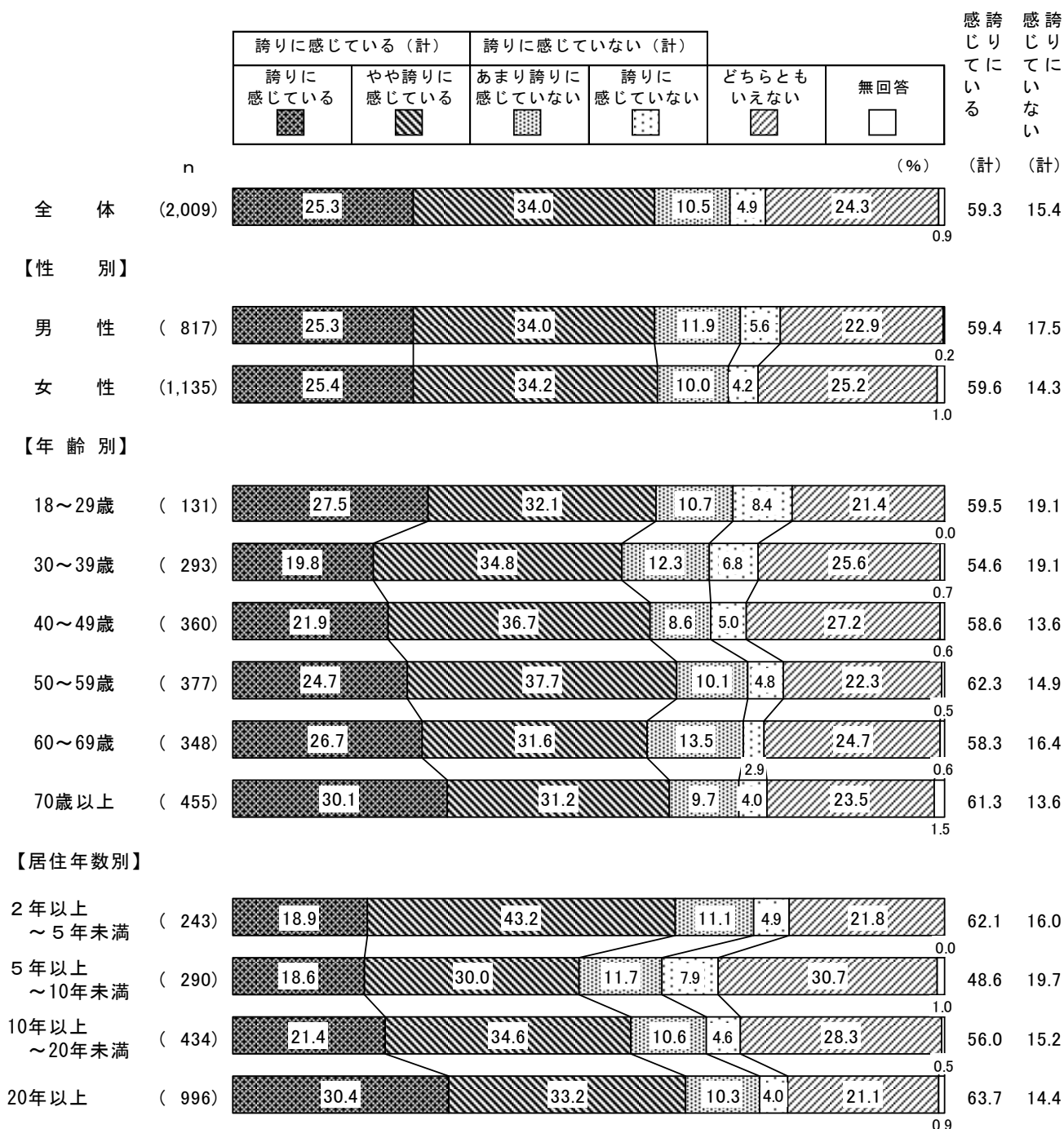


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、『誇りに感じていない（計）』は男性（17.5%）が女性（14.3%）より3.2ポイント高くなっている。

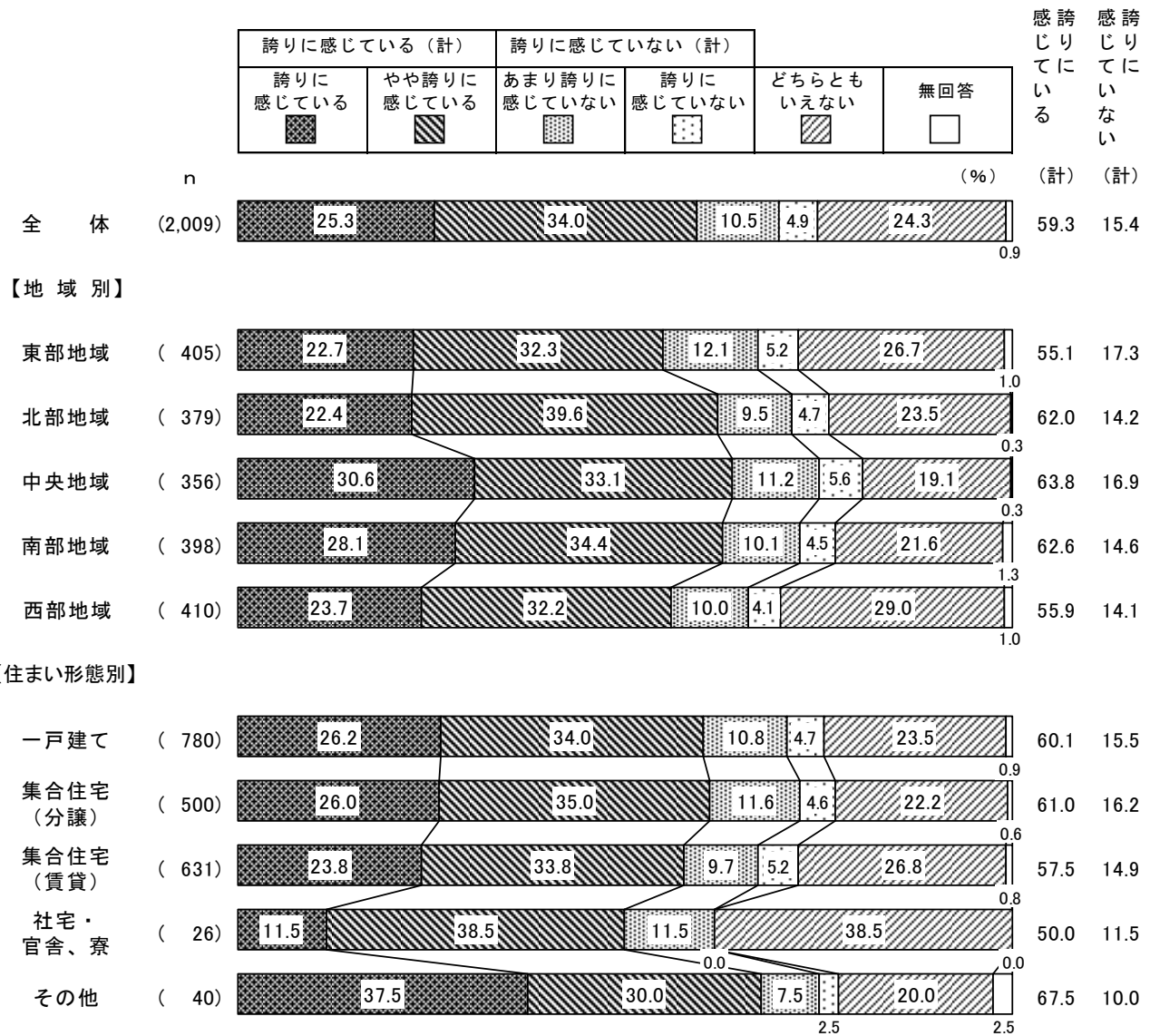
年齢別でみると、「誇りに感じている」は70歳以上（30.1%）で3割と高くなっている。

居住年数別でみると、『誇りに感じている（計）』は20年以上（63.7%）、2年以上～5年未満（62.1%）で6割台と高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、「誇りに感じている」は中央地域（30.6%）で約3割と高くなっている。
 住まい形態別でみると、大きな違いはみられない。



第2章 地域の生活環境について

第2章 地域の生活環境について

《設問設定の考え方》

「豊島区基本計画」（令和4年3月策定予定）及び「豊島区未来戦略推進プラン」の施策体系に対応するかたちで、生活環境に関して大きく11のグループを設定し、さらに、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」に対して、「現在の評価」と11のグループごとに「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

【調査にあたり設定した11のグループ】

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) 参画・協働 | (7) みどり・環境 |
| (2) 平和・人権 | (8) 都市再生・交通 |
| (3) 福祉 | (9) 防災・治安 |
| (4) 健康・保健 | (10) 商工・観光 |
| (5) 子育て | (11) 文化 |
| (6) 教育 | |

【各項目についての調査内容】

問7 以下の設問は、地域の生活環境を11グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。（「現在の評価」欄は、項目ごとに1つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。）

1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

- “どちらかというと思う” “どちらともいえない” “どちらかというと思わない” の3つから実感に近いものを選択。
- “どちらかというと思う” から “どちらかというと思わない” の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

- 各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を2つ又は3つ選択。

【グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧】

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
② 平和・人権	5	外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる
	6	地域で外国人との交流がある
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている
	8	性別等により、差別されない社会である
	9	女性が自ら望む形で働ける社会である
	10	配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている
③ 福祉	11	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	12	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる
	13	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている
	14	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる
	15	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい
	16	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている
	17	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
④ 健康・保健	18	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある
	19	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している
	20	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	21	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる
⑤ 子育て	22	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある
	23	子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している
	24	児童虐待やドメスティック・バイオレンス（配偶者暴力）の影響などから子どもを守る体制が整備されている
	25	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる
	26	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている
⑥ 教育	27	学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている
	28	学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている
	29	学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている
	30	特別な配慮を要する子どもへの支援が充実している
	31	子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている
	32	家庭教育に対する支援が充実している
	33	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている
	34	伝統行事や伝統芸能、工芸技術など、地域の文化財への関心を高める環境が整えられている
	35	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
⑦みどり・環境	36	近くに好きな公園がある
	37	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い
	38	CO2 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している
	39	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである
	41	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない
	42	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている
	43	ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている
⑧都市再生・交通	44	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる
	46	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている
	47	池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している
	49	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
	50	鉄道・バス等の交通が便利である
	51	身近な生活道路が安全・快適に通行できる
⑨防災・治安	52	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている
	53	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	54	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	55	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています
	56	電柱のない道路が増えている
	57	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
	58	治安がよく、安心して暮らせる
⑩商工・観光	59	交通事故が少ない
	60	経営に関する相談体制や支援が充実し、経済活動が活発である
	61	商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている
	62	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している
	63	豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる
	64	区の観光情報を提供するための素材を簡単に手に入れられる
	65	区内で地方の特産品や観光情報などを入手する機会がある
⑪文化	66	区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている
	67	文化芸術に触れる機会が多くなった
	68	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	69	学んだことを地域で生かして活動をしている
	70	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある

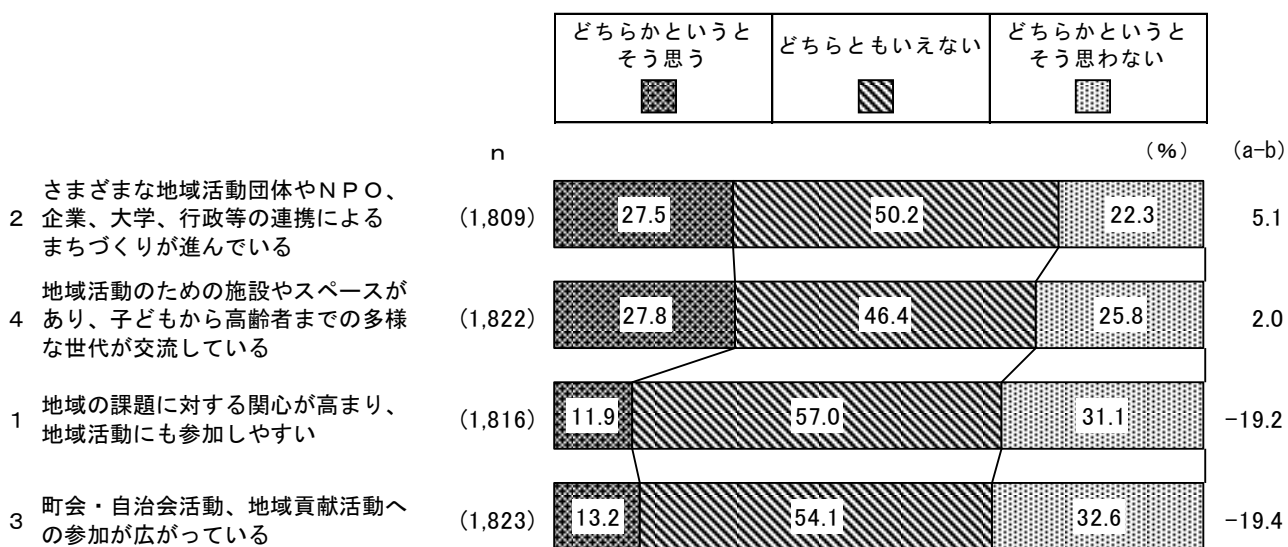
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

(1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」であり、次いで「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている」である。

【参画・協働における「現在の評価」】

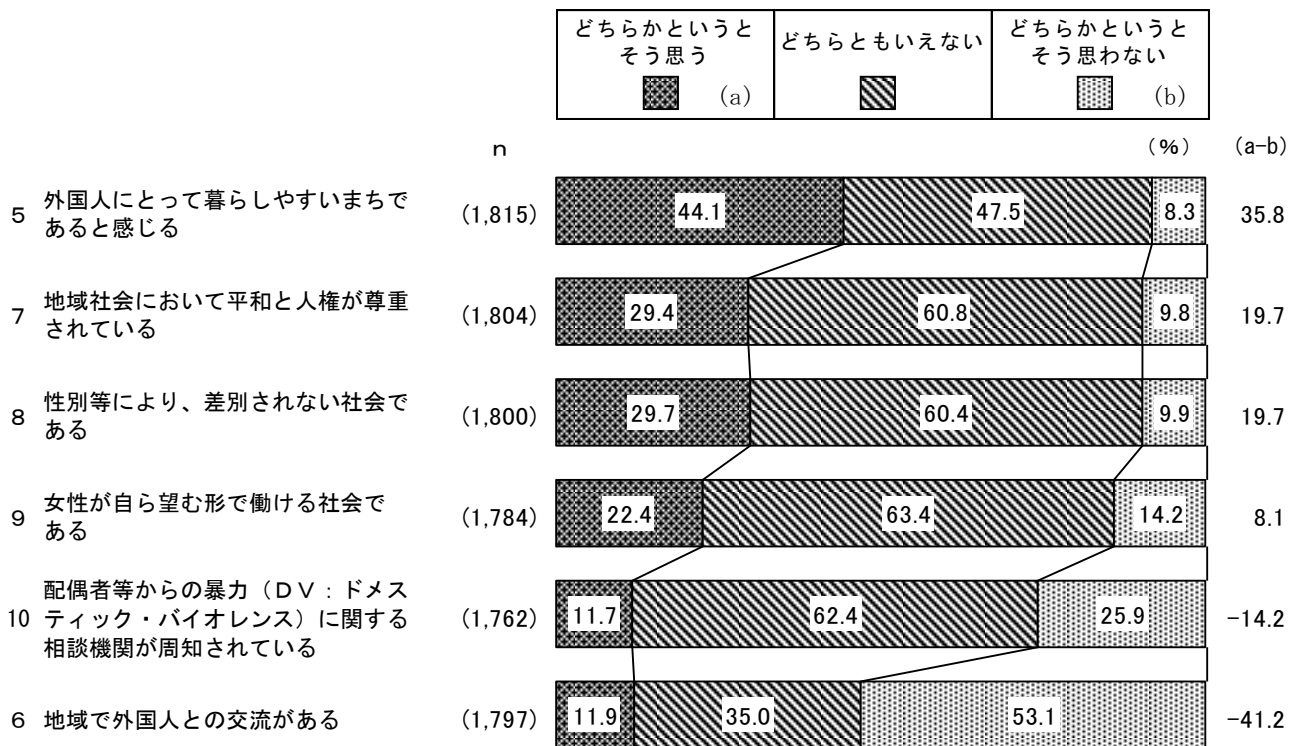


(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる」であり、次いで「地域社会において平和と人権が尊重されている」、「性別等により、差別されない社会である」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域で外国人との交流がある」である。

【平和・人権における「現在の評価」】

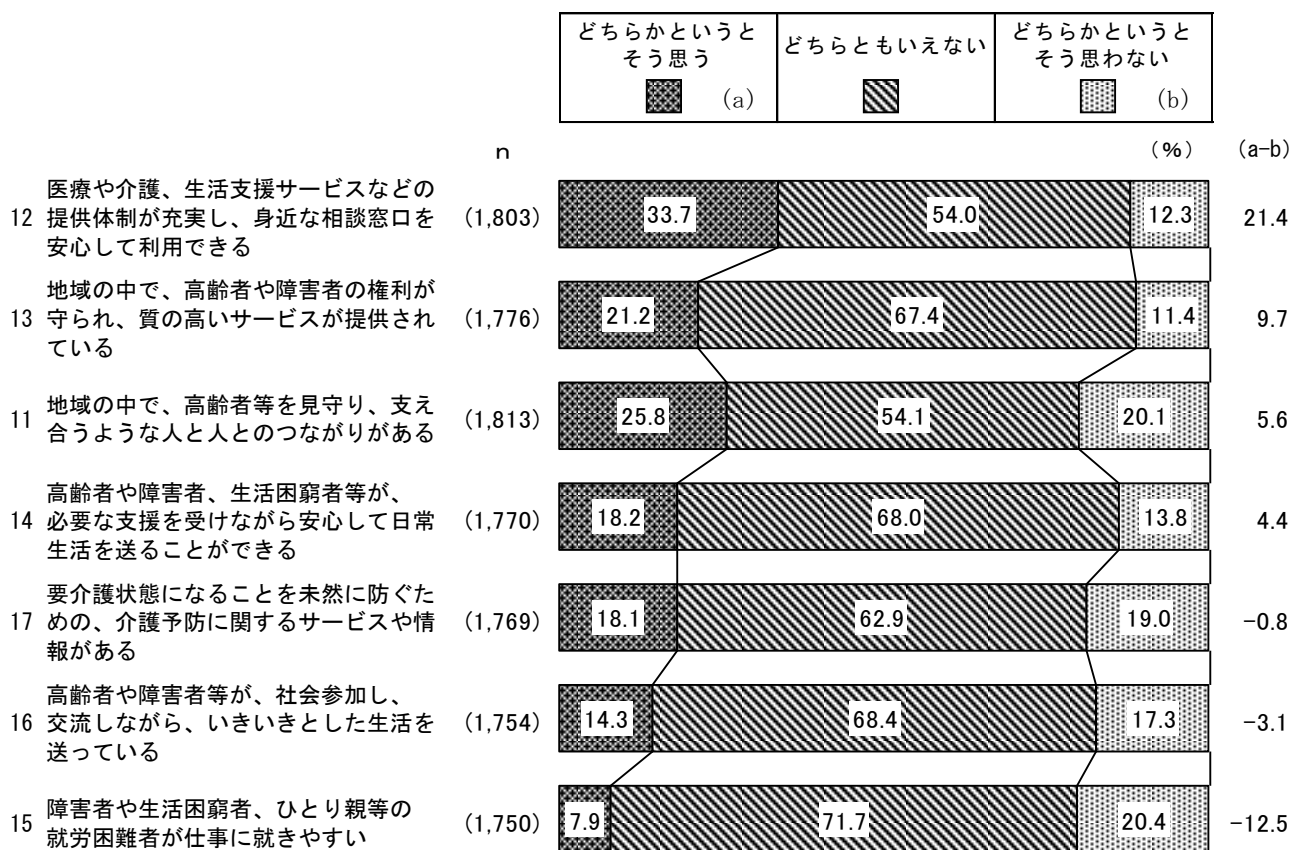


(3) 福祉

福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」であり、次いで「地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている」、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい」である。

【福祉における「現在の評価」】

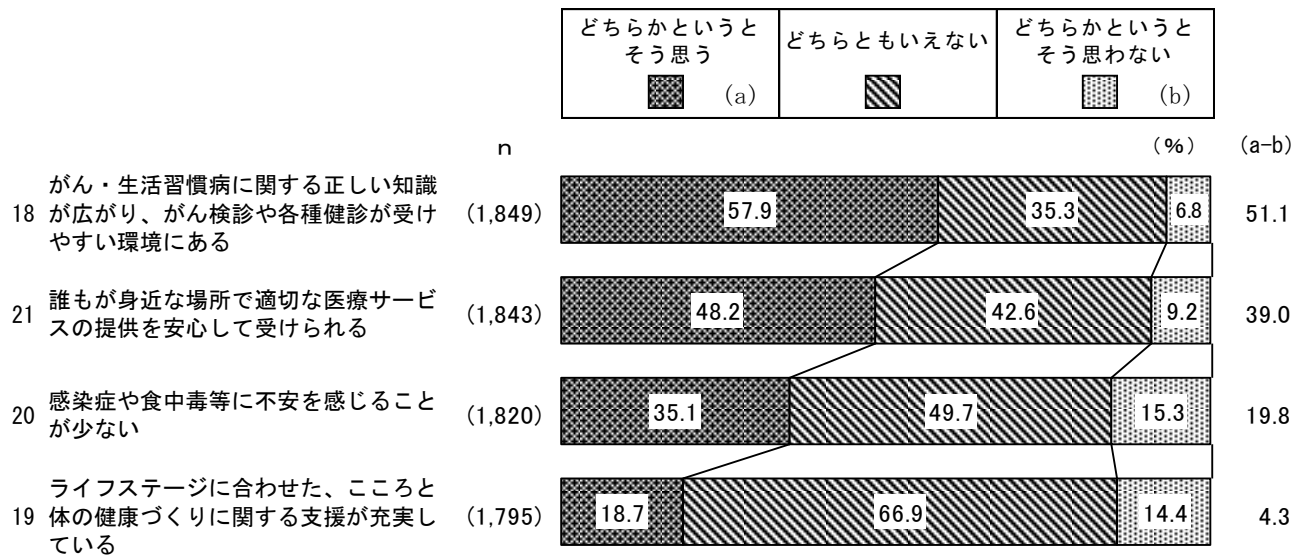


(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」であり、次いで「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」である。

【健康・保健における「現在の評価」】

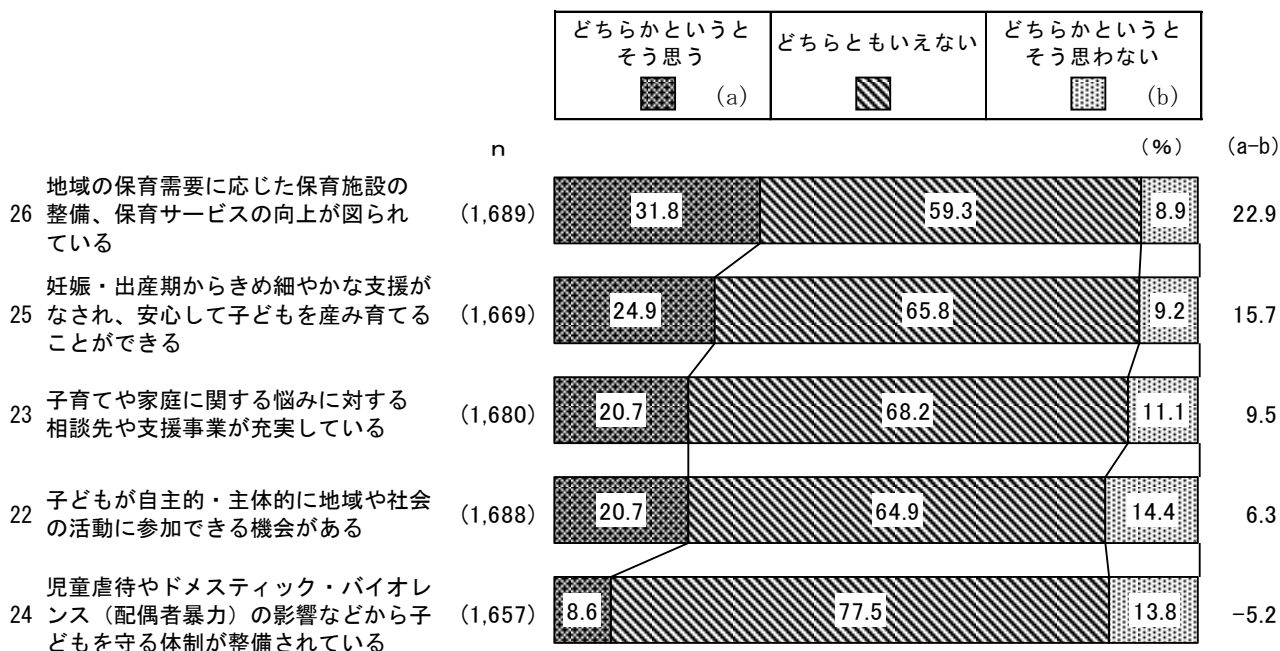


(5) 子育て

子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」であり、次いで「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」、「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス（配偶者暴力）の影響などから子どもを守る体制が整備されている」である。

【子育てにおける「現在の評価」】

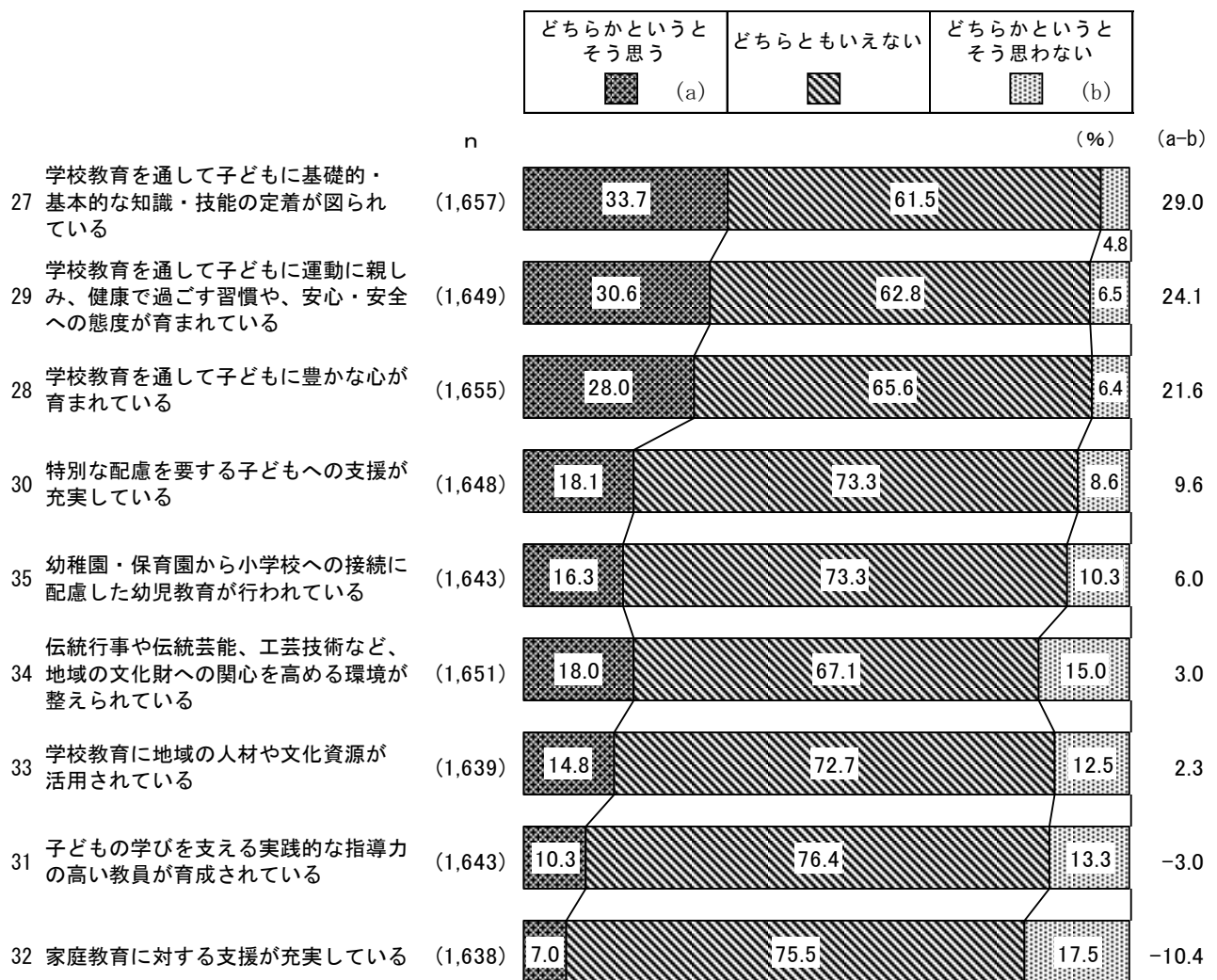


(6) 教育

教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている」であり、次いで「学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている」、「学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「家庭教育に対する支援が充実している」である。

【教育における「現在の評価」】

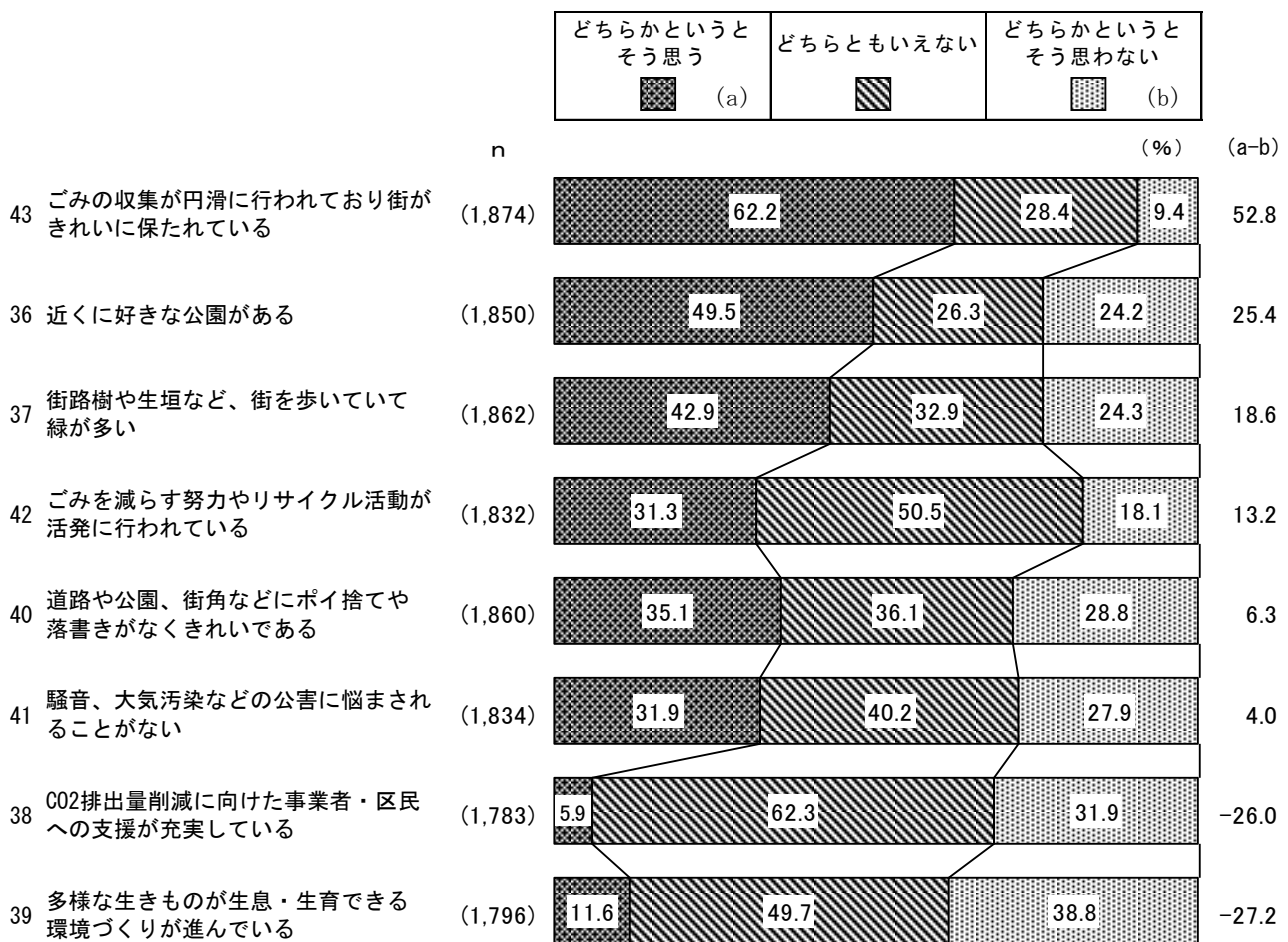


(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」であり、次いで「近くに好きな公園がある」、「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」である。

【みどり・環境における「現在の評価」】

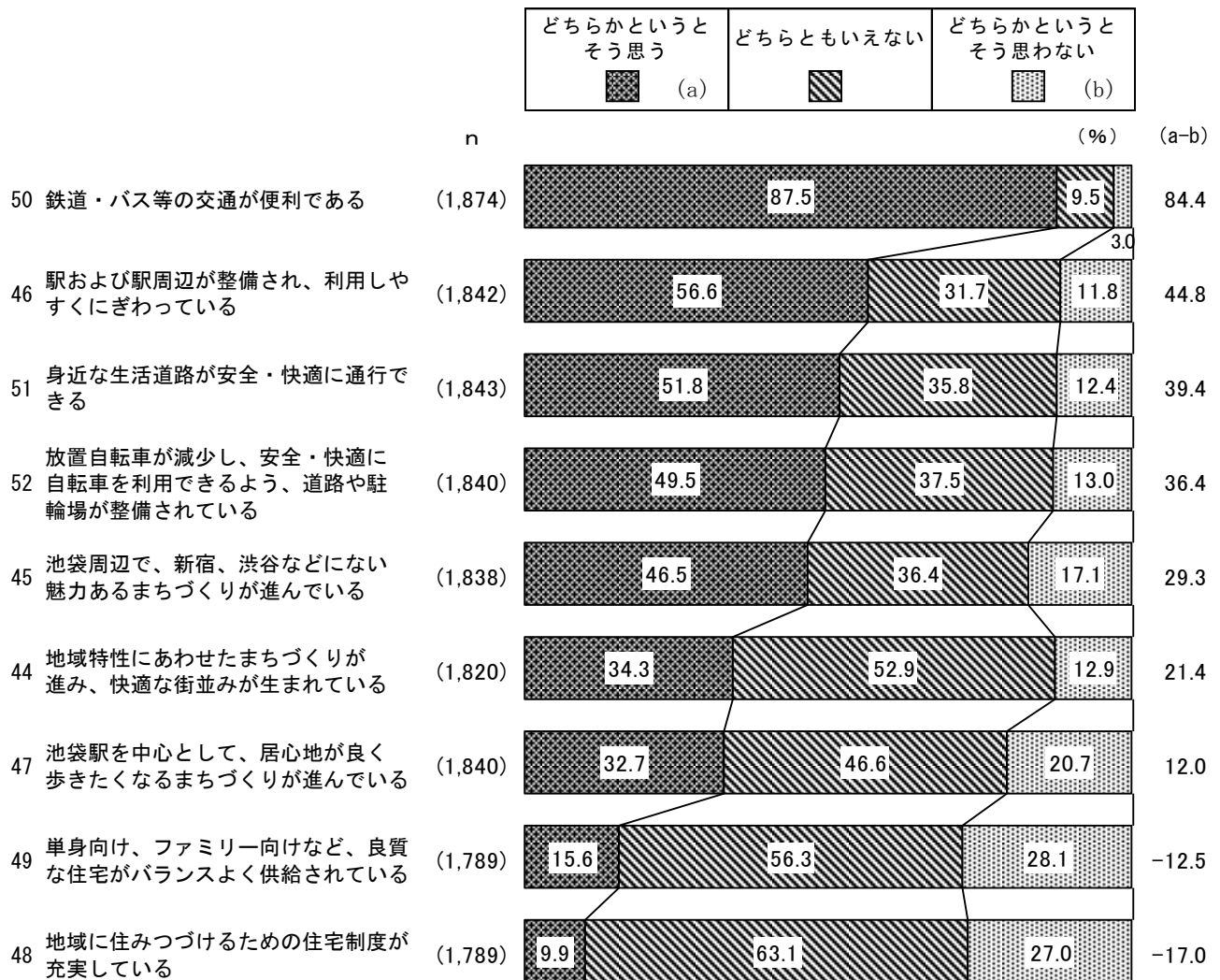


(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「鉄道・バス等の交通が便利である」であり、次いで「駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」である。

【都市再生・交通における「現在の評価」】

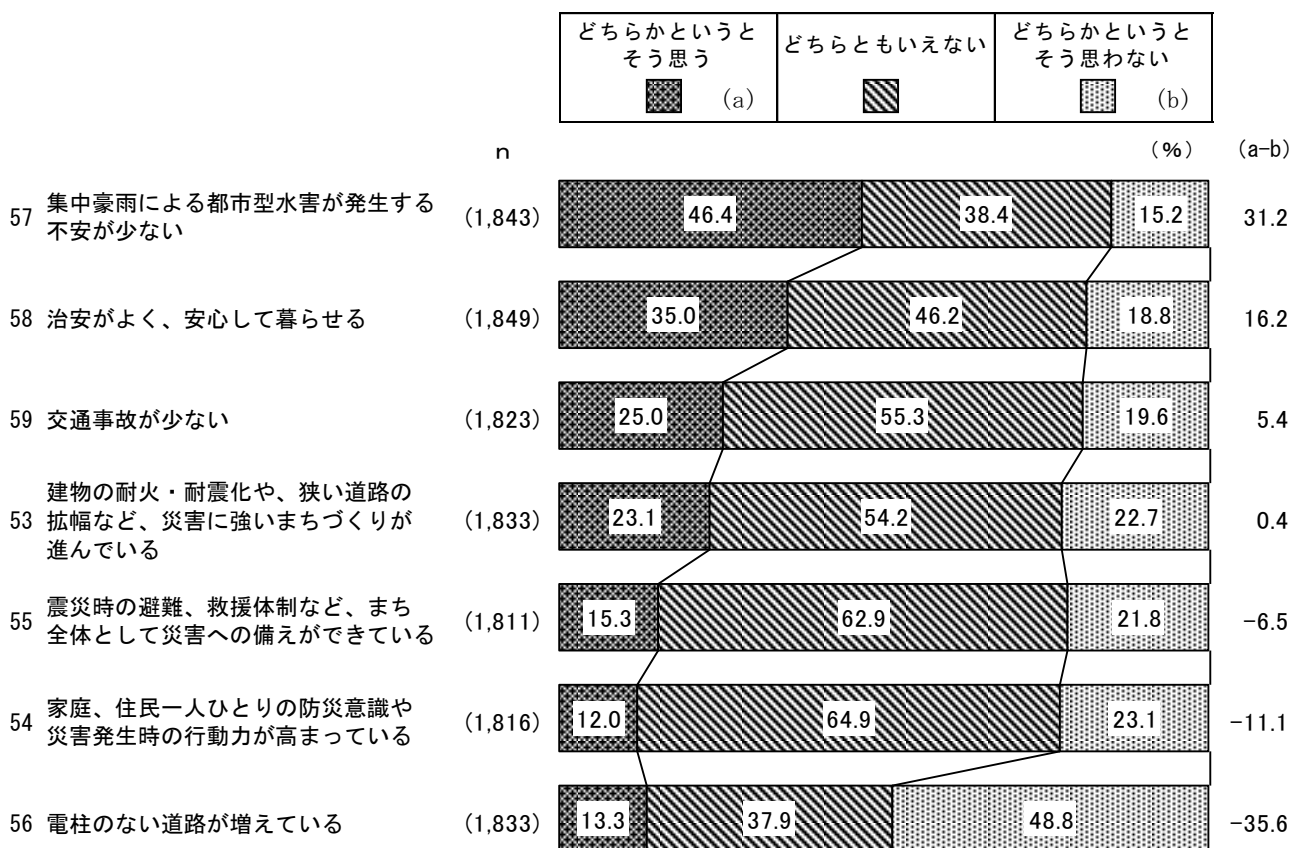


(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」であり、次いで「治安がよく、安心して暮らせる」、「交通事故が少ない」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「電柱のない道路が増えている」である。

【防災・治安における「現在の評価」】

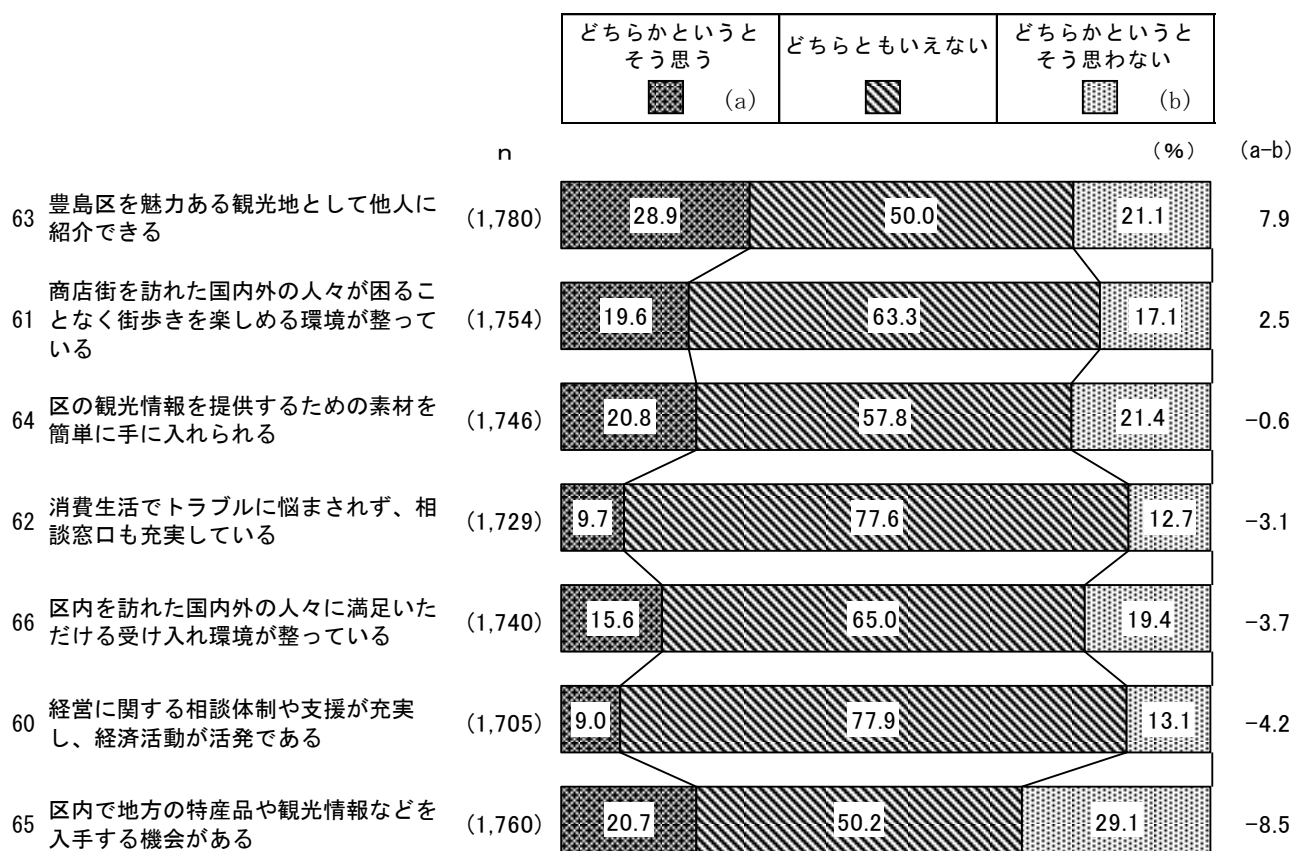


(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」であり、次いで「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」、「区の観光情報を提供するための素材を簡単に手に入れられる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「区内で地方の特産品や観光情報などを入手する機会がある」である。

【商工・観光における「現在の評価」】

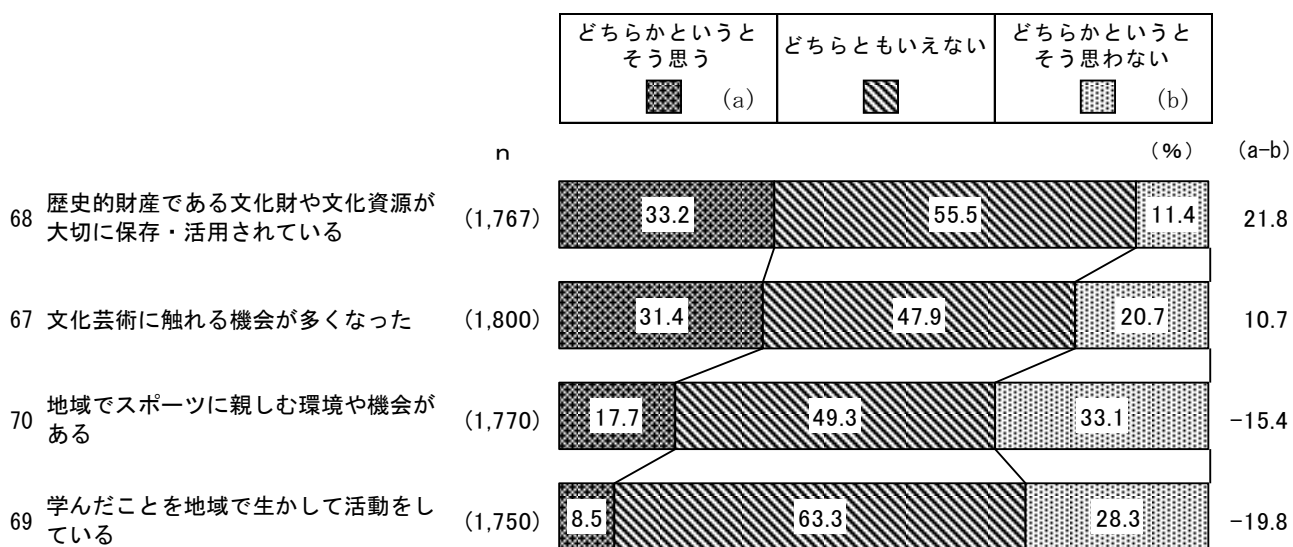


(11) 文化

文化に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」であり、次いで「文化芸術に触れる機会が多くなった」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「学んだことを地域で生かして活動をしている」である。

【文化における「現在の評価」】



【グループ全体を通してみた「現在の評価」】

注) 表中の満足度欄の () 書きは前回調査 (令和2年度) の数値

(ア) 「現在の評価」が高い項目

生活環境について設定した全70項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が高い(満足度が高い)項目は以下のとおりである。

(%)

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第1位	⑧都市再生・交通	[50] 鉄道・バス等の交通が便利である	84.4 (82.8)
第2位	⑦みどり・環境	[43] ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている(※1)	52.8 (一)
第3位	④健康・保健	[18] がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある	51.1 (50.6)
第4位	⑧都市再生・交通	[46] 駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	44.8 (39.7)
第5位	⑧都市再生・交通	[51] 身近な生活道路が安全・快適に通行できる	39.4 (36.9)
第6位	④健康・保健	[21] 誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	39.0 (35.1)
第7位	⑧都市再生・交通	[52] 放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	36.4 (30.8)
第8位	②平和・人権	[05] 外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる(※2)	35.8 (6.8)
第9位	⑨防災・治安	[57] 集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	31.2 (31.7)
第10位	⑧都市再生・交通	[45] 池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	29.3 (29.5)

※1 今回調査からの質問項目

※2 令和2年度調査では「外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている」

(イ) 「現在の評価」が低い項目

生活環境について設定した全70項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い(満足度が低い)項目は以下のとおりである。

(%)

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第1位	②平和・人権	[06] 地域で外国人との交流がある	-41.2 -(37.3)
第2位	⑨防災・治安	[56] 電柱のない道路が増えている	-35.6 -(34.3)
第3位	⑦みどり・環境	[39] 多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	-27.2 -(33.6)
第4位	⑦みどり・環境	[38] CO2排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	-26.0 -(29.1)
第5位	⑪文化	[69] 学んだことを地域で生かして活動をしている(※3)	-19.8 (一)
第6位	①参画・協働	[03] 町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	-19.4 -(19.6)
第7位	①参画・協働	[01] 地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	-19.2 -(21.0)
第8位	⑧都市再生・交通	[48] 地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	-17.0 -(19.0)
第9位	⑪文化	[70] 地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	-15.4 -(9.9)
第10位	②平和・人権	[10] 配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている	-14.2 -(19.8)

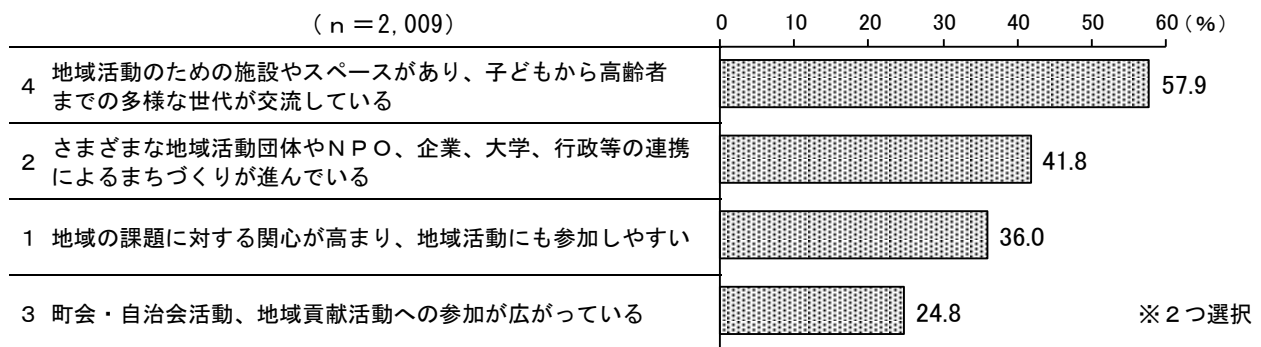
※3 今回調査からの質問項目

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

(1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」(57.9%)が6割近くで最も高く、次いで「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」(41.8%)、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい」(36.0%)、「町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている」(24.8%)となっている。

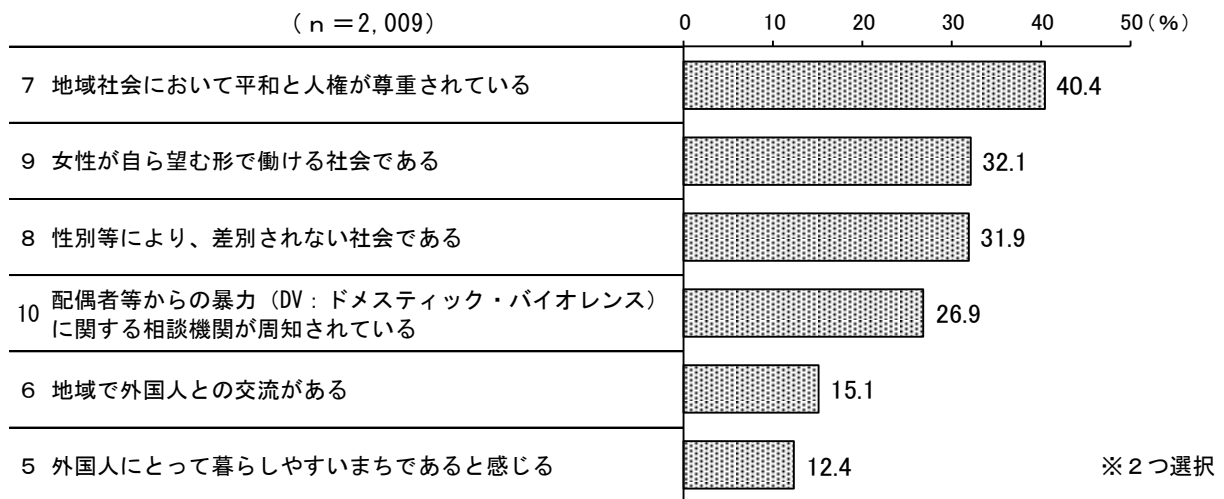
【参画・協働における「今後の優先度」】



(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域社会において平和と人権が尊重されている」(40.4%)が4割で最も高く、次いで「女性が自ら望む形で働ける社会である」(32.1%)、「性別等により、差別されない社会である」(31.9%)、「配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている」(26.9%)となっている。

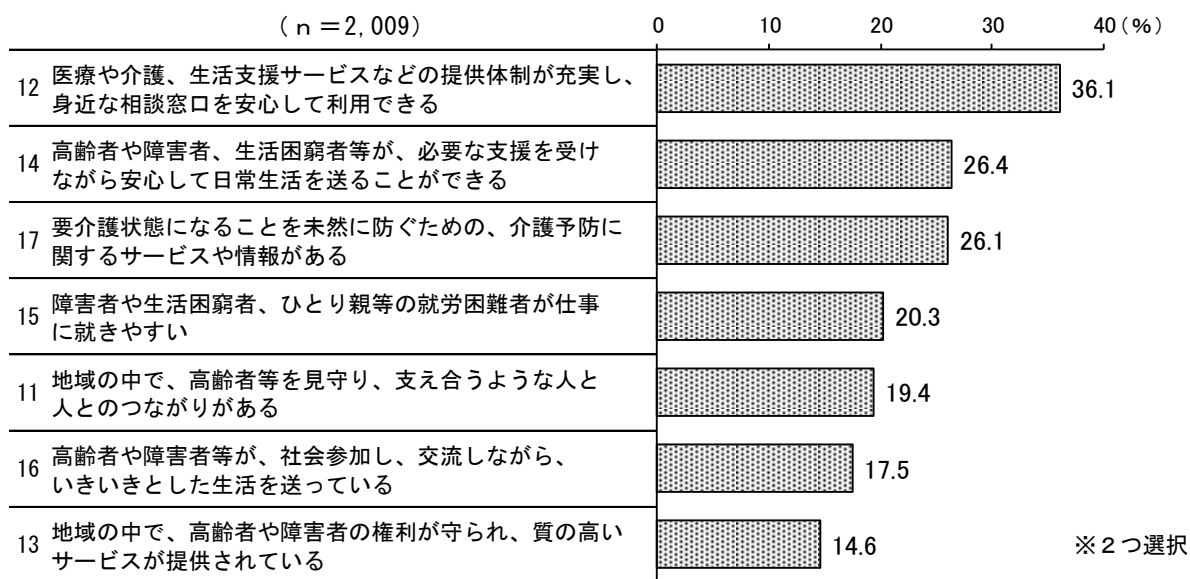
【平和・人権における「今後の優先度」】



(3) 福祉

福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」(36.1%)が3割半ばで最も高く、次いで「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」(26.4%)、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」(26.1%)、「障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい」(20.3%)となっている。

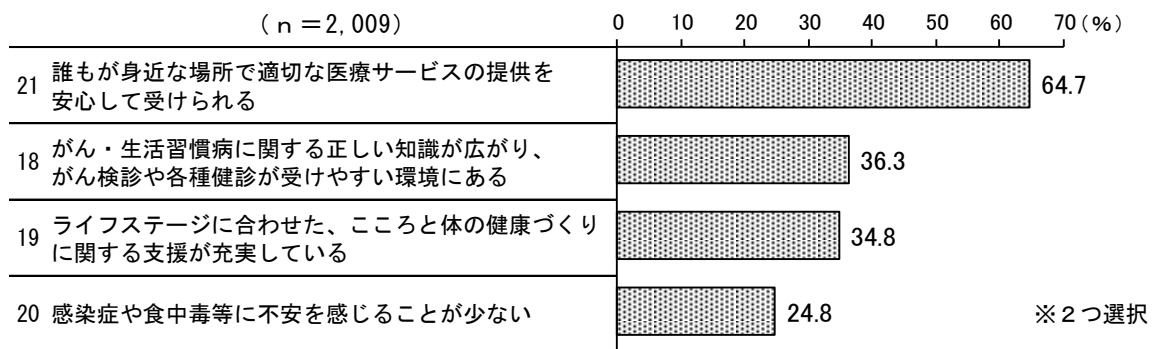
【福祉における「今後の優先度」】



(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」(64.7%)が6割半ばで最も高く、次いで「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」(36.3%)、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」(34.8%)、「感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない」(24.8%)となっている。

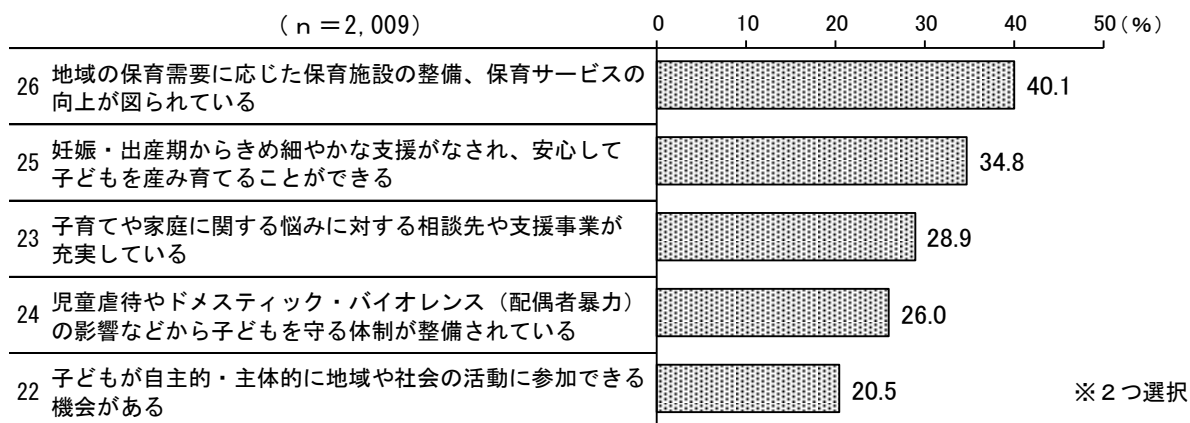
【健康・保健における「今後の優先度」】



(5) 子育て

子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」(40.1%)が4割で最も高く、次いで「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」(34.8%)、「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」(28.9%)、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」(26.0%)となっている。

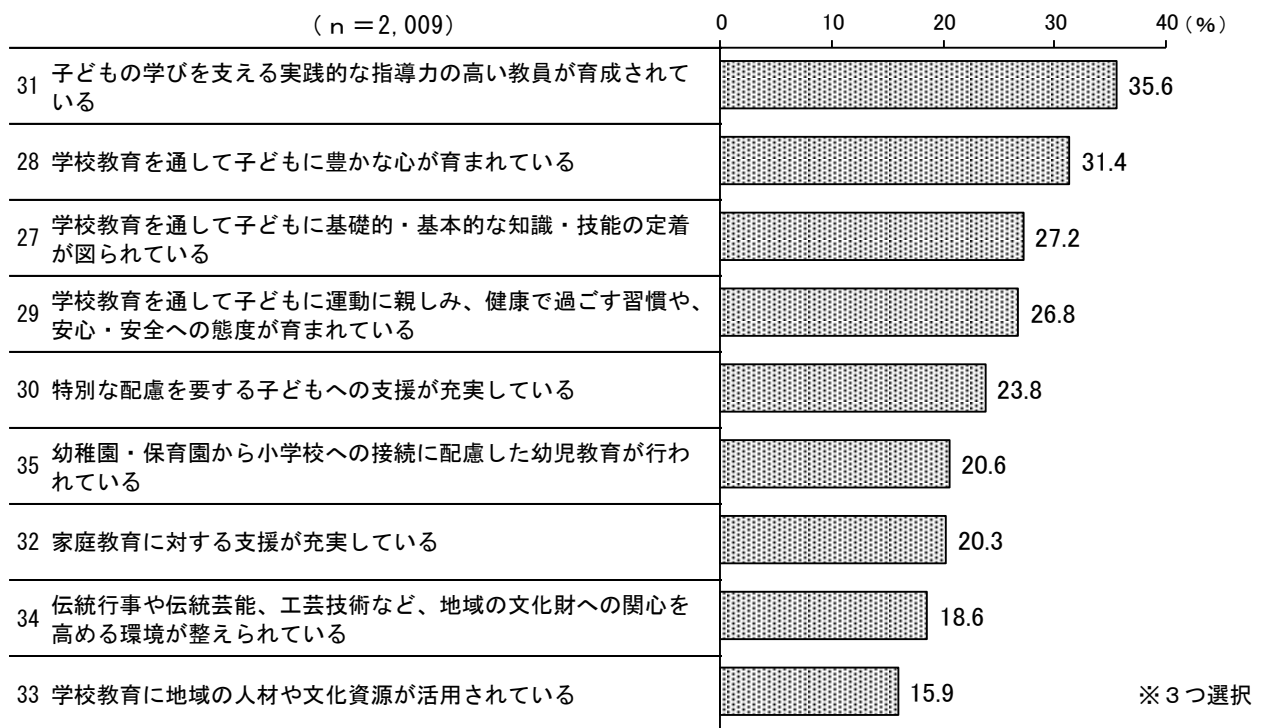
【子育てにおける「今後の優先度」】



(6) 教育

教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている」(35.6%)が3割半ばで最も高く、次いで「学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている」(31.4%)、「学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている」(27.2%)、「学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている」(26.8%)となっている。

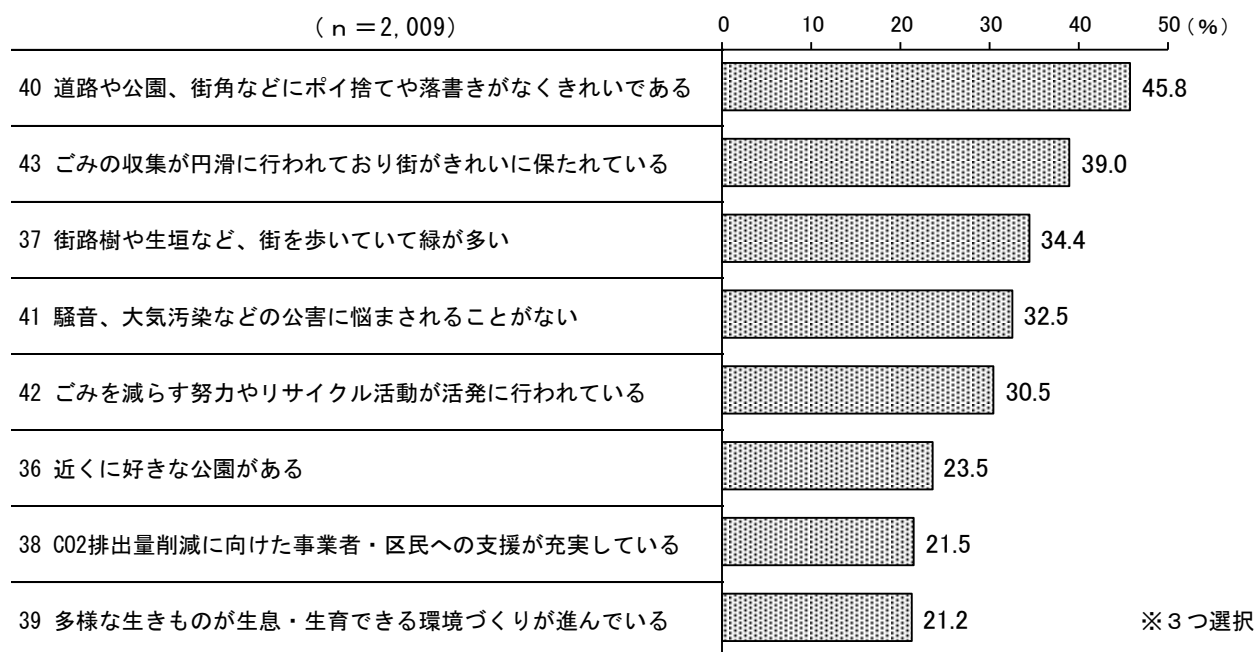
【教育における「今後の優先度」】



(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」(45.8%)が4割半ばで最も高く、次いで「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」(39.0%)、「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」(34.4%)、「騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない」(32.5%)となっている。

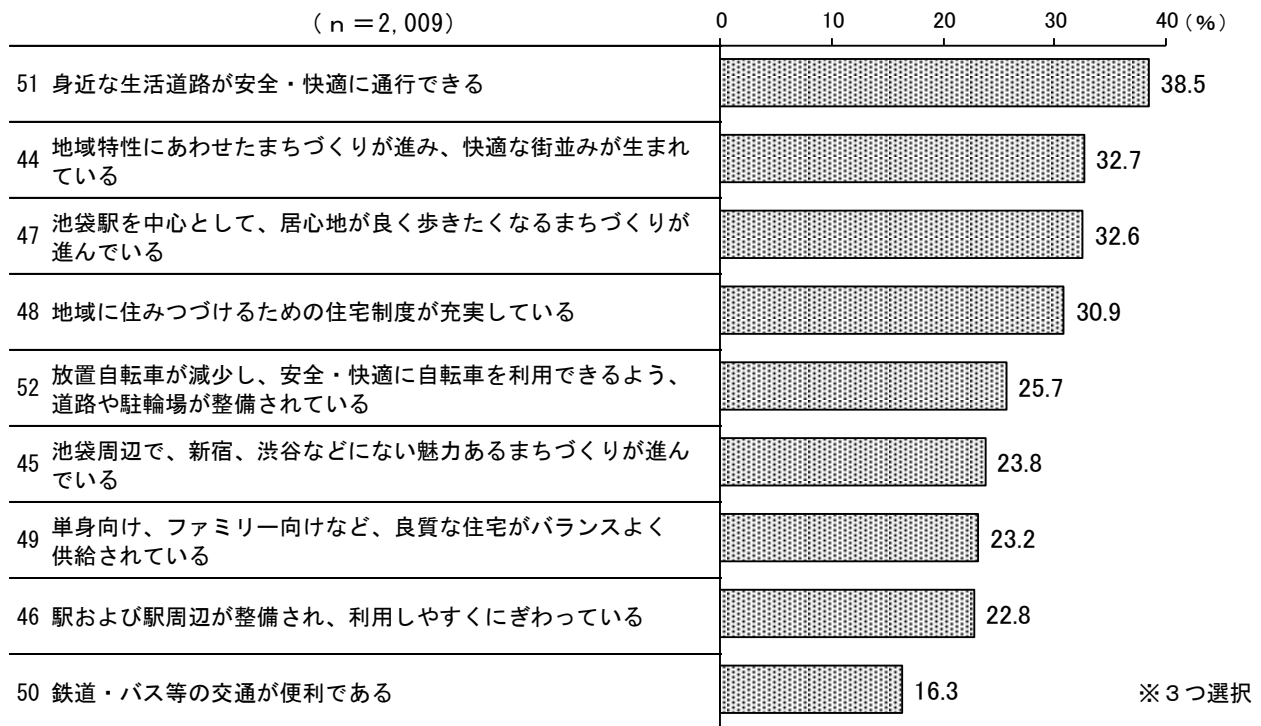
【みどり・環境における「今後の優先度」】



(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」(38.5%)が4割近くで最も高く、次いで「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(32.7%)、「池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる」(32.6%)、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」(30.9%)となっている。

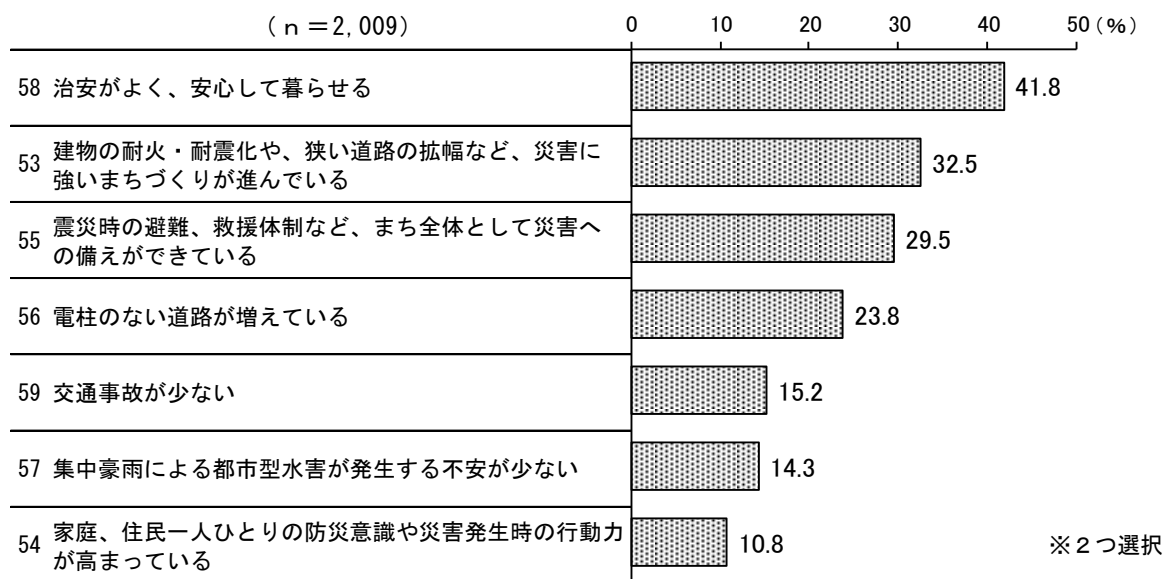
【都市再生・交通における「今後の優先度」】



(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「治安がよく、安心して暮らせる」(41.8%)が4割を超えて最も高く、次いで「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(32.5%)、「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています」(29.5%)、「電柱のない道路が増えている」(23.8%)となっている。

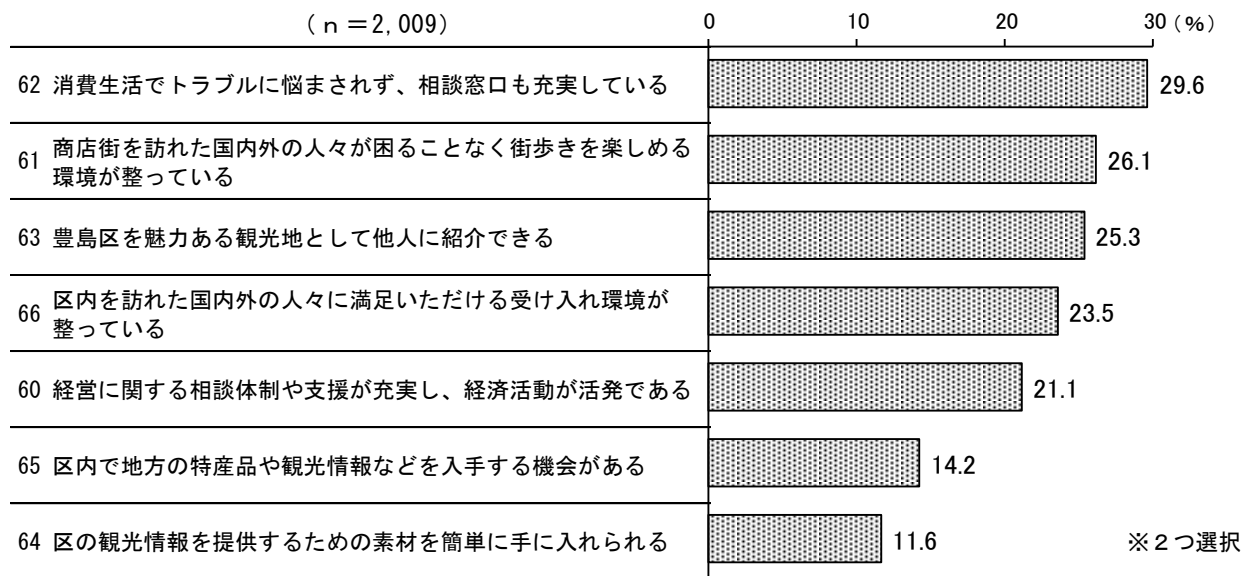
【防災・治安における「今後の優先度」】



(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」(29.6%)が3割で最も高く、次いで「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」(26.1%)、「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」(25.3%)、「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」(23.5%)となっている。

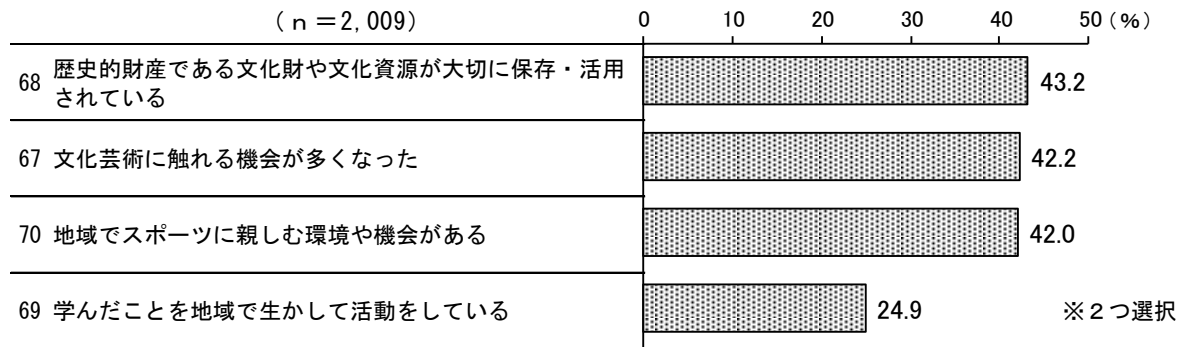
【商工・観光における「今後の優先度」】



(11) 文化

文化に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」(43.2%)が4割を超えて最も高く、次いで「文化芸術に触れる機会が多くなった」(42.2%)、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(42.0%)、「学んだことを地域で生かして活動をしている」(24.9%)となっている。

【文化における「今後の優先度」】



3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析

11のグループごとに、「現在の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。

【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）

各項目の加重平均値

$$= (\text{「どちらかというと思う」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかというと思わない」の回答者数} \times -1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

■今後の優先度

各項目の回答割合（%）

■基準軸の設定

- ・現在の評価：0（ゼロ）を基準
- ・今後の優先度：グループごとの各項目の平均優先度を基準

「現在の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

(+) 「現在の評価」の軸 (-)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">C</div> 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">A</div> 現在の評価も、今後の優先度も高い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (>) 平均優先度	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">D</div> 現在の評価も、今後の優先度も低い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">B</div> 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (>) 平均優先度	
	(-)	「今後の優先度」の軸	(+)

上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

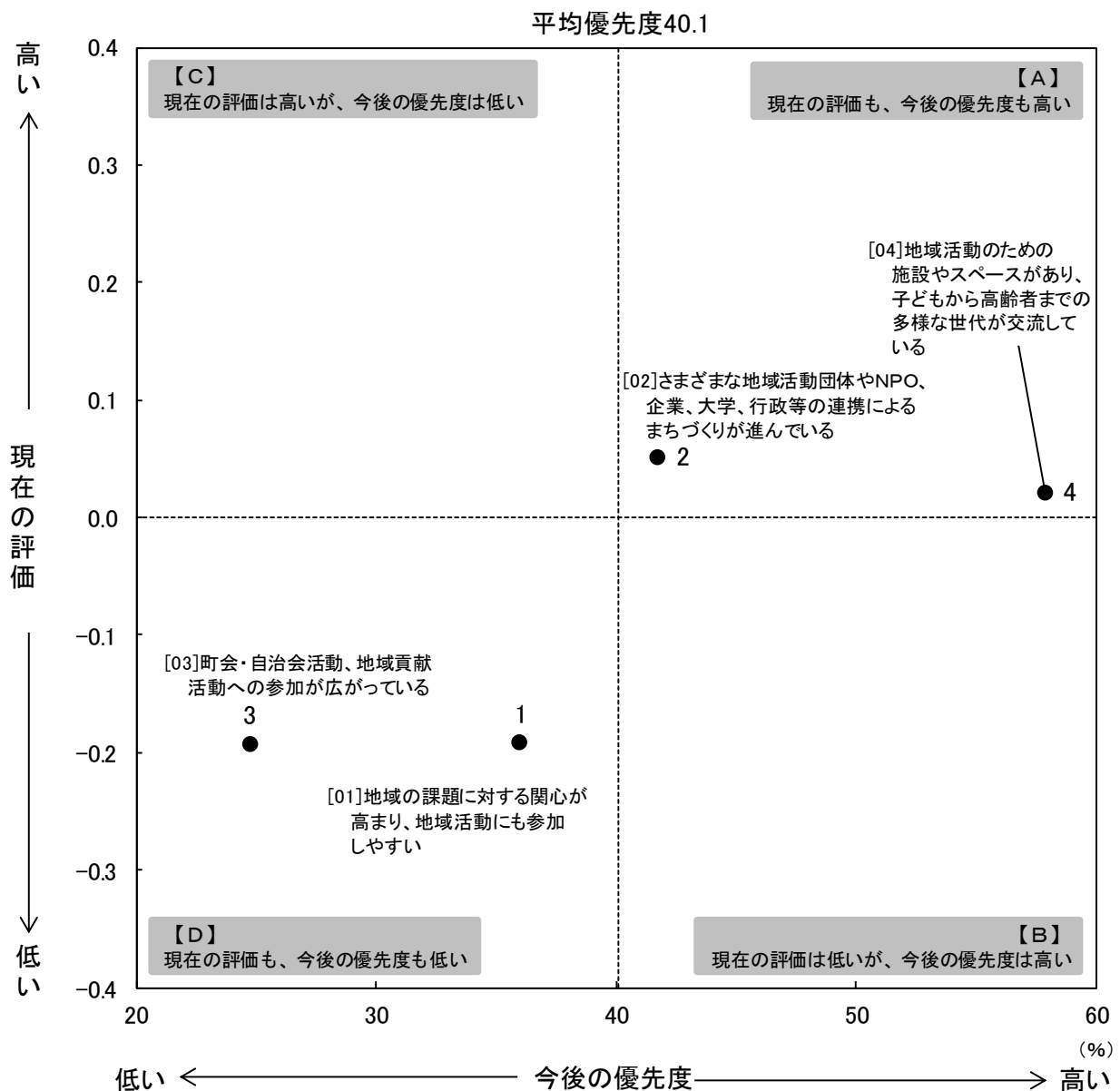
B	評価【低】かつ 優先度【高】	行政として重点的に取り組む
A	評価【高】かつ 優先度【高】	現状維持
D	評価【低】かつ 優先度【低】	
C	評価【高】かつ 優先度【低】	行政の役割は小さい

(1) 参画・協働

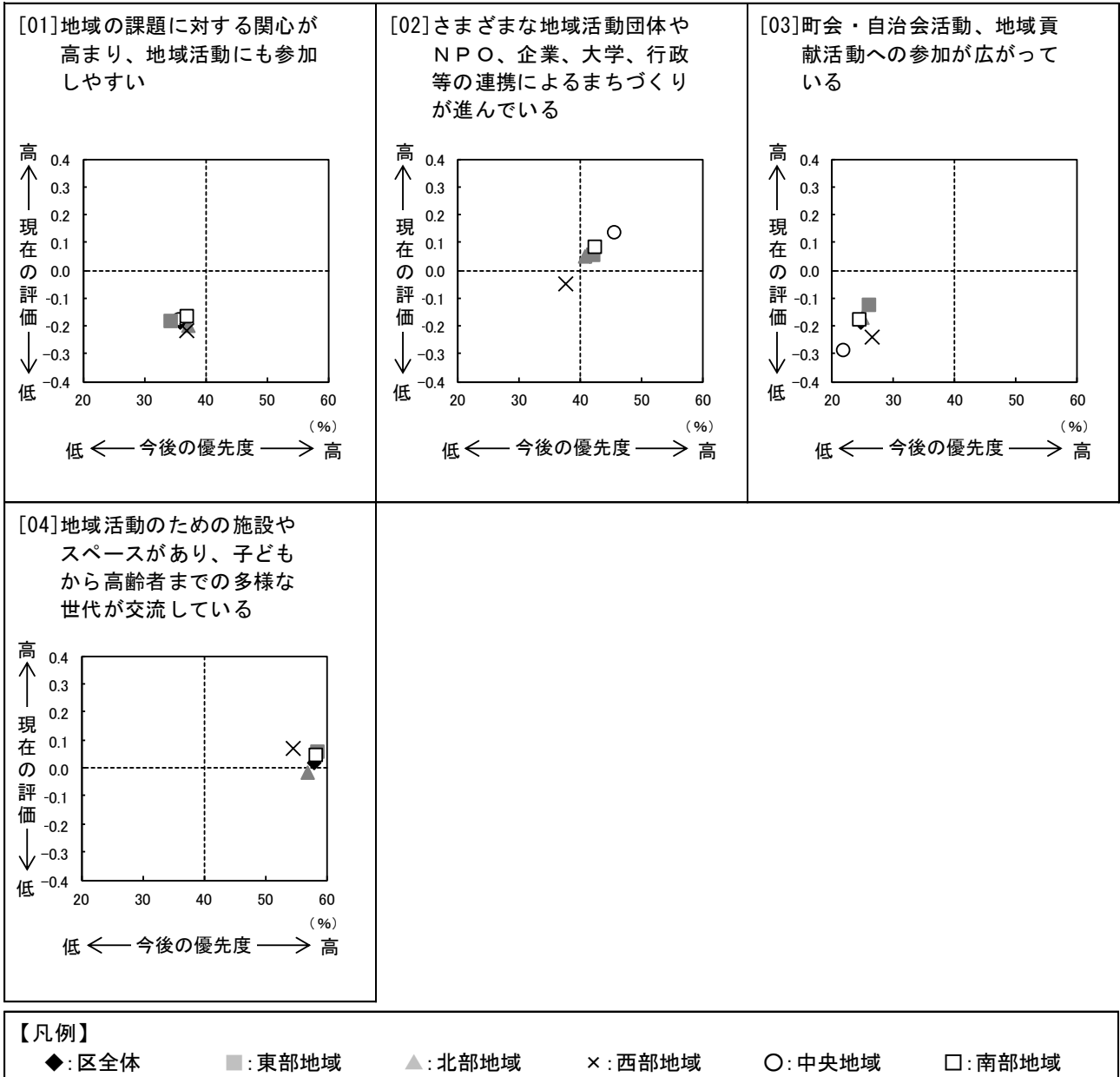
参画・協働に関する生活環境では、4項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【参画・協働における総合分析】



【参画・協働における地域別比較】



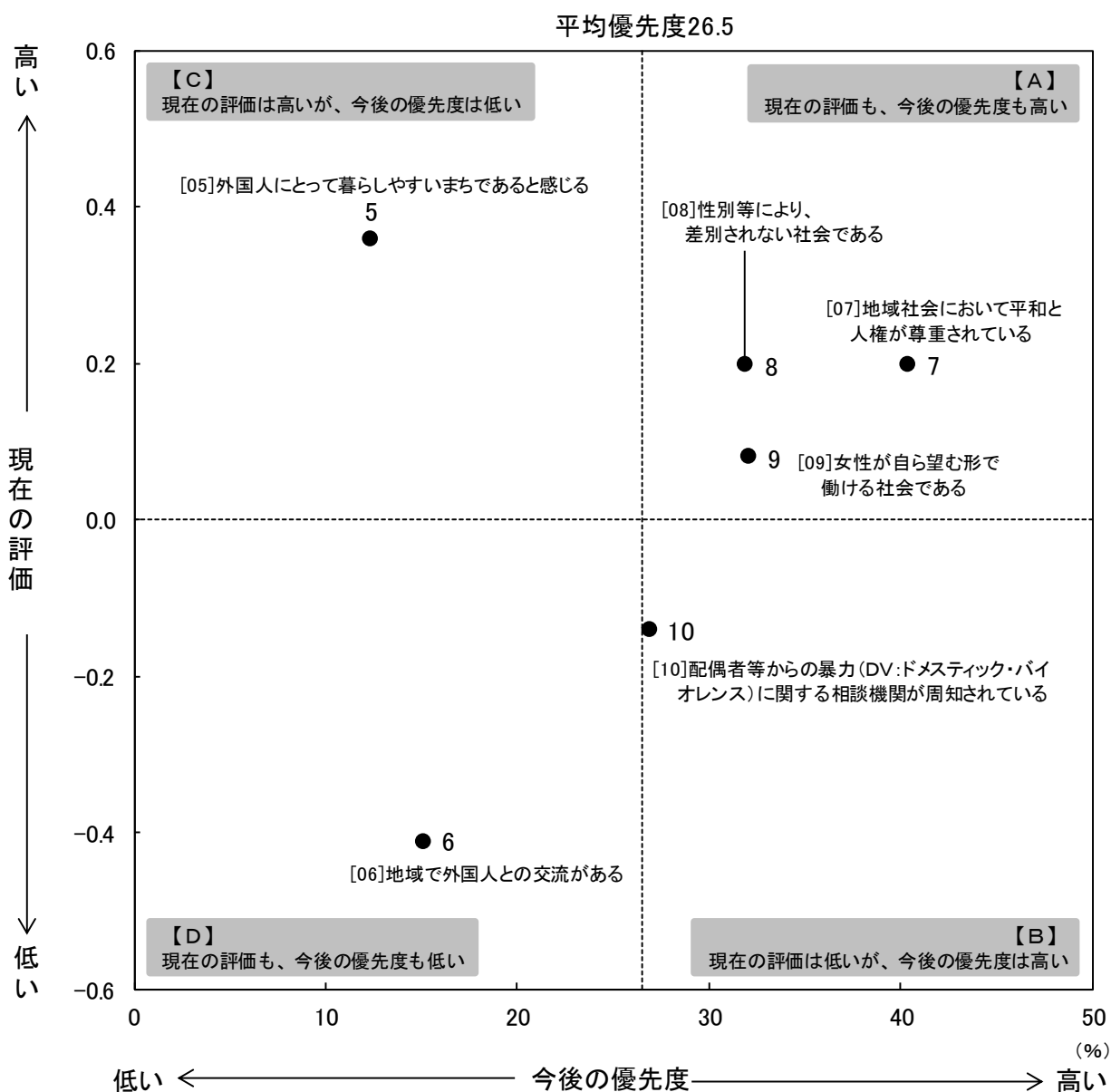
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(2) 平和・人権

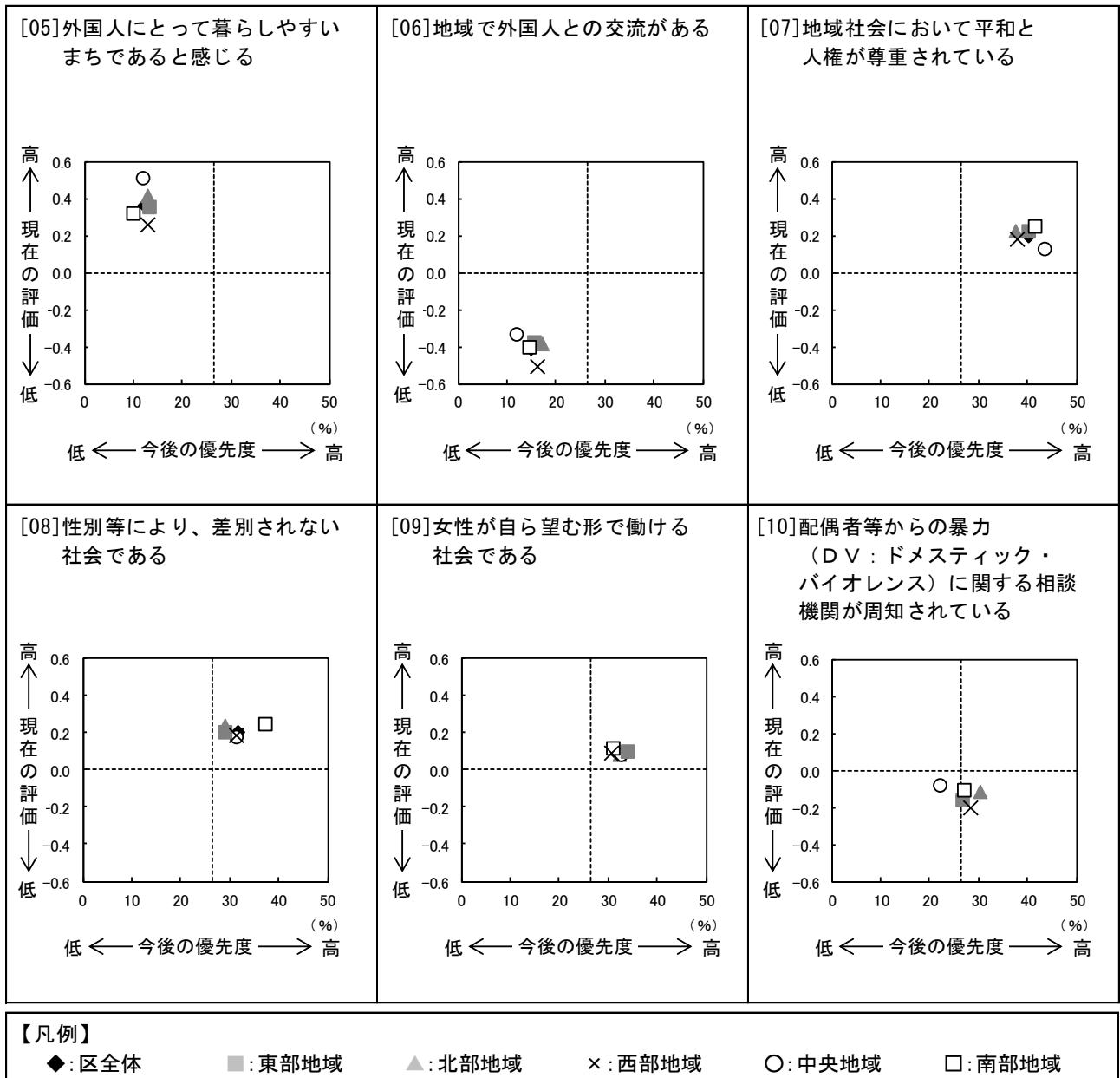
平和・人権に関する生活環境では、6項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている」が位置している。

【平和・人権における総合分析】



【平和・人権における地域別比較】



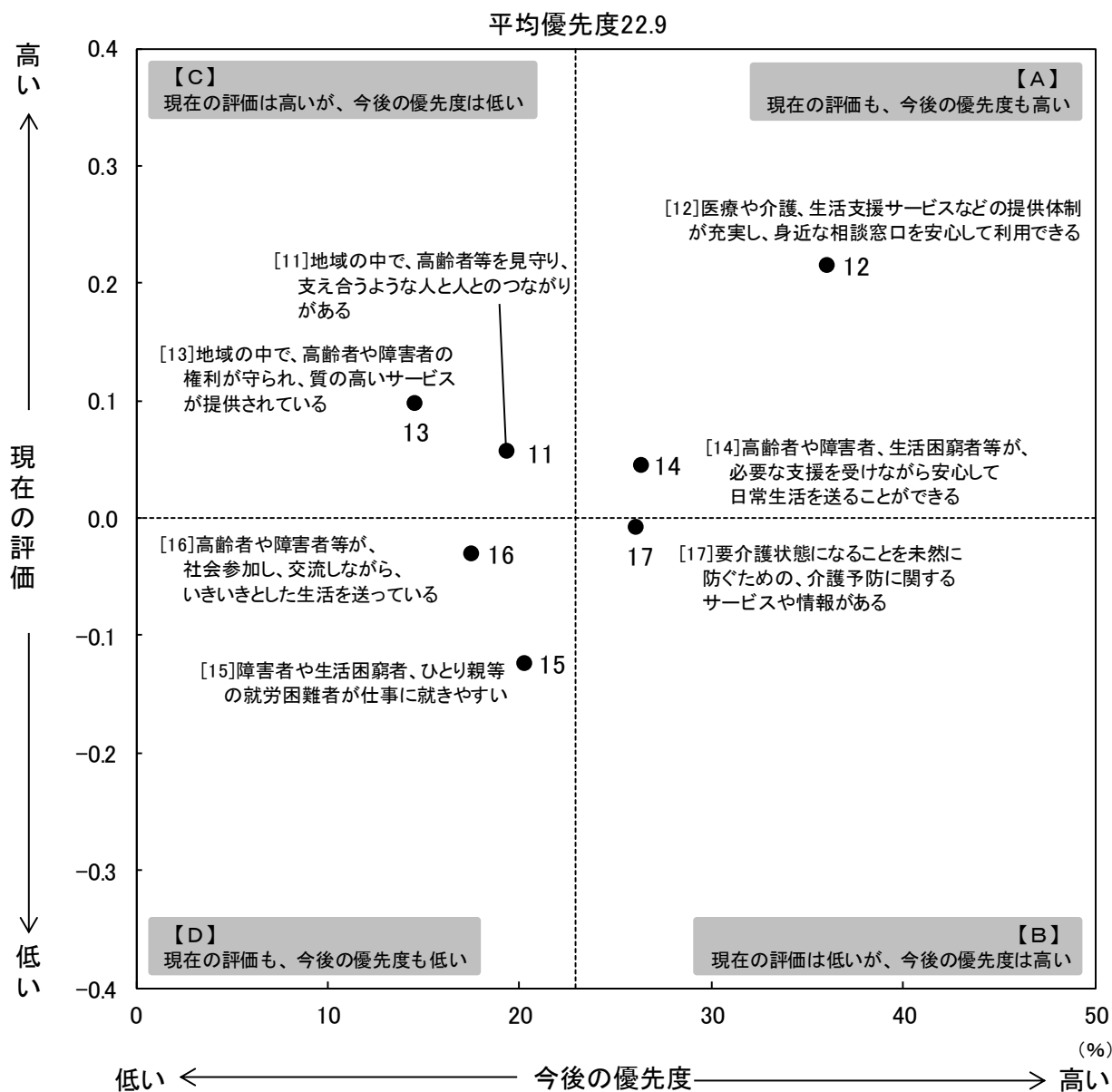
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(3) 福祉

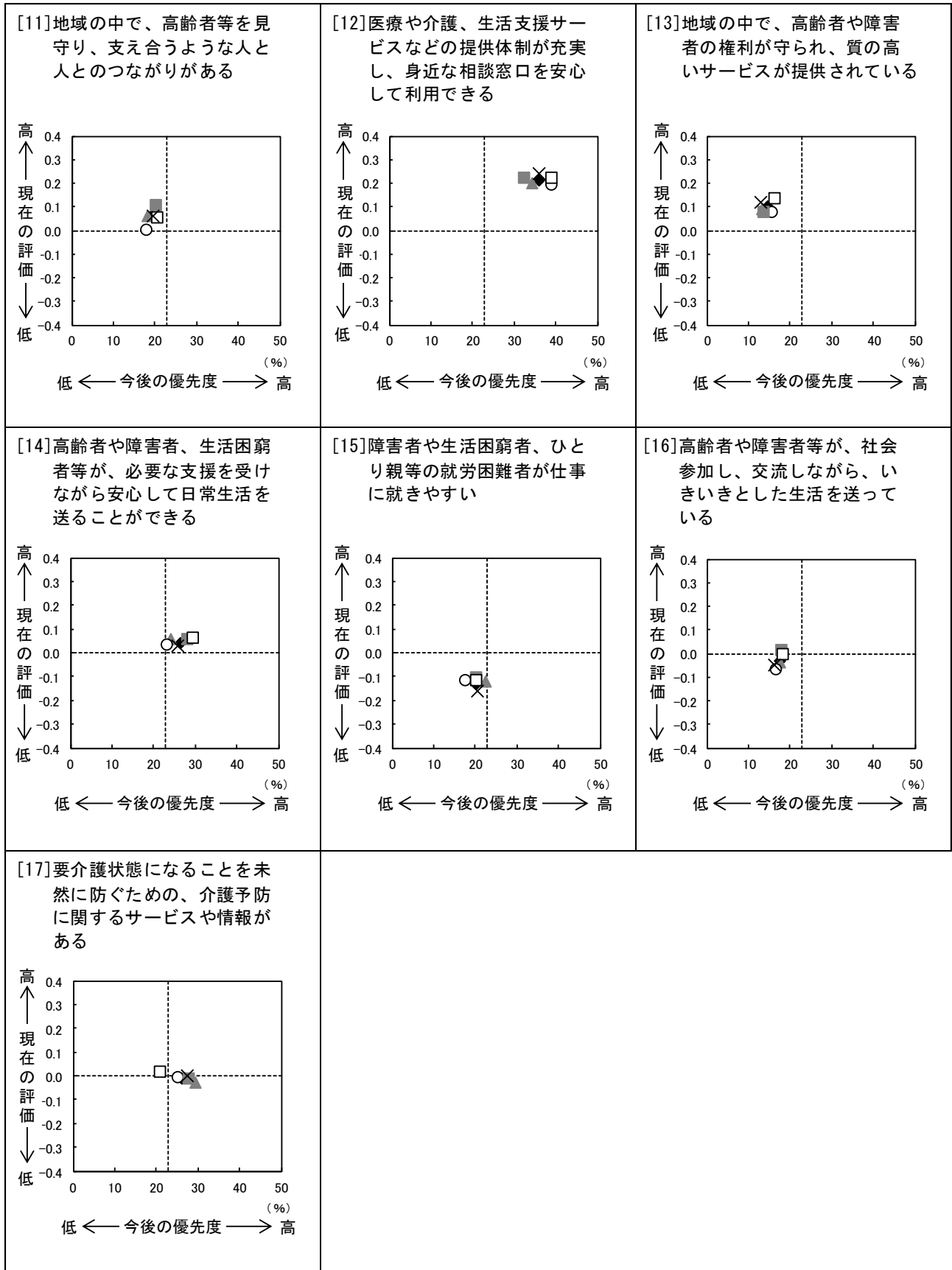
福祉に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」が位置している。

【福祉における総合分析】



【福祉における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

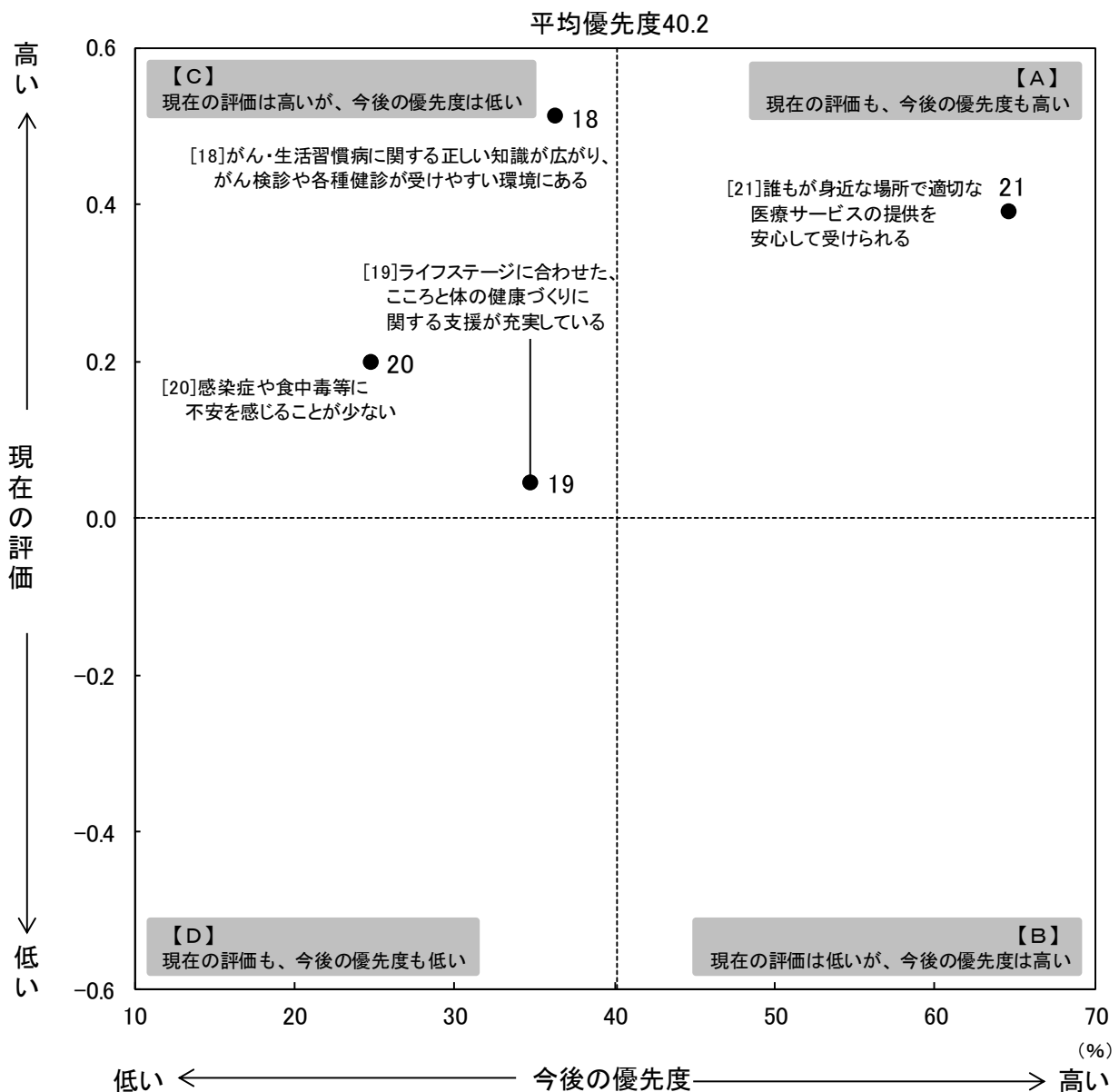
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(4) 健康・保健

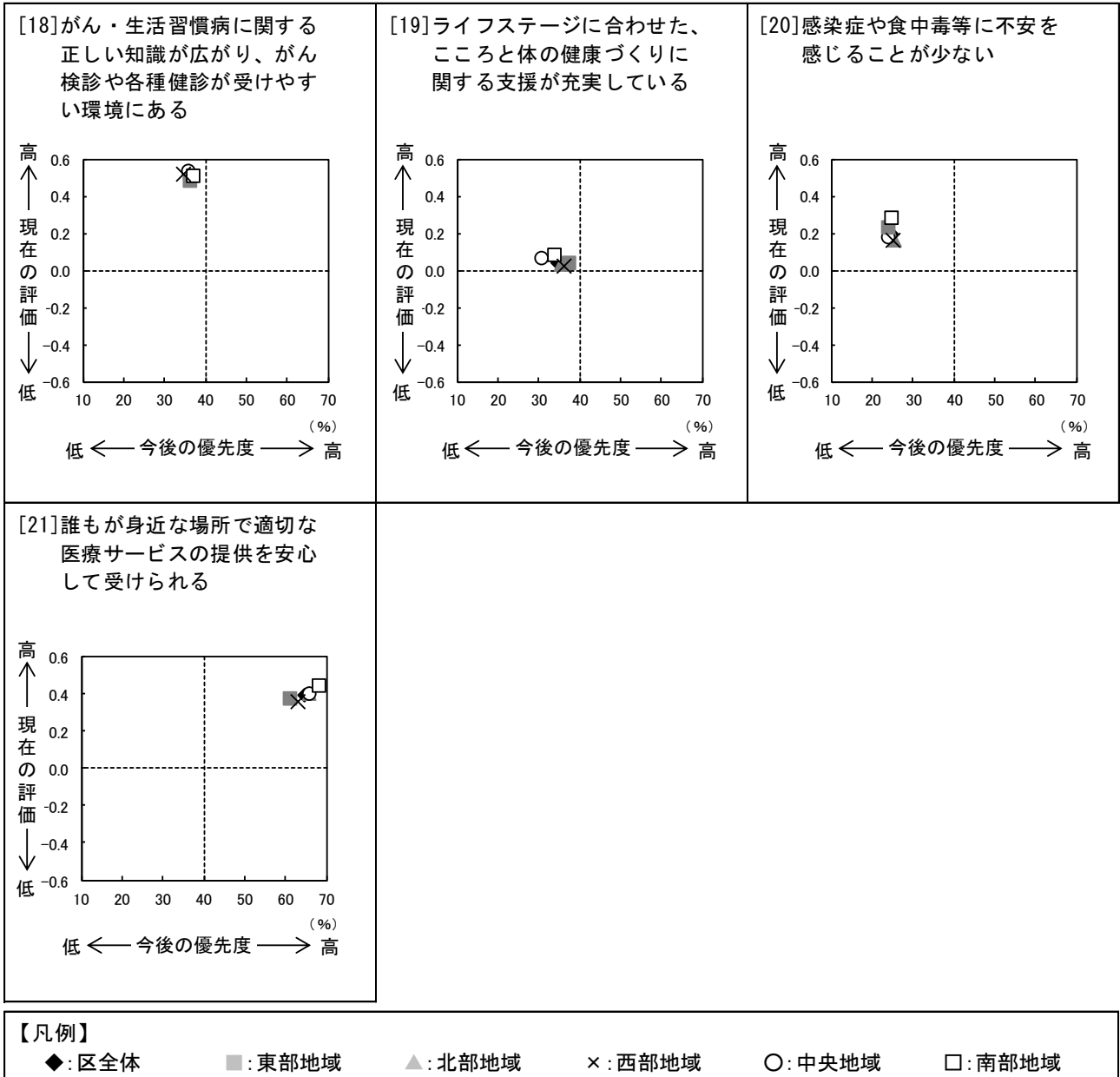
健康・保健に関する生活環境では、4項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【健康・保健における総合分析】



【健康・保健における地域別比較】



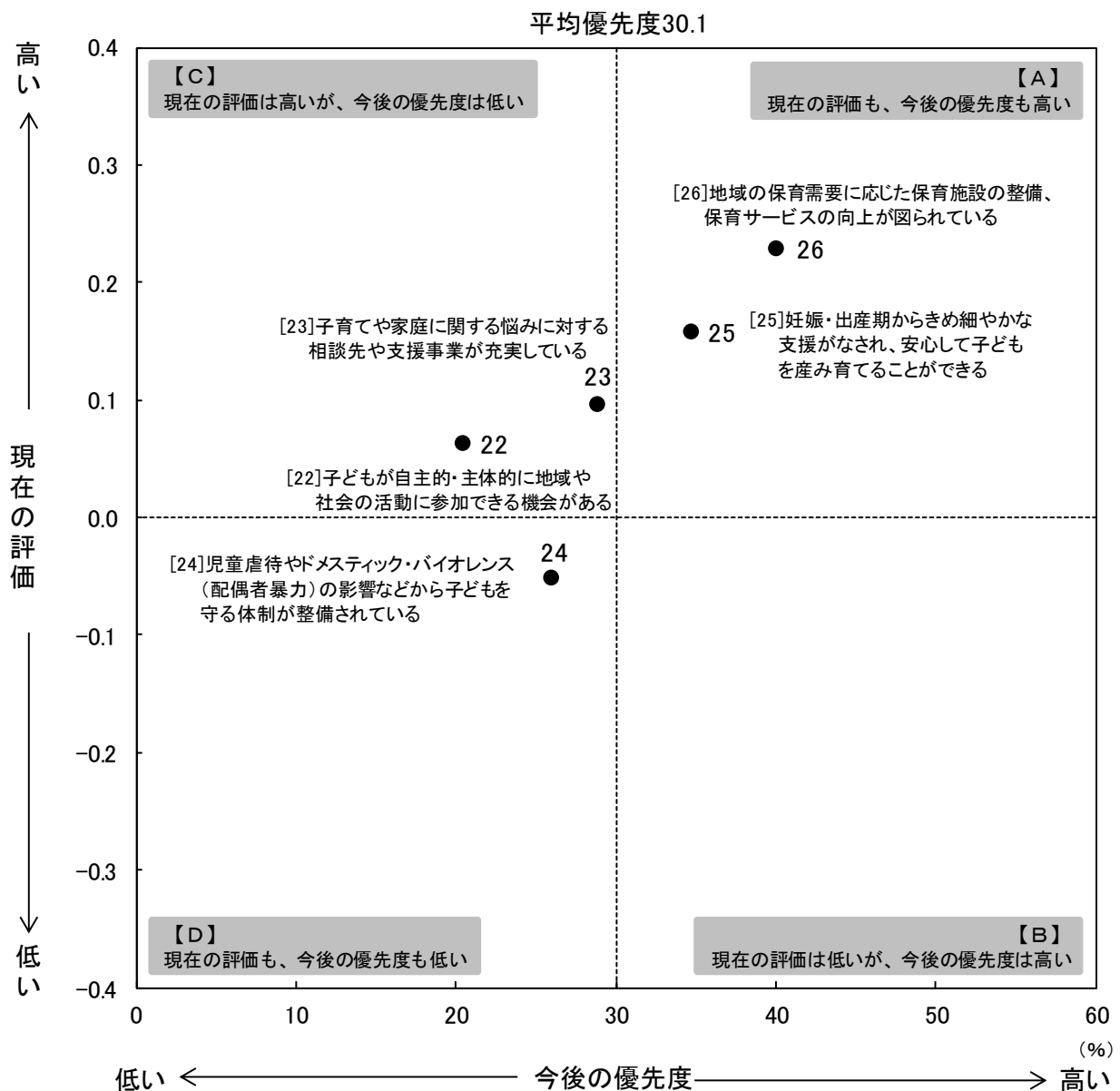
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(5) 子育て

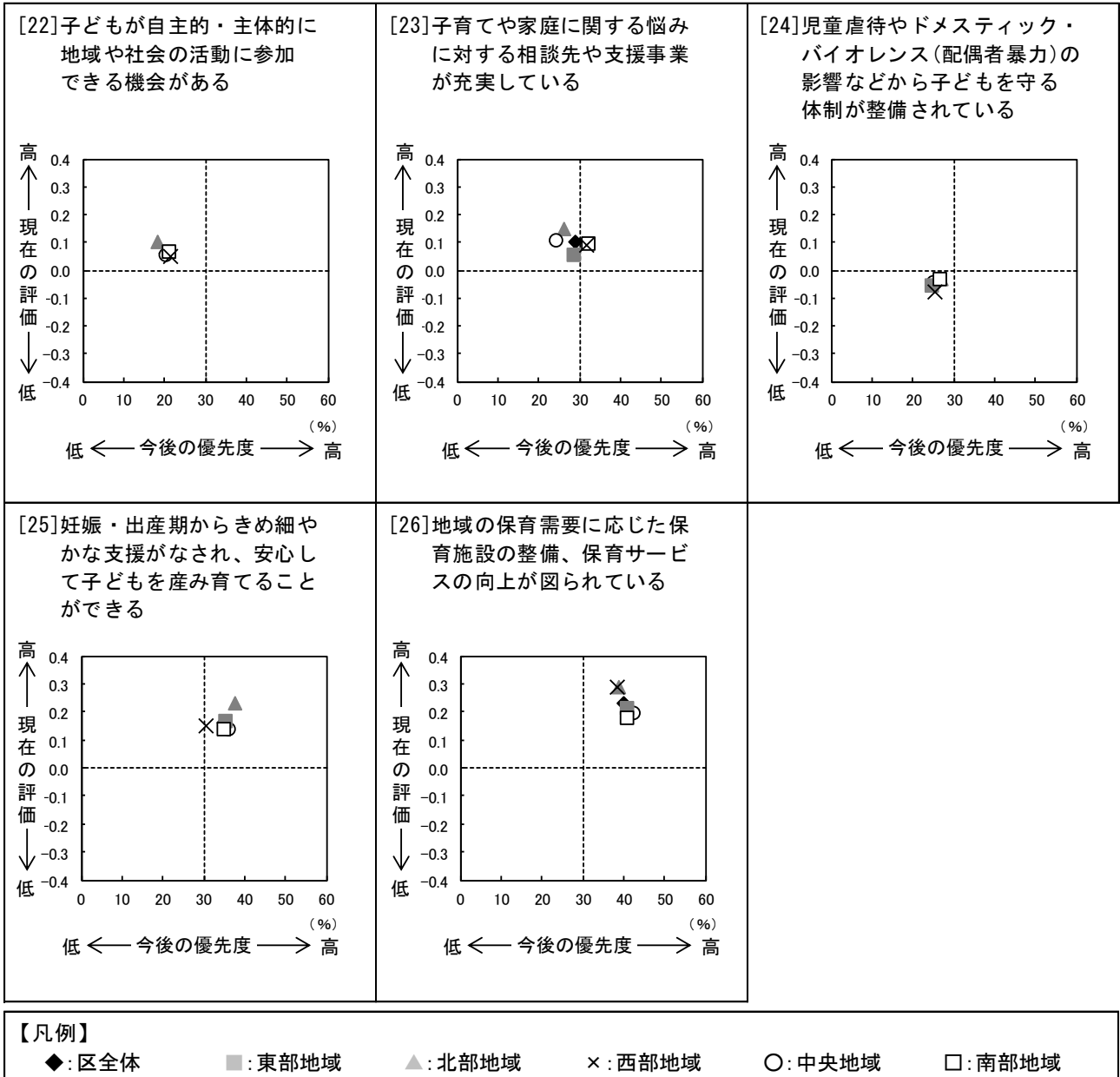
子育てに関する生活環境では、5項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【子育てにおける総合分析】



【子育てにおける地域別比較】



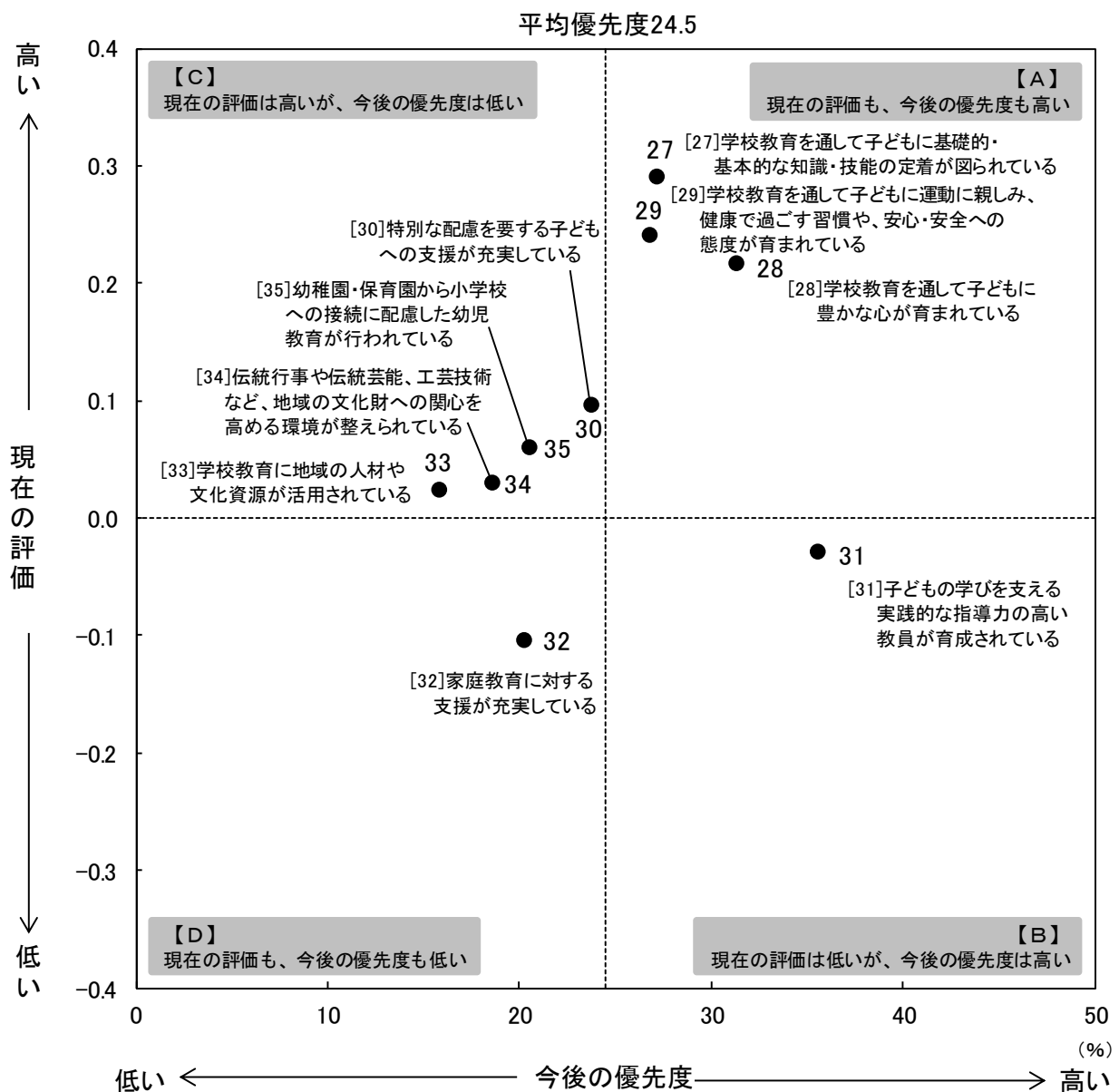
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(6) 教育

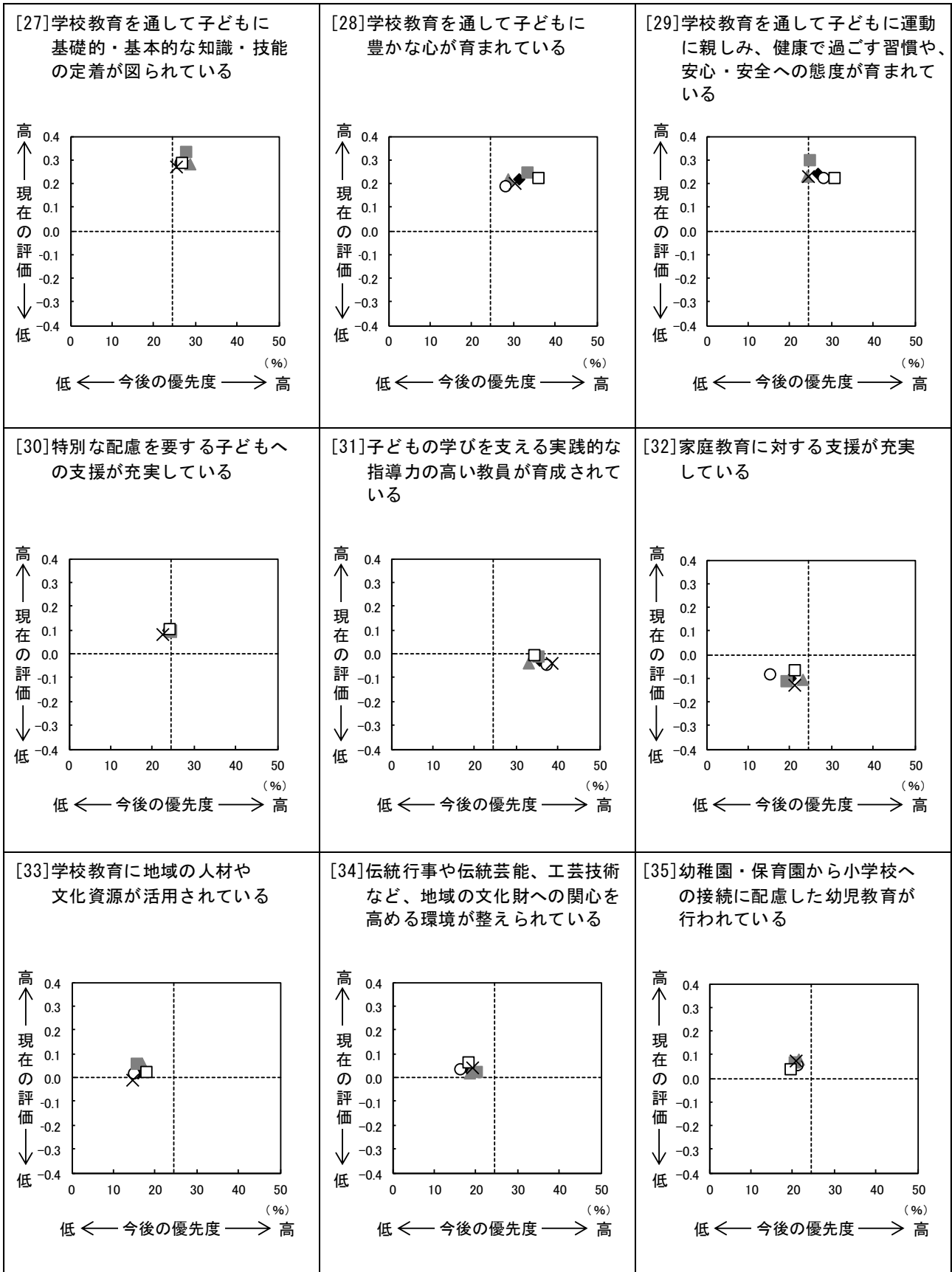
教育に関する生活環境では、9項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、4項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている」が位置している。

【教育における総合分析】



【教育における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

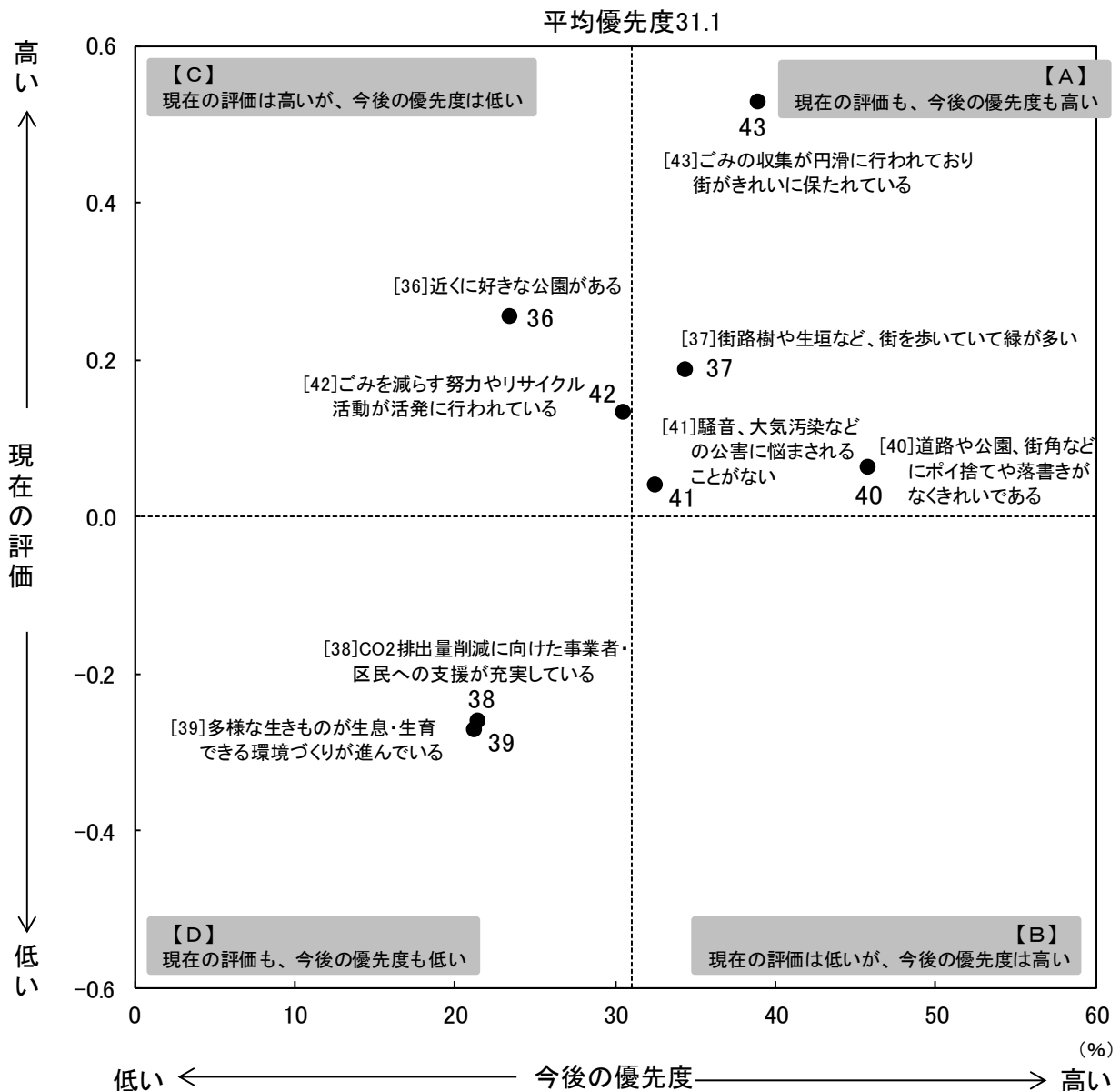
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(7) みどり・環境

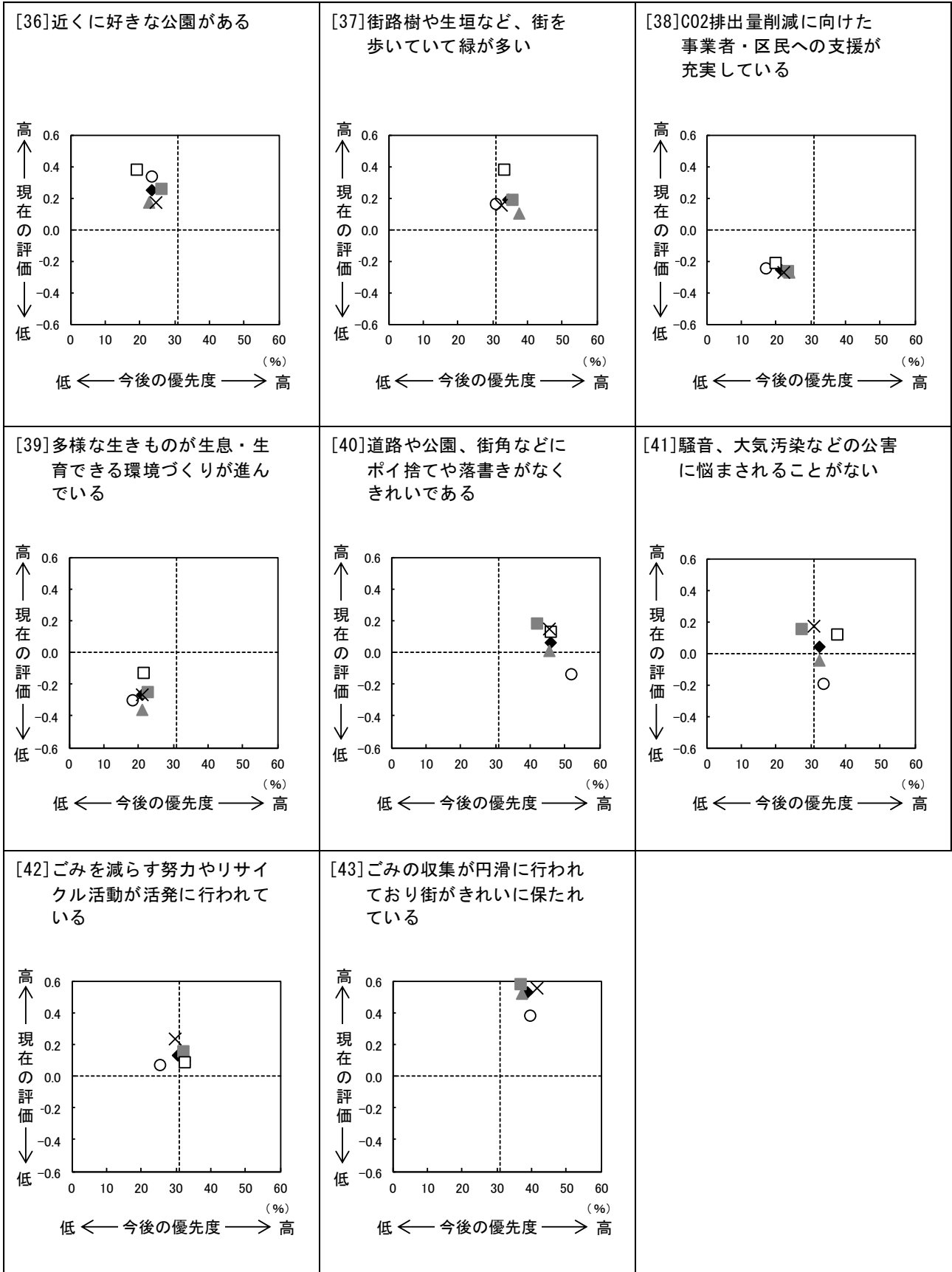
みどり・環境に関する生活環境では、8項目のうち4項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【みどり・環境における総合分析】



【みどり・環境における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

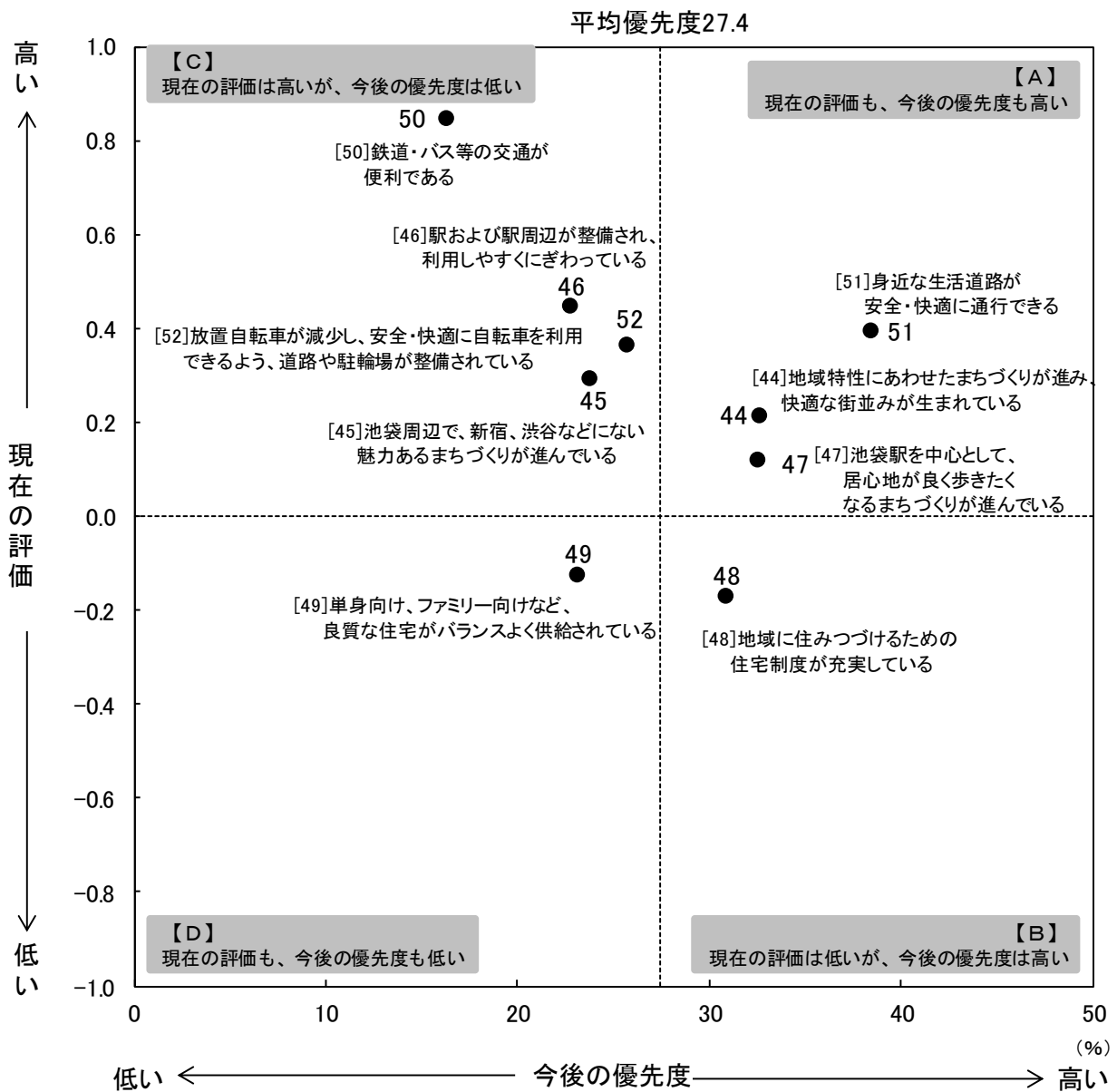
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(8) 都市再生・交通

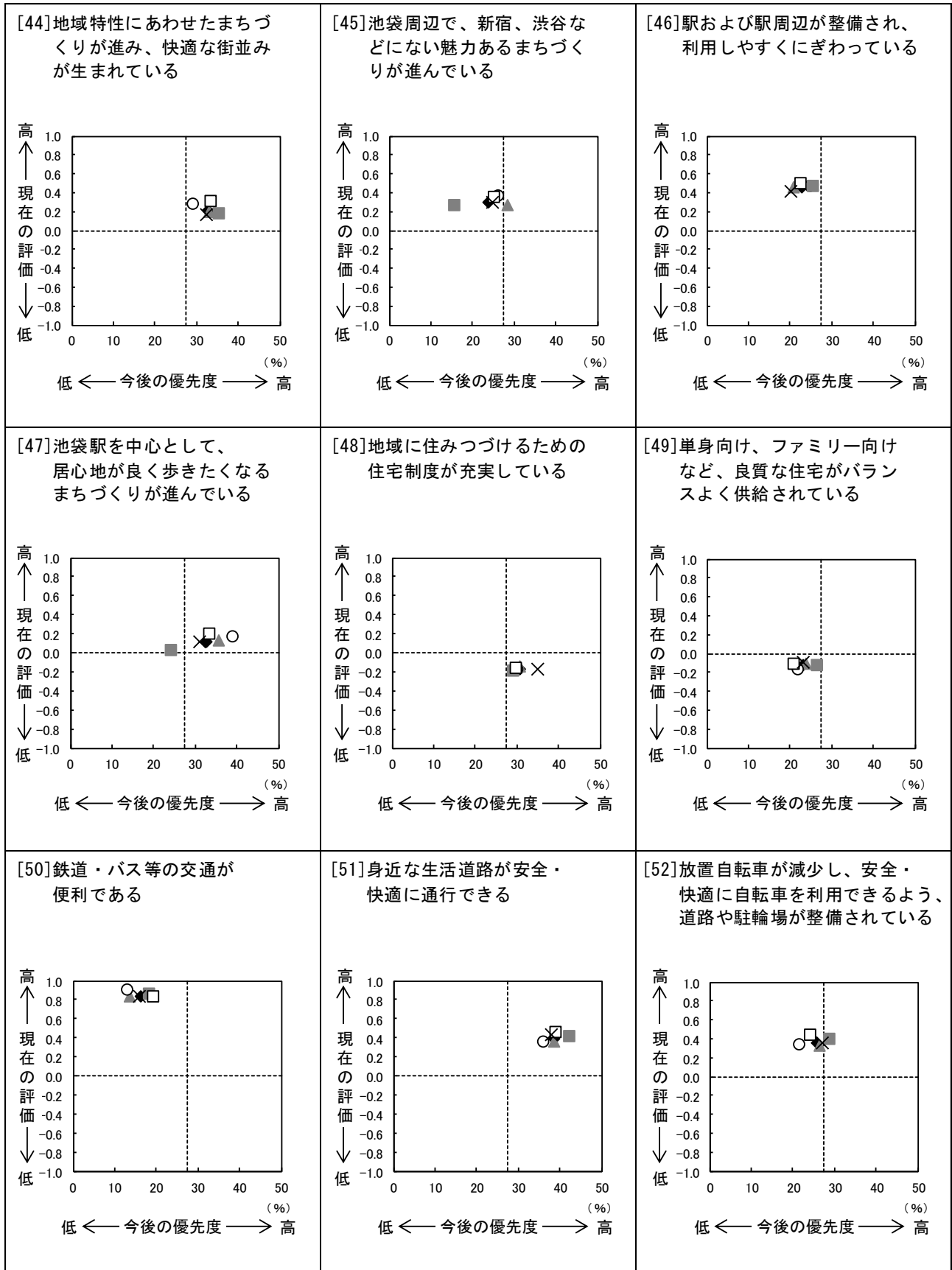
都市再生・交通に関する生活環境では、9項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、4項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要がある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域に住みつつけるための住宅制度が充実している」が位置している。

【都市再生・交通における総合分析】



【都市再生・交通における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

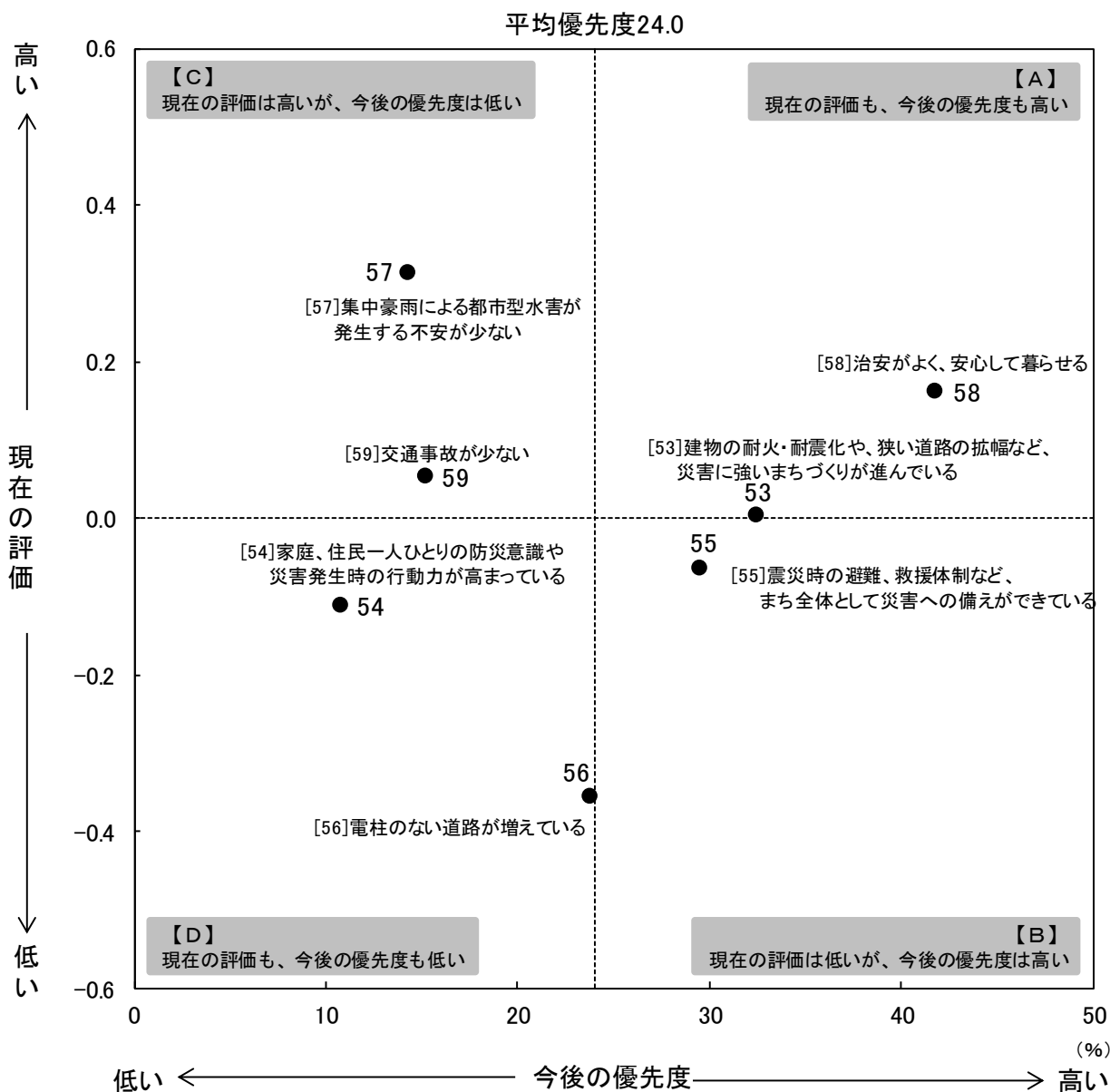
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(9) 防災・治安

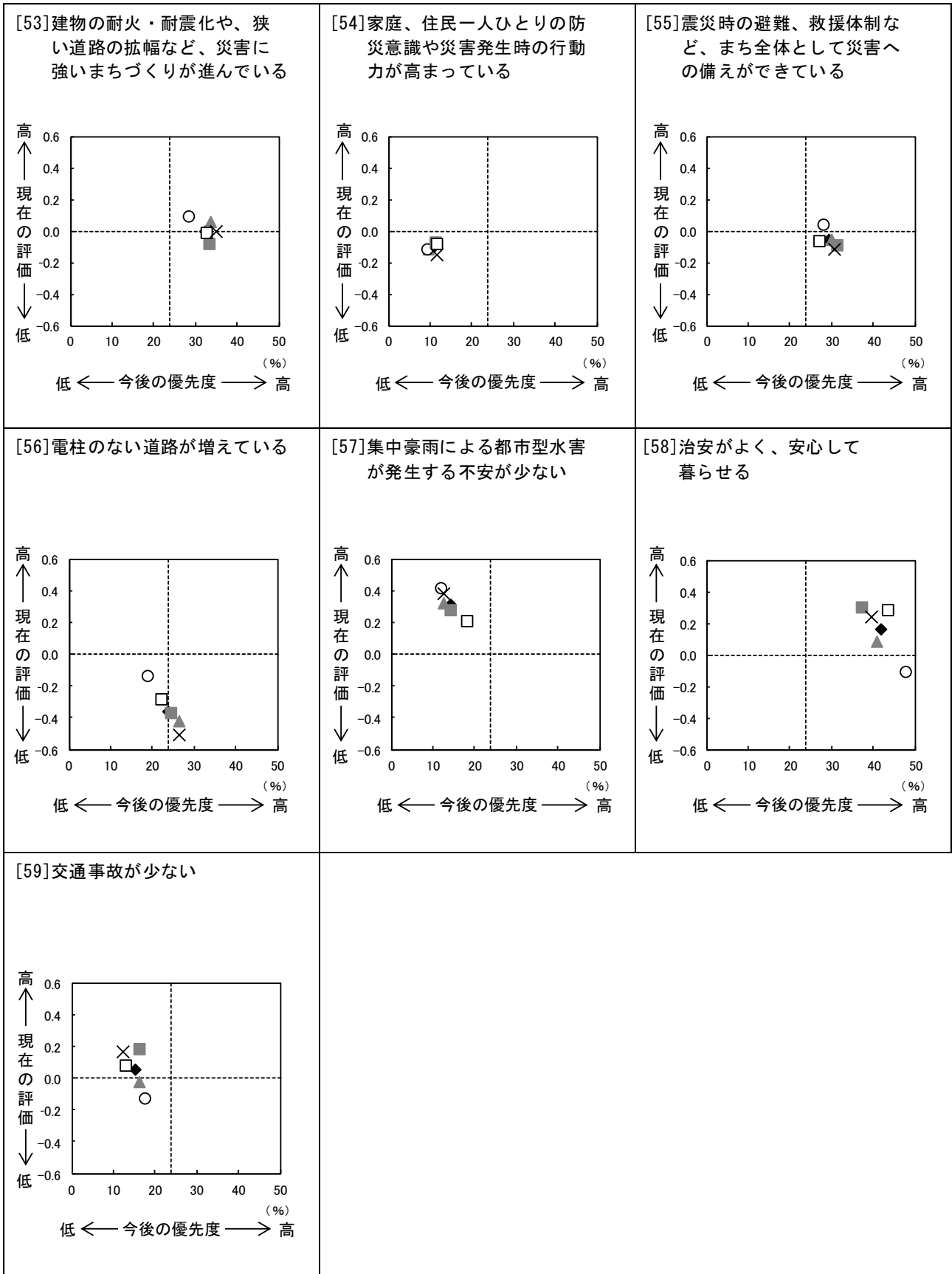
防災・治安に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができていない」が位置している。

【防災・治安における総合分析】



【防災・治安における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

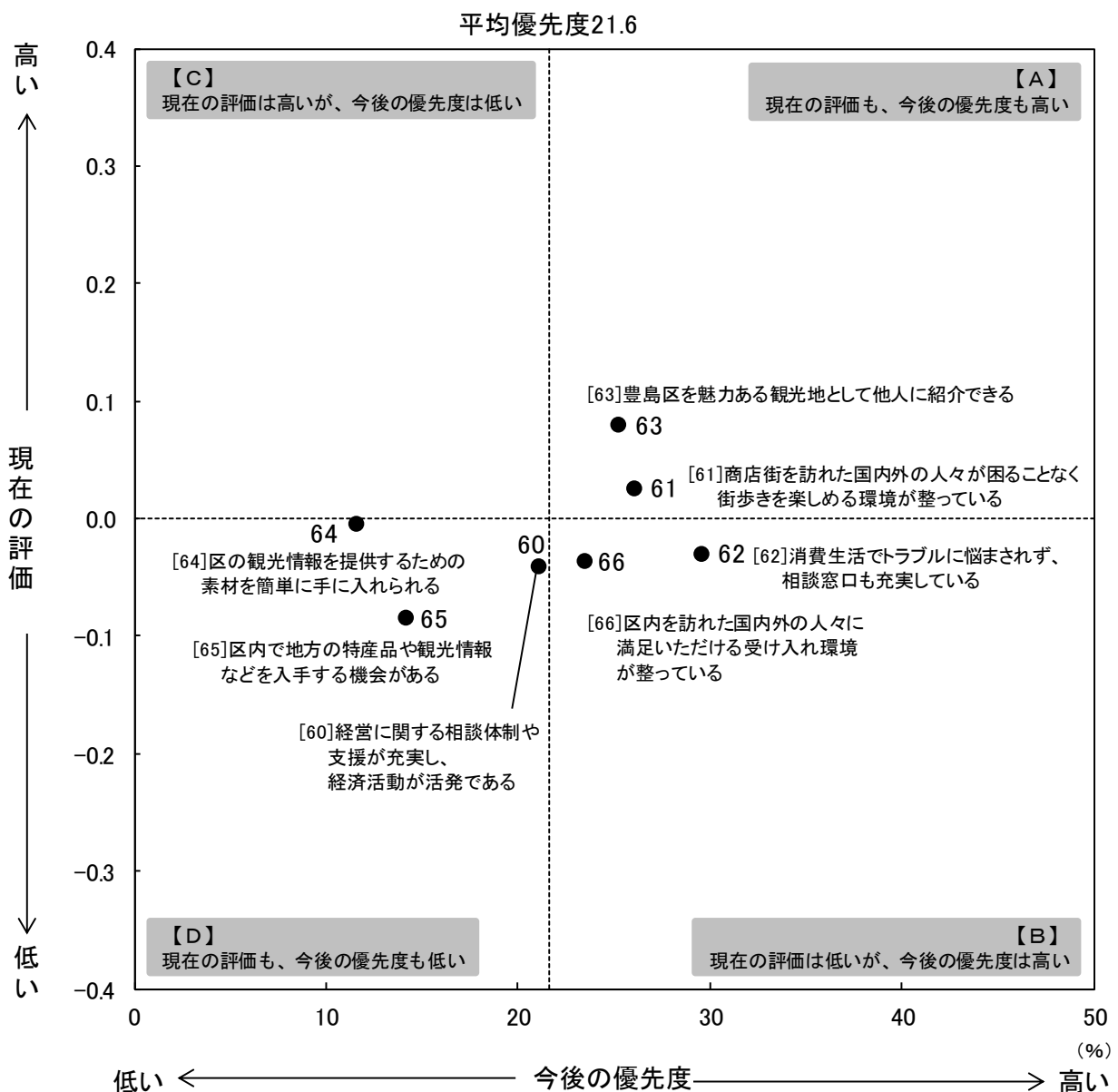
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(10) 商工・観光

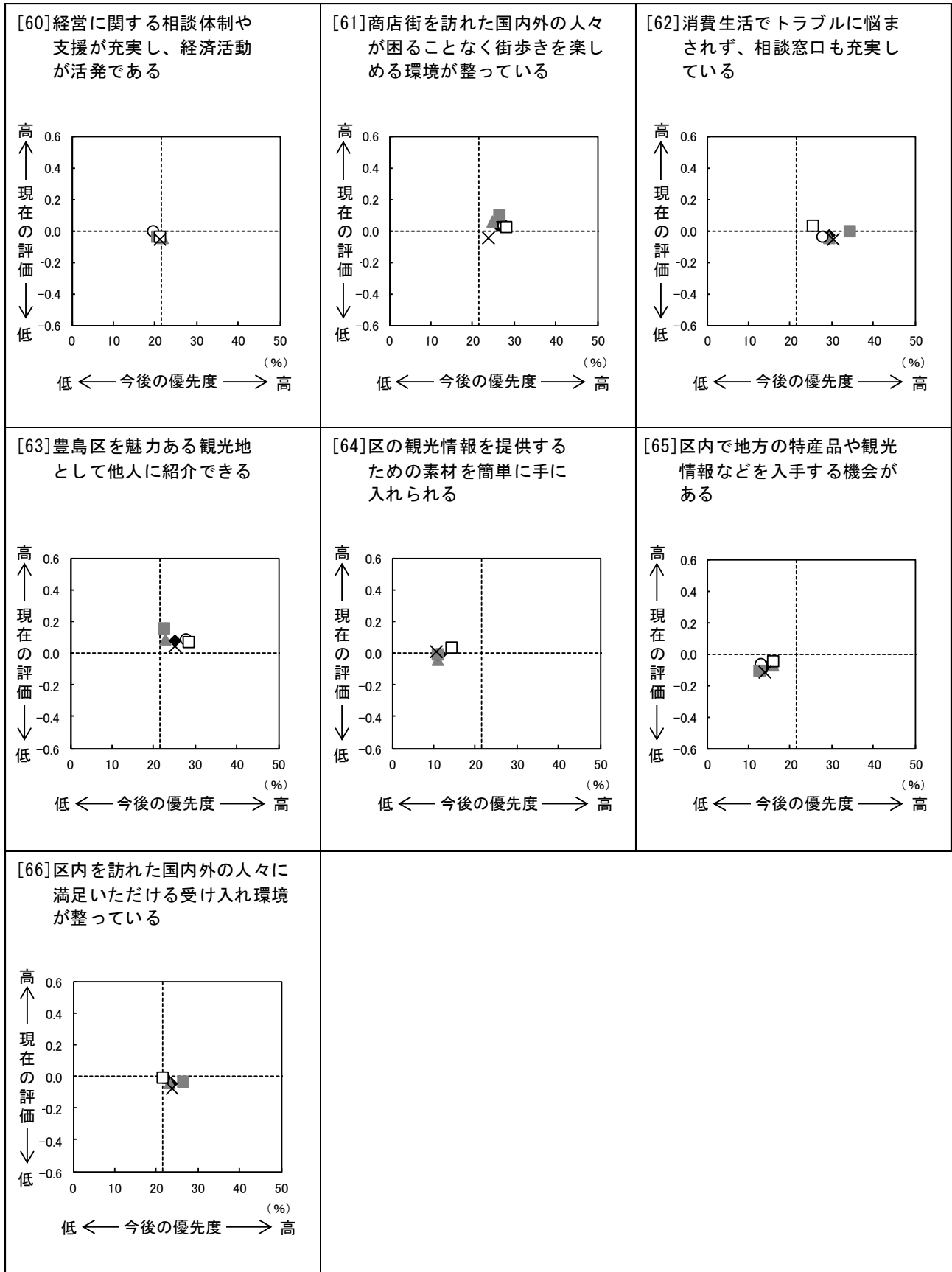
商工・観光に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」、「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」が位置している。

【商工・観光における総合分析】



【商工・観光における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 全区体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

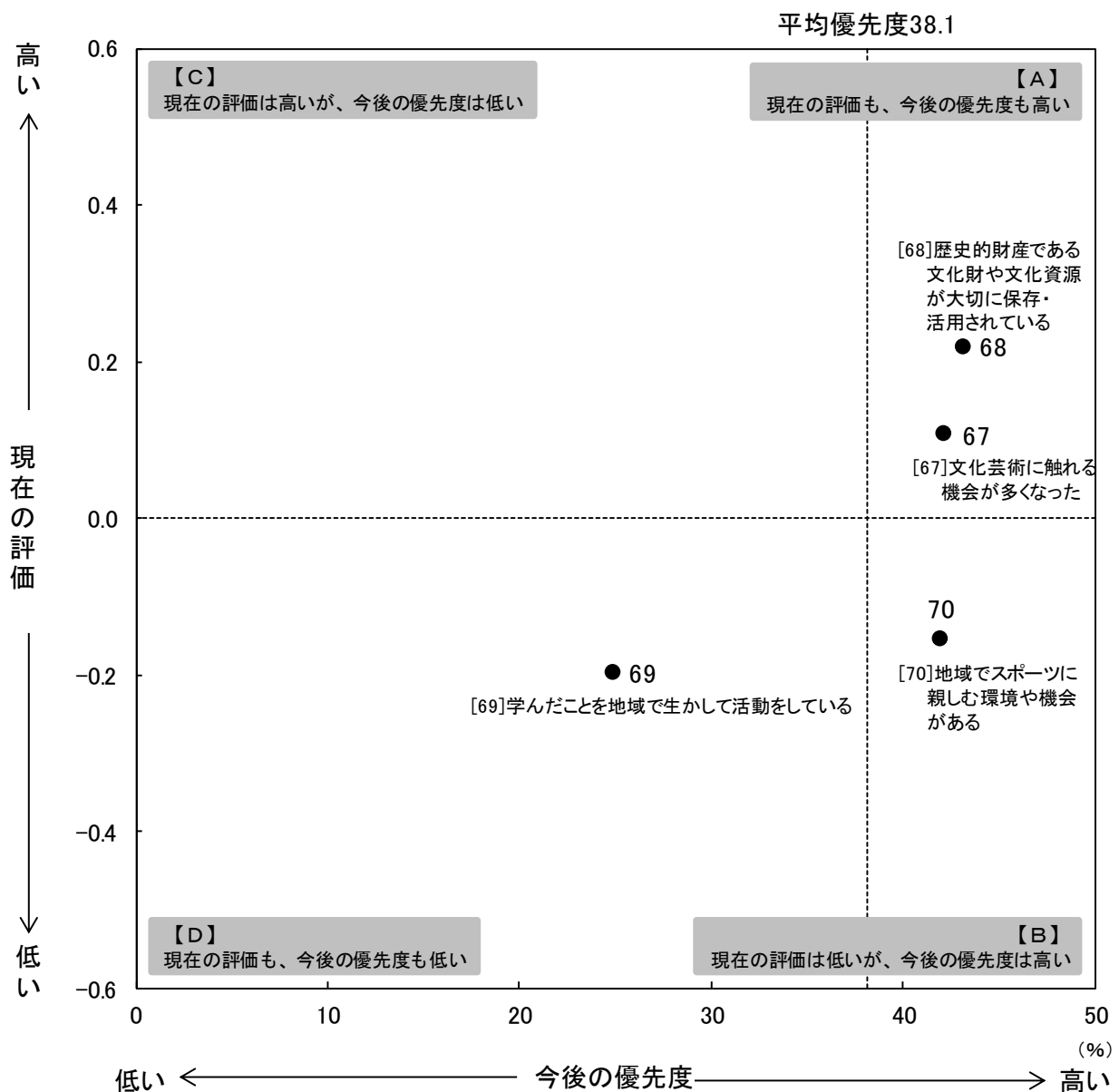
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(11) 文化

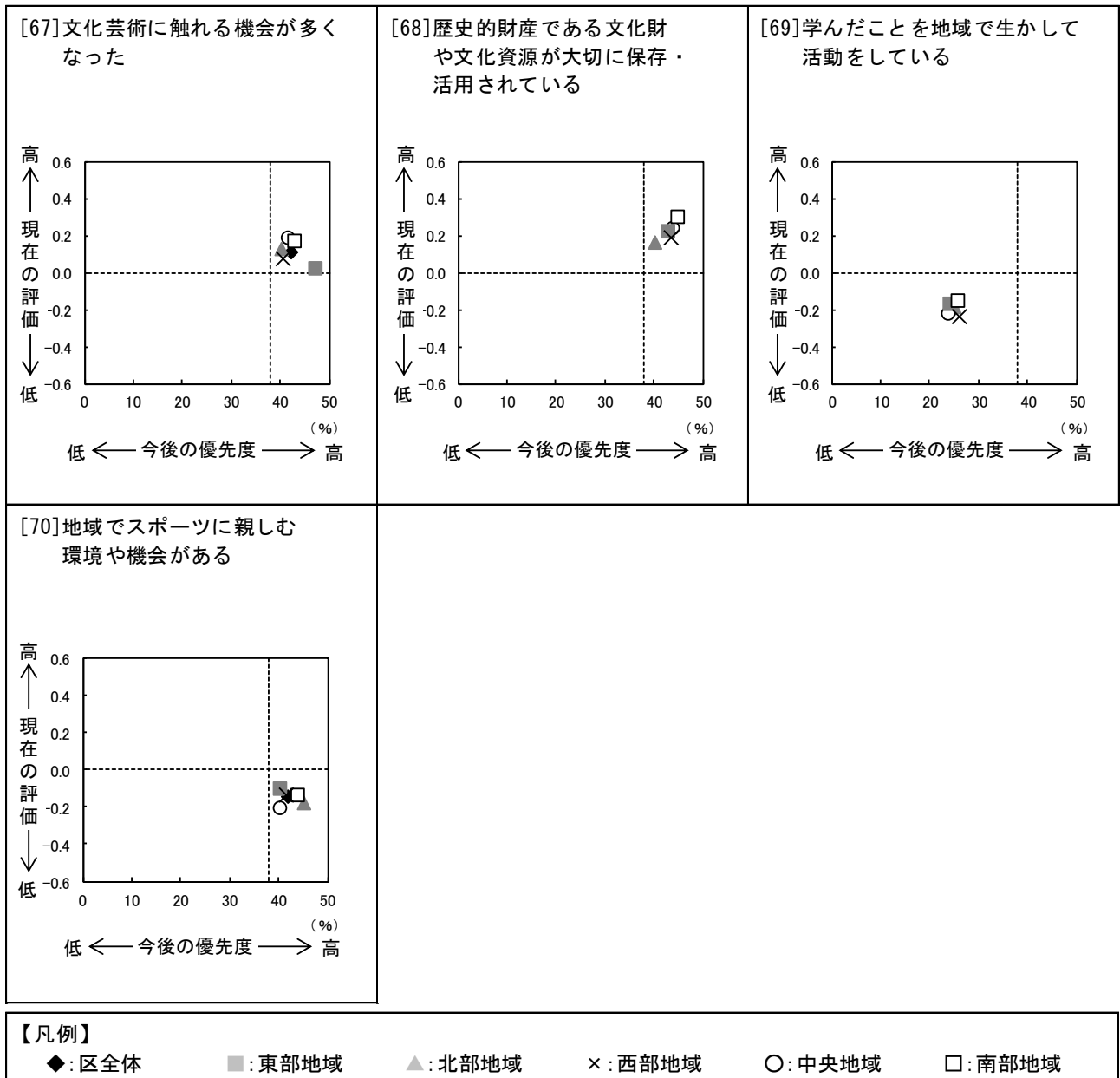
文化に関する生活環境では、4項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要がある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。

【文化における総合分析】



【文化における地域別比較】



※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

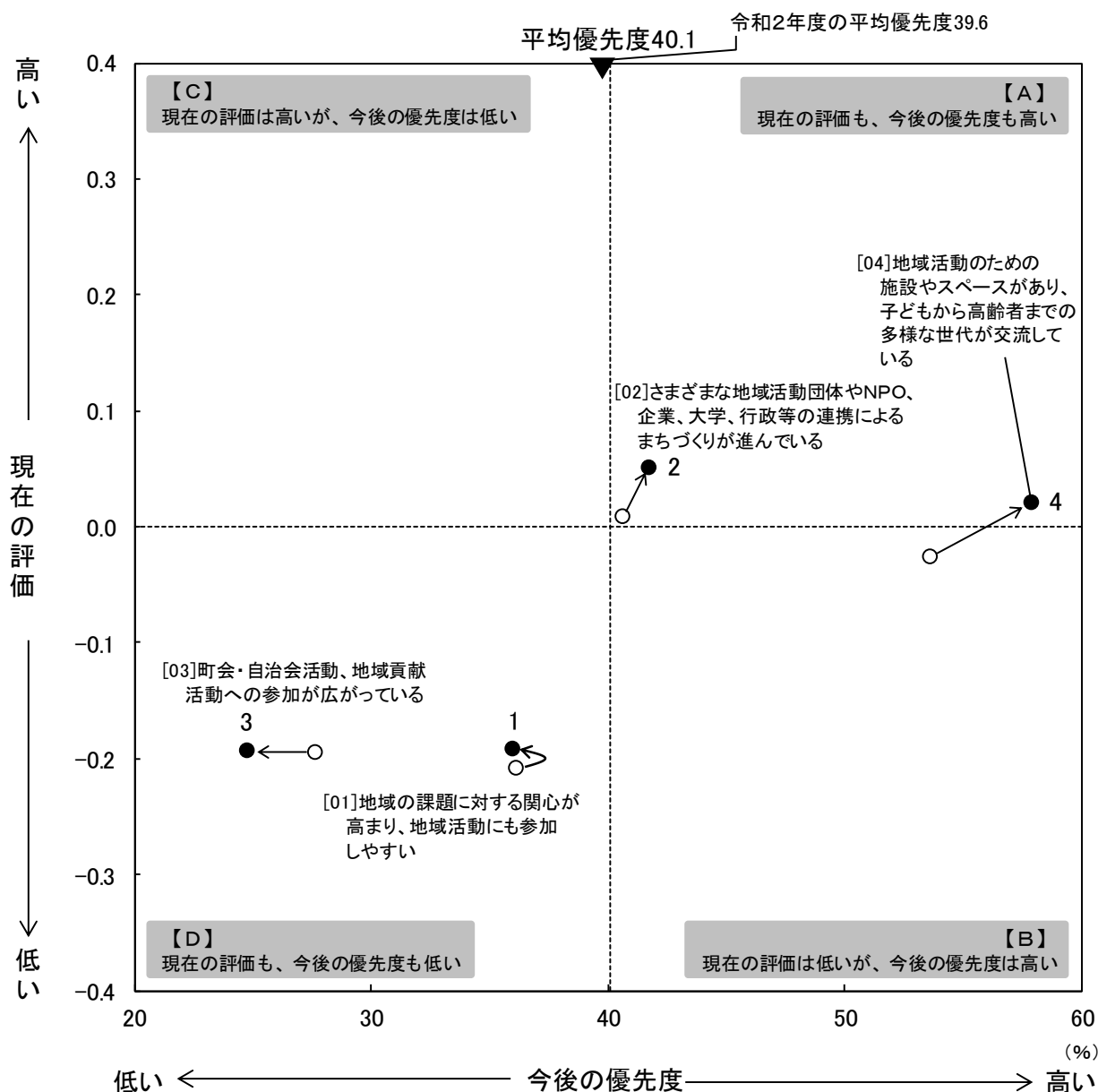
4. 総合分析の経年比較

総合分析を前回調査（令和2年度）と比較した。●が今回調査、○が前回調査、前回から今回への推移を矢印で表している。

(1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境では、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。

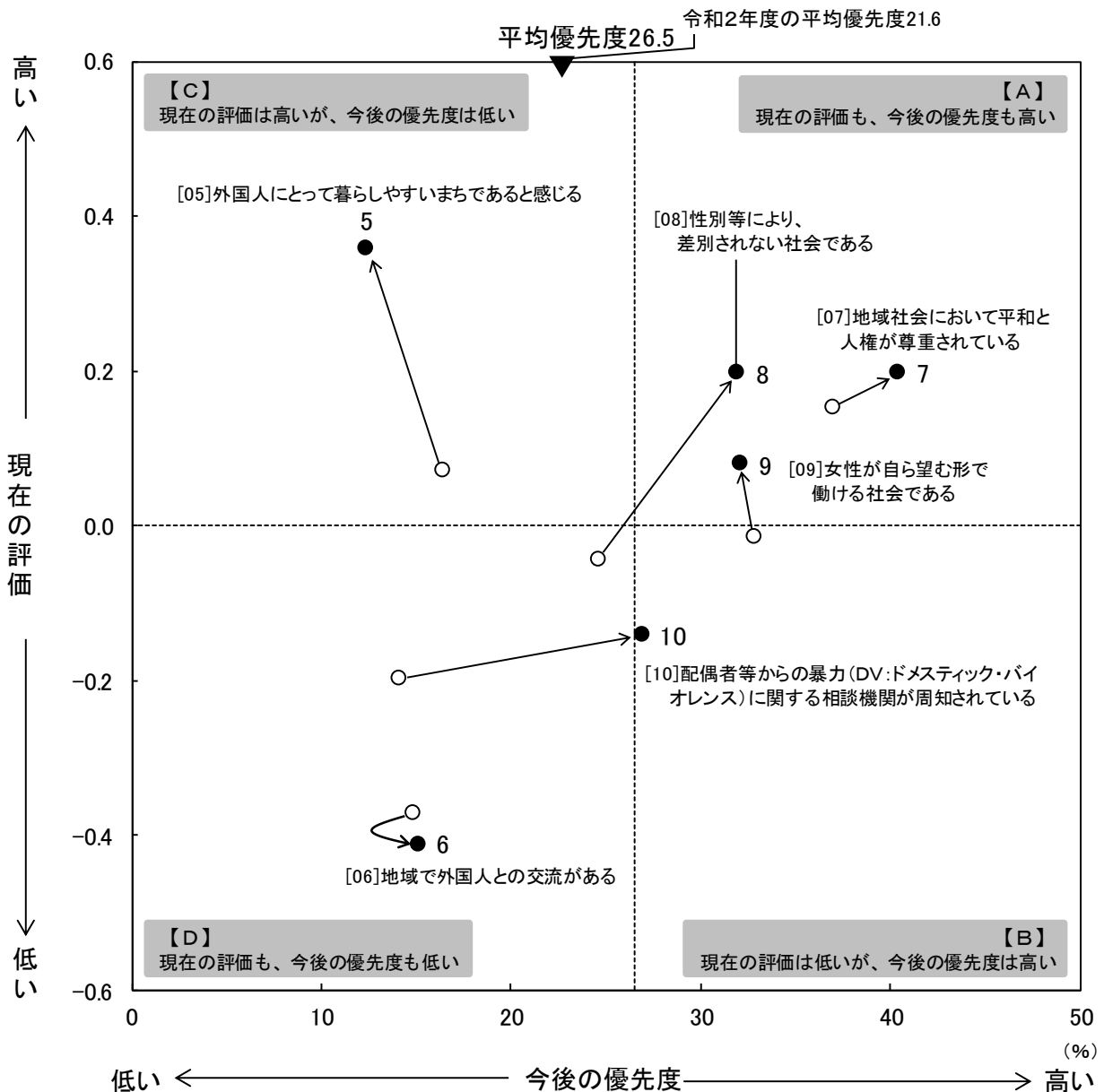
【参画・協働における総合分析の経年比較】



(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境では、「性別等により、差別されない社会である」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「女性が自ら望む形で働ける社会である」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。「配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。

【平和・人権における総合分析の経年比較】

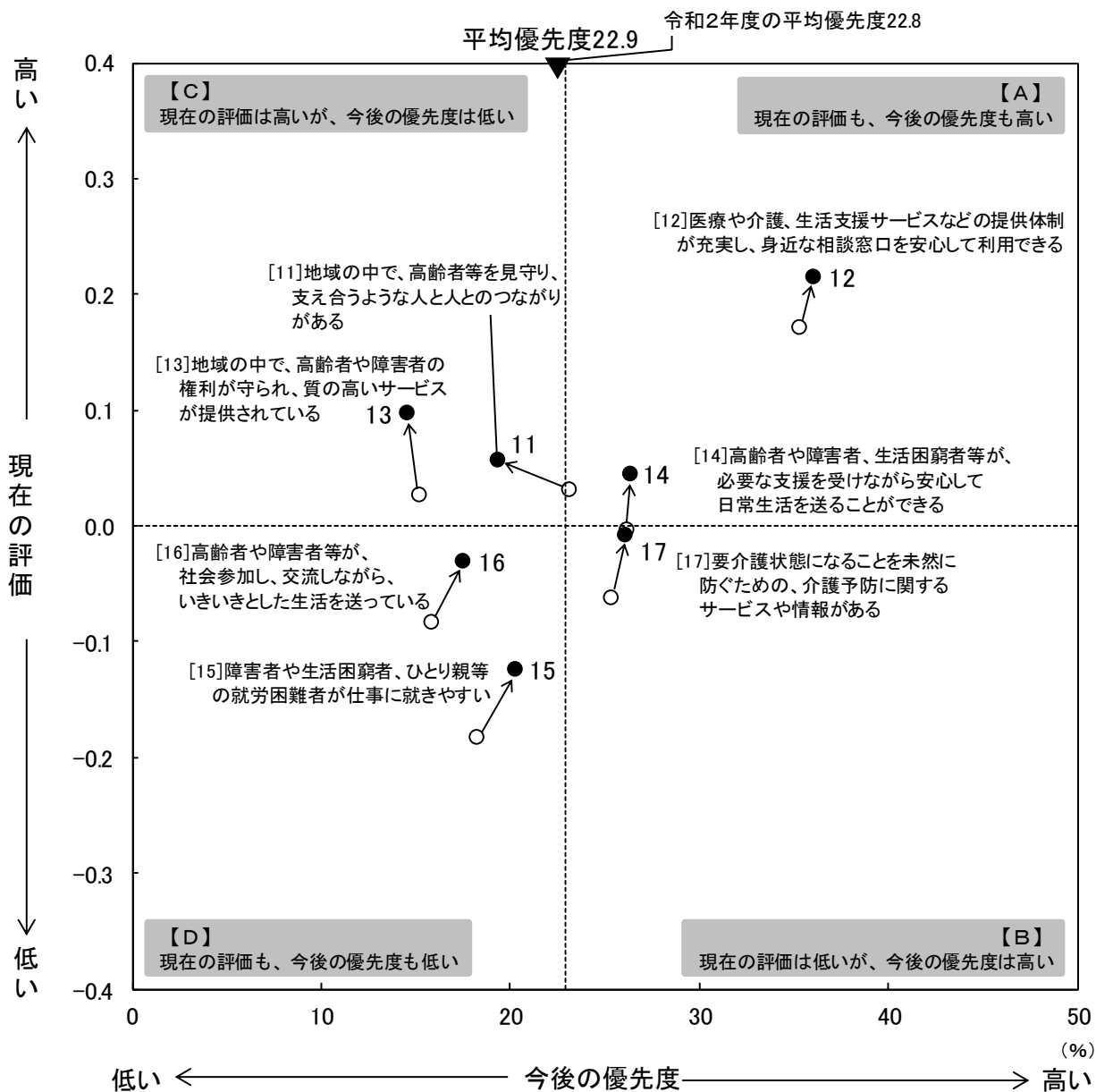


※令和2年度調査では、[05]は「外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている」、[08]は「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」、[09]は「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)への理解が深まっている」となっていた

(3) 福祉

福祉に関する生活環境では、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。また、「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。

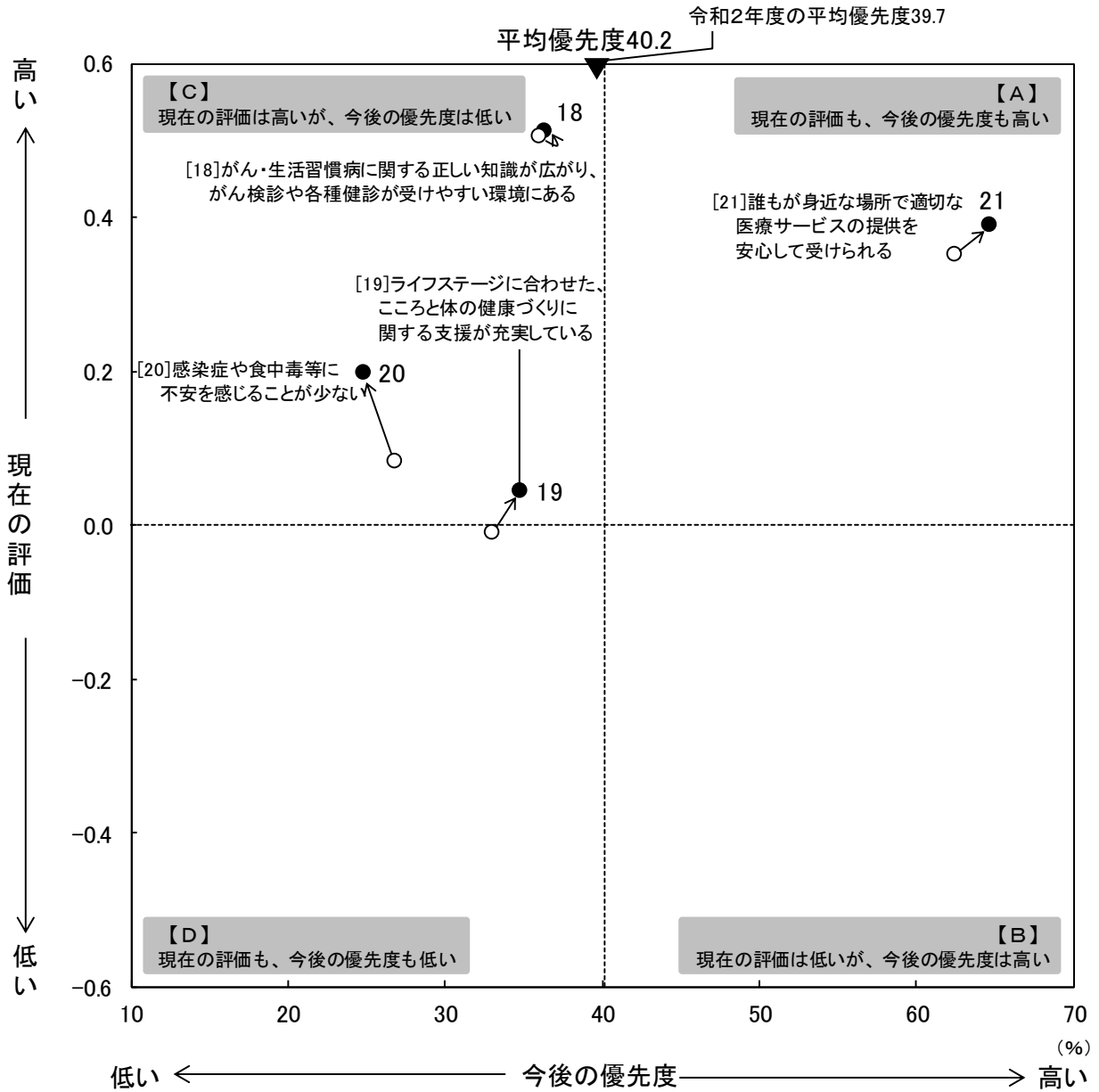
【福祉における総合分析の経年比較】



(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境では、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。

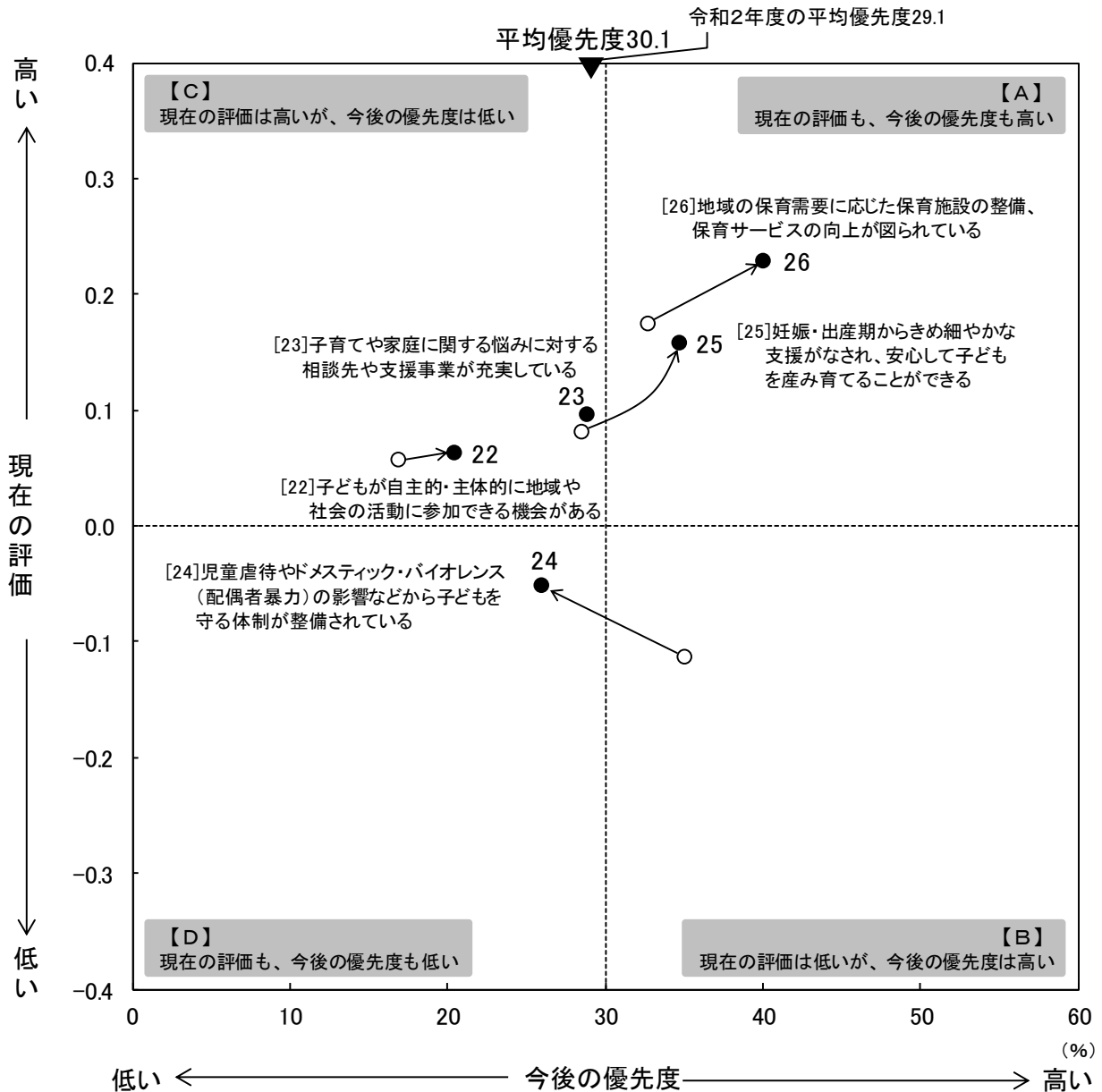
【健康・保健における総合分析の経年比較】



(5) 子育て

子育てに関する生活環境では、「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス（配偶者暴力）の影響などから子どもを守る体制が整備されている」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。

【子育てにおける総合分析の経年比較】

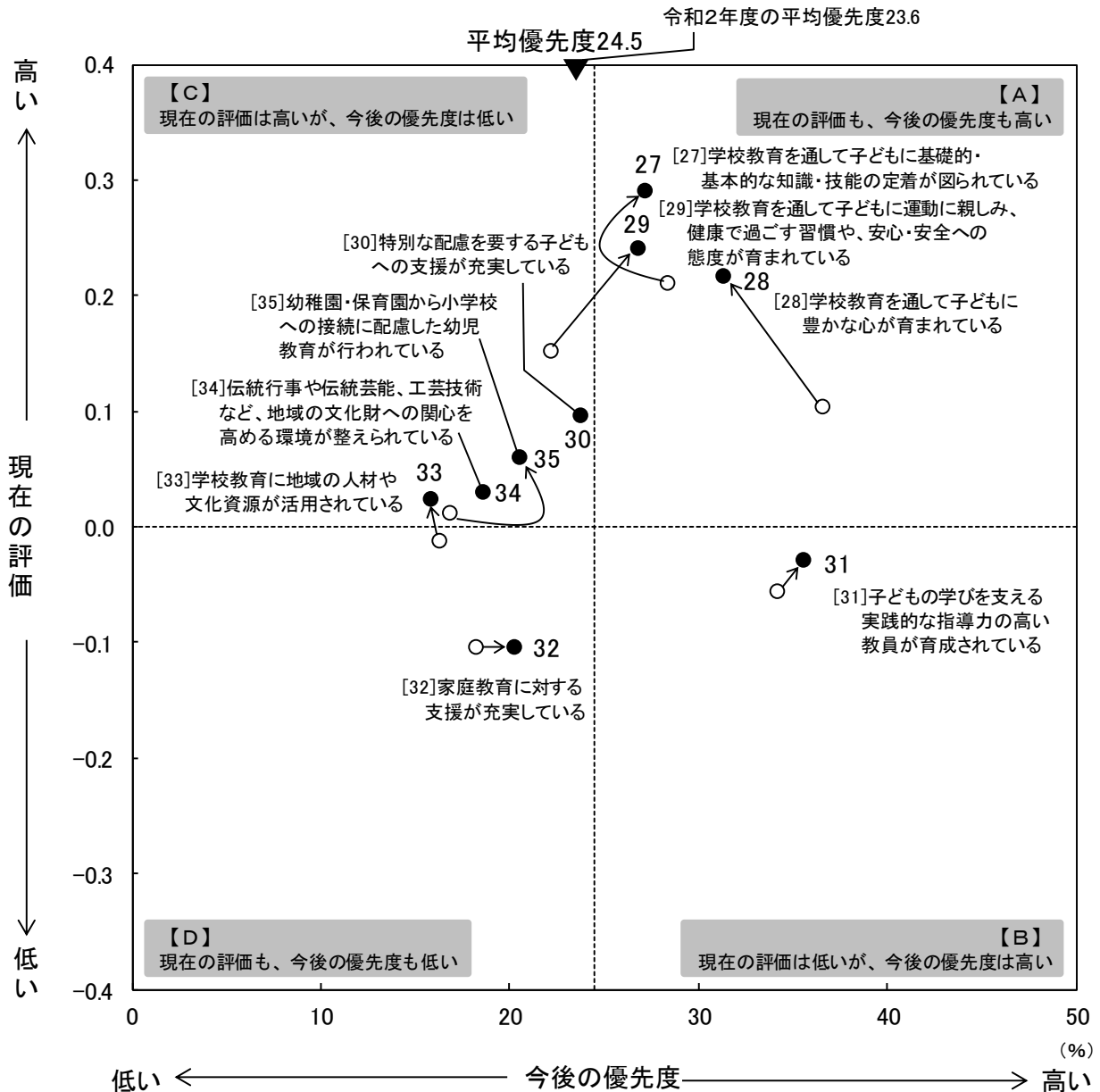


※令和2年度調査では、[24]は「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」となっていた
 ※[23]は、今回調査からの項目

(6) 教育

教育に関する生活環境では、「学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。

【教育における総合分析の経年比較】

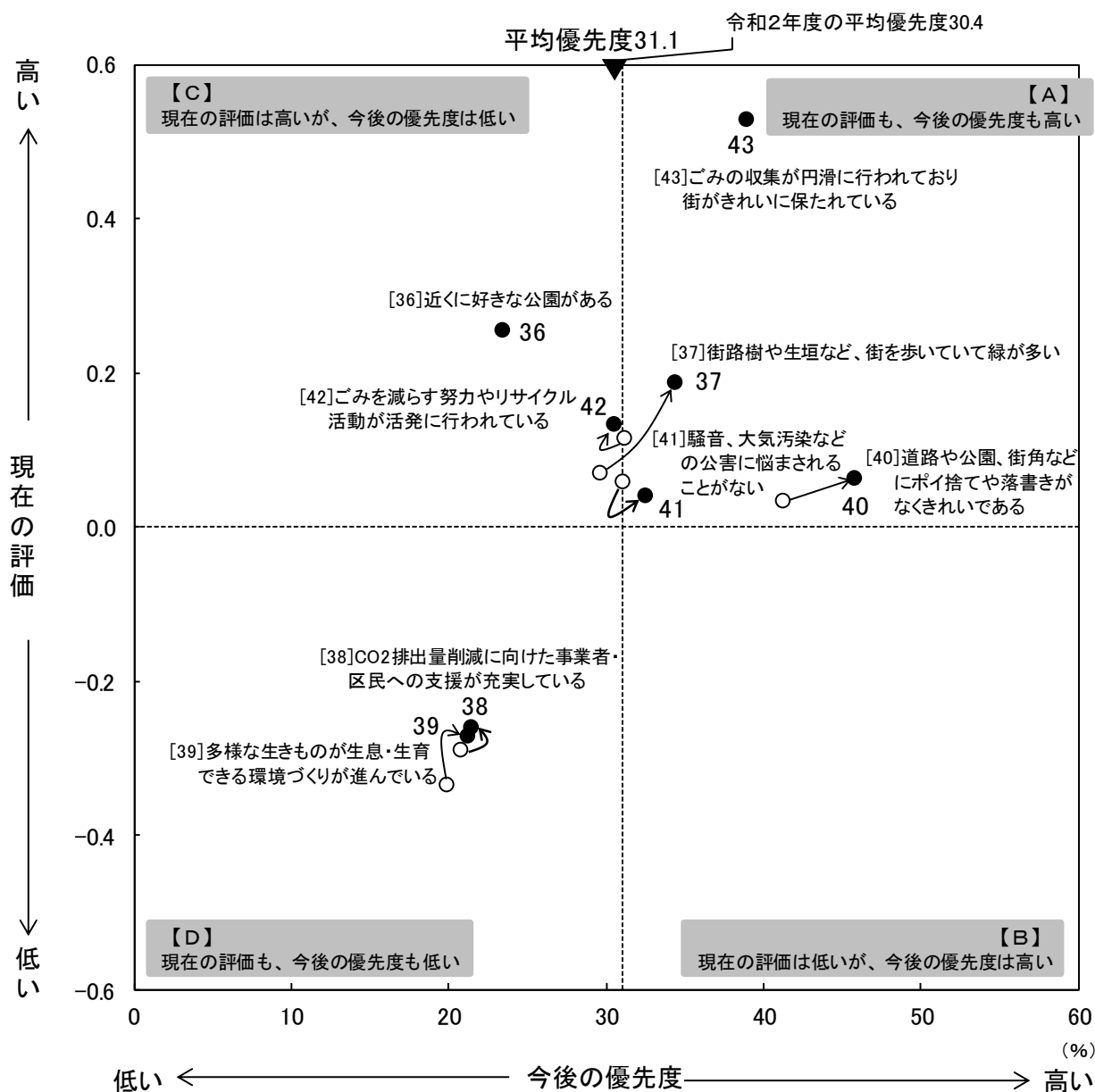


※令和2年度調査では、[27]は「学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身につけている」、[28]は「学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身につけている」、[29]は「学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身につけている」、[31]は「信頼される実践力の高い教員が育成されている」、[32]は「家庭での教育に対する支援が充実している」となっていた
※[30]と[34]は、今回調査からの項目

(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境では、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。また、「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。

【みどり・環境における総合分析の経年比較】

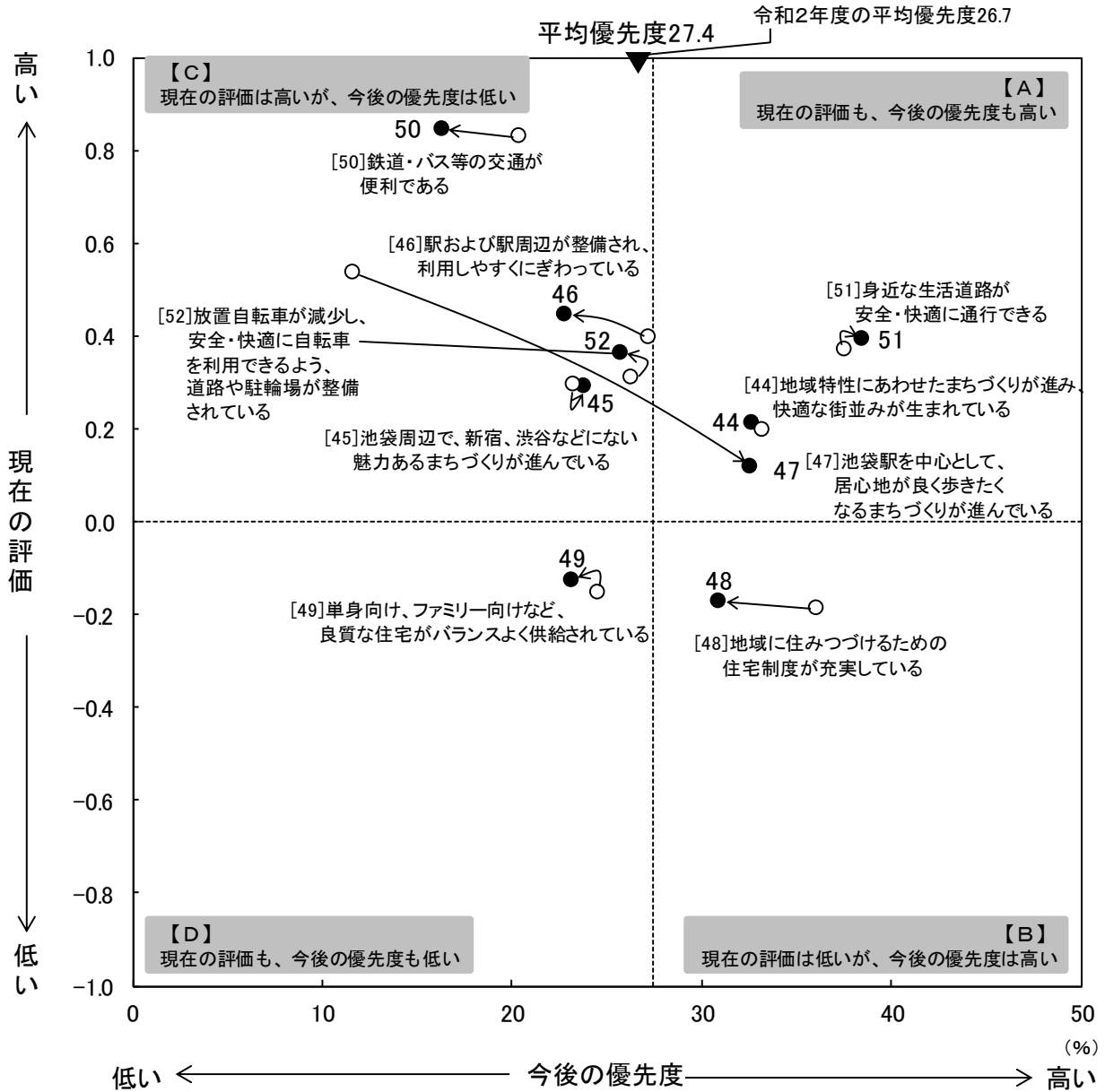


※[36]と[43]は、今回調査からの項目

(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境では、「池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。

【都市再生・交通における総合分析の経年比較】

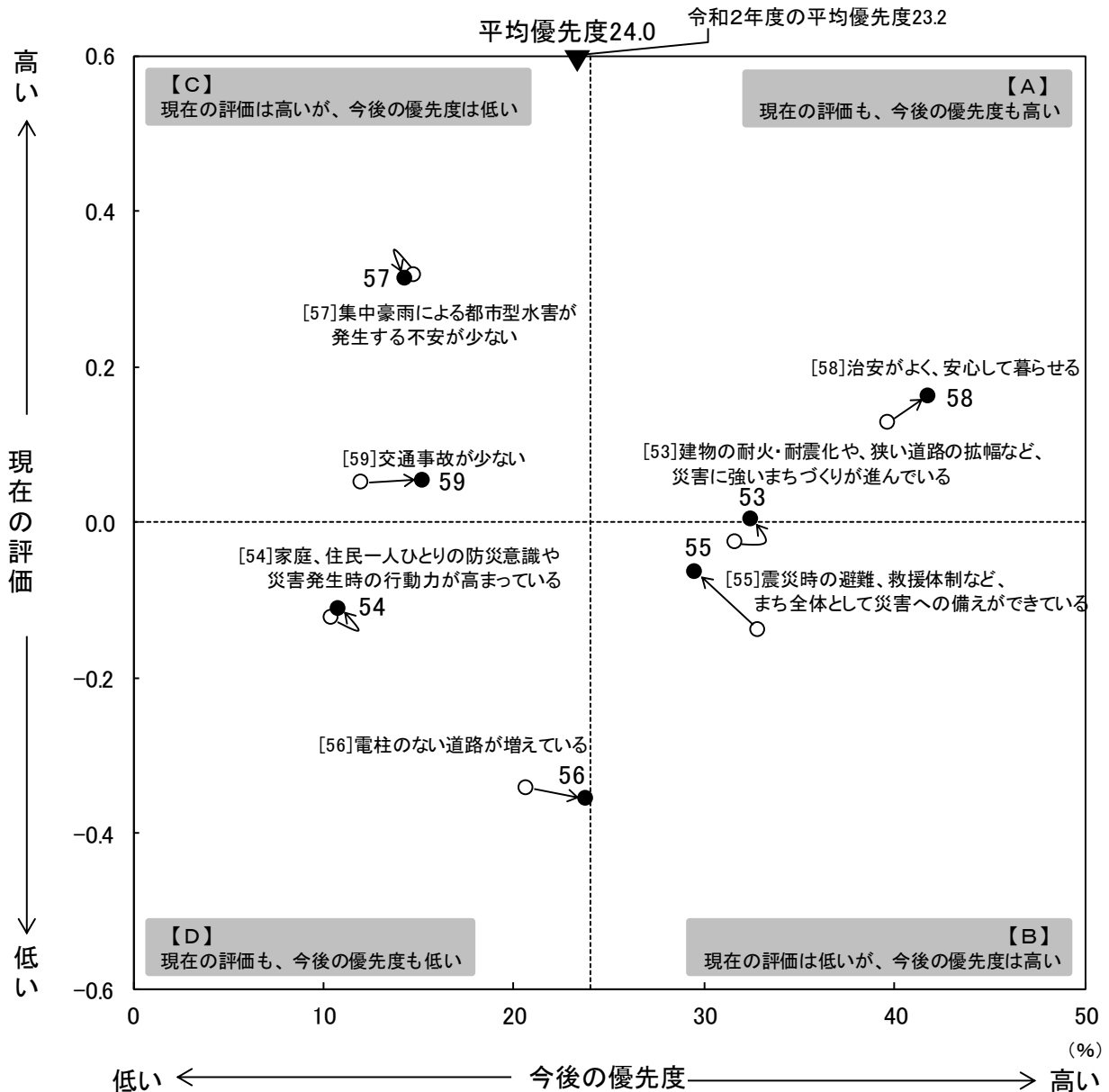


※令和2年度調査では、[47]は「新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる」となっていた

(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境では、「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。

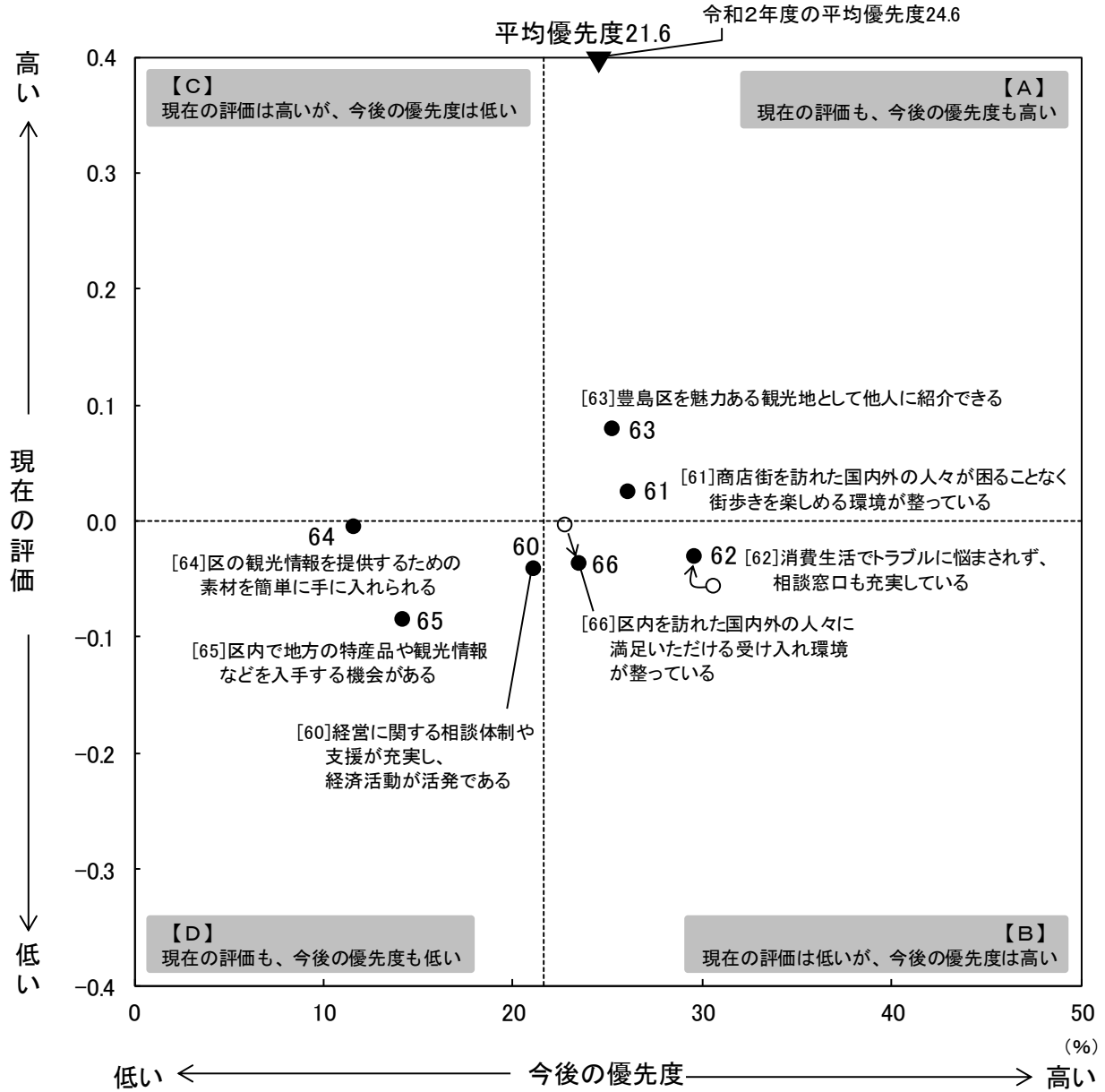
【防災・治安における総合分析の経年比較】



(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

【商工・観光における総合分析の経年比較】



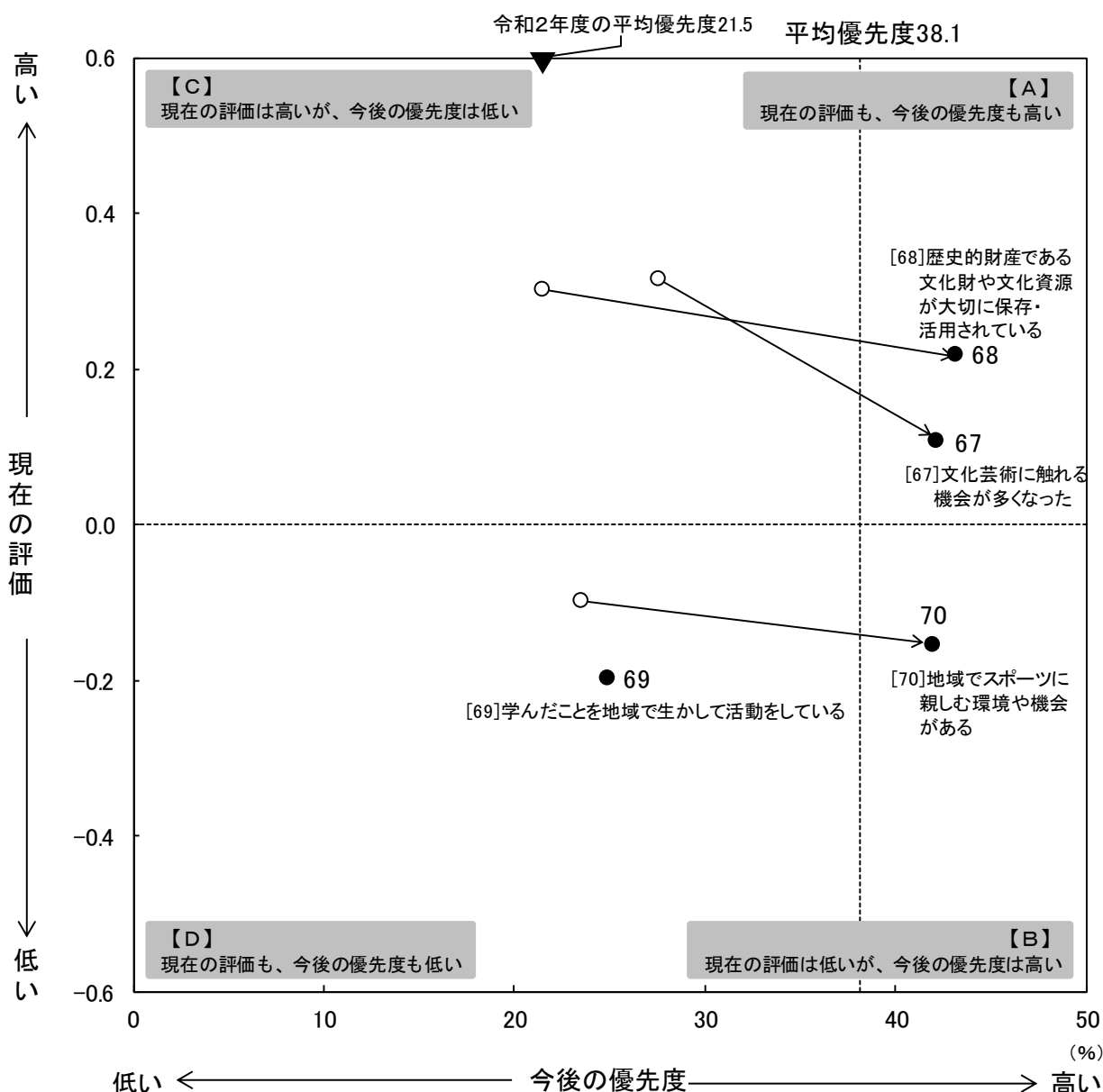
※令和2年度調査では、[65]は(11)文化のグループで「観光情報や物産など、地方の情報に接することができる」となっており、「(C)現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置していた

※[60]、[61]、[63]、[64]は、今回調査からの項目

(11) 文化

文化に関する生活環境では、「文化芸術に触れる機会が多くなった」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」へ移動した。

【文化における総合分析の経年比較】



※令和2年度調査では、[67]は「多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い」となっていた

※[69]は、今回調査からの項目

第3章 区の情報・区の政策等について

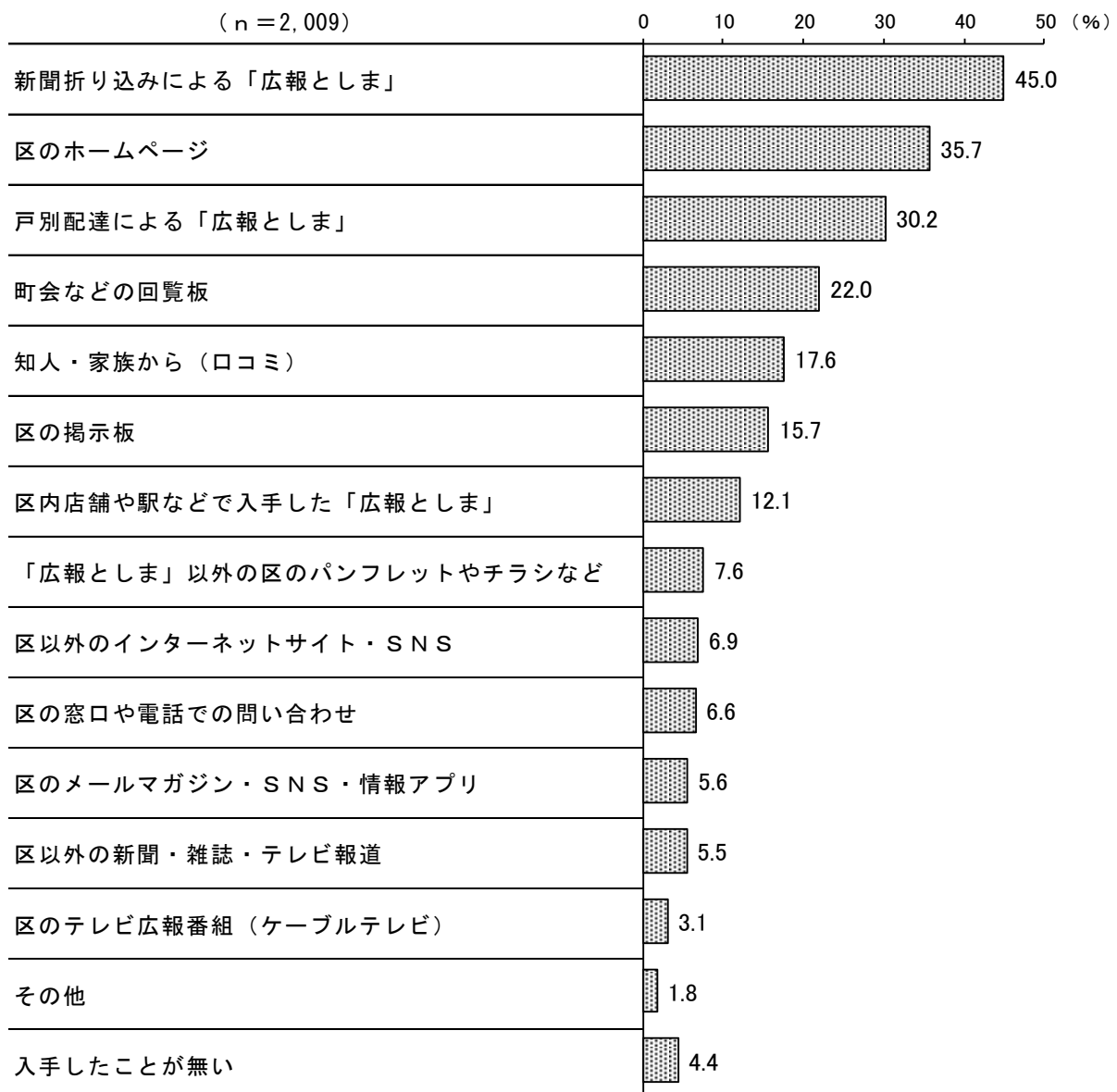
第3章 区の情報・区の政策等について

1. 区の情報・区政への参加について

(1) 区に関する情報の入手方法

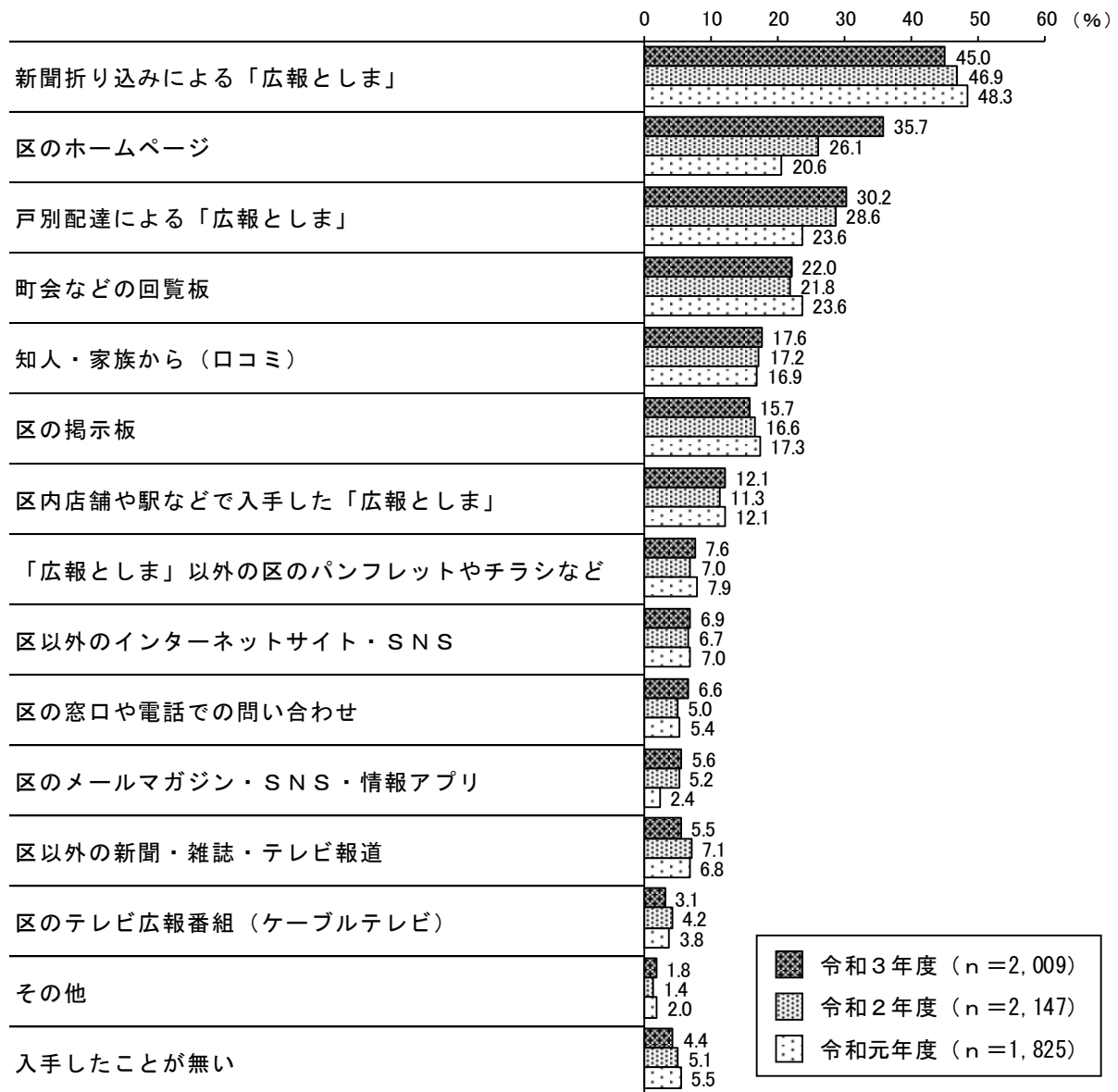
問8 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。
(いくつでも○)

区に関する情報をどのような方法で入手しているか聞いたところ、「新聞折り込みによる『広報としま』」(45.0%)が4割半ばで最も高く、次いで「区のホームページ」(35.7%)、「戸別配達による『広報としま』」(30.2%)、「町会などの回覧板」(22.0%)となっている。



【経年比較】

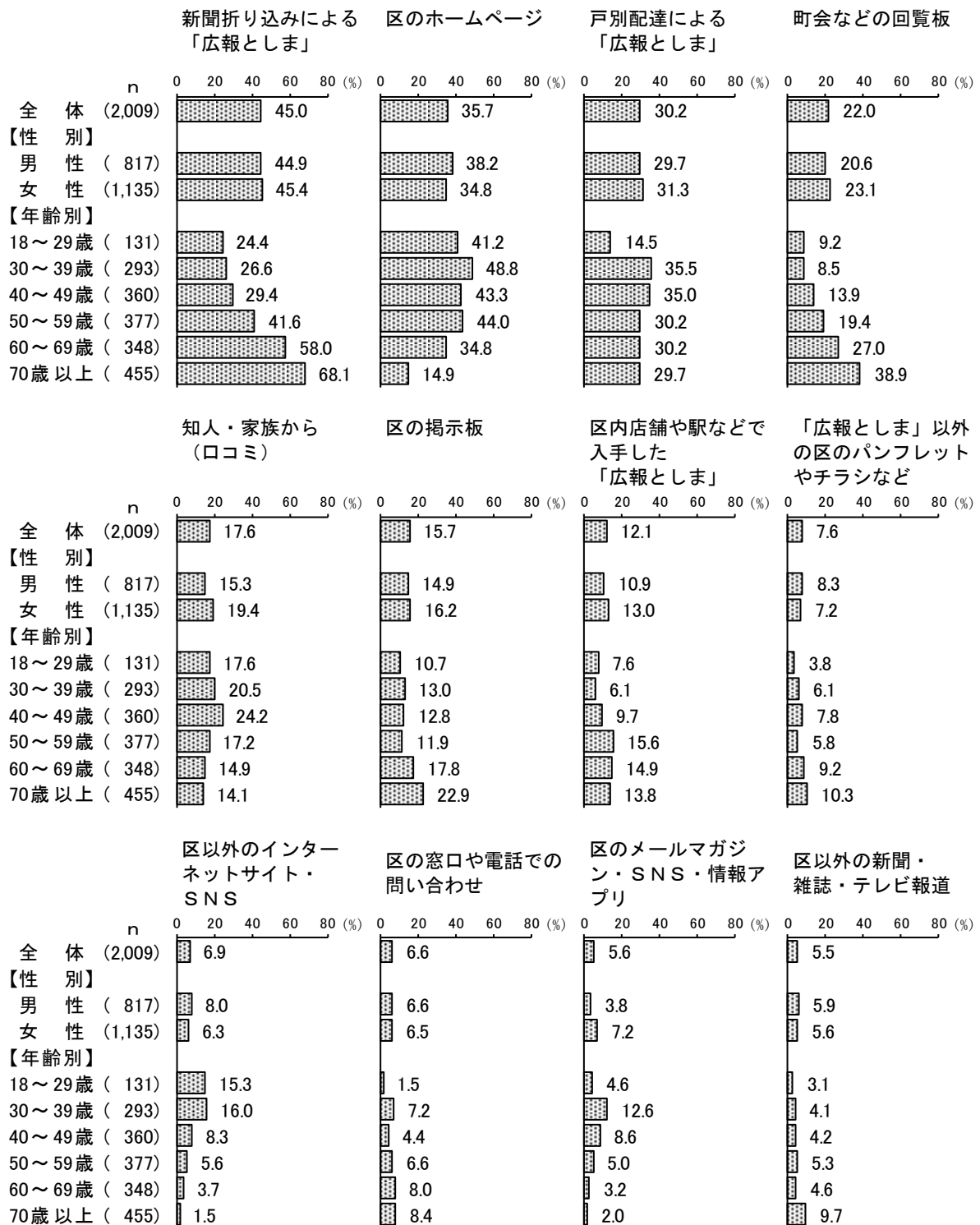
過去の調査結果と比較すると、「区のホームページ」は令和2年度より9.6ポイント増加している。



【性別、年齢別】（上位12項目）

性別でみると、「知人・家族から（口コミ）」は女性（19.4%）が男性（15.3%）より4.1ポイント高くなっている。

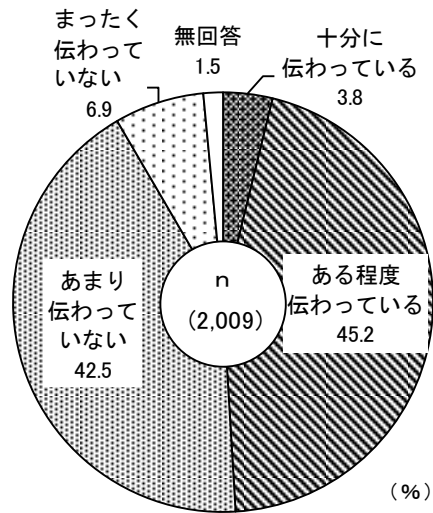
年齢別でみると、「新聞折り込みによる『広報としま』」は70歳以上（68.1%）で7割近くと高くなっている。「区のホームページ」は30～39歳（48.8%）で5割近くと高くなっている。「戸別配達による『広報としま』」は30～39歳（35.5%）、40～49歳（35.0%）で3割半ばと高くなっている。「町会などの回覧板」は70歳以上（38.9%）で4割近くと高くなっている。



(2) 区政情報が伝わっていると思うか

問9 あなたは、区政情報が伝わっていると思いますか（1つに○）

区政情報が伝わっていると思うか聞いたところ、「十分に伝わっている」(3.8%)と「ある程度伝わっている」(45.2%)を合わせた『伝わっている(計)』(49.1%)は約5割となっている。一方、「あまり伝わっていない」(42.5%)と「まったく伝わっていない」(6.9%)を合わせた『伝わっていない(計)』(49.4%)も約5割となっている。

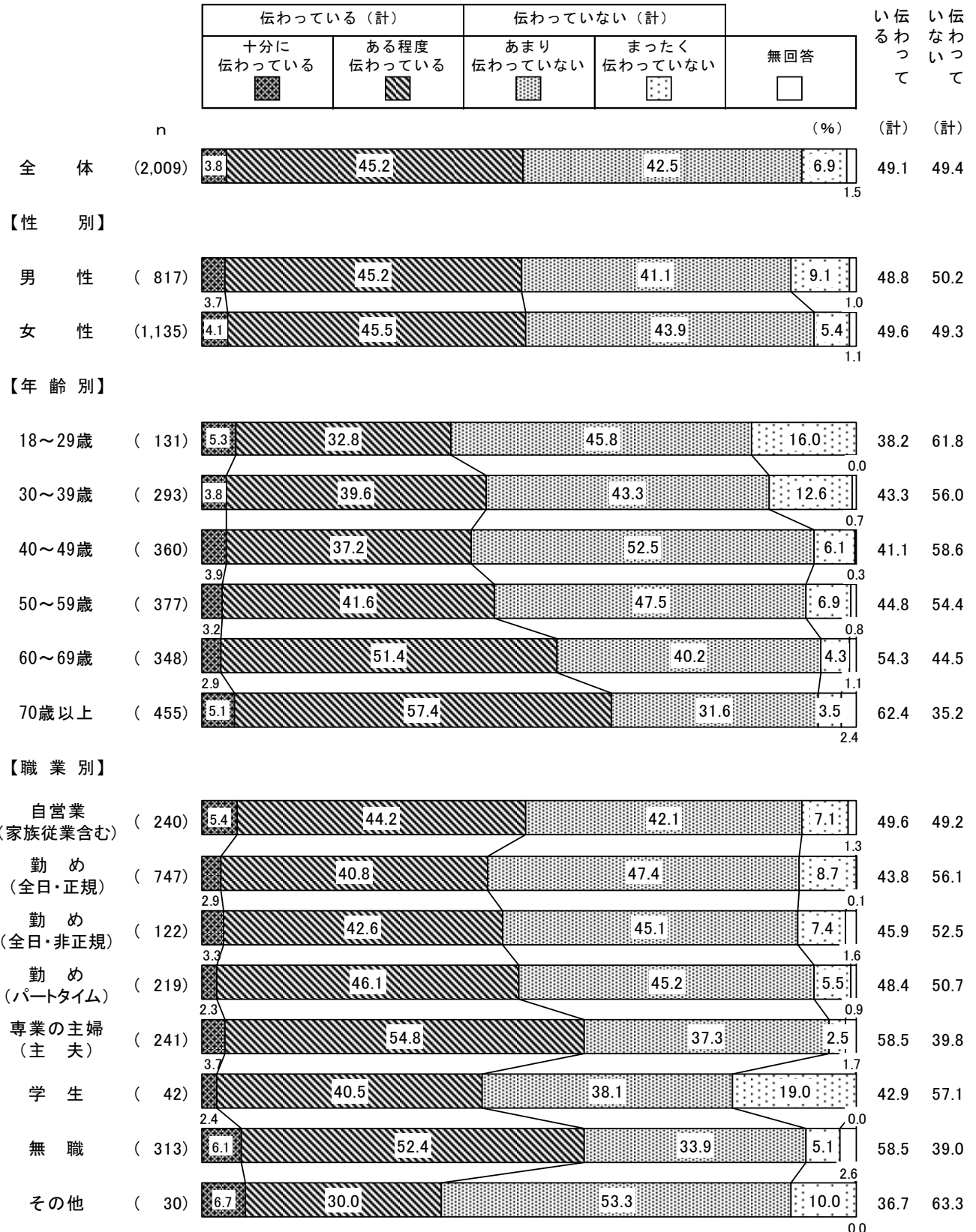


【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「まったく伝わっていない」は男性（9.1%）が女性（5.4%）より3.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『伝わっている（計）』は70歳以上（62.4%）で6割を超えて高くなっている。一方、『伝わっていない（計）』は18～29歳（61.8%）で6割を超えて高くなっている。

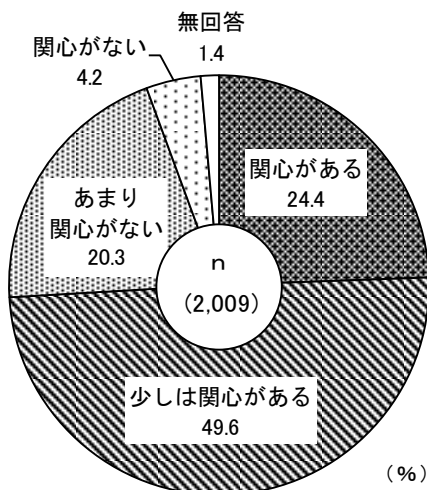
職業別でみると、『伝わっている（計）』は専業の主婦（主夫）（58.5%）、無職（58.5%）で6割近くと高くなっている。



(3) 区政への関心

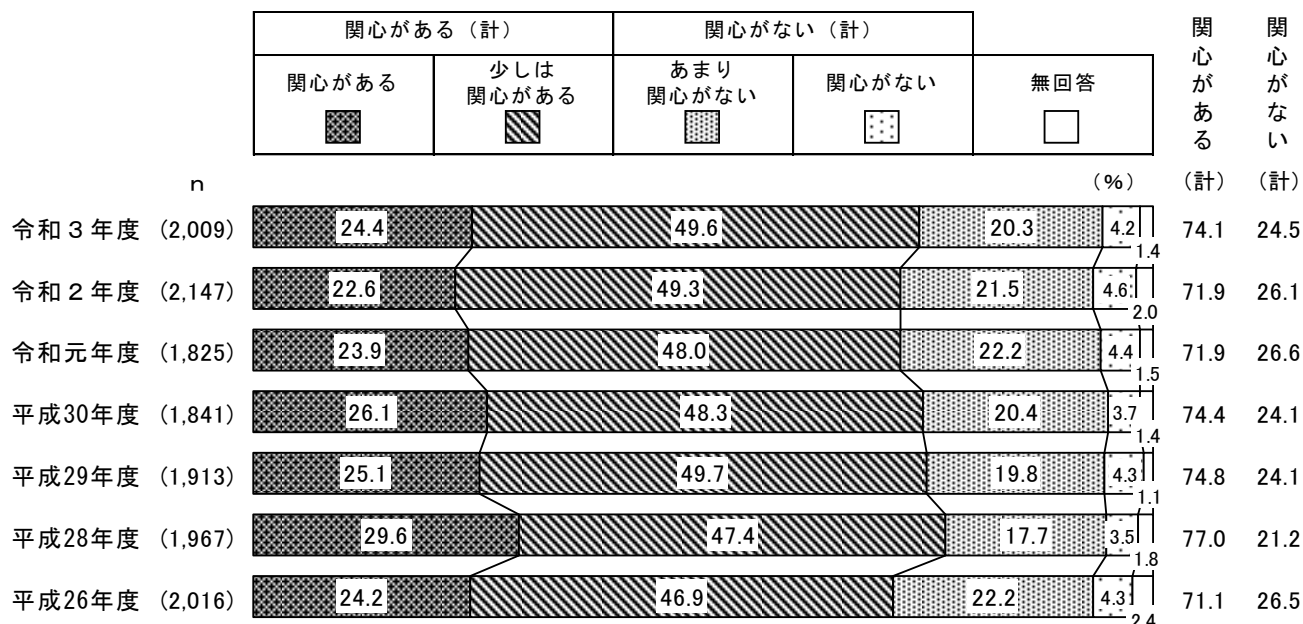
問10 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

区政に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(24.4%)と「少しは関心がある」(49.6%)を合わせた『関心がある(計)』(74.1%)は7割半ばとなっている。一方、「あまり関心がない」(20.3%)と「関心がない」(4.2%)を合わせた『関心がない(計)』(24.5%)は2割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『関心がある(計)』は令和2年度より2.2ポイント増加している。

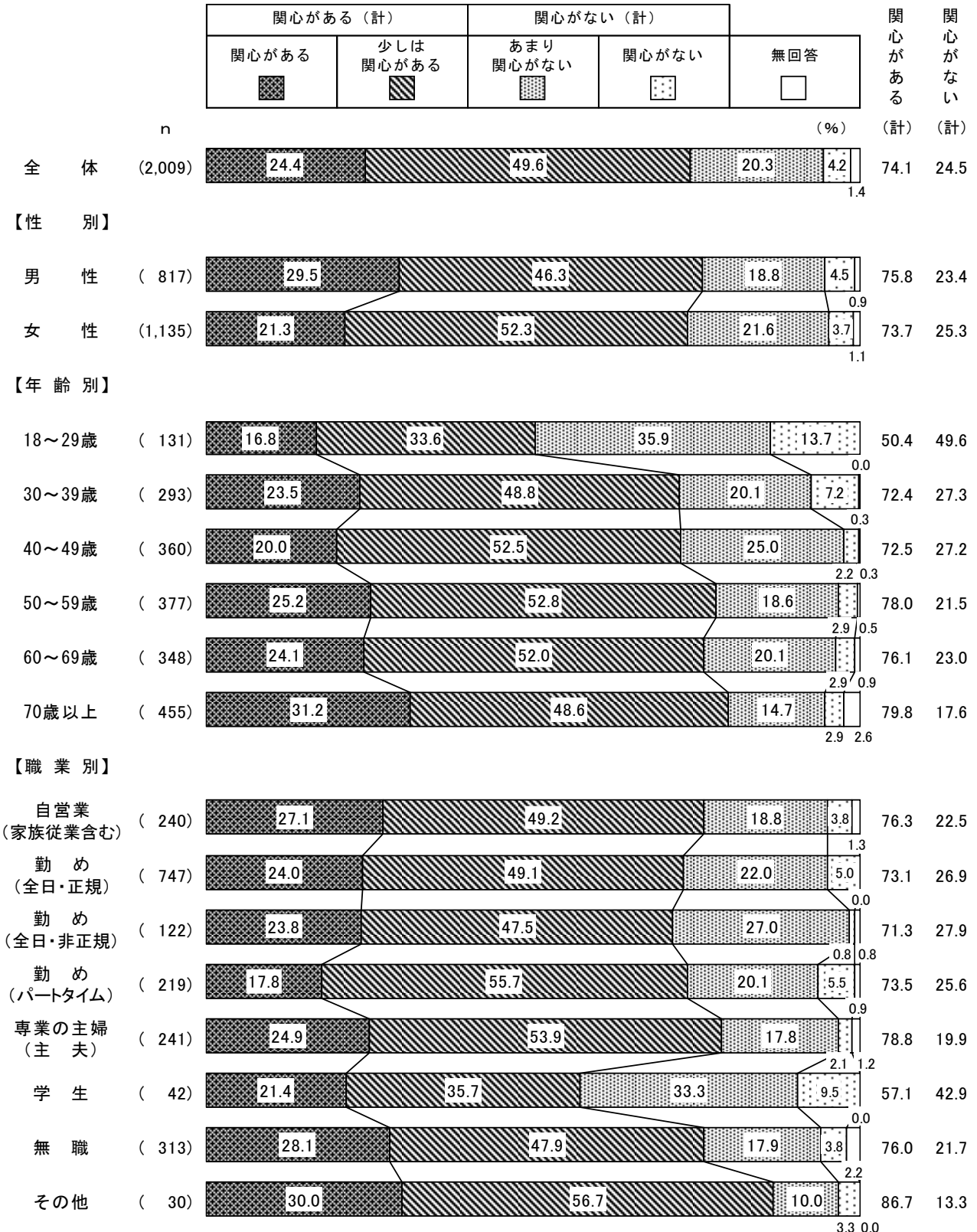


※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「関心がある」は男性（29.5%）が女性（21.3%）より8.2ポイント高くなっている。
 年齢別でみると、『関心がある（計）』は70歳以上（79.8%）で8割と高くなっている。

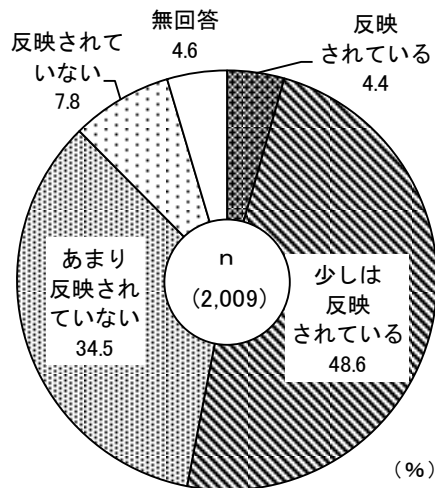
職業別でみると、『関心がある（計）』は専業の主婦（主夫）（78.8%）で8割近くと高くなっている。
 一方、『関心がない（計）』は学生（42.9%）で4割を超えて高くなっている。



(4) 区の政策に区民の意見が反映されているか

問 11 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。
(1つに○)

区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思うか聞いたところ、「反映されている」(4.4%)と「少しは反映されている」(48.6%)を合わせた『反映されている(計)』(53.0%)は5割を超えている。一方、「あまり反映されていない」(34.5%)と「反映されていない」(7.8%)を合わせた『反映されていない(計)』(42.4%)は4割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、令和2年度と比べて大きな違いはみられない。

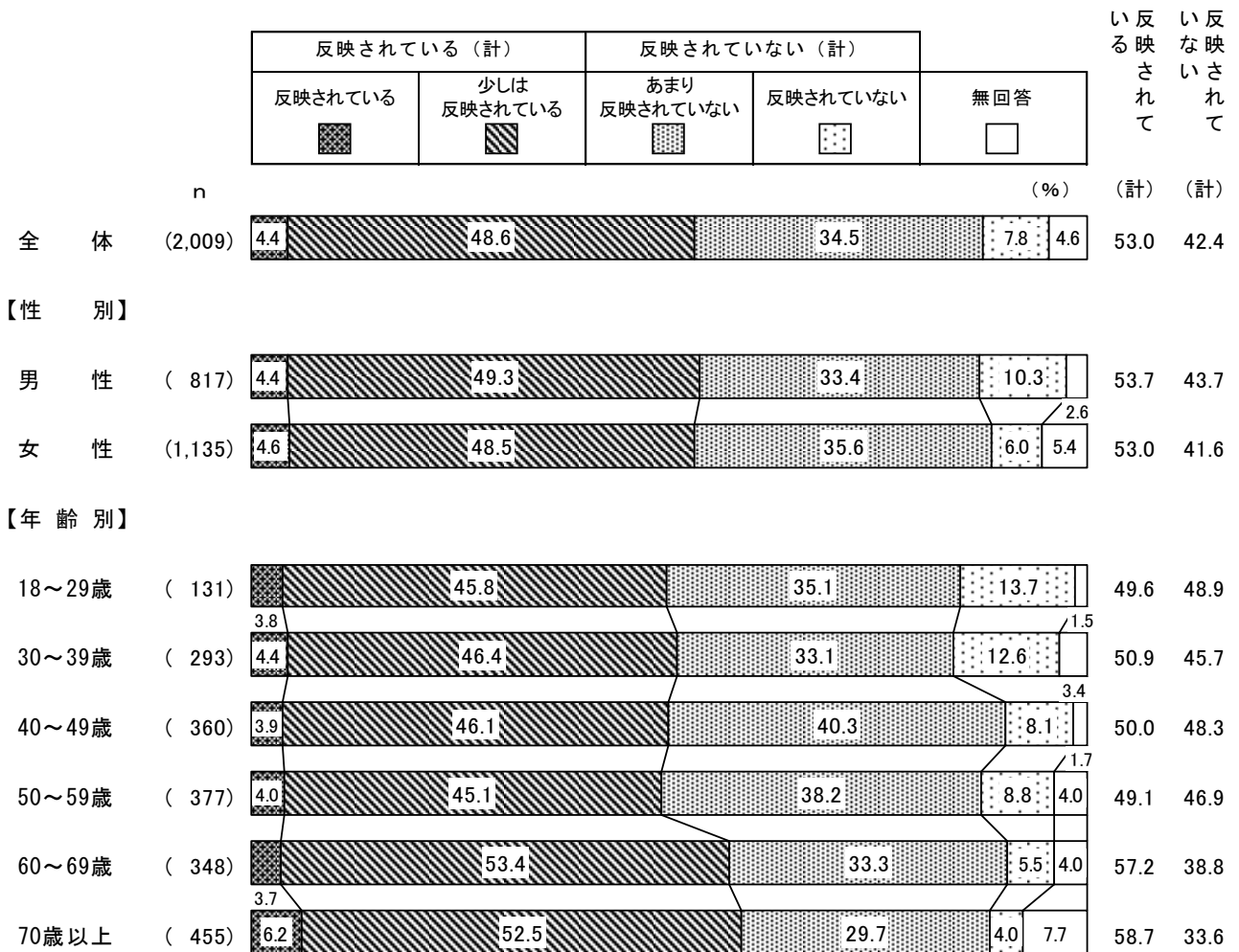
年度	n	割合 (%)					い反 る映 され て (計)	い反 ない され て (計)
		反映されている	少しは反映されている	あまり反映されていない	反映されていない	無回答		
令和3年度	(2,009)	4.4	48.6	34.5	7.8	4.6	53.0	42.4
令和2年度	(2,147)	4.4	49.0	34.0	7.4	5.2	53.4	41.4
令和元年度	(1,825)	4.3	47.8	34.7	7.8	5.4	52.1	42.5
平成30年度	(1,841)	3.8	44.7	38.0	7.6	5.9	48.5	45.6
平成29年度	(1,913)	3.9	43.1	39.7	8.9	4.4	47.0	48.6
平成28年度	(1,967)	3.1	42.7	39.2	8.7	6.3	45.8	47.9
平成26年度	(2,016)	2.3	36.4	44.0	11.2	6.2	38.7	55.2

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、「反映されていない」は男性（10.3%）が女性（6.0%）より4.3ポイント高くなっている。

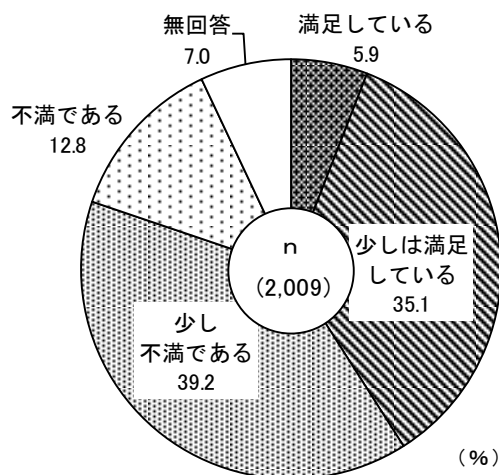
年齢別でみると、『反映されている（計）』は60～69歳（57.2%）、70歳以上（58.7%）で6割近くと高くなっている。一方、『反映されていない（計）』は18～29歳（48.9%）、40～49歳（48.3%）で5割近くと高くなっている。



(5) 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度

問 12 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

区に意見を述べる機会や手段、方法に満足しているか聞いたところ、「満足している」(5.9%)と「少しは満足している」(35.1%)を合わせた『満足している(計)』(41.0%)は4割を超えている。一方、「少し不満である」(39.2%)と「不満である」(12.8%)を合わせた『不満である(計)』(52.0%)は5割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『満足している(計)』は平成26年度以降増加傾向にある。

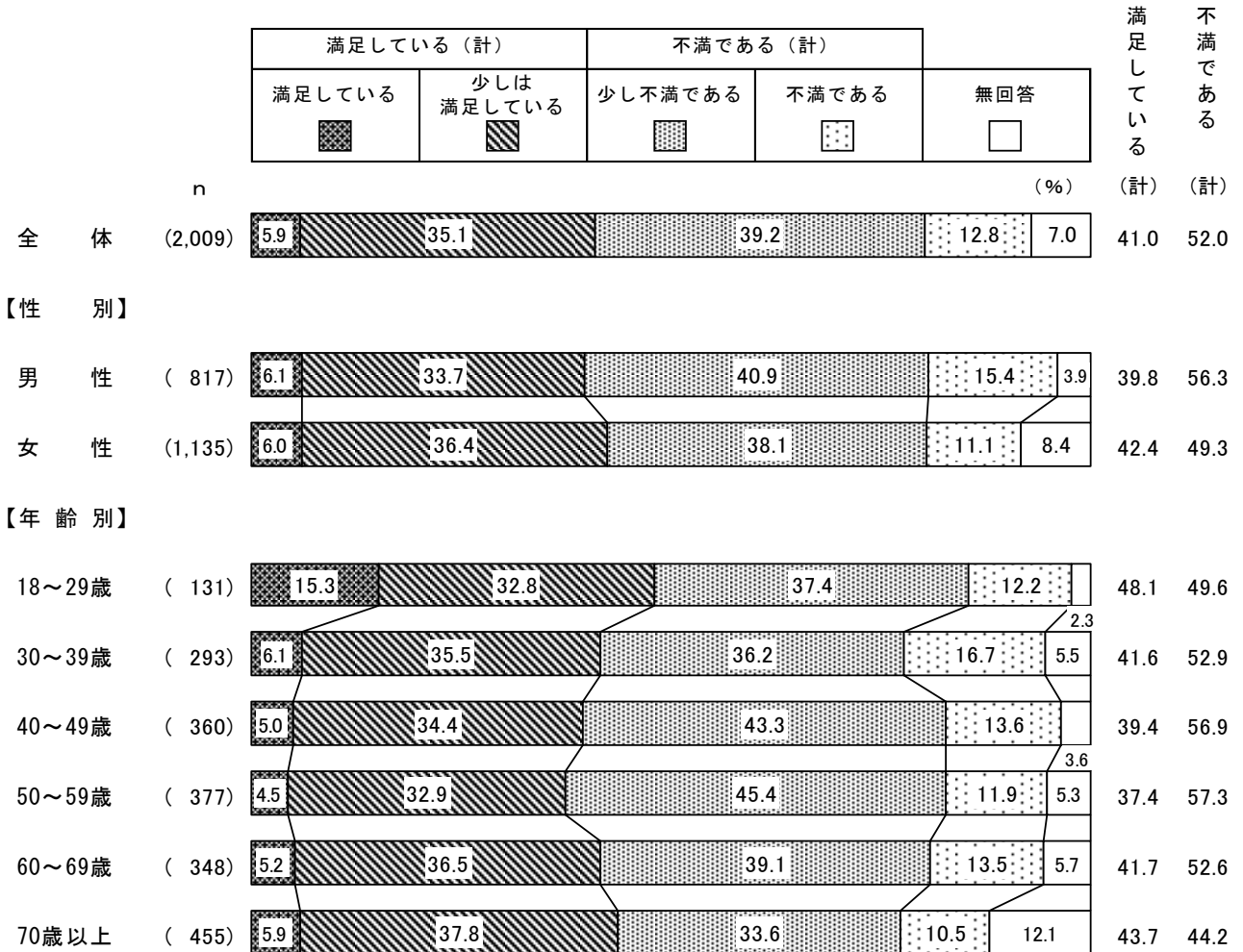
年度	n	満足している(計)				不満である(計)				無回答 (%)	満足している(計) (%)	不満である(計) (%)
		満足している (%)	少しは満足している (%)	少し不満である (%)	不満である (%)	満足している (%)	少し不満である (%)	不満である (%)				
令和3年度	(2,009)	5.9	35.1	39.2	12.8	7.0	41.0	52.0				
令和2年度	(2,147)	6.2	32.9	38.6	14.0	8.3	39.1	52.6				
令和元年度	(1,825)	6.2	33.2	37.2	14.9	8.5	39.4	52.1				
平成30年度	(1,841)	5.9	29.9	39.0	16.3	8.9	35.8	55.3				
平成29年度	(1,913)	5.4	29.7	41.0	17.0	6.9	35.1	58.0				
平成28年度	(1,967)	4.8	28.3	39.5	17.5	9.9	33.1	57.0				
平成26年度	(2,016)	4.6	25.5	42.9	18.2	8.8	30.1	61.1				

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、『不満である（計）』は男性（56.3%）が女性（49.3%）より7.0ポイント高くなっている。

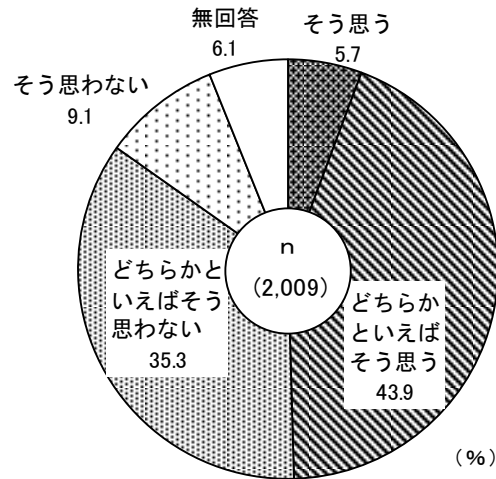
年齢別でみると、『満足している（計）』は18～29歳（48.1%）で5割近くと高くなっている。一方、『不満である（計）』は40～49歳（56.9%）、50～59歳（57.3%）で6割近くと高くなっている。



(6) 柔軟な区政運営ができているか

問13 あなたは、区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。(1つに○)

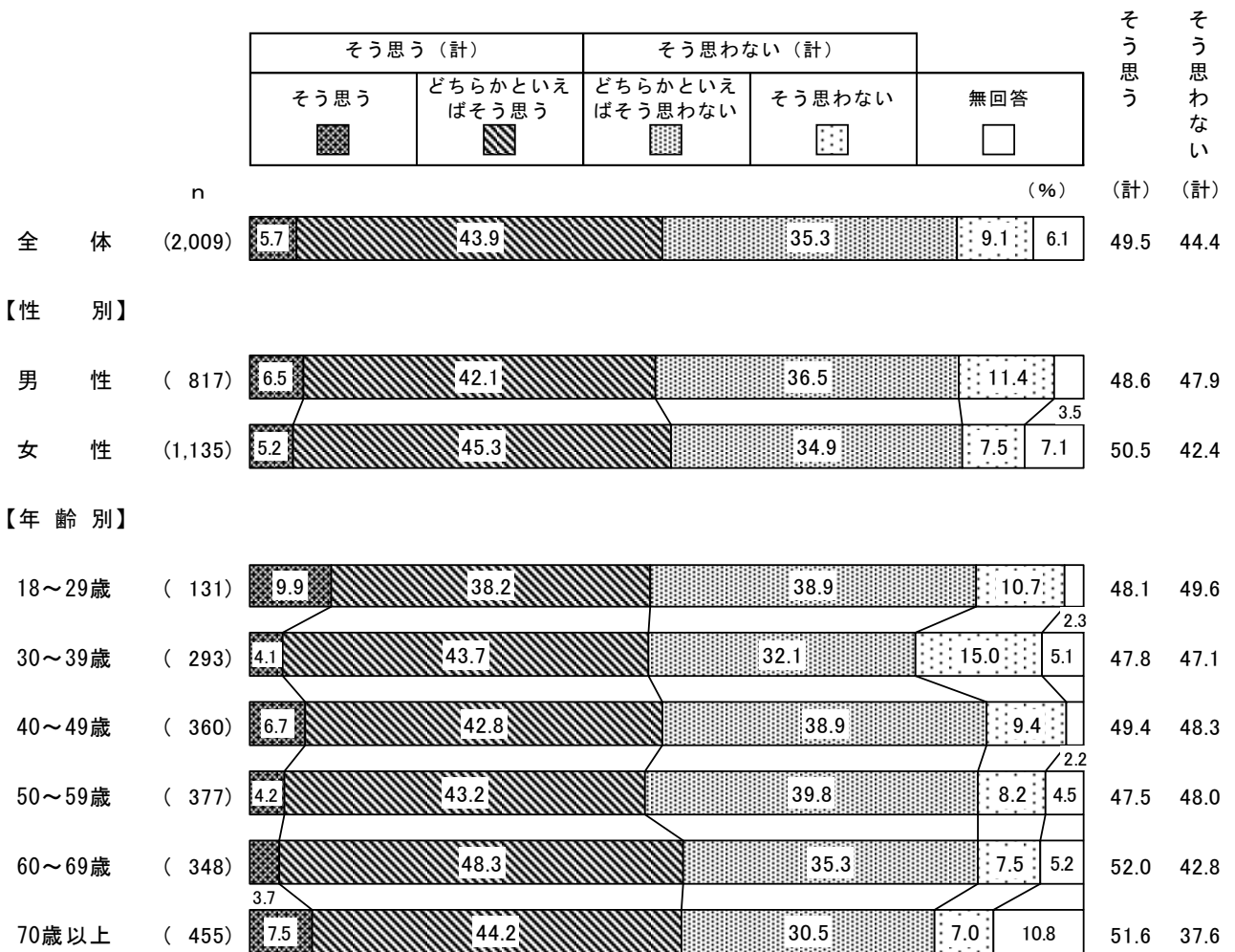
区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思うか聞いたところ、「そう思う」(5.7%)と「どちらかといえばそう思う」(43.9%)を合わせた『そう思う(計)』(49.5%)は5割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(35.3%)と「そう思わない」(9.1%)を合わせた『そう思わない(計)』(44.4%)は4割半ばとなっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、『そう思わない（計）』は男性（47.9%）が女性（42.4%）より5.5ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は60～69歳（52.0%）、70歳以上（51.6%）で5割を超えている。



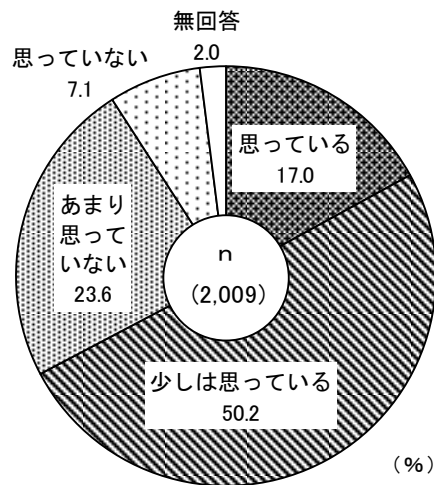
2. 地域との関わりについて

(1) 地域のために何か役に立ちたいか

問14 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。

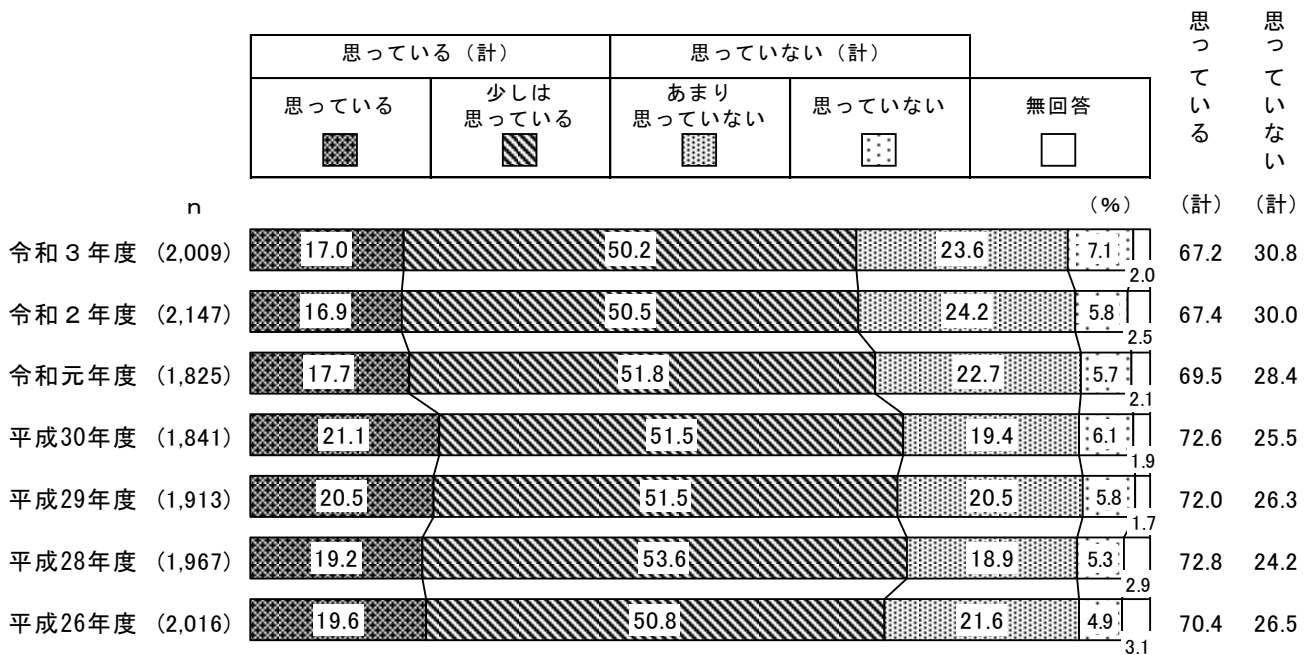
(1つに○)

地域のために何か役立ちたいと思っているか聞いたところ、「思っている」(17.0%)と「少しは思っている」(50.2%)を合わせた『思っている(計)』(67.2%)は7割近くとなっている。一方、「あまり思っていない」(23.6%)と「思っていない」(7.1%)を合わせた『思っていない(計)』(30.8%)は約3割となっている。



【経年比較】

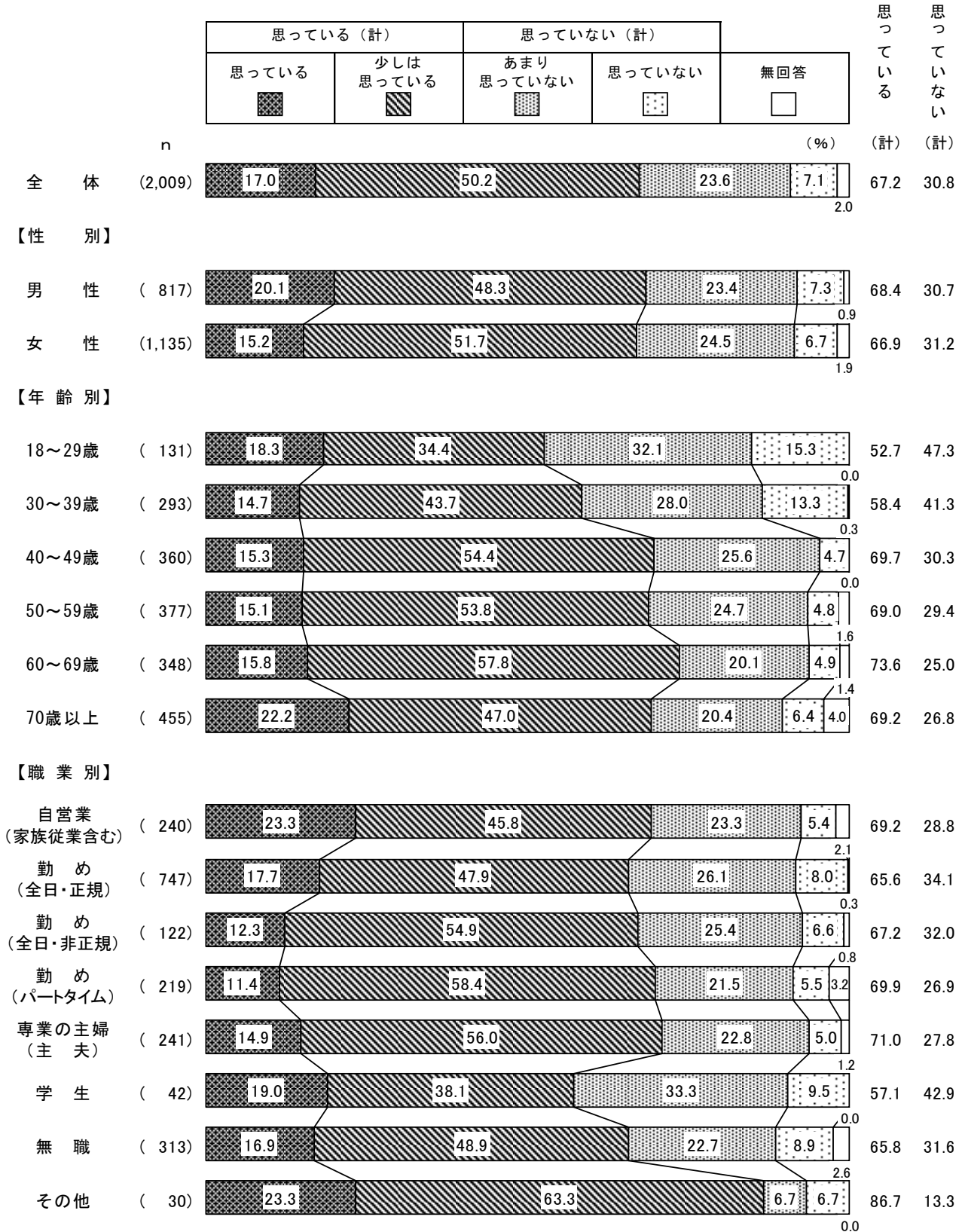
過去の調査結果と比較すると、令和2年度と比べて大きな違いはみられない。



※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、「思っている」は男性（20.1%）が女性（15.2%）より4.9ポイント高くなっている。
 年齢別でみると、『思っている（計）』は60～69歳（73.6%）で7割半ばと高くなっている。一方、『思っていない（計）』は18～29歳（47.3%）、30～39歳（41.3%）で4割台と高くなっている。
 職業別でみると、「思っている」は自営業（家族従業員含む）（23.3%）で2割を超えている。



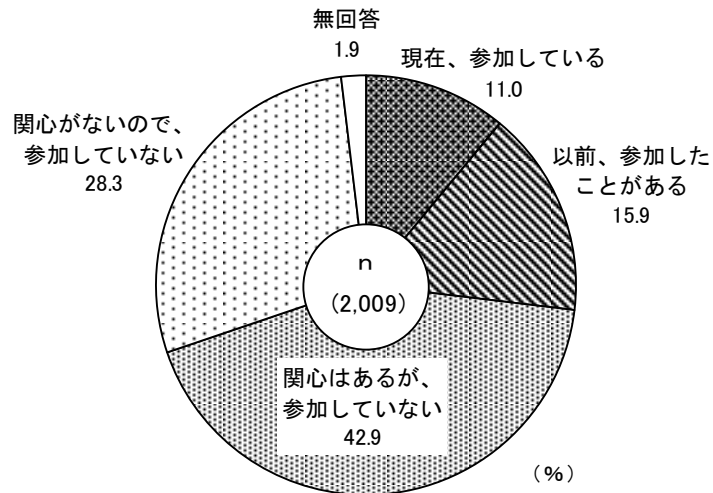
(2) 町会、自治会などの地域活動への参加状況

問15 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。

(1つに○)

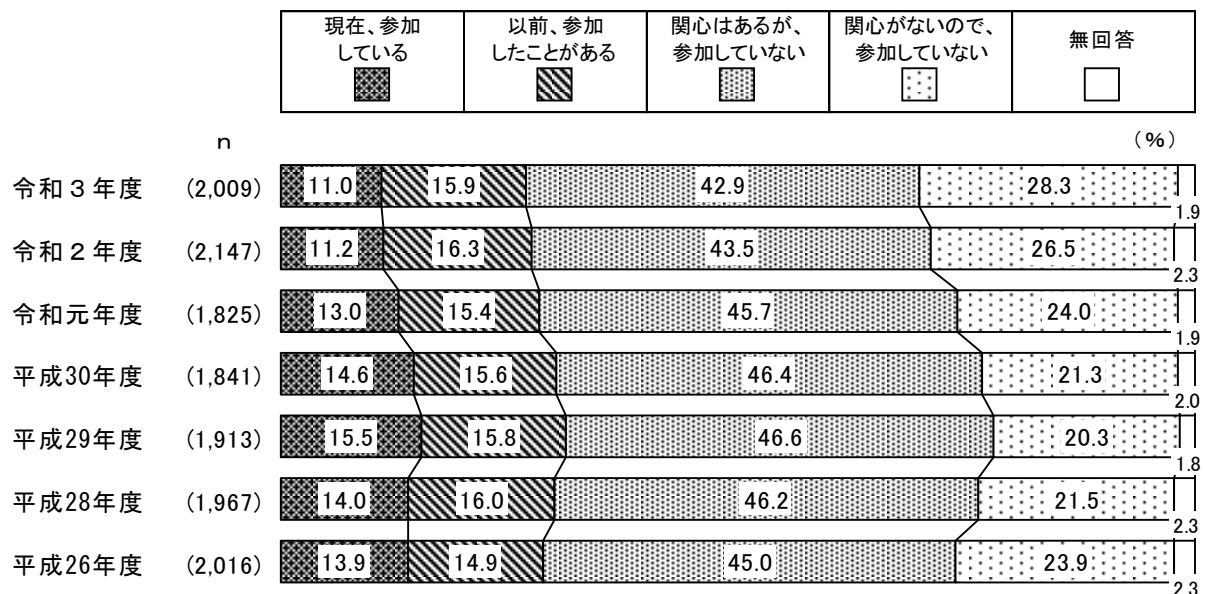
町会、自治会などの地域活動に参加しているか聞いたところ、「現在、参加している」(11.0%)が1割を超え、「以前、参加したことがある」(15.9%)は1割半ばとなっている。

「関心はあるが、参加していない」(42.9%)が4割を超え、「関心がないので、参加していない」(28.3%)は3割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「現在、参加している」は平成29年度以降減少傾向にある。



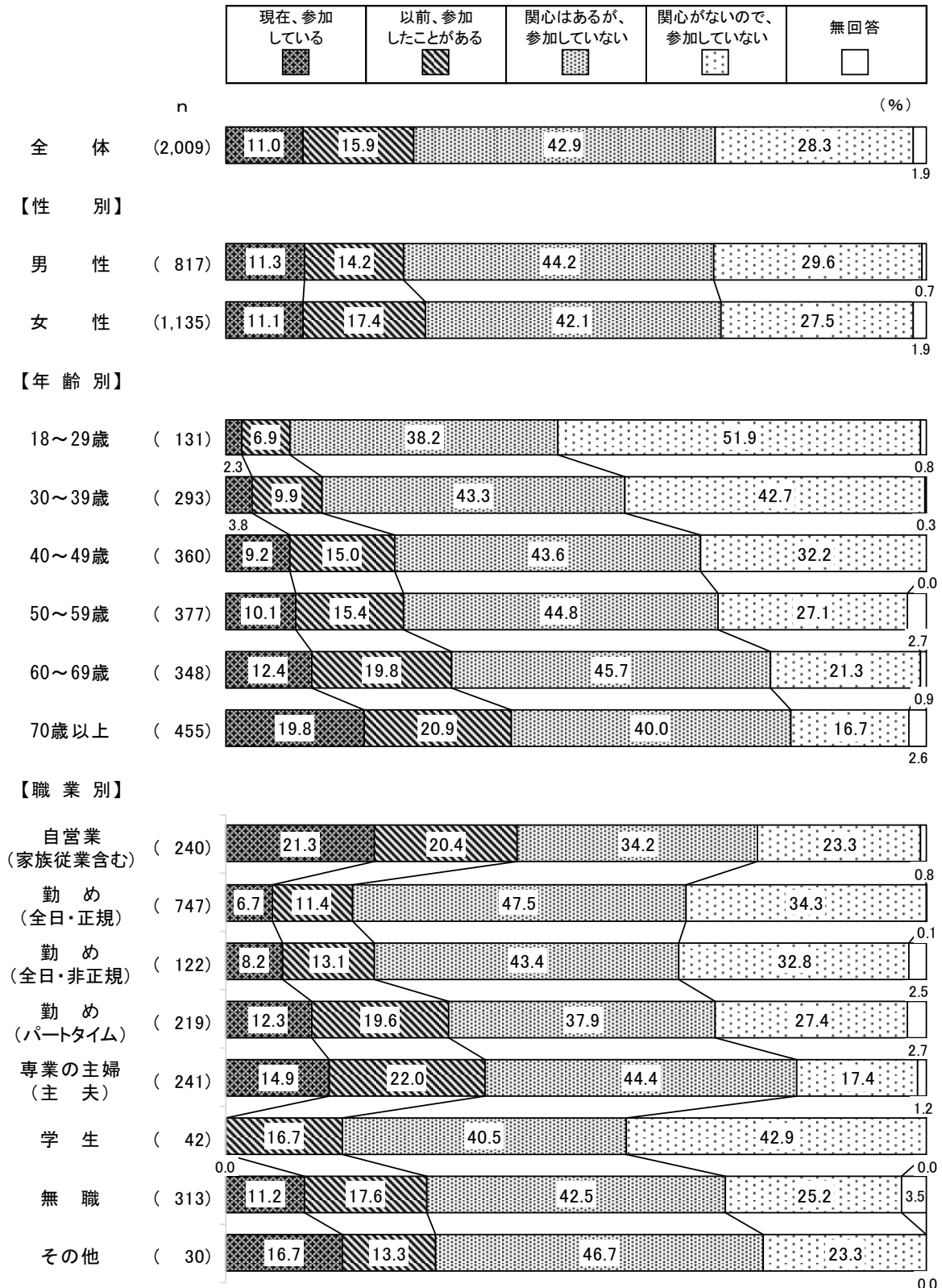
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、「以前、参加したことがある」は女性（17.4%）が男性（14.2%）より3.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「現在、参加している」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（19.8%）で2割となっている。「関心がないので、参加していない」は年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（51.9%）で5割を超えて高くなっている。

職業別でみると、「関心はあるが、参加していない」は勤め（全日・正規）（47.5%）で5割近くと高くなっている。

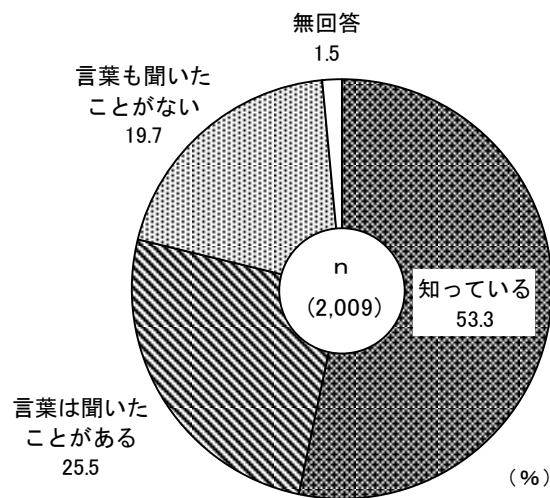


3. SDGs（エス・ディー・ジーズ）について

(1) SDGsの認知度

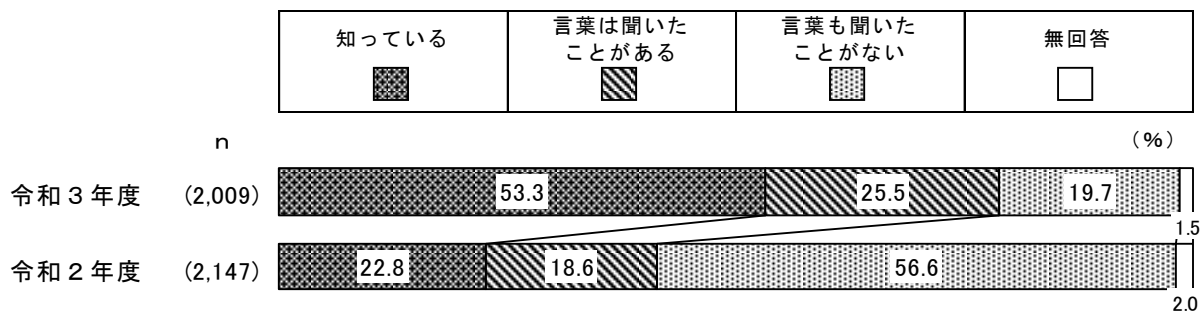
問16 豊島区は、SDGsについて先導的な取組を行う自治体として、2020年7月、東京都特別区で初めて「SDGs未来都市」に選定されました。
あなたは、SDGsについて知っていますか。（1つに〇）

SDGsについて知っているか聞いたところ、「知っている」(53.3%)が5割を超え、「言葉は聞いたことがある」(25.5%)は2割半ばとなっている。一方、「言葉も聞いたことがない」(19.7%)は2割となっている。



【経年比較】

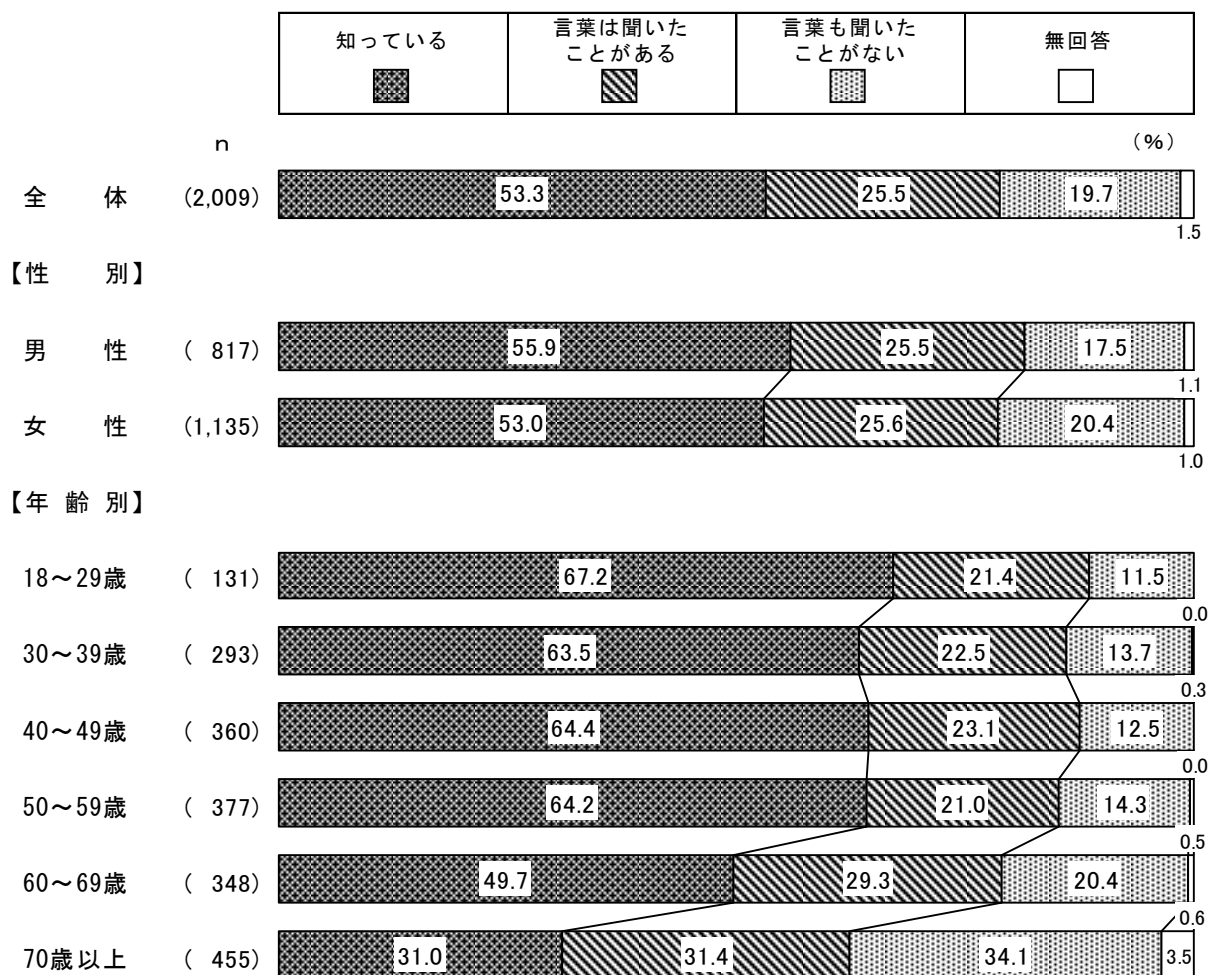
過去の調査結果と比較すると、「知っている」は令和2年度より30.5ポイント、「言葉は聞いたことがある」は令和2年度より6.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「言葉も聞いたことがない」は令和2年度より36.9ポイント減少している。



【性別、年齢別】

性別でみると、「知っている」は男性（55.9%）が女性（53.0%）より2.9ポイント高くなっている。一方、「言葉も聞いたことがない」は女性（20.4%）が男性（17.5%）より2.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「知っている」は18～29歳（67.2%）、30～39歳（63.5%）、40～49歳（64.4%）、50～59歳（64.2%）で6割台となっている。一方、「言葉も聞いたことがない」は70歳以上（34.1%）で3割半ばと高くなっている。

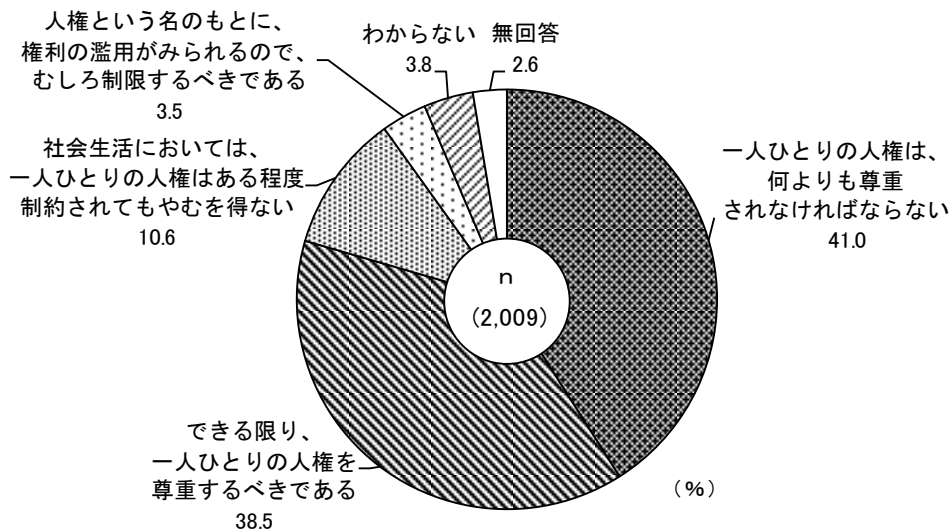


4. 人権について

(1) 人権についての考え

問17 あなたは、人権についてどのようにお考えですか。(1つに〇)

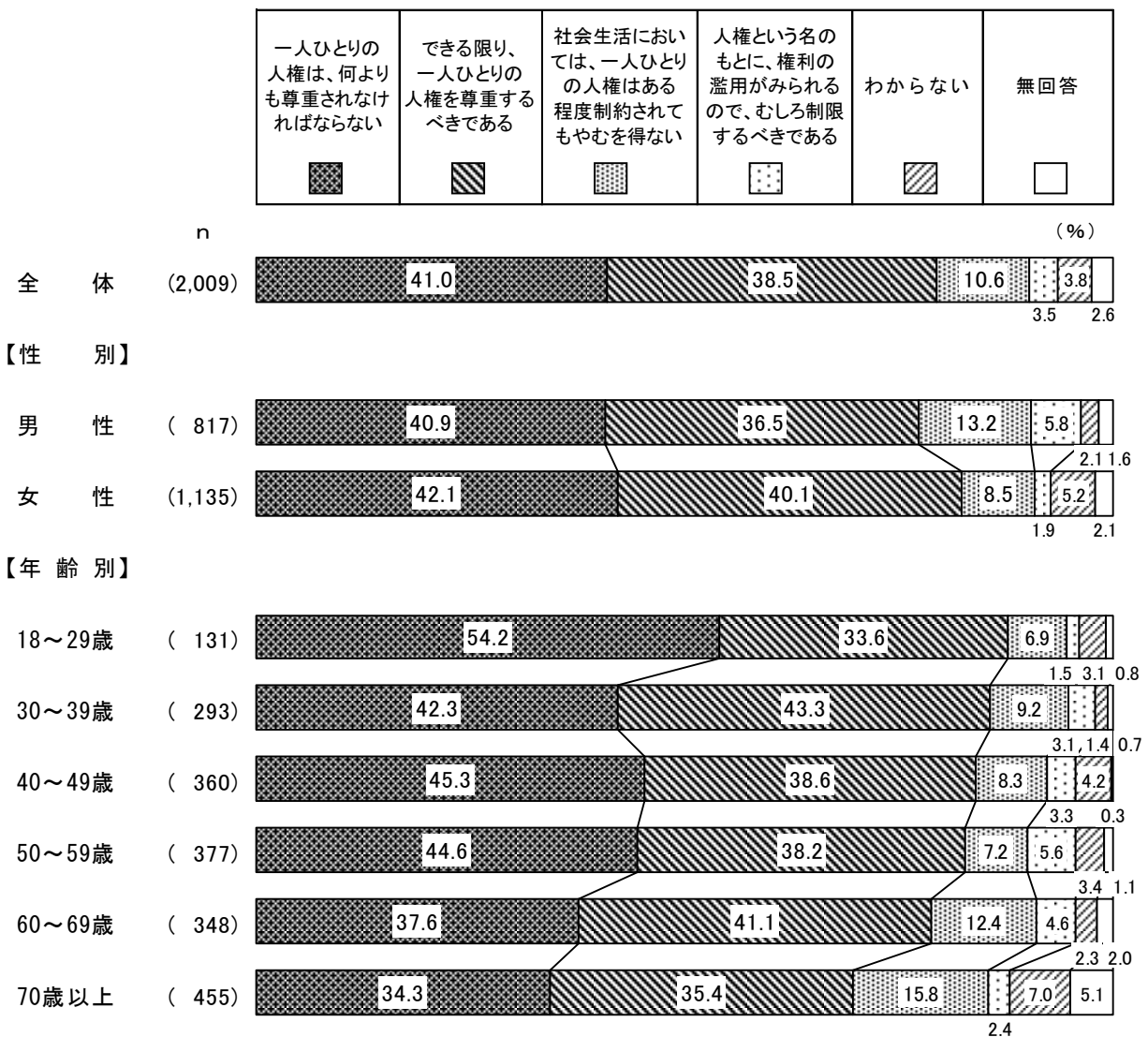
人権についての考えを聞いたところ、「一人ひとりの人権は、何よりも尊重されなければならない」(41.0%)が4割を超え、「できる限り、一人ひとりの人権を尊重すべきである」(38.5%)は4割近くとなっている。「社会生活においては、一人ひとりの人権はある程度制約されてもやむを得ない」(10.6%)は約1割、「人権という名のもとに、権利の濫用がみられるので、むしろ制限すべきである」(3.5%)はわずかとなっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「社会生活においては、一人ひとりの人権はある程度制約されてもやむを得ない」は男性（13.2%）が女性（8.5%）より4.7ポイント高く、「人権という名のもとに、権利の濫用がみられるので、むしろ制限するべきである」は男性（5.8%）が女性（1.9%）より3.9ポイント高くなっている。一方、「できる限り、一人ひとりの人権を尊重するべきである」は女性（40.1%）が男性（36.5%）より3.6ポイント高くなっている。

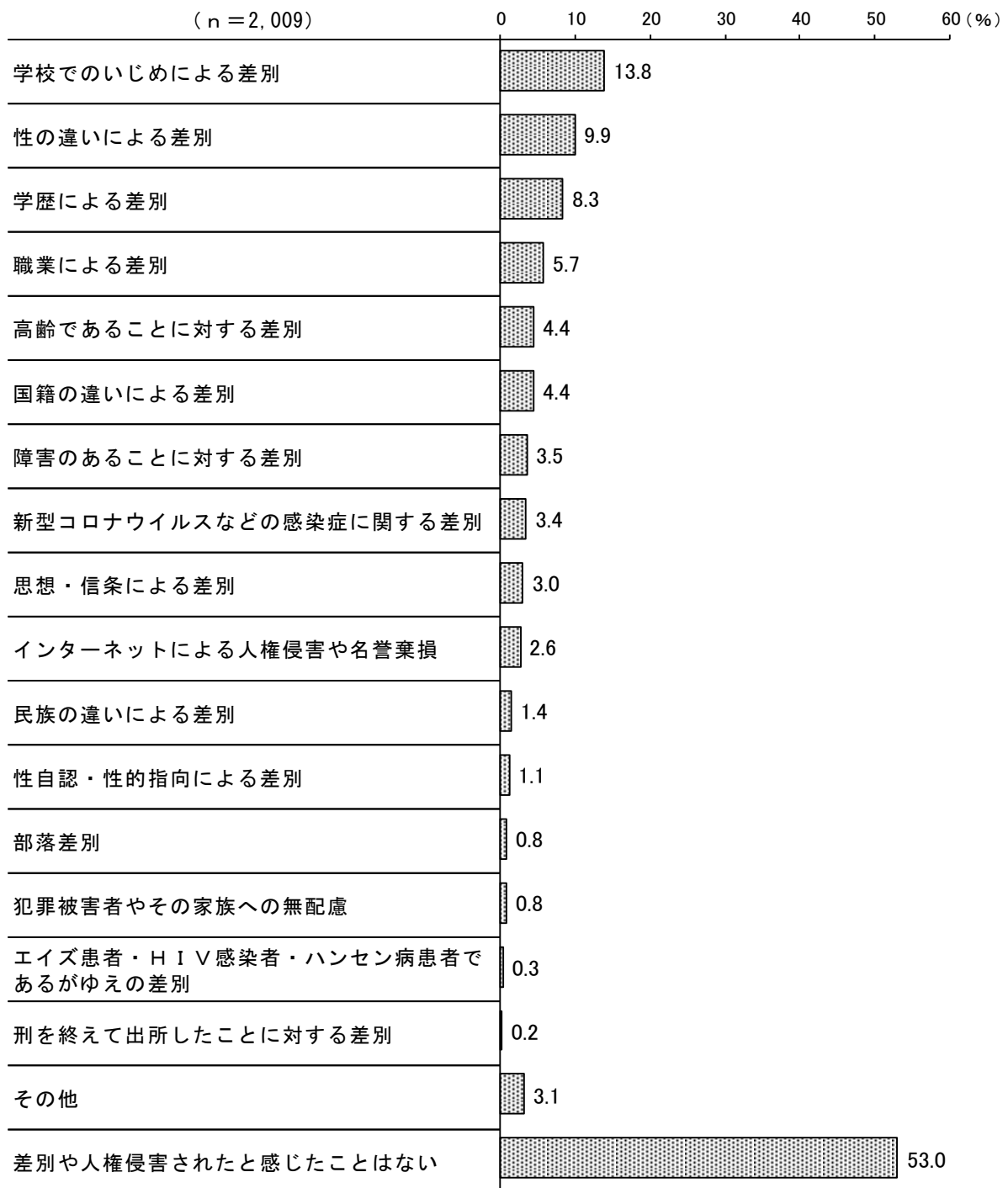
年齢別でみると、「一人ひとりの人権は、何よりも尊重されなければならない」は18～29歳（54.2%）で5割半ばと高くなっている。「できる限り、一人ひとりの人権を尊重するべきである」は30～39歳（43.3%）、60～69歳（41.1%）で4割台となっている。「社会生活においては、一人ひとりの人権はある程度制約されてもやむを得ない」は70歳以上（15.8%）で1割半ばとなっている。



(2) 差別や人権侵害されたと感じたことの有無

問 18 あなたはこれまでに、自分や家族が差別や人権侵害されたと感じたことがありますか。
(いくつでも○)

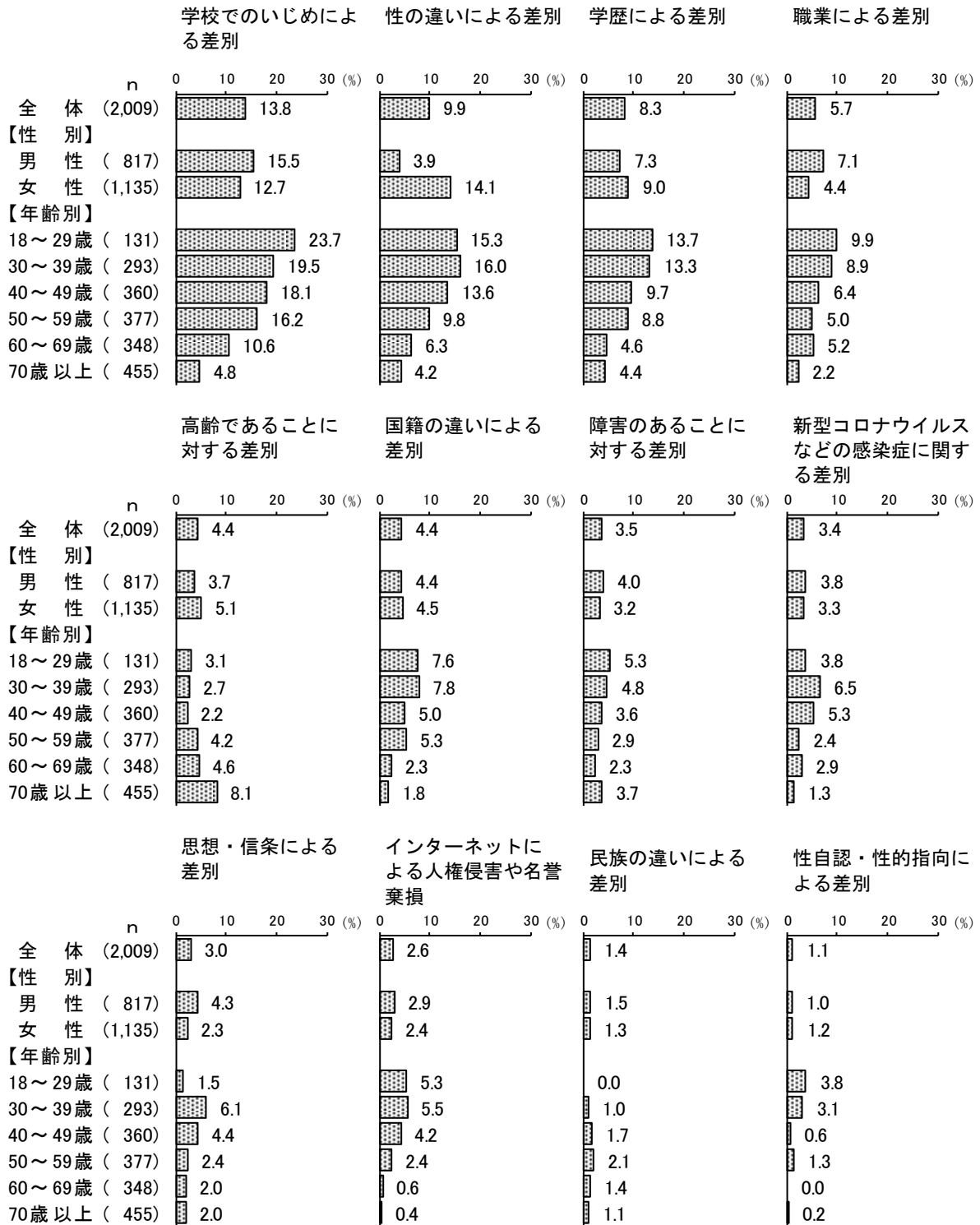
これまでに、自分や家族が差別や人権侵害されたと感じたことがあるか聞いたところ、「差別や人権侵害されたと感じたことはない」(53.0%)が5割を超えて最も高く、次いで「学校でのいじめによる差別」(13.8%)、「性の違いによる差別」(9.9%)、「学歴による差別」(8.3%)となっている。



【性別、年齢別】(上位12項目)

性別でみると、「性の違いによる差別」は女性(14.1%)が男性(3.9%)より10.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「学校でのいじめによる差別」は18~29歳(23.7%)で2割半ばと高くなっている。「性の違いによる差別」は18~29歳(15.3%)、30~39歳(16.0%)、40~49歳(13.6%)で1割を超えている。



(3) 最もひどいと感じた差別や人権侵害

《問 18 で、「1」～「17」のいずれかに○をつけた方（差別や人権侵害されたと感じたことがある方）におたずねします》

問 18-1 選んだ選択肢のうち、最もひどいと感じた差別や人権侵害はどのようなものでしたか。具体的にご記入ください。

差別や人権侵害されたと感じたことがあると答えた方に、最もひどいと感じた内容を聞いたところ、427 人の方から回答を得られた。回答内容によって複数に分けた内容もあるため、全体の件数は 434 件となっている。分類別の件数と内容の一部を下記に抜粋した。

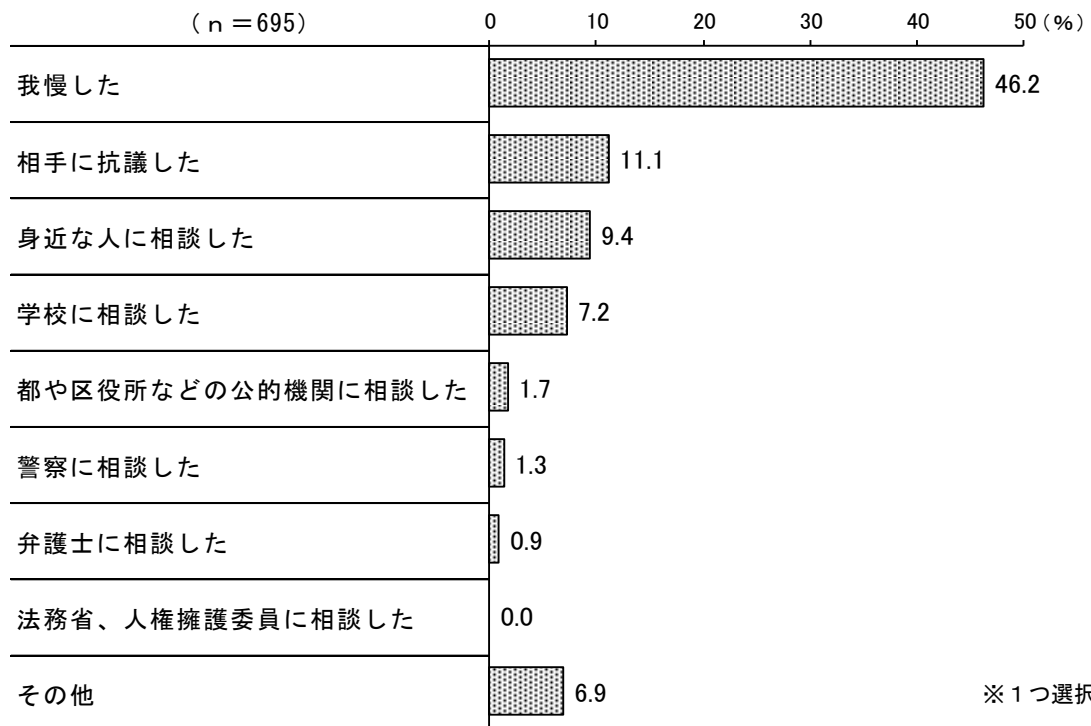
分類項目	件数	主な内容（要旨）
学校でのいじめによる差別	133	いじめに関して学校に相談したが対応してもらえず転校を選択
		いじめる側が誰かわからないような卑怯な行為で対抗できなかった
		いじめられる方にも問題があるとの加害者側の言葉に不条理を感じた
		教師による勉強の出来・不出来による学生への差別
性の違いによる差別	78	生まれつき毛髪が茶色なのに教師に信用されず、嫌な思いをした
		育休復帰後、時短を理由に前と違うメインから外れた仕事をさせられる
		性別を理由に管理職を任せることをためらう風潮が職場で改善されない
		若い未婚女性の場合、面接で結婚の予定などを聞かれることが多い
国籍の違いによる差別	35	父親は子育てサービスを受けられない場合がある
		家族が他国籍であることで賃貸契約がなかなか難しい
		コンビニの外国人レジスタッフに対して商品を投げたりする買い物客の態度
高齢であることに対する差別	27	海外旅行の際、レストランで明らかに席の違いを感じ嫌な思いをした
		働く意欲が十分にあるのに、60代だと応募さえできないことがある
		住居探しの際、通常は必要ない証明書を求められ、礼金も2倍と言われた
職業による差別	24	病院で「年寄りなんだから診る意味ない」というような旨の言葉を受けた
		正規雇用、非正規雇用における差別
新型コロナウイルスなどの感染症に関する差別	21	ブルーワーカーということでの差別
		コロナが治っても仲間外れにされた
		都内在住というだけでコロナウイルスを保有していると思われた
学歴による差別	20	ワクチン接種の強要
		学歴で会社での待遇に差が大きかった
		職を探すときに学歴による制約があったこと
障害のあることに対する差別	16	仕事中、自分と高学歴の人に対する態度があからさまに違う
		子どもに障害があるとわかった時に学校を転校することをすすめられた
インターネットによる人権侵害や名誉棄損	14	介護事業者に不当な理由でサービス提供を拒まれた
		インターネット上で謂れのない中傷を書かれた
民族の違いによる差別	12	ヨーロッパにて東アジア人差別を痛感した
		会社での人種に対する落書きがあったこと

分類項目	件数	主な内容（要旨）
思想・信条による差別	8	信仰する宗教に対して陰口をたたかれた
		職場での事実でないうわさの流布、いじめ、いやがらせ
部落差別	7	出身地による差別
性自認・性的指向による差別	7	LGBTQに対する差別
その他	32	容姿・身体的特徴への差別
		職場でのモラハラ・パワハラ
		近隣からの嫌がらせ
		家庭環境や生活水準による差別
		親からの虐待
		犯罪被害者、その家族への無配慮
		若年であることへの差別

(4) 差別や人権侵害の対応

問 18-2 問 18-1 で記入した差別や人権侵害に対して、主にどのように対応しましたか。
(1つに○)

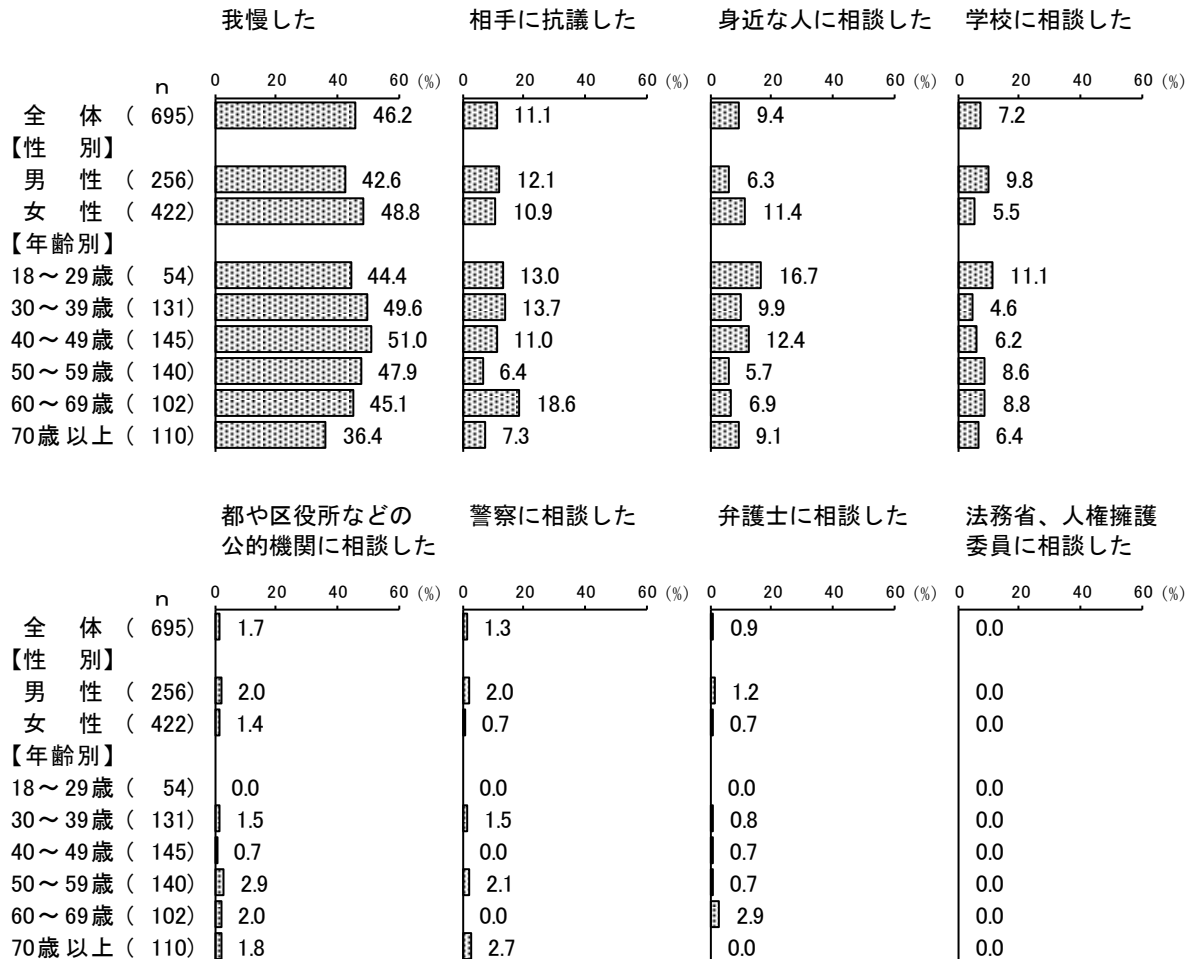
最もひどいと感じた差別や人権侵害に対して、主にどのように対応したか聞いたところ、「我慢した」(46.2%)が4割半ばで最も高く、次いで「相手に抗議した」(11.1%)、「身近な人に相談した」(9.4%)、「学校に相談した」(7.2%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「我慢した」は女性（48.8%）が男性（42.6%）より6.2ポイント、「身近な人に相談した」は女性（11.4%）が男性（6.3%）より5.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「学校に相談した」は男性（9.8%）が女性（5.5%）より4.3ポイント高くなっている。

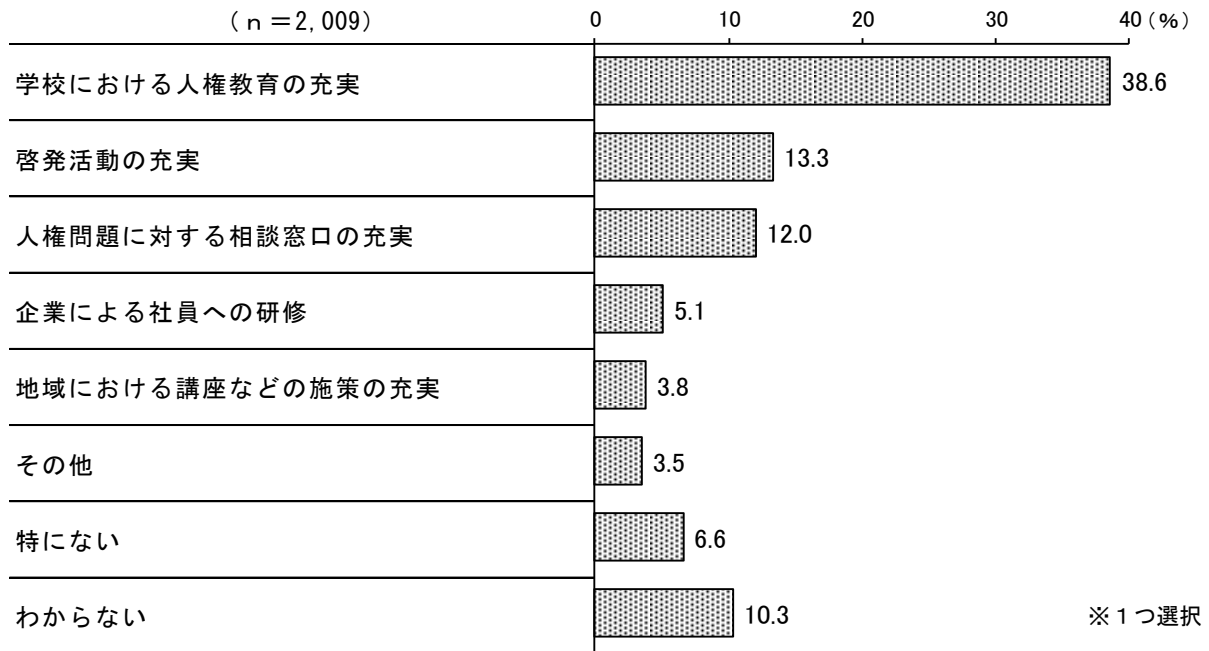
年齢別でみると、「我慢した」は30～39歳（49.6%）、40～49歳（51.0%）で約5割となっている。「相手に抗議した」は60～69歳（18.6%）で2割近くとなっている。



(5) 差別や偏見のない社会の実現に向けた取組

問 19 区民一人ひとりが尊重され、差別や偏見のない社会の実現に向けて、あなたは今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。(1つに○)

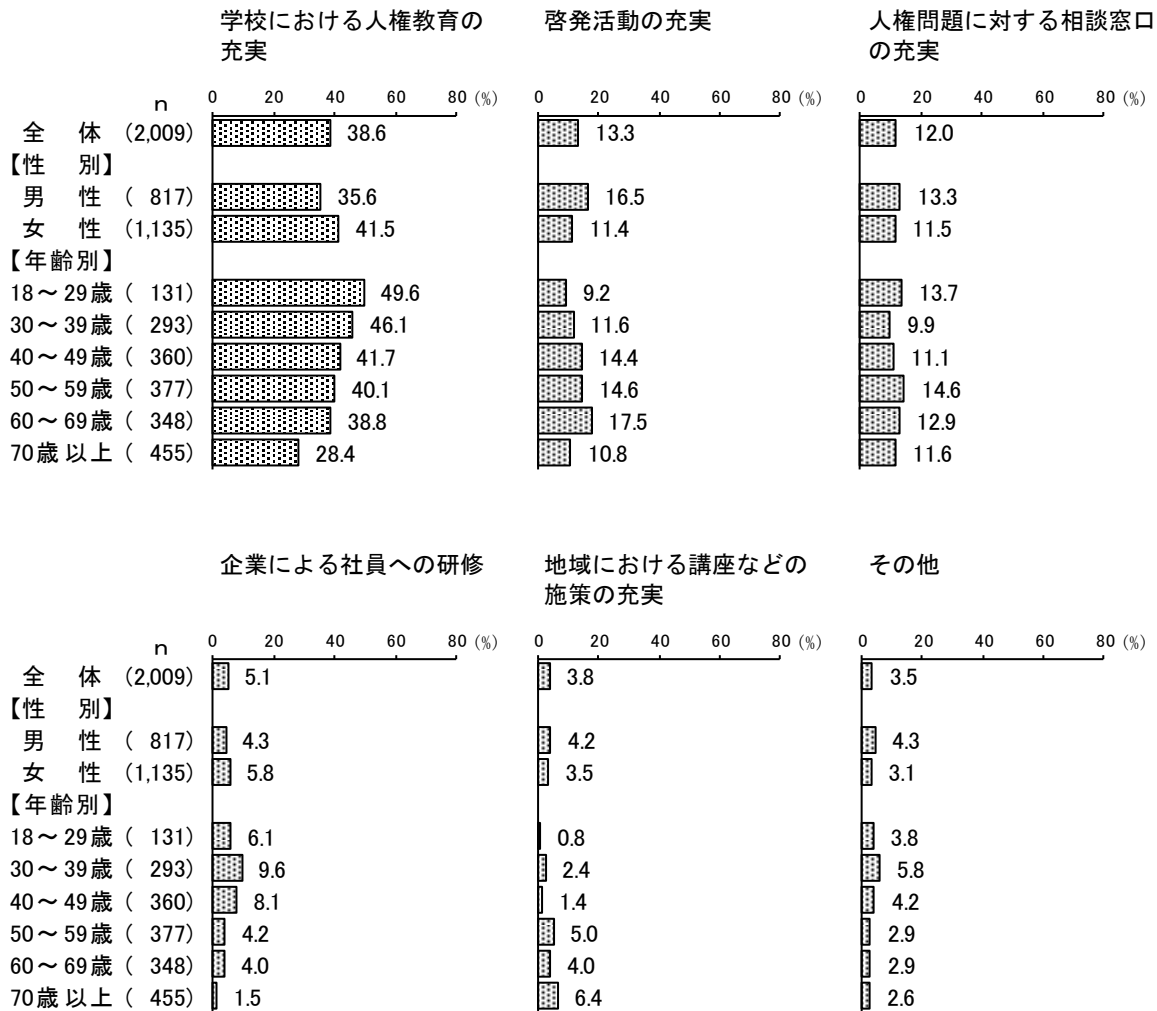
区民一人ひとりが尊重され、差別や偏見のない社会の実現に向けて、今後どのような取組を充実させていくべきだと思うか聞いたところ、「学校における人権教育の充実」(38.6%)が4割近くで最も高く、次いで「啓発活動の充実」(13.3%)、「人権問題に対する相談窓口の充実」(12.0%)、「企業による社員への研修」(5.1%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「学校における人権教育の充実」は女性（41.5%）が男性（35.6%）より5.9ポイント高くなっている。一方、「啓発活動の充実」は男性（16.5%）が女性（11.4%）より5.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「学校における人権教育の充実」は年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（49.6%）で5割と高くなっている。



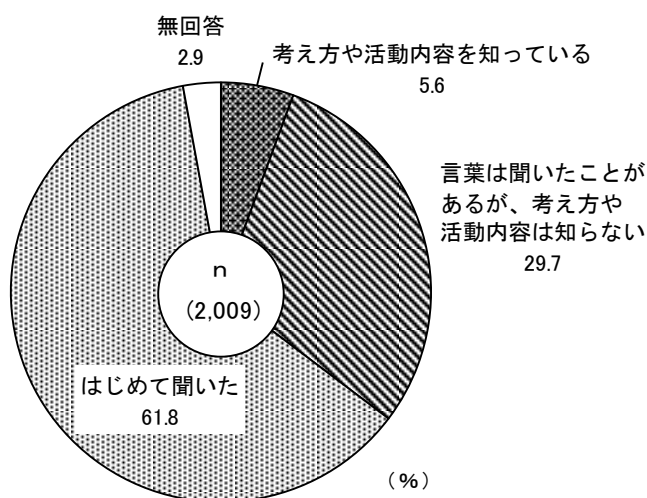
5. セーフコミュニティについて

(1) セーフコミュニティ活動の認知度

問 20 豊島区は 2012 年 11 月、東京で初めて「セーフコミュニティ」の国際認証を取得しました（2018 年 2 月再認証取得）。セーフコミュニティは、けがや事故など日常生活のなかで健康を阻害する要因を予防することで、生活の安全と健康の質を高めていくまちづくり活動のことです。

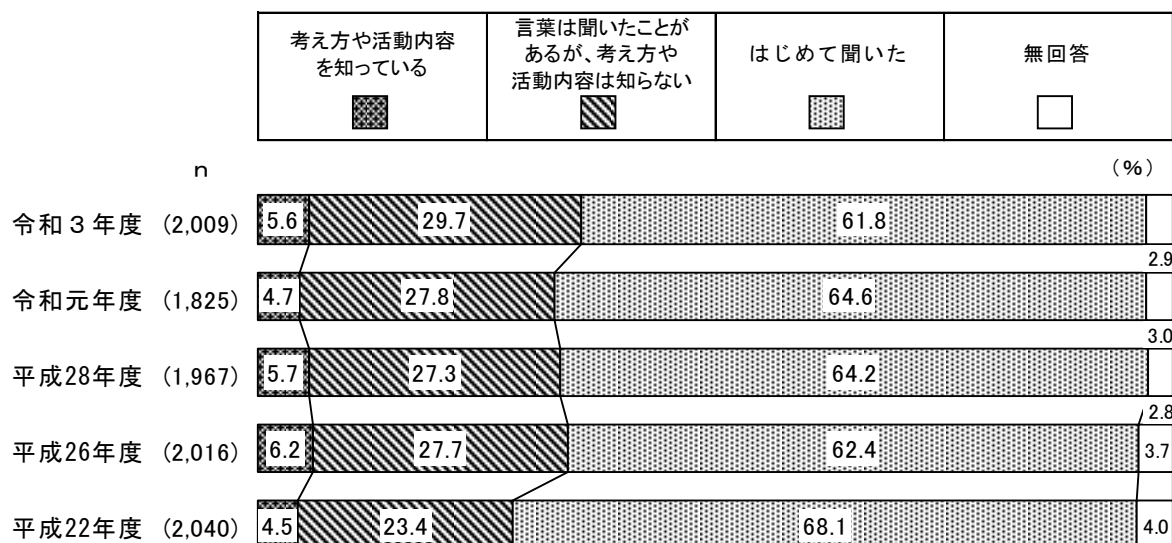
あなたは、このセーフコミュニティ活動について知っていますか。（1つに○）

セーフコミュニティ活動について知っているか聞いたところ、「考え方や活動内容を知っている」（5.6%）が1割未満、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」（29.7%）は3割となっている。一方、「はじめて聞いた」（61.8%）は6割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」は令和元年度と比べ 1.9 ポイント増加している。



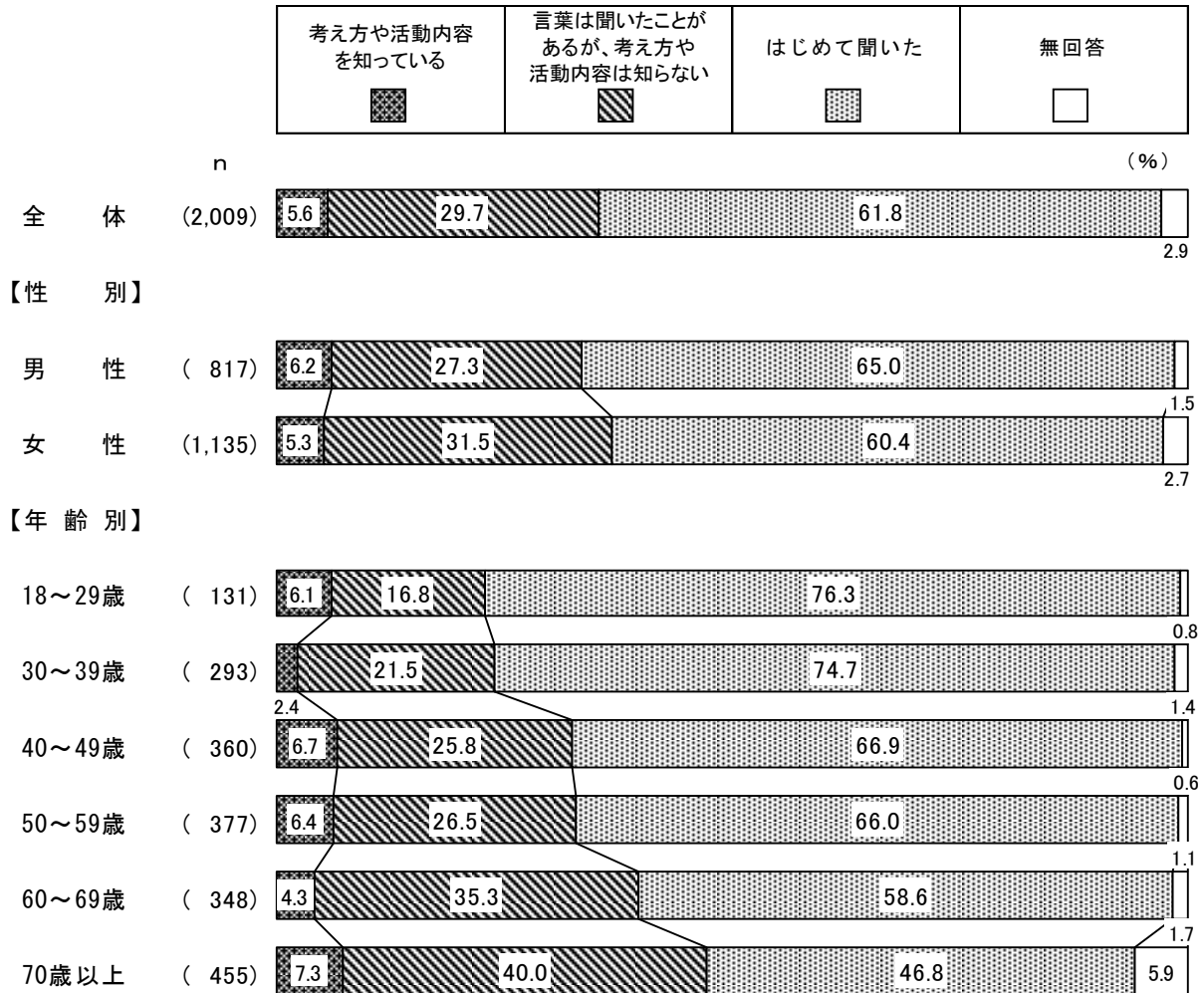
※平成 22 年度調査では、選択肢を「考え方や活動内容を知っている」「言葉は聞いたことがある」「知らなかった」としていた

※平成 26 年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」は女性（31.5%）が男性（27.3%）より4.2ポイント高くなっている。一方、「はじめて聞いた」は男性（65.0%）が女性（60.4%）より4.6ポイント高くなっている。

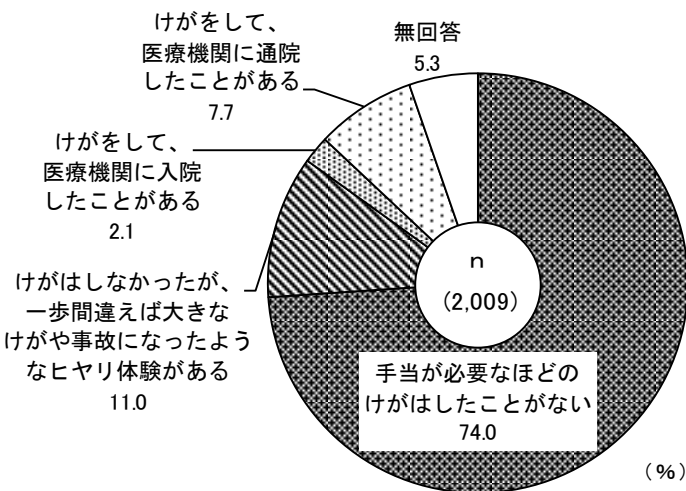
年齢別でみると、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（40.0%）で4割と高くなっている。一方、「はじめて聞いた」は18～29歳（76.3%）、30～39歳（74.7%）で7割半ばと高くなっている。



(2) けがや事故の経験

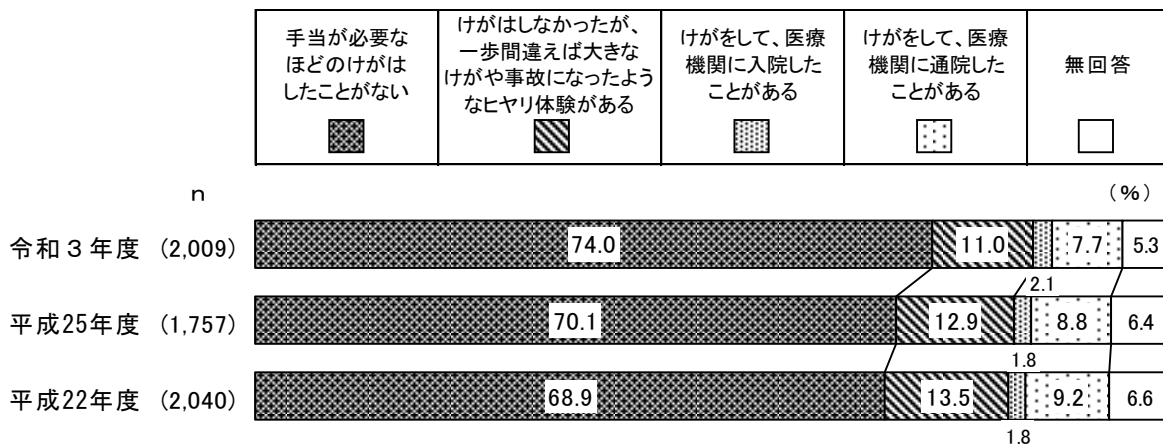
問 21 過去1年間の、あなた自身のけがや事故の経験についてお聞きします。
 (1つに○、複数ある場合は、重症度の高いものについてお答えください)

過去1年間のけがや事故の経験について聞いたところ、「手当が必要なほどのけがはしたことがない」(74.0%)が7割半ばで最も高く、次いで「けがはしなかったが、一步間違えば大きなけがや事故になったようなヒヤリ体験がある」(11.0%)、「けがをして、医療機関に通院したことがある」(7.7%)、「けがをして、医療機関に入院したことがある」(2.1%)となっている。



【経年比較】

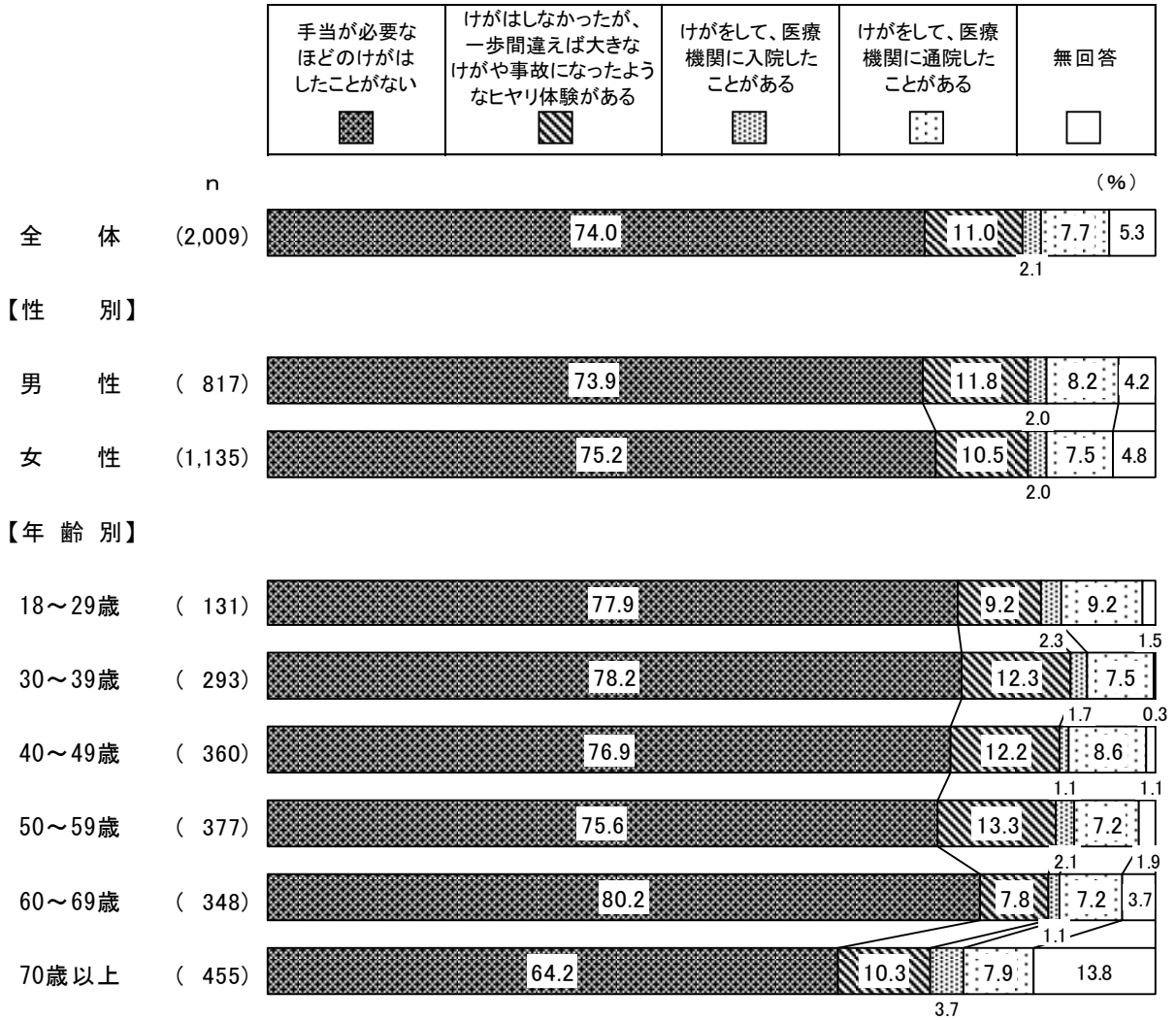
過去の調査結果と比較すると、「手当が必要なほどのけがはしたことがない」は平成25年度と比べ3.9ポイント増加している。



【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、「手当が必要なほどのけがはしたことがない」は60～69歳（80.2%）で8割と高くなっている。



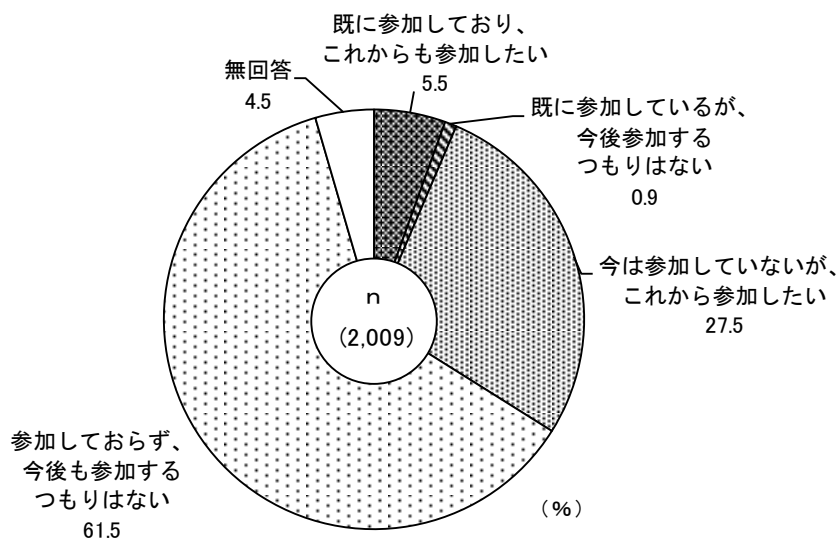
6. 環境保全活動について

(1) 環境保全活動への参加意向

問 22 豊島区内には、清掃・リサイクル活動、公園・広場・小中学校の花壇や植物等のみどりの維持管理活動など様々な環境保全活動に取り組んでいるグループがあります。あなたは、こうした活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

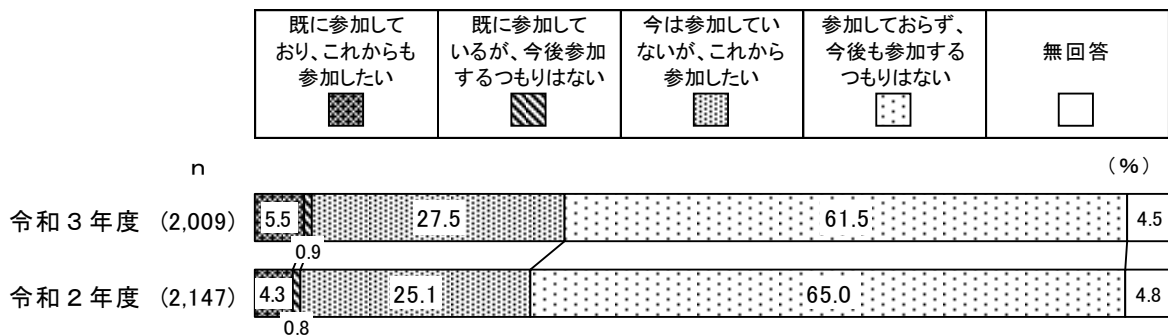
環境保全活動に参加したいか聞いたところ、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」(61.5%)が6割を超えている。

「既に参加しており、これからも参加したい」(5.5%)と「既に参加しているが、今後参加するつもりはない」(0.9%)はともにわずかとなっており、「今は参加していないが、これから参加したい」(27.5%)は3割近くとなっている。



【経年比較】

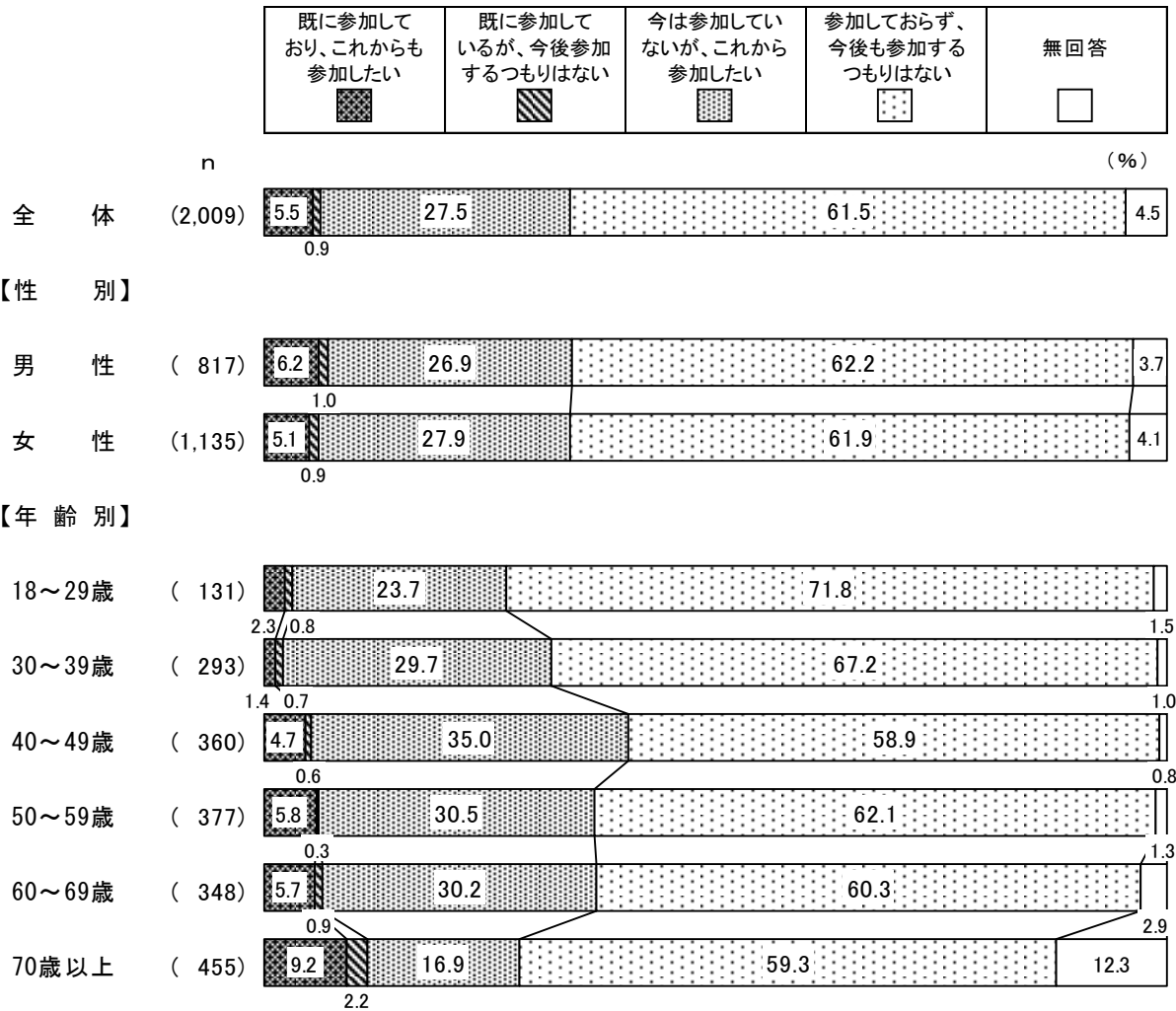
過去の調査結果と比較すると、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」は令和2年度より3.5ポイント減少している。



【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

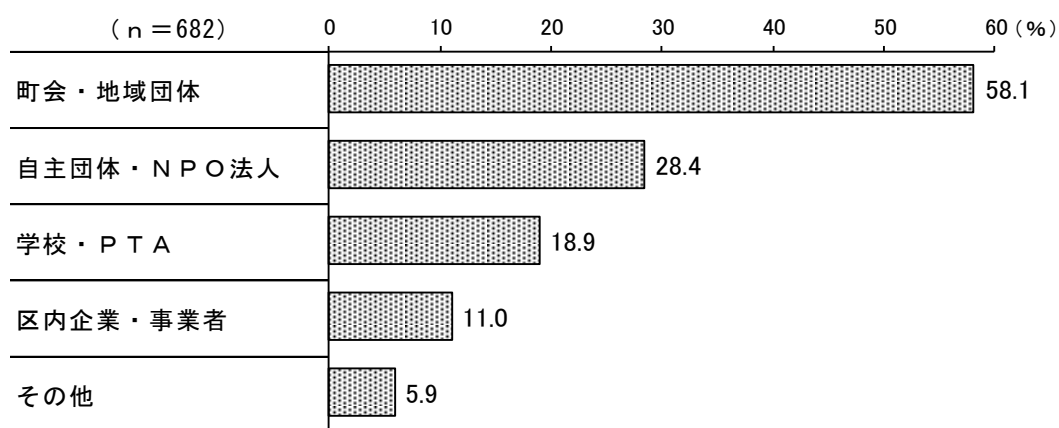
年齢別でみると、「今は参加していないが、これから参加したい」は40～49歳（35.0%）で3割半ばと高くなっている。



(2) 現在参加している、参加したいグループ

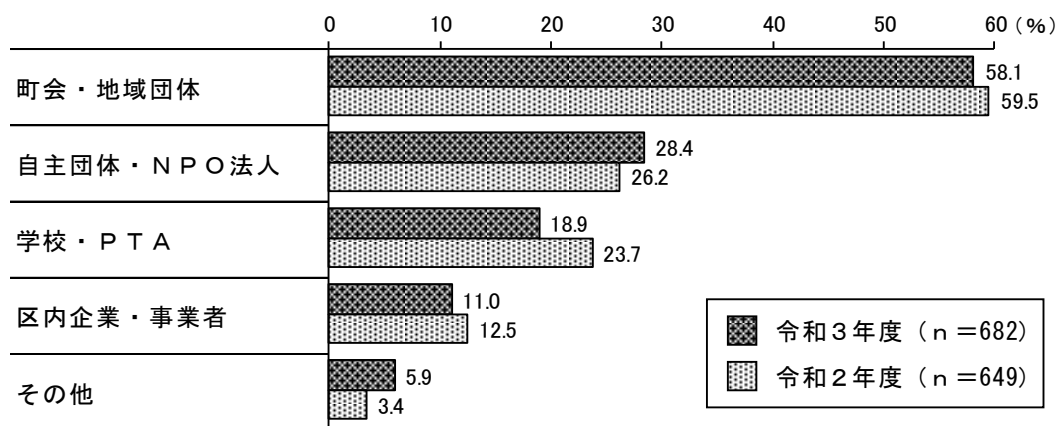
《問 22 で、「既に参加しており、これからも参加したい」「既に参加しているが、今後参加するつもりはない」「今は参加していないが、これから参加したい」とお答えの方におたずねします》
 問 22-1 現在参加している、もしくはこれから参加したいと思っているグループとは具体的に何ですか。(いくつでも〇)

環境保全活動への参加意向で、「既に参加しており、これからも参加したい」、「既に参加しているが、今後参加するつもりはない」、「今は参加していないが、これから参加したい」と答えた方に、参加したいと思っているグループとは具体的に何か聞いたところ、「町会・地域団体」(58.1%)が6割近くで最も高く、次いで「自主団体・NPO法人」(28.4%)、「学校・PTA」(18.9%)、「区内企業・事業者」(11.0%)となっている。



【経年比較】

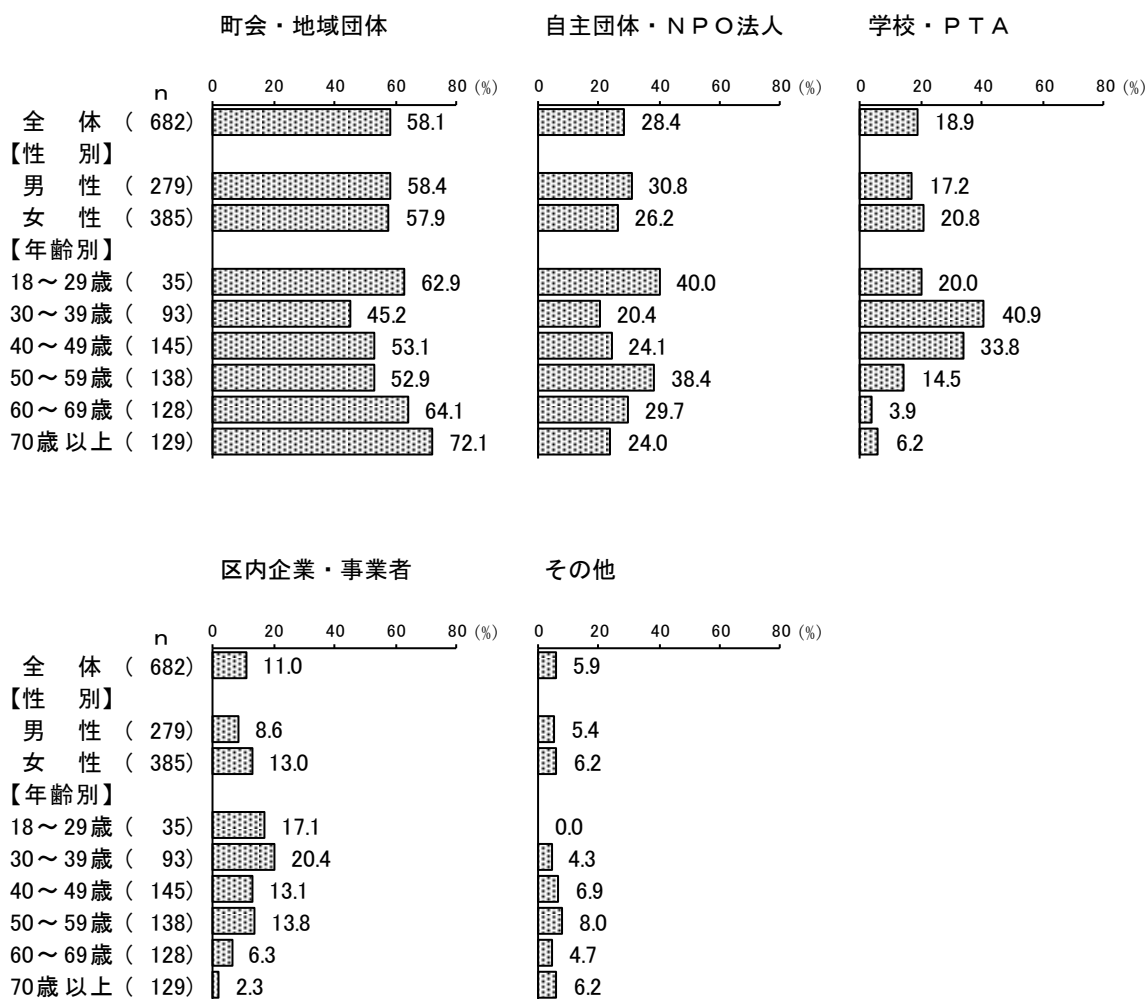
過去の調査結果と比較すると、「学校・PTA」は令和2年度より4.8ポイント減少している。



【性別、年齢別】

性別でみると、「自主団体・NPO法人」は男性（30.8%）が女性（26.2%）より4.6ポイント高くなっている。一方、「区内企業・事業者」は女性（13.0%）が男性（8.6%）より4.4ポイント、「学校・PTA」は女性（20.8%）が男性（17.2%）より3.6ポイント、それぞれ高くなっている。

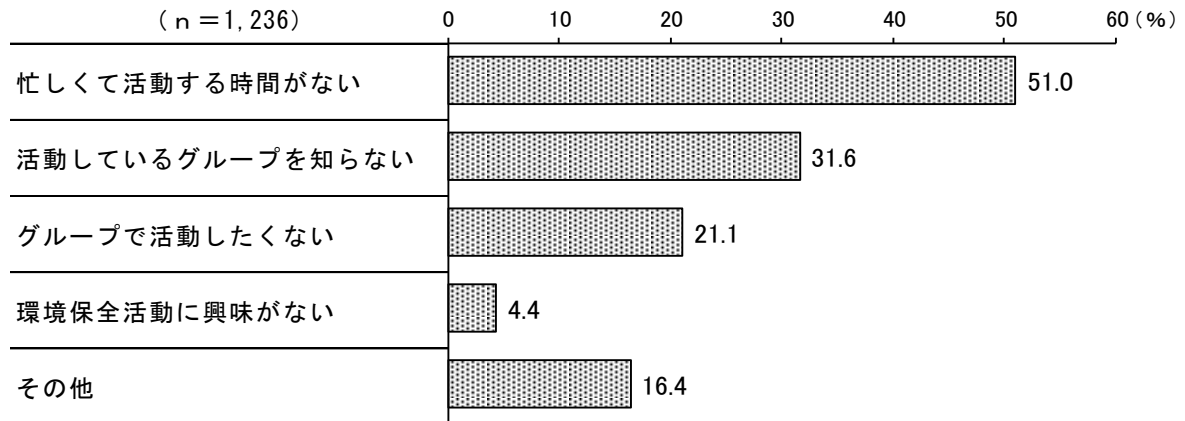
年齢別でみると、「町会・地域団体」は70歳以上（72.1%）で7割を超えて高くなっている。「自主団体・NPO法人」は18～29歳（40.0%）で4割、50～59歳（38.4%）で4割近くと高くなっている。「学校・PTA」は30～39歳（40.9%）で約4割、40～49歳（33.8%）で3割半ばと高くなっている。



(3) 参加するつもりがない理由

《問 22 で、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」とお答えの方におたずねします》
 問 22-2 参加するつもりがない理由とは具体的に何ですか。(いくつでも○)

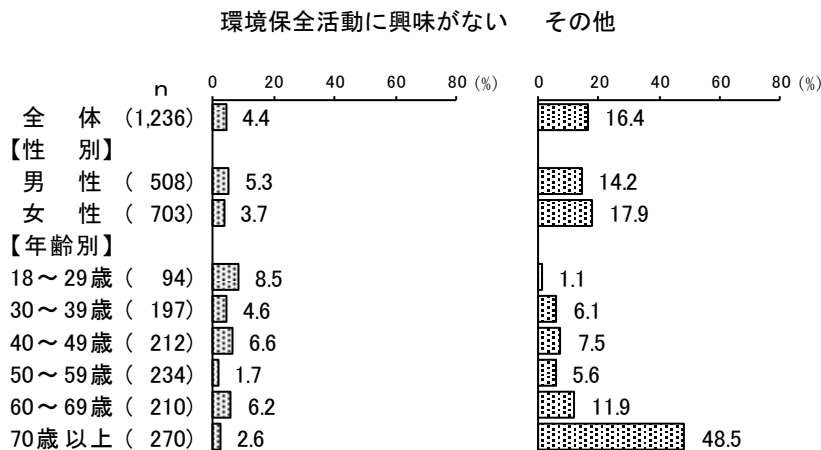
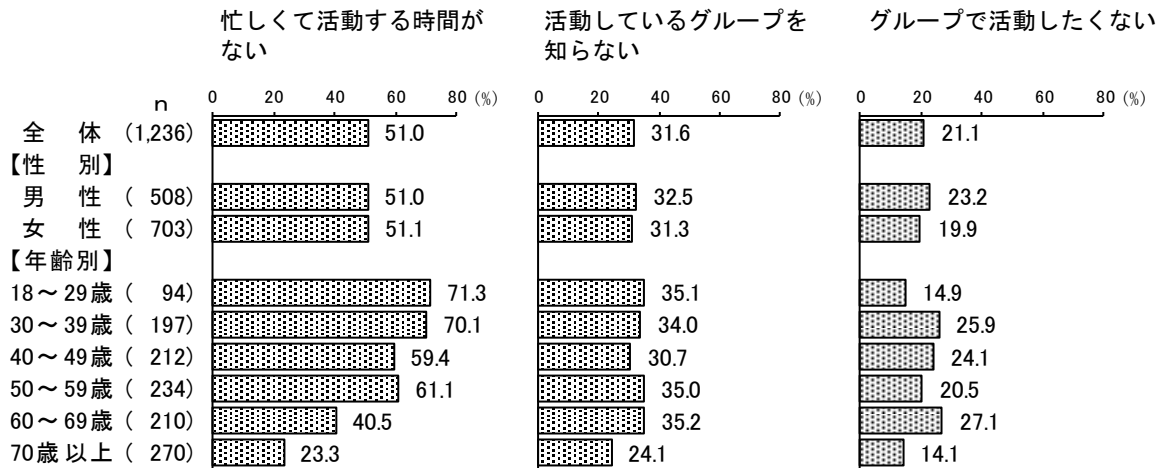
環境保全活動への参加意向で、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」と答えた方に、参加するつもりがない理由を聞いたところ、「忙しくて活動する時間がない」(51.0%)が5割を超えて最も高く、次いで「活動しているグループを知らない」(31.6%)、「グループで活動したくない」(21.1%)、「環境保全活動に興味がない」(4.4%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「グループで活動したくない」は男性（23.2%）が女性（19.9%）より3.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「忙しくて活動する時間がない」は18～29歳（71.3%）、30～39歳（70.1%）で7割台と高くなっている。「グループで活動したくない」は60～69歳（27.1%）で3割近くと高くなっている。



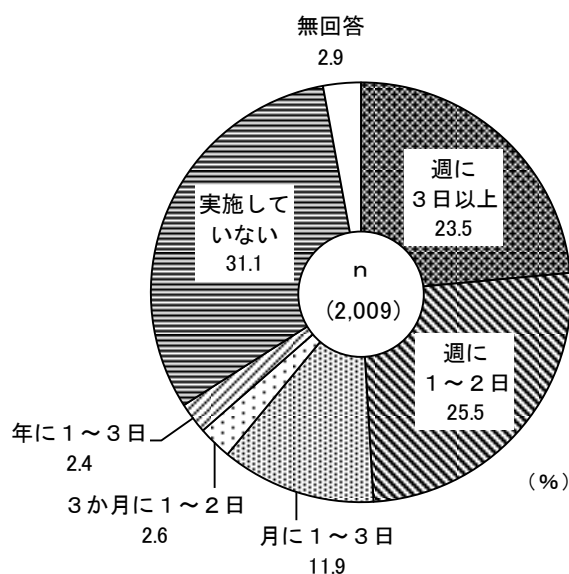
7. スポーツについて

(1) スポーツの実施頻度

問 23 あなた自身は、どの程度スポーツを実施していますか。(1つに○)

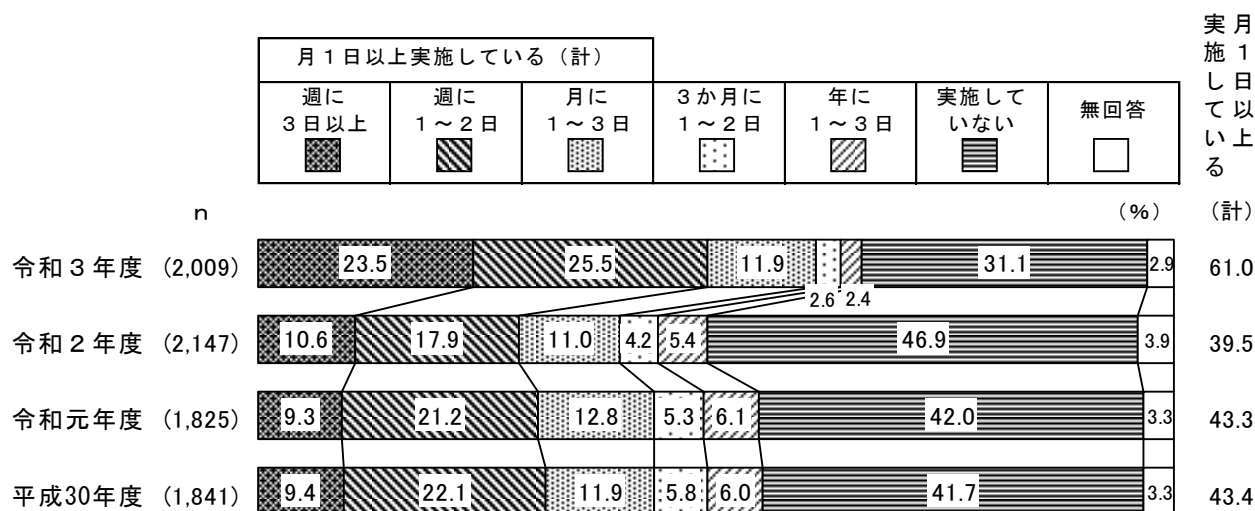
※本調査におけるスポーツの定義…ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキング、介護予防のためのトレーニングなどの他に、日常生活の中の階段の昇り降り、気分転換に行う軽い体操やレクリエーションなど、自発的に楽しむ運動をスポーツとして扱います。

スポーツの実施頻度を聞いたところ、「週に3日以上」(23.5%)、「週に1～2日」(25.5%)、「月に1～3日」(11.9%)を合わせた『月1日以上実施している(計)』(61.0%)が6割を超えている。「3か月に1～2日」(2.6%)と「年に1～3日」(2.4%)はともに1割未満となっている。一方、「実施していない」(31.1%)は3割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『月1日以上実施している(計)』は令和2年度より21.5ポイント増加している。(※)



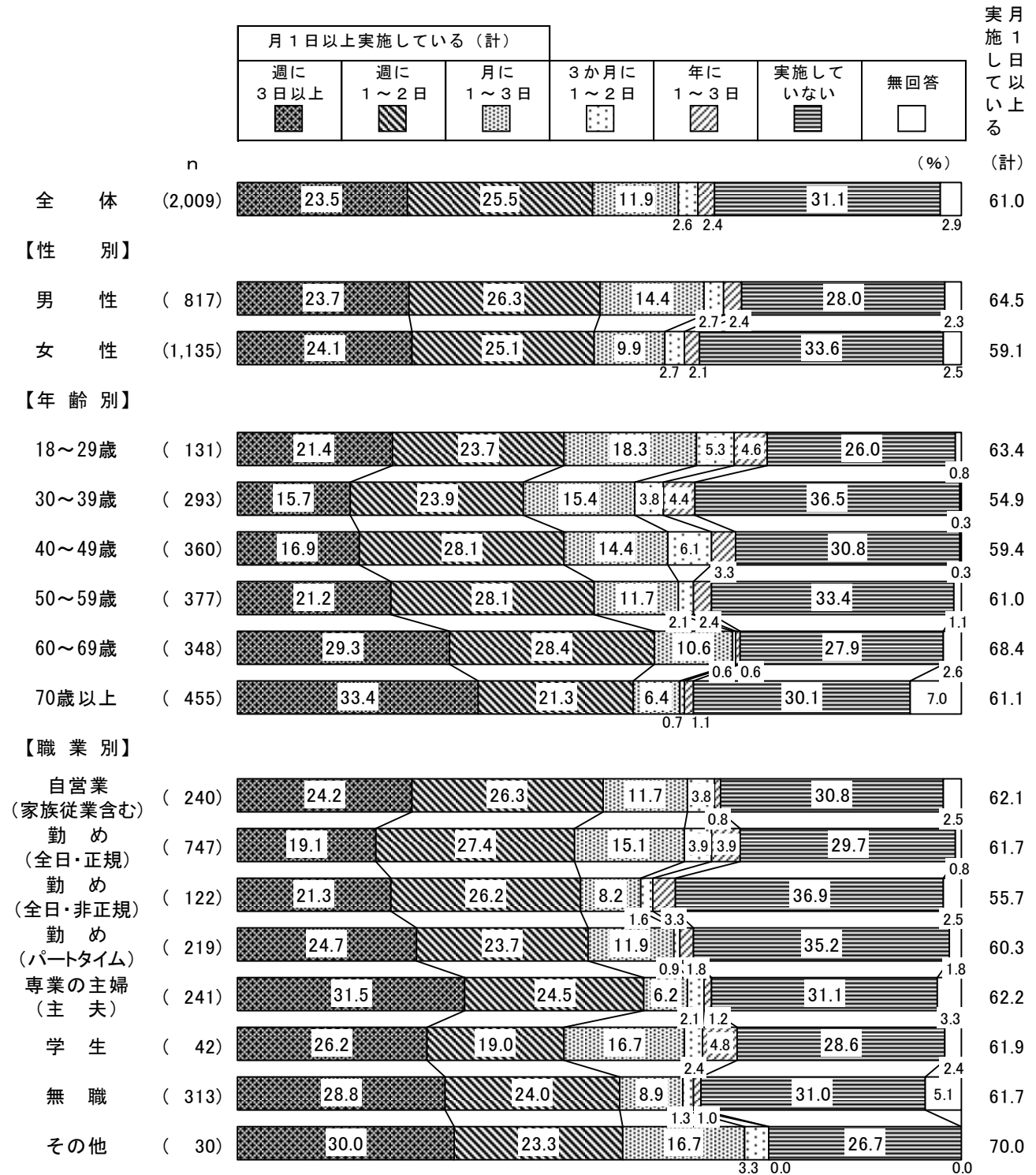
※今回調査から質問文に「本調査におけるスポーツの定義」を加えた

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、『月1日以上実施している（計）』は男性（64.5%）が女性（59.1%）より5.4ポイント高くなっている。一方、「実施していない」は女性（33.6%）が男性（28.0%）より5.6ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『月1日以上実施している（計）』は60～69歳（68.4%）で7割近くと高くなっている。

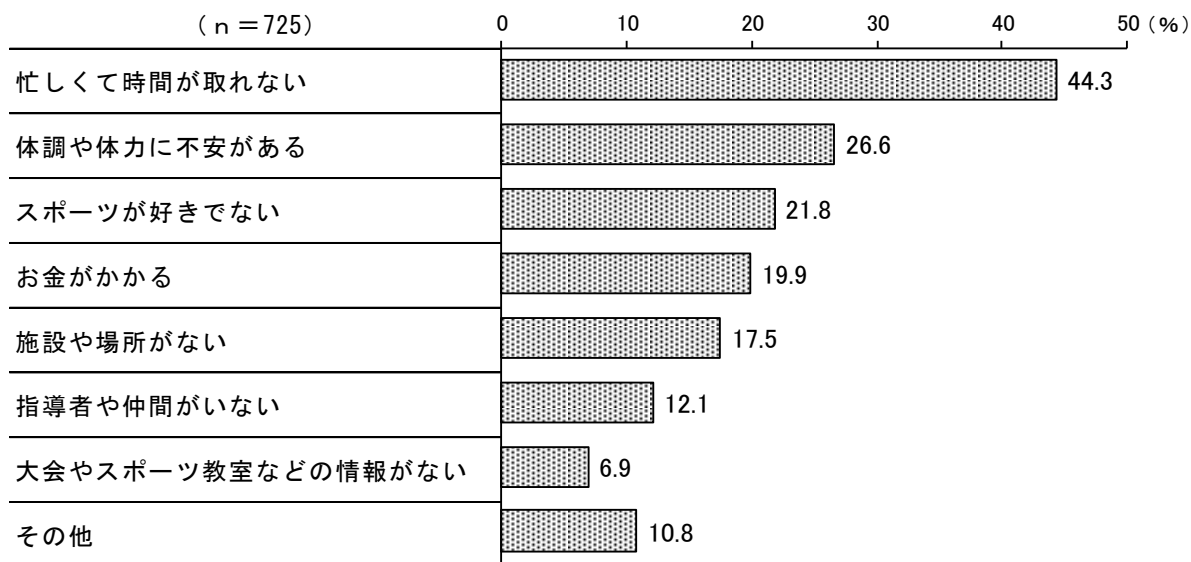
職業別でみると、「実施していない」は勤め（全日・非正規）（36.9%）で4割近く、勤め（パートタイム）（35.2%）で3割半ばと高くなっている。



(2) スポーツをしない理由

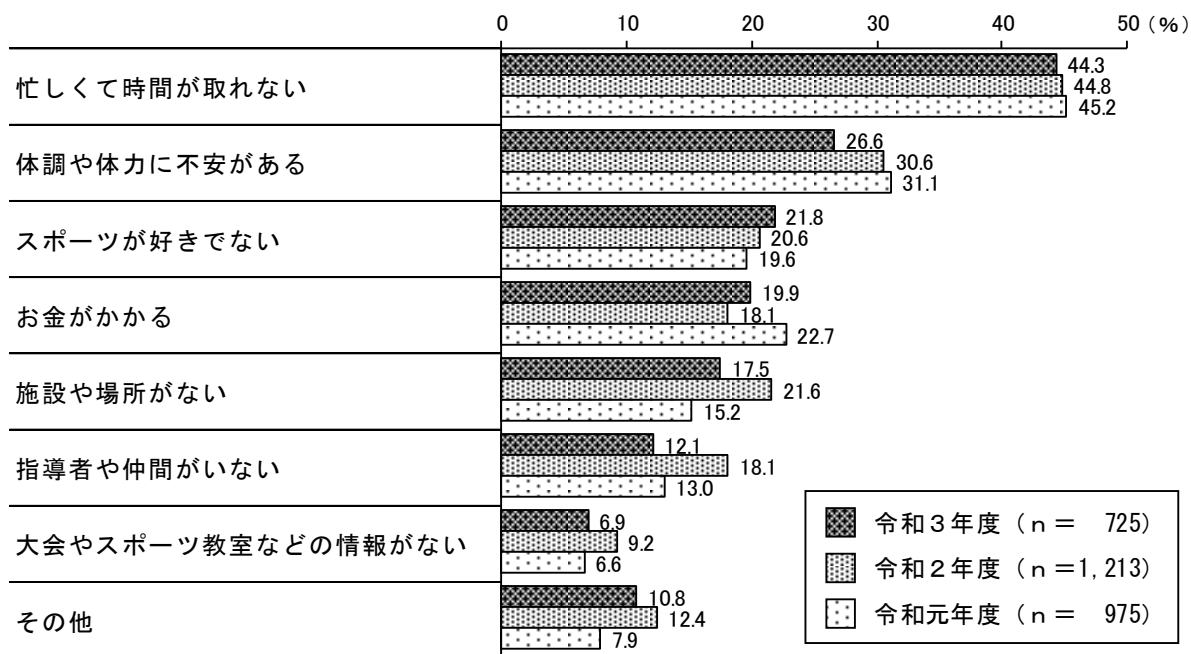
《問 23 で、「3か月に1～2日」「年に1～3日」「実施していない」とお答えの方におたずねします》
 問 23-1 あまりスポーツを実施しない理由は何ですか。(いくつでも○)

スポーツの実施頻度で、「3か月に1～2日」、「年に1～3日」、「実施していない」と答えた方に、あまりスポーツを実施しない理由を聞いたところ、「忙しくて時間が取れない」(44.3%)が4割半ばで最も高く、次いで「体調や体力に不安がある」(26.6%)、「スポーツが好きでない」(21.8%)、「お金がかかる」(19.9%)となっている。また、その他の理由として、コロナが多くあげられている。



【経年比較】

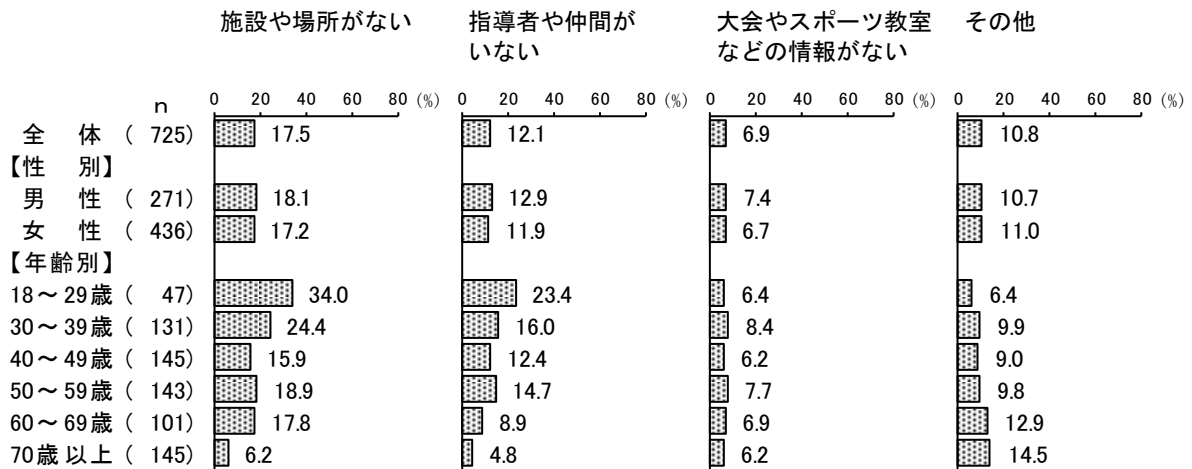
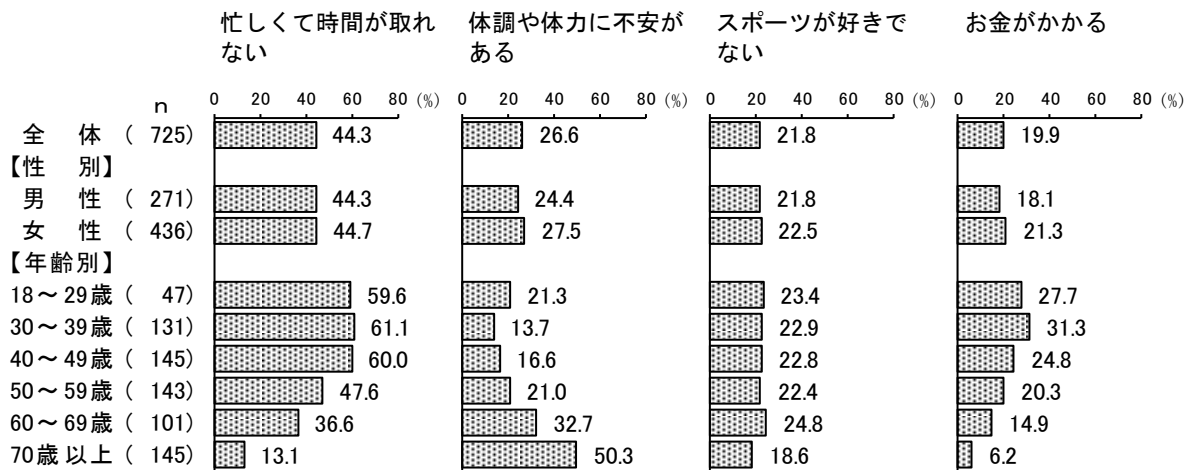
過去の調査結果と比較すると、「指導者や仲間がない」は令和2年度より6.0ポイント、「施設や場所がない」は令和2年度より4.1ポイント、「体調や体力に不安がある」は令和2年度より4.0ポイント、それぞれ減少している。



【性別、年齢別】

性別でみると、「体調や体力に不安がある」は女性（27.5%）が男性（24.4%）より3.1ポイント、「お金がかかる」は女性（21.3%）が男性（18.1%）より3.2ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「忙しくて時間が取れない」は18～29歳（59.6%）、30～39歳（61.1%）、40～49歳（60.0%）で約6割と高くなっている。「体調や体力に不安がある」は70歳以上（50.3%）で5割と高くなっている。「お金がかかる」は30～39歳（31.3%）で3割を超えて高くなっている。「施設や場所がない」は18～29歳（34.0%）で3割半ばと高くなっている。

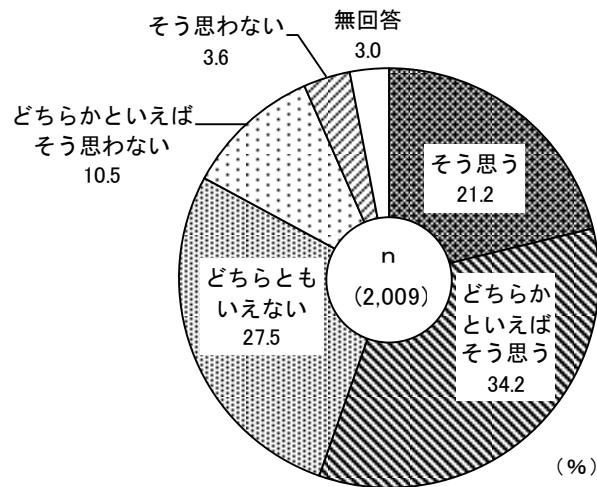


8. 生涯学習について

(1) 多様な生涯学習活動を選択する機会

問 24 あなたは、豊島区には図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会があると思いますか。(1つに○)

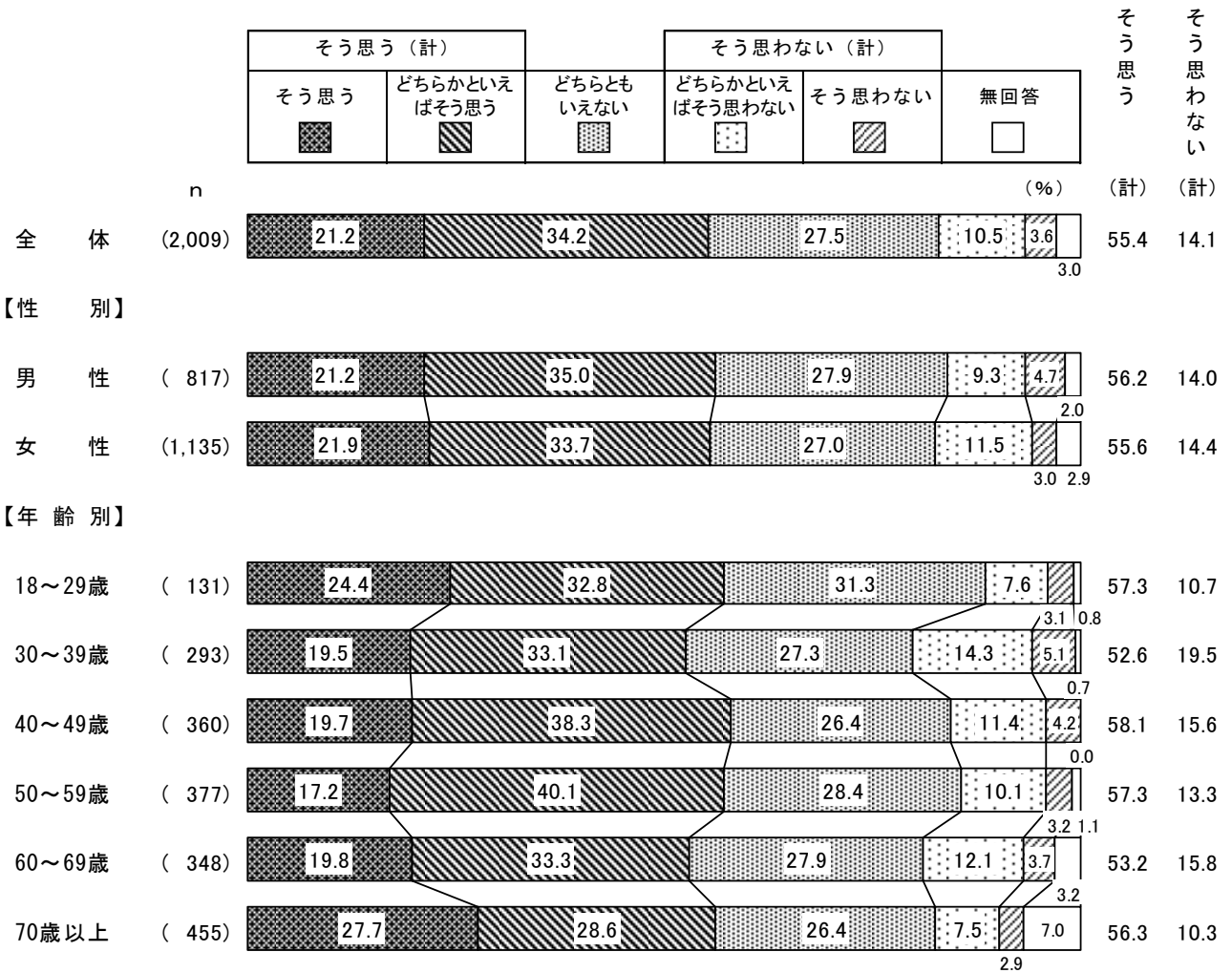
豊島区には多様な生涯学習活動を選択する機会があると思うか聞いたところ、「そう思う」(21.2%)と「どちらかといえばそう思う」(34.2%)を合わせた『そう思う(計)』(55.4%)は5割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(10.5%)と「そう思わない」(3.6%)を合わせた『そう思わない(計)』(14.1%)は1割半ばとなっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、「そう思う」は70歳以上（27.7%）で3割近くと高くなっている。一方、『そう思わない（計）』は30～39歳（19.5%）で2割となっている。



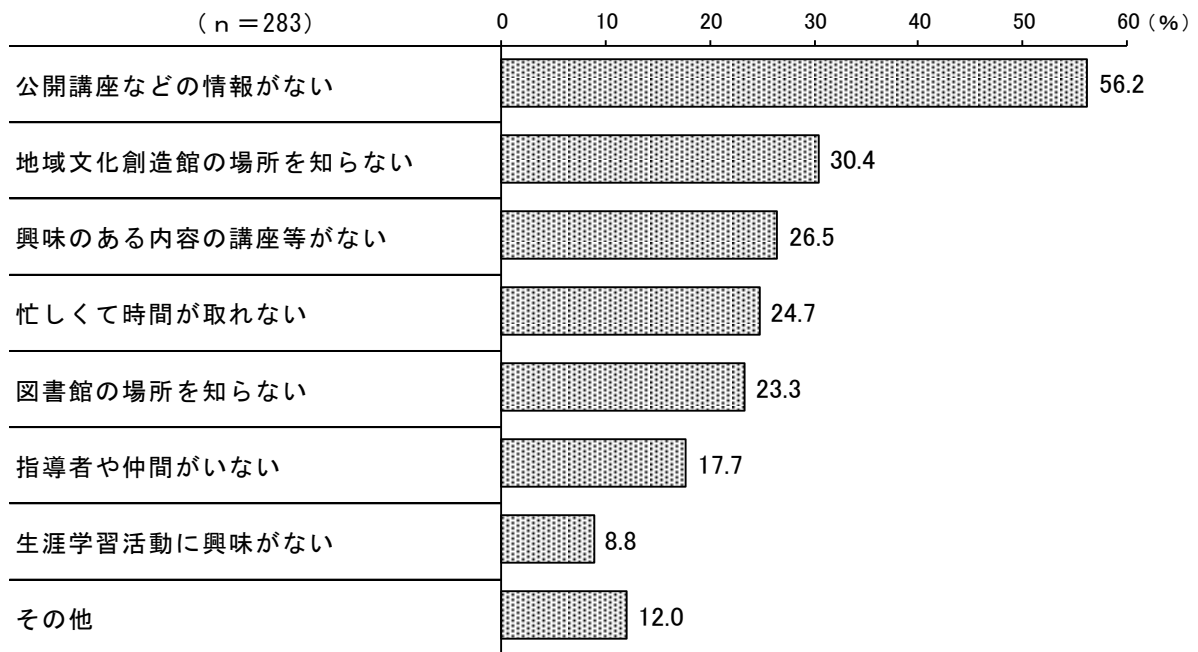
(2) 多様な生涯学習活動を選択する機会があると思わない理由

《問 24 で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」とお答えの方におたずねします》

問 24-1 多様な生涯学習活動を選択する機会があると思わない理由は何ですか。

(いくつでも○)

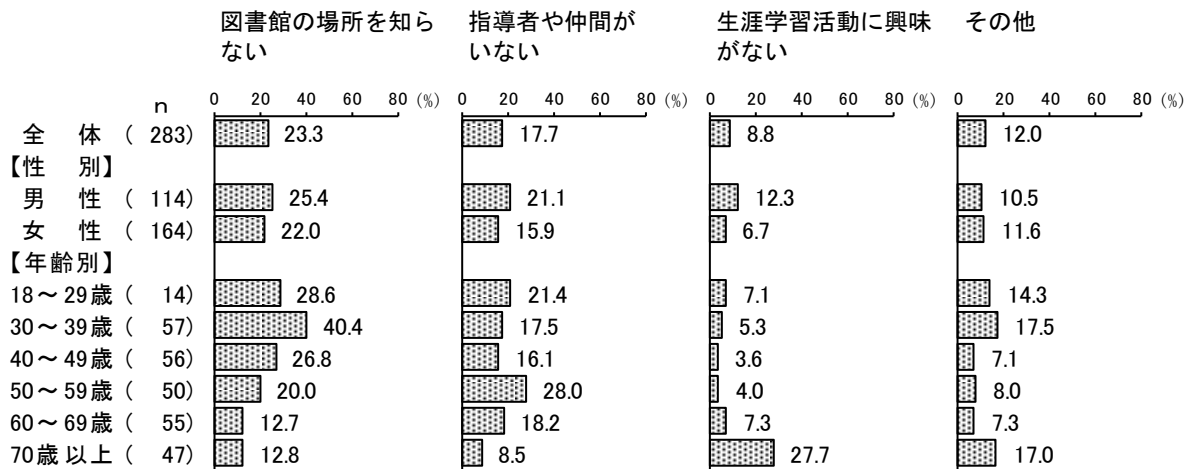
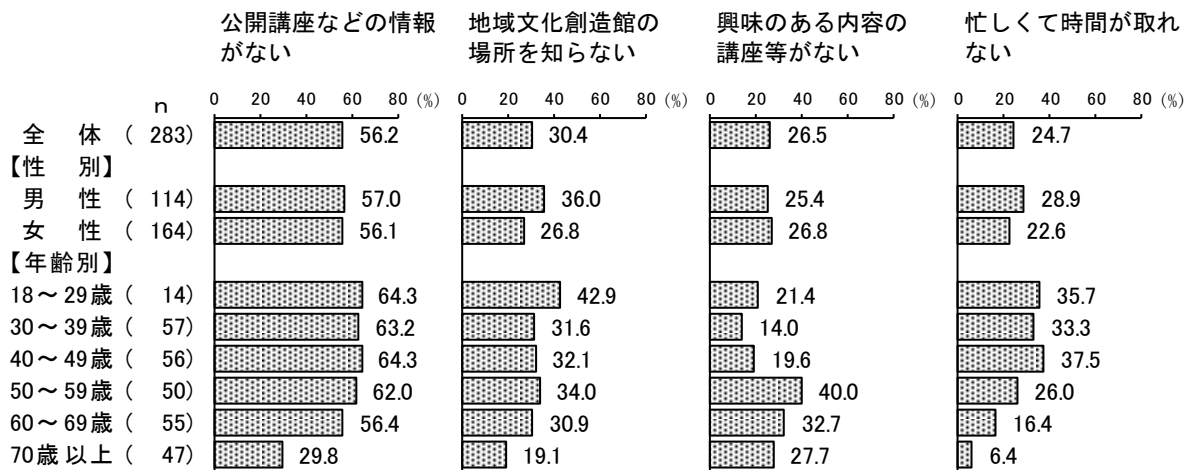
豊島区には多様な生涯学習活動を選択する機会があると思うかとの問いに、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と答えた方に、そう思わない理由を聞いたところ、「公開講座などの情報がない」(56.2%)が5割半ばで最も高く、次いで「地域文化創造館の場所を知らない」(30.4%)、「興味のある内容の講座等がない」(26.5%)、「忙しくて時間が取れない」(24.7%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「地域文化創造館の場所を知らない」は男性（36.0%）が女性（26.8%）より9.2ポイント、「忙しくて時間が取れない」は男性（28.9%）が女性（22.6%）より6.3ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「興味のある内容の講座等がない」は50～59歳（40.0%）で4割と高くなっている。「忙しくて時間が取れない」は40～49歳（37.5%）で4割近くと高くなっている。「図書館の場所を知らない」は30～39歳（40.4%）で4割と高くなっている。



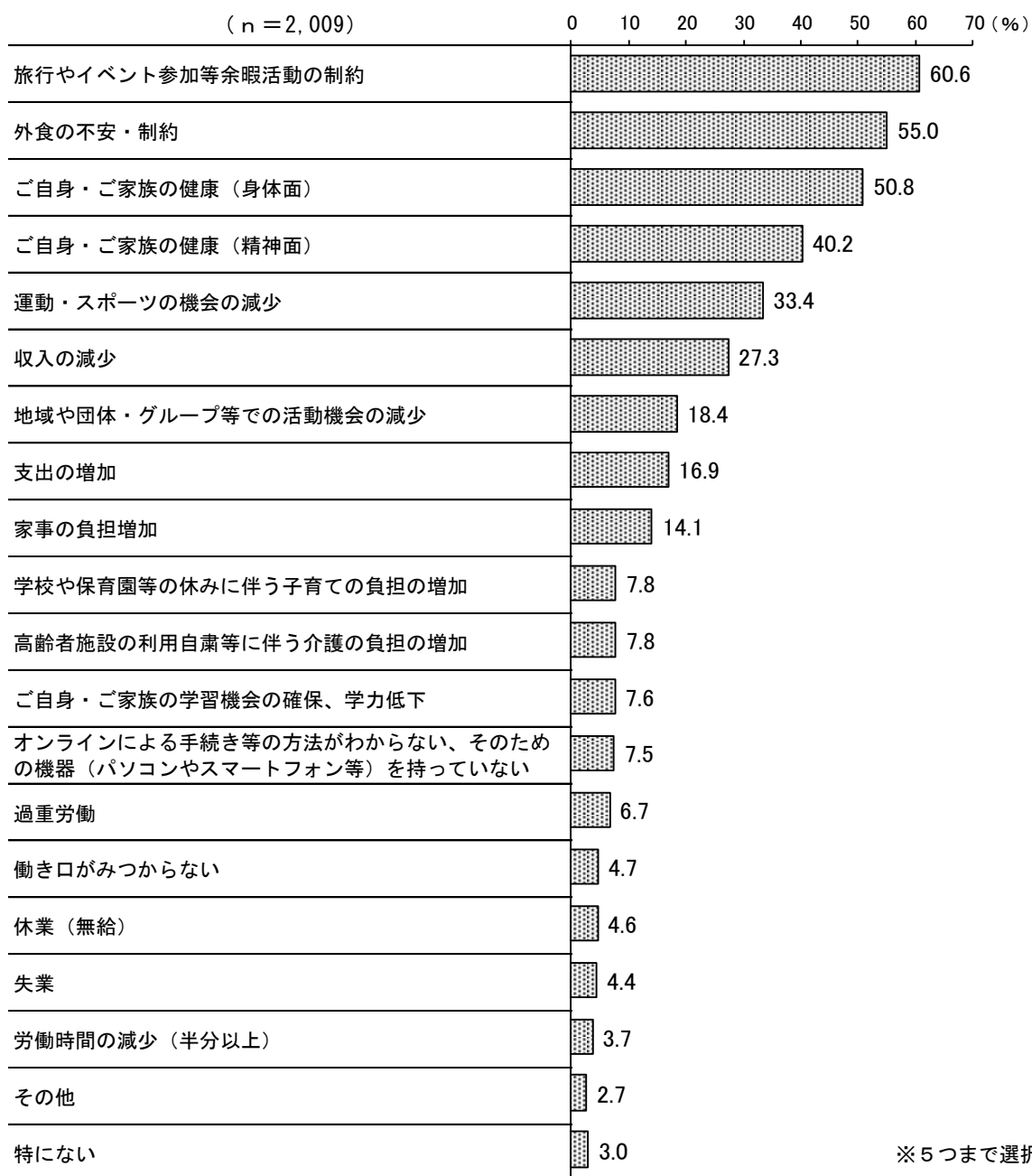
9. 新型コロナウイルス感染症に関することについて

(1) 現在の日常生活での困りごとや不安に思うこと

問 25 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活であなたやあなたの家族が、現在、特に困っていることや不安に思うことを教えてください。

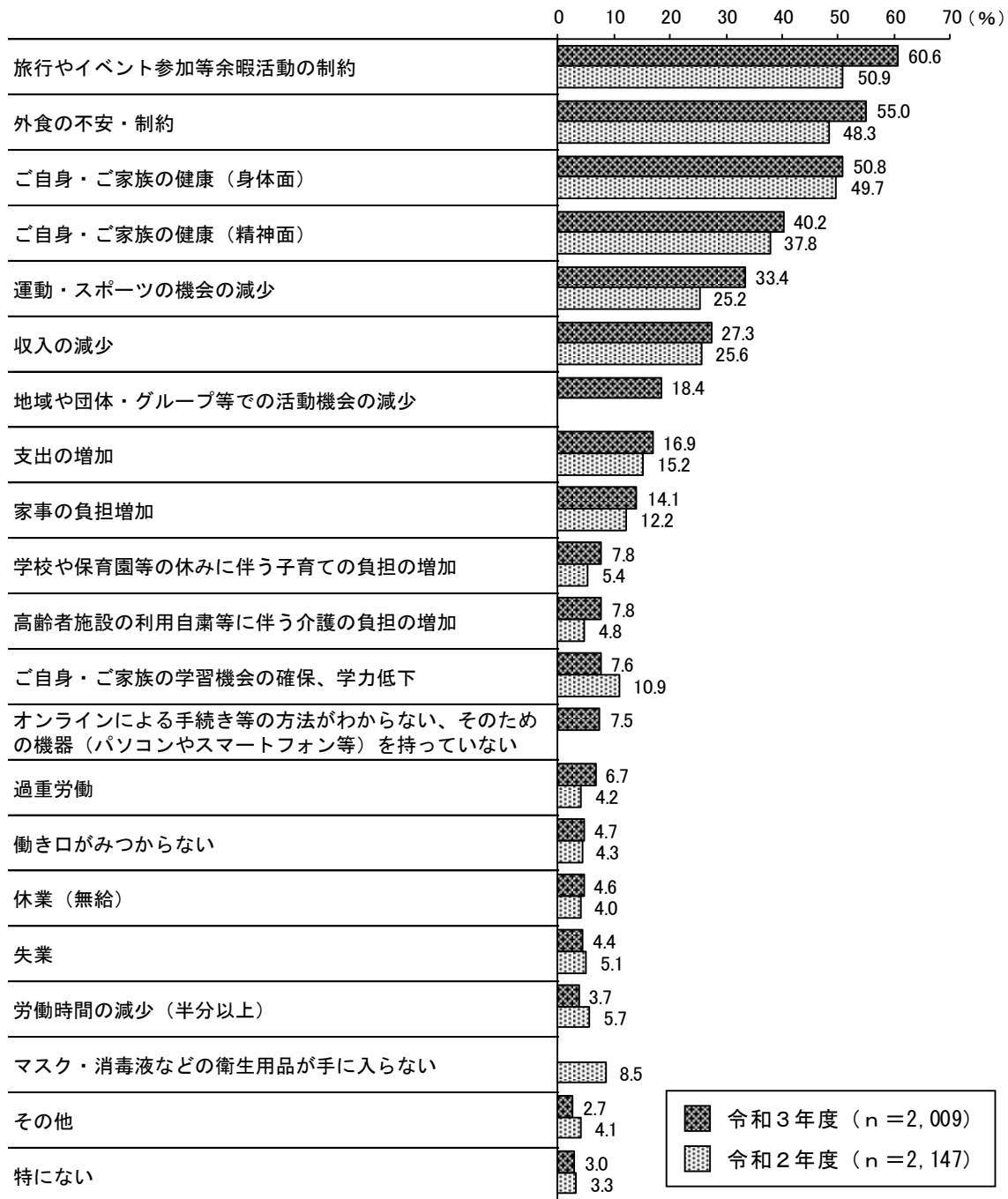
また、今後も感染症の影響が続いた場合に、予想される困りごとや不安に思うことを教えてください。(〇はそれぞれ5つまで)

現在の日常生活での困りごとや不安に思うことを聞いたところ、「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」(60.6%)が約6割で最も高く、次いで「外食の不安・制約」(55.0%)、「ご自身・ご家族の健康(身体面)」(50.8%)、「ご自身・ご家族の健康(精神面)」(40.2%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は令和2年度より9.7ポイント、「運動・スポーツの機会の減少」は令和2年度より8.2ポイント、「外食の不安・制約」は令和2年度より6.7ポイント、「高齢者施設の利用自粛等に伴う介護の負担の増加」は令和2年度より3.0ポイント、それぞれ増加している。一方、「ご自身・ご家族の学習機会の確保、学力低下」は令和2年度より3.3ポイント減少している。

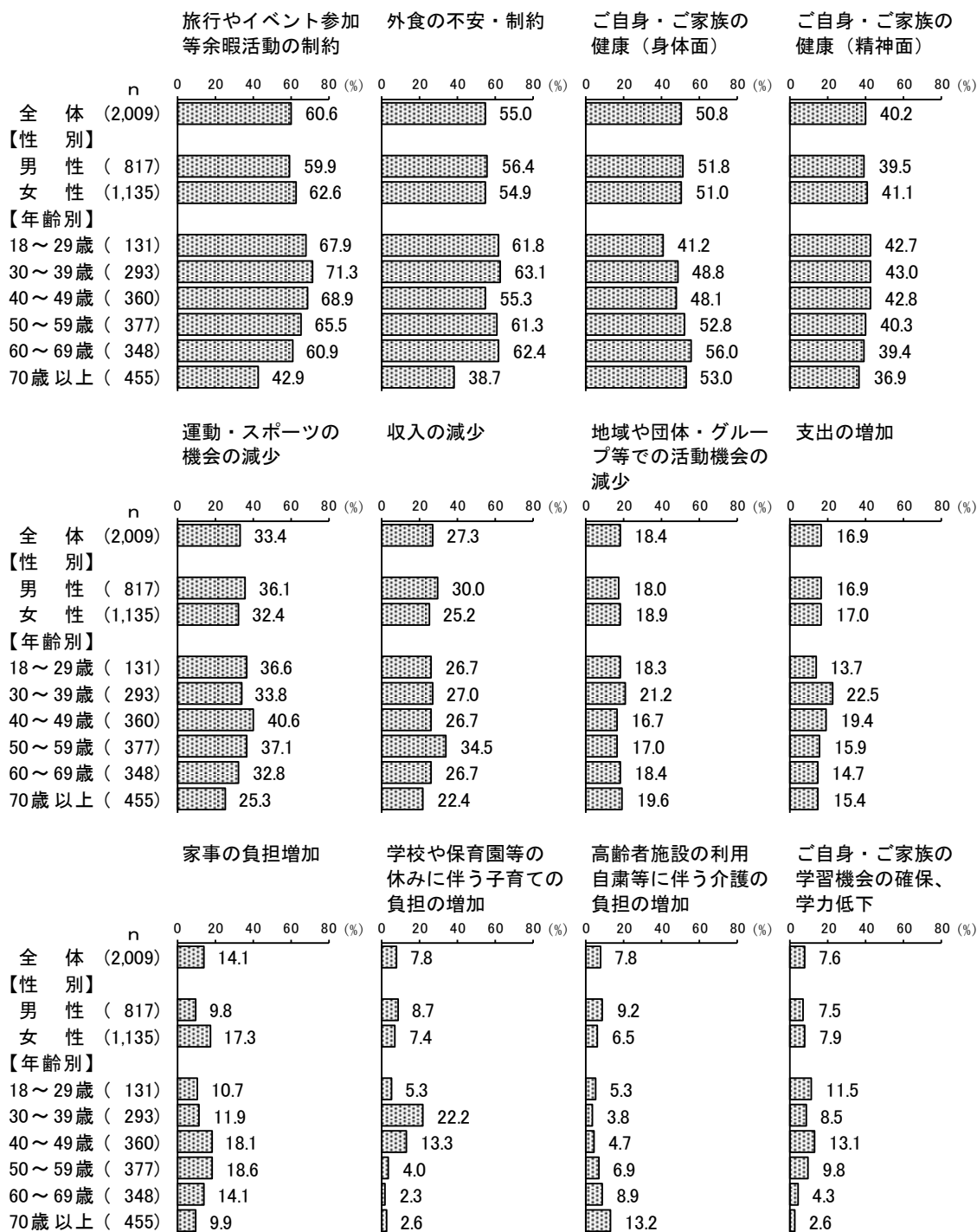


※ 「地域や団体・グループ等での活動機会の減少」、「オンラインによる手続き等の方法がわからない、そのための機器（パソコンやスマートフォン等）を持っていない」は今回調査からの選択肢
 ※ 「マスク・消毒液などの衛生用品が手に入らない」は令和2年度調査だけの選択肢

【性別、年齢別】(上位12項目)

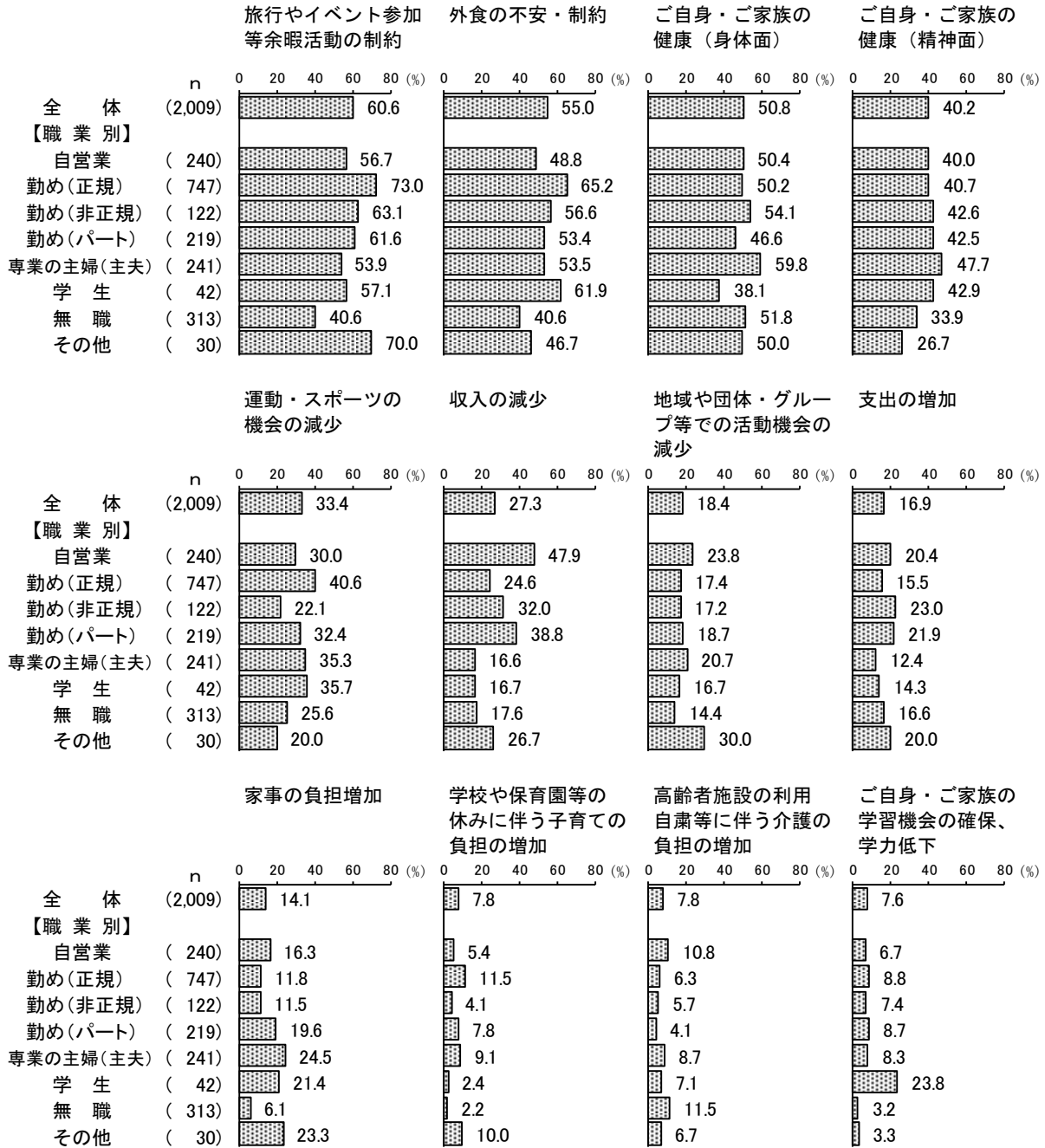
性別でみると、「家事の負担増加」は女性(17.3%)が男性(9.8%)より7.5ポイント高くなっている。一方、「収入の減少」は男性(30.0%)が女性(25.2%)より4.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は30~39歳(71.3%)で7割を超えて高くなっている。「外食の不安・制約」は18~29歳(61.8%)、30~39歳(63.1%)、50~59歳(61.3%)、60~69歳(62.4%)で6割台となっている。「ご自身・ご家族の健康(身体面)」は60~69歳(56.0%)で5割半ばと高くなっている。



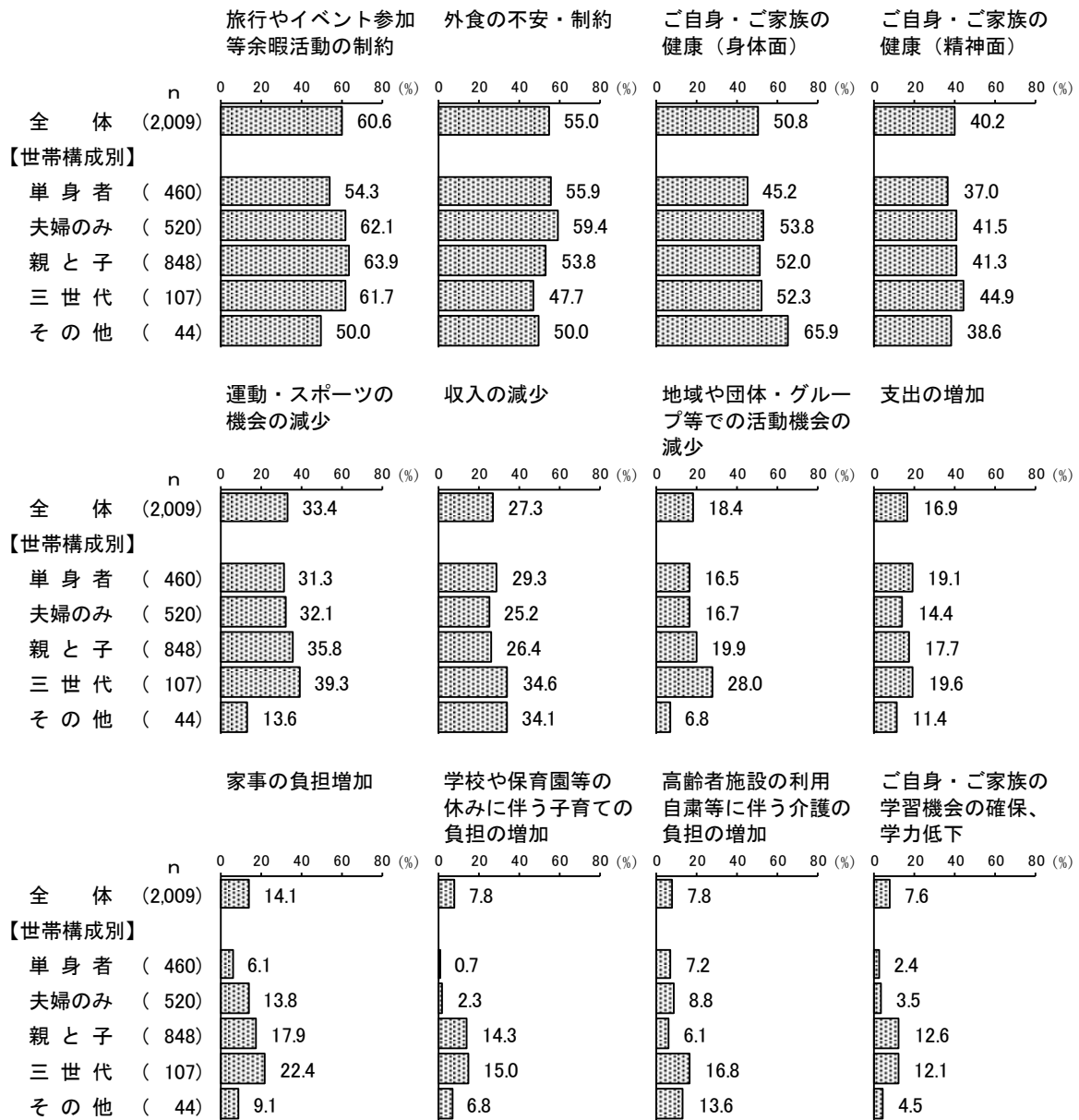
【職業別】（上位12項目）

職業別でみると、「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は勤め（全日・正規）（73.0%）で7割を超えて高くなっている。「外食の不安・制約」は勤め（全日・正規）（65.2%）で6割半ばと高くなっている。「ご自身・ご家族の健康（身体面）」は専業の主婦（主夫）（59.8%）で6割と高くなっている。「収入の減少」は自営業（47.9%）で5割近くと高くなっている。



【世帯構成別】（上位12項目）

世帯構成別でみると、「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は親子（63.9%）で6割半ばと高くなっている。「外食の不安・制約」は夫婦のみ（59.4%）で約6割と高くなっている。

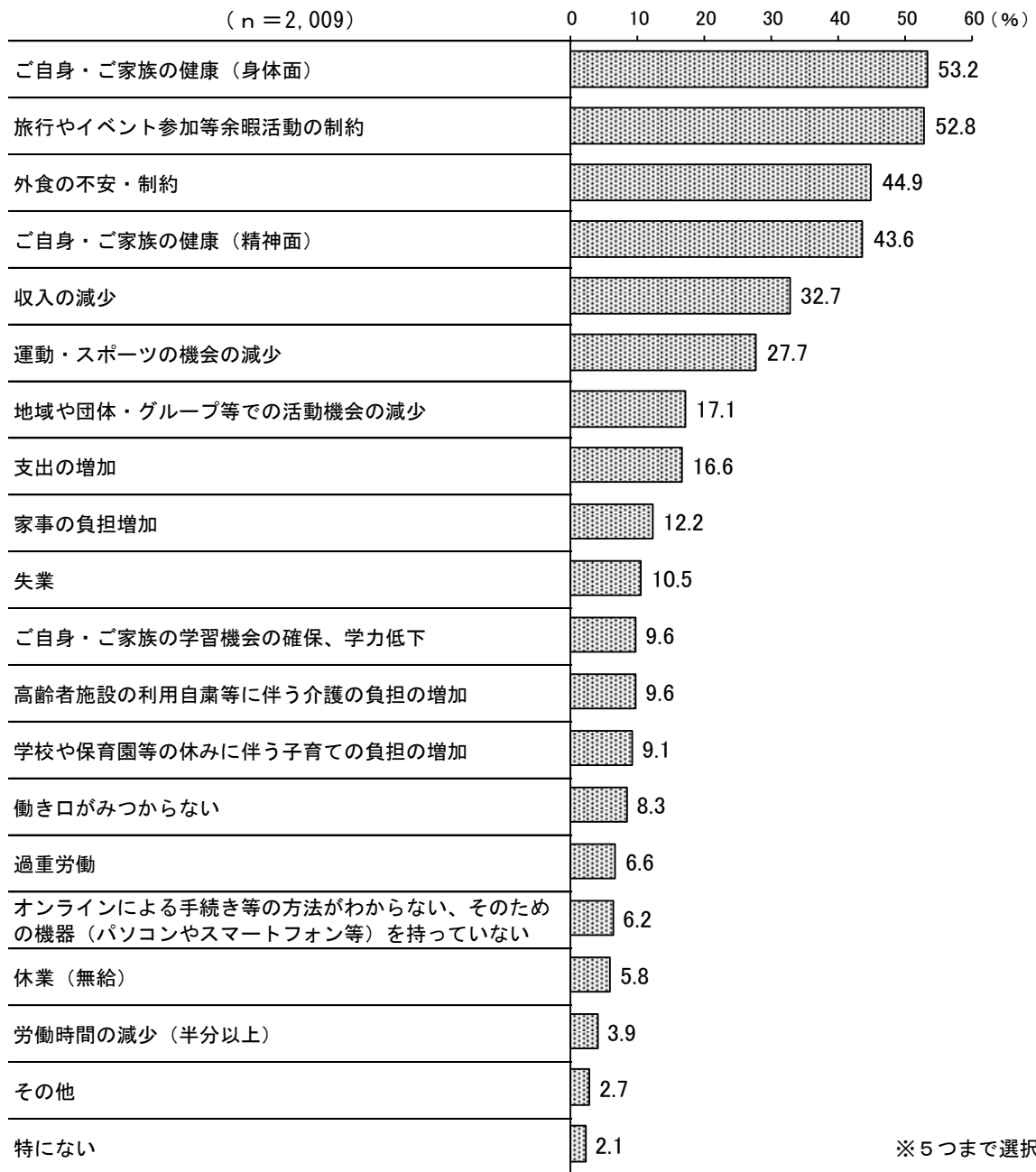


(2) 今後の日常生活での困りごとや不安に思うこと

問25 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活であなたやあなたの家族が、現在、特に困っていることや不安に思うことを教えてください。

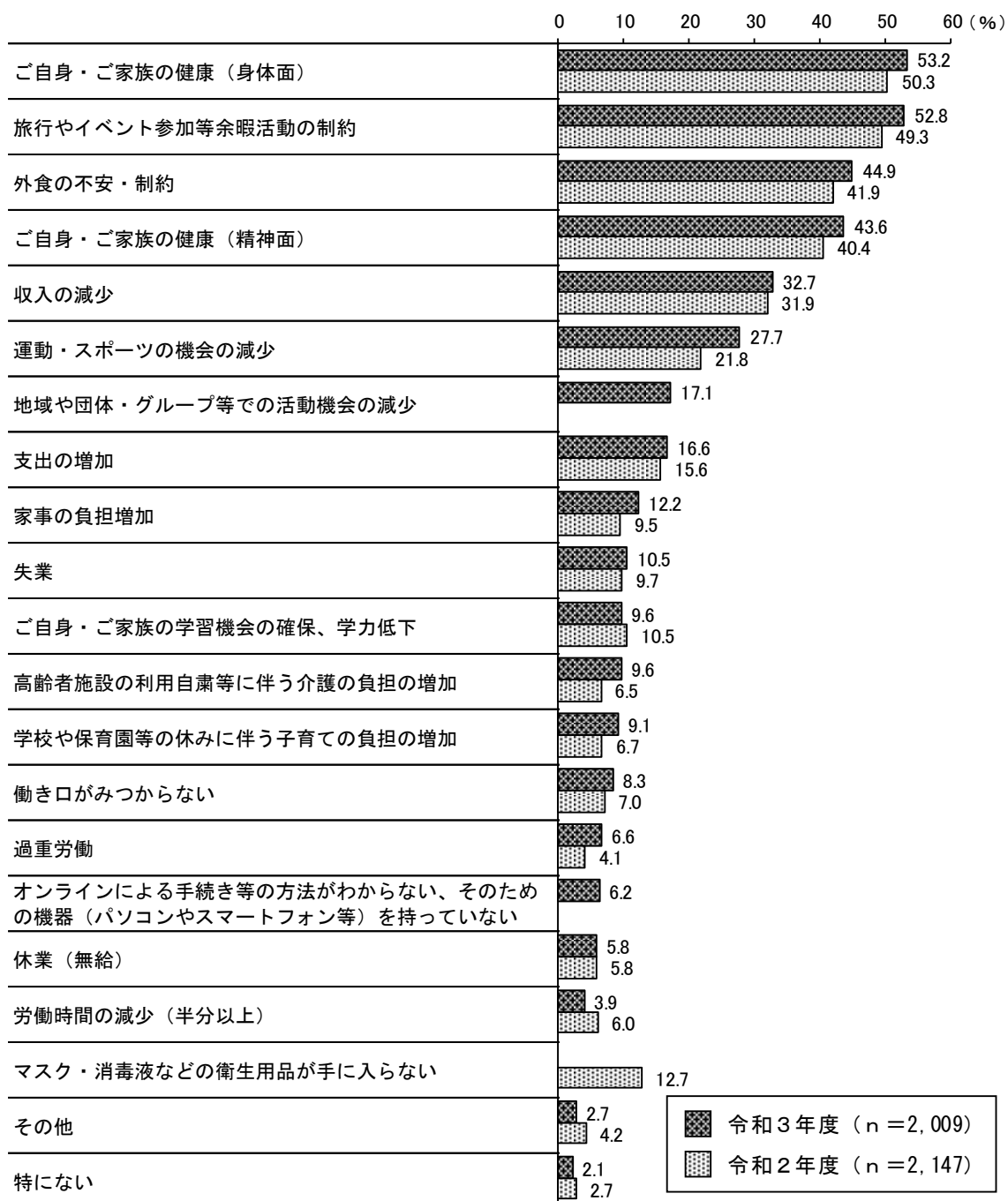
また、今後も感染症の影響が続いた場合に、予想される困りごとや不安に思うことを教えてください。(〇はそれぞれ5つまで)

今後の日常生活での困りごとや不安に思うことを聞いたところ、「ご自身・ご家族の健康（身体面）」(53.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」(52.8%)、「外食の不安・制約」(44.9%)、「ご自身・ご家族の健康（精神面）」(43.6%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「運動・スポーツの機会の減少」は令和2年度より5.9ポイント、「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は令和2年度より3.5ポイント、「ご自身・ご家族の健康（精神面）」は令和2年度より3.2ポイント、「高齢者施設の利用自粛等に伴う介護の負担の増加」は令和2年度より3.1ポイント、「外食の不安・制約」は令和2年度より3.0ポイント、それぞれ増加している。

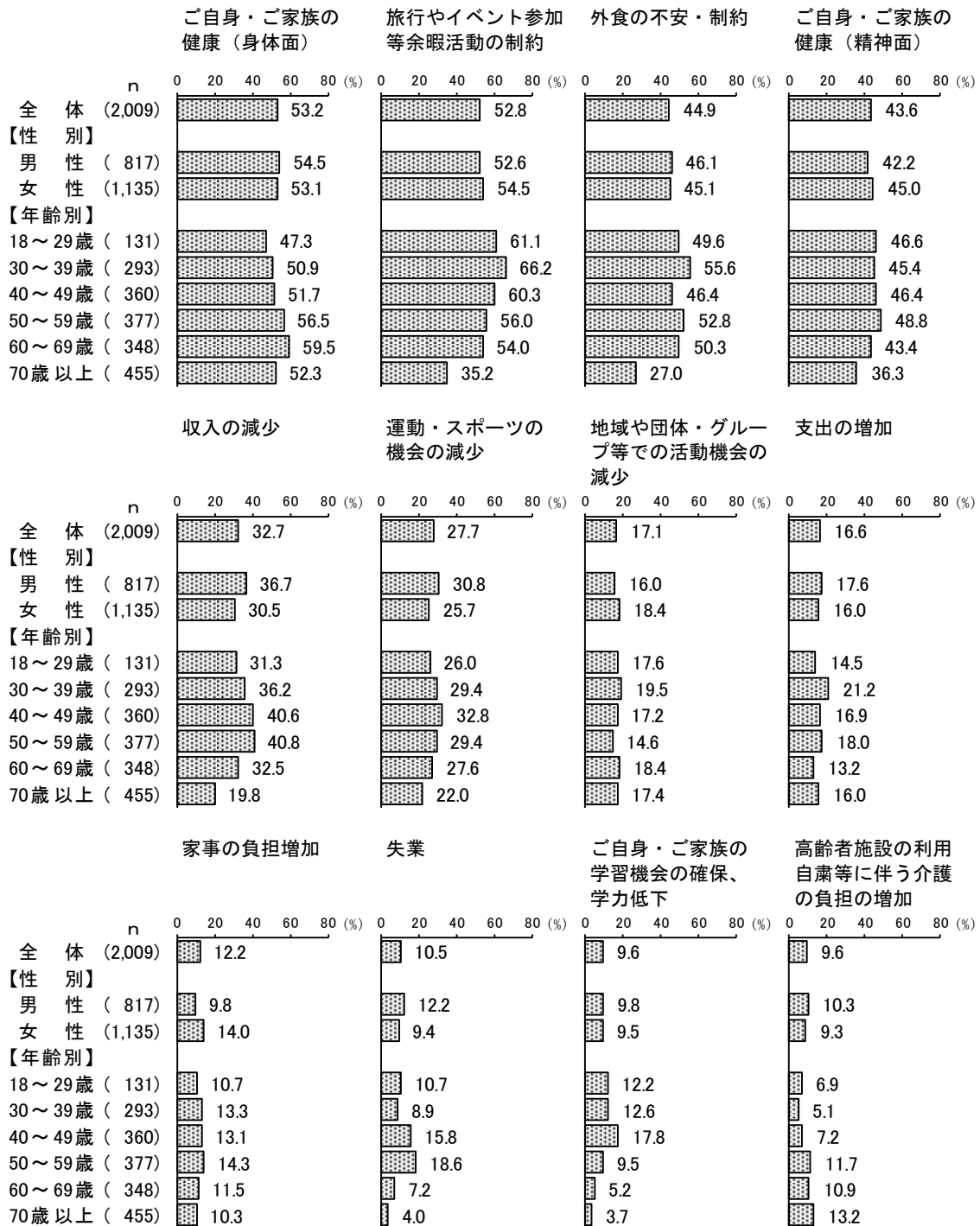


- ※ 「地域や団体・グループ等での活動機会の減少」、「オンラインによる手続き等の方法がわからない、そのための機器（パソコンやスマートフォン等）を持っていない」は今回調査からの選択肢
- ※ 「マスク・消毒液などの衛生用品が手に入らない」は令和2年度調査だけの選択肢

【性別、年齢別】(上位12項目)

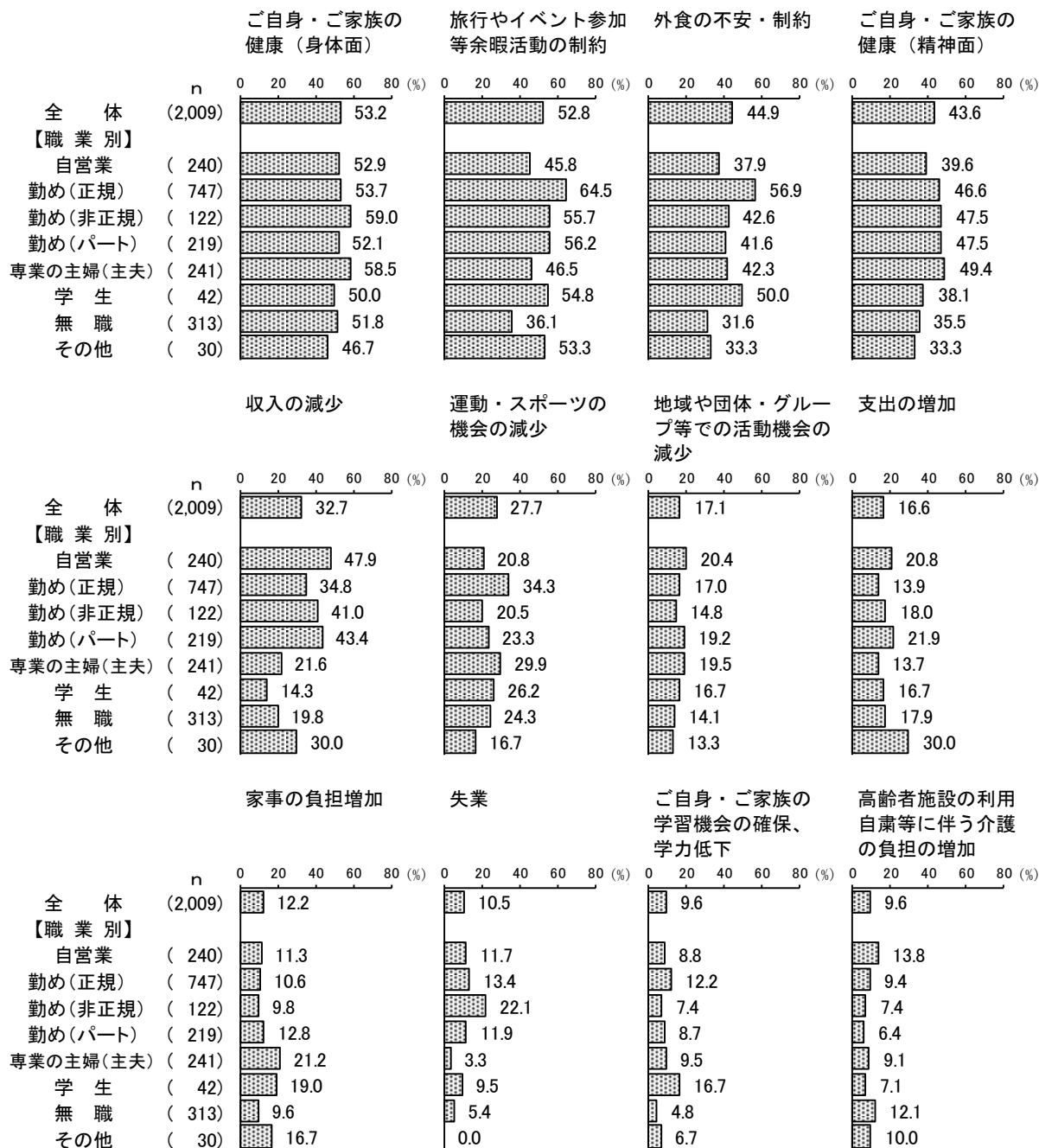
性別でみると、「収入の減少」は男性(36.7%)が女性(30.5%)より6.2ポイント、「運動・スポーツの機会の減少」は男性(30.8%)が女性(25.7%)より5.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「家事の負担増加」は女性(14.0%)が男性(9.8%)より4.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「ご自身・ご家族の健康(身体面)」は60~69歳(59.5%)で6割と高くなっている。「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は18~29歳(61.1%)、30~39歳(66.2%)、40~49歳(60.3%)で6割台となっている。「外食の不安・制約」は30~39歳(55.6%)、50~59歳(52.8%)、60~69歳(50.3%)で5割台となっている。



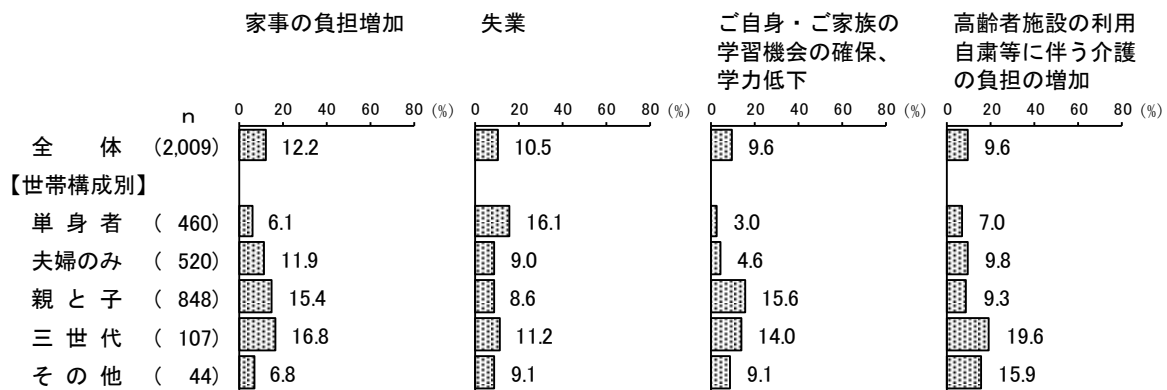
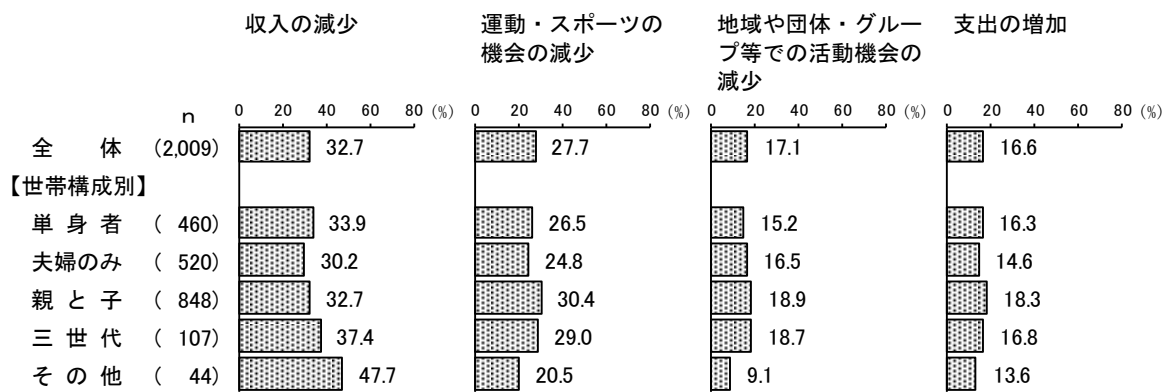
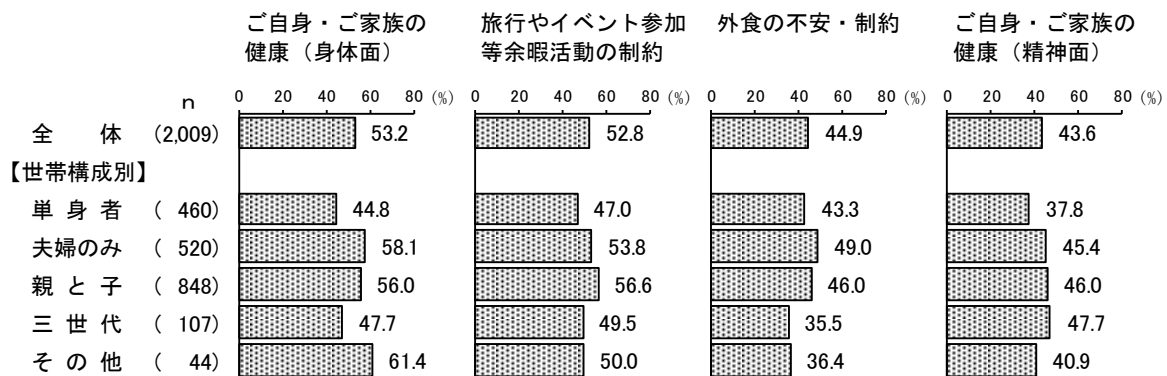
【職業別】（上位12項目）

職業別でみると、「ご自身・ご家族の健康（身体面）」は勤め（全日・非正規）（59.0%）、専業の主婦（主夫）（58.5%）で6割近くと高くなっている。「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は勤め（全日・正規）（64.5%）で6割半ばと高くなっている。「外食の不安・制約」は勤め（全日・正規）（56.9%）で6割近くと高くなっている。「ご自身・ご家族の健康（精神面）」は専業の主婦（主夫）（49.4%）で約5割と高くなっている。「収入の減少」は自営業（家族従業含む）（47.9%）、勤め（パートタイム）（43.4%）、勤め（全日・非正規）（41.0%）で4割台と高くなっている。



【世帯構成別】（上位12項目）

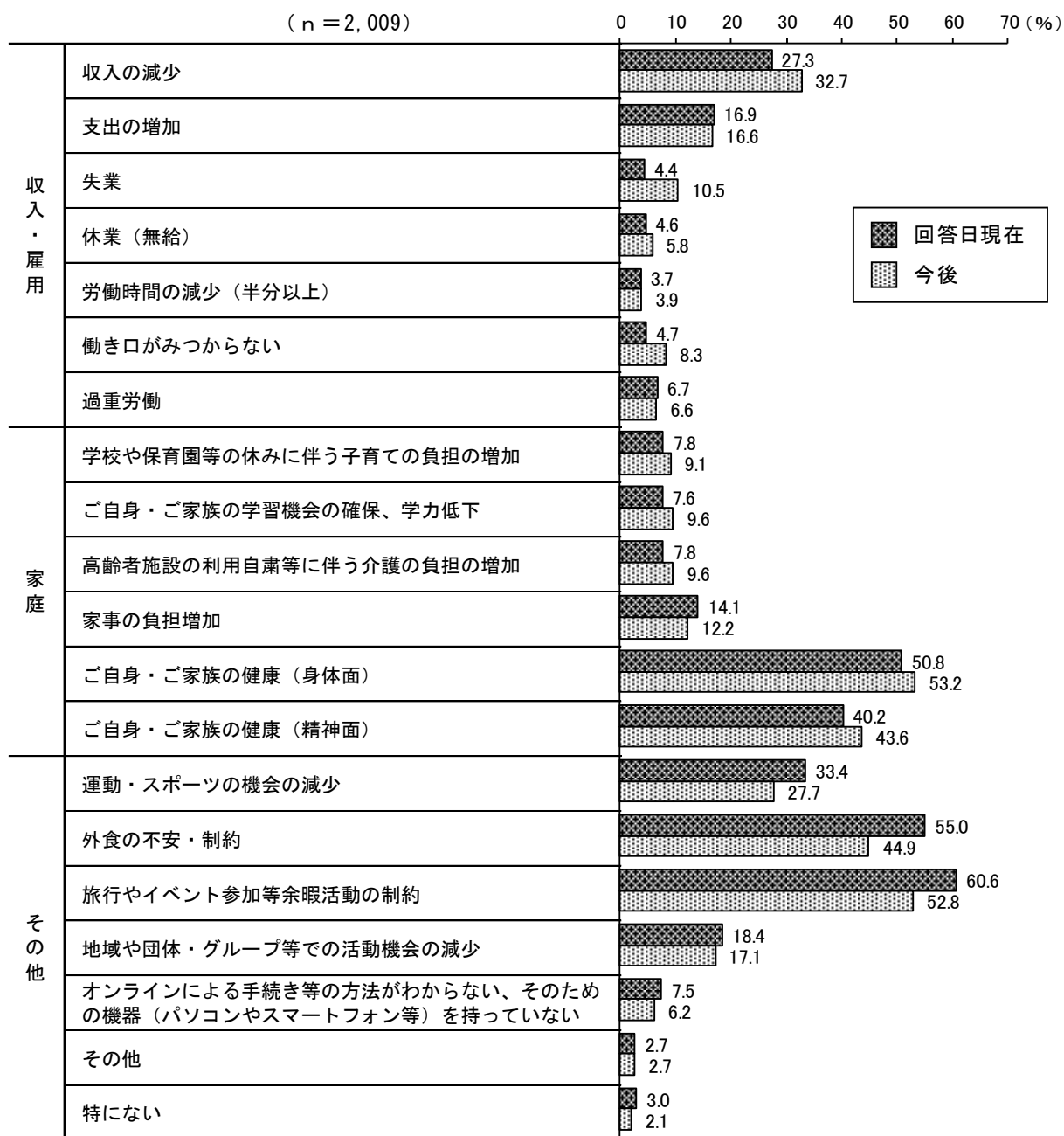
世帯構成別でみると、「ご自身・ご家族の健康（身体面）」は夫婦のみ（58.1%）で6割近くと高くなっている。「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は親と子（56.6%）で6割近くと高くなっている。「外食の不安・制約」は夫婦のみ（49.0%）で5割近くと高くなっている。



(3) 日常生活での困りごとや不安に思うことの時系列比較

問25 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活であなたやあなたの家族が、現在、特に困っていることや不安に思うことを教えてください。
 また、今後も感染症の影響が続いた場合に、予想される困りごとや不安に思うことを教えてください。(〇はそれぞれ5つまで)

日常生活での困りごとや不安に思うことについて時系列で比較すると、今後の割合が増加している項目で大きいものから「失業」が6.1ポイント、「収入の減少」が5.4ポイント、「働き口が見つからない」が3.6ポイントと、収入・雇用に関連する項目が多くなっている。

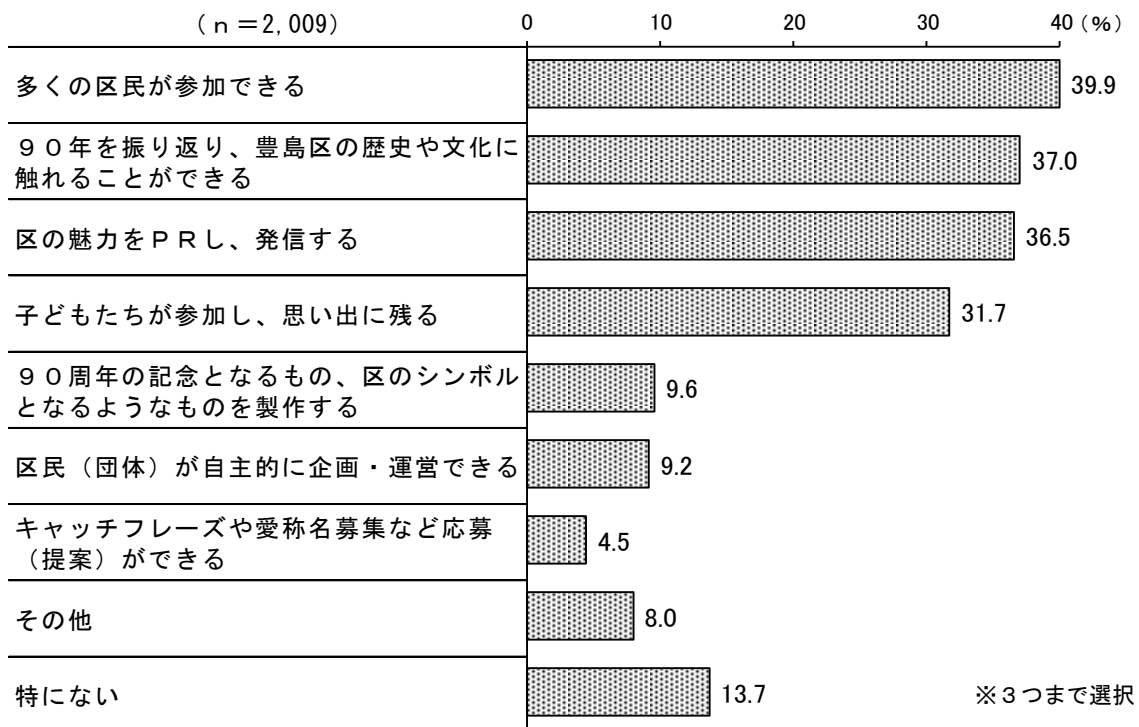


10. 区制施行90周年に向けて

(1) 区制施行90周年を記念した事業での重要な取組

問 26 豊島区は、令和4年度に区制施行90周年を迎えます。90周年を記念した事業を行う場合、あなたは、どのような取組が重要であると思いますか。(〇は3つまで)

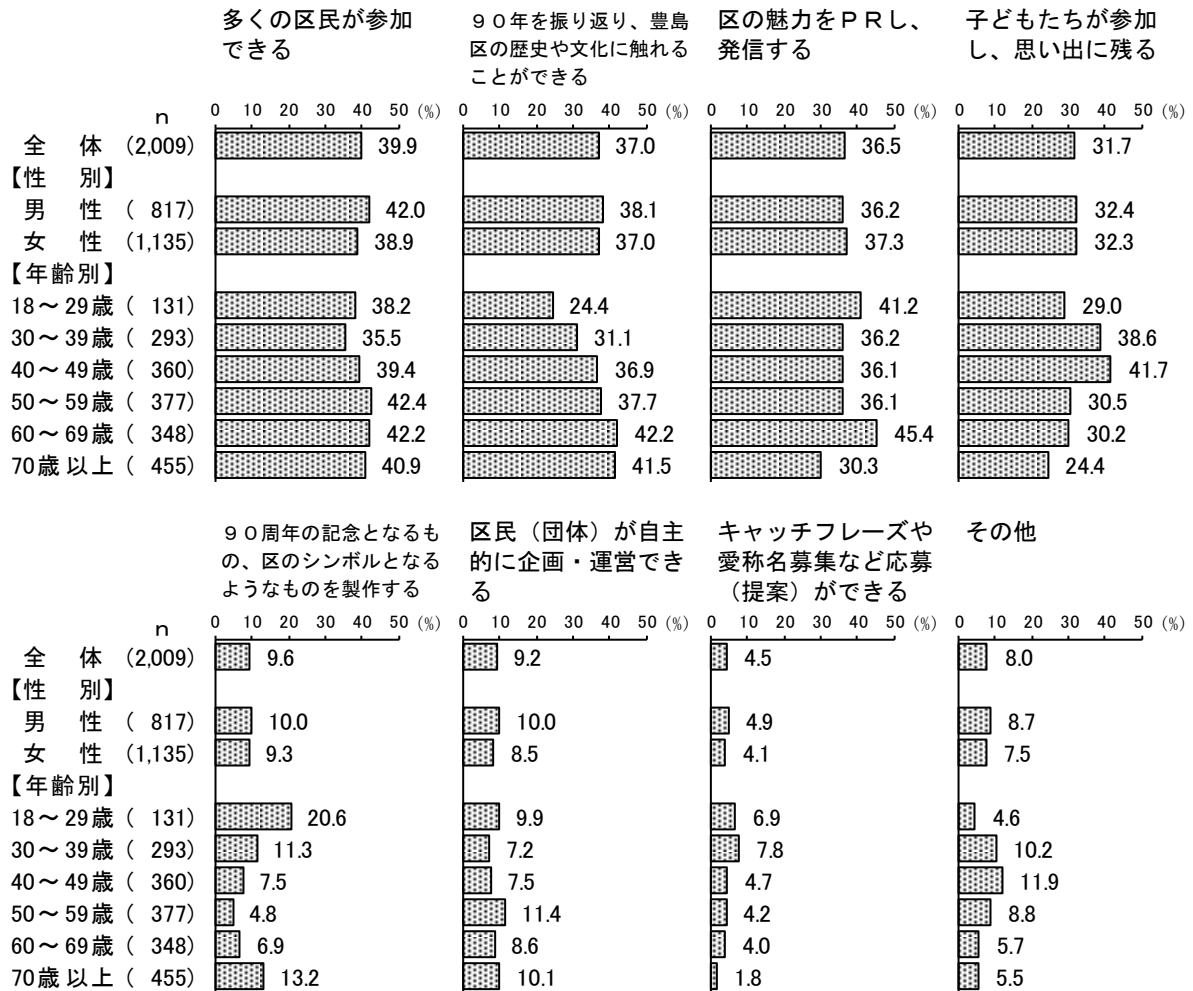
90周年を記念した事業を行う場合、どのような取組が重要であると思うか聞いたところ、「多くの区民が参加できる」(39.9%)が4割で最も高く、次いで「90年を振り返り、豊島区の歴史や文化に触れることができる」(37.0%)、「区の魅力をPRし、発信する」(36.5%)、「子どもたちが参加し、思い出に残る」(31.7%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「多くの区民が参加できる」は男性（42.0%）が女性（38.9%）より3.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「90年を振り返り、豊島区の歴史や文化に触れることができる」は60～69歳（42.2%）、70歳以上（41.5%）で4割台と高くなっている。「区の魅力をPRし、発信する」は60～69歳（45.4%）で4割半ばと高くなっている。「子どもたちが参加し、思い出に残る」は40～49歳（41.7%）で4割を超え、30～39歳（38.6%）で4割近くと、それぞれ高くなっている。

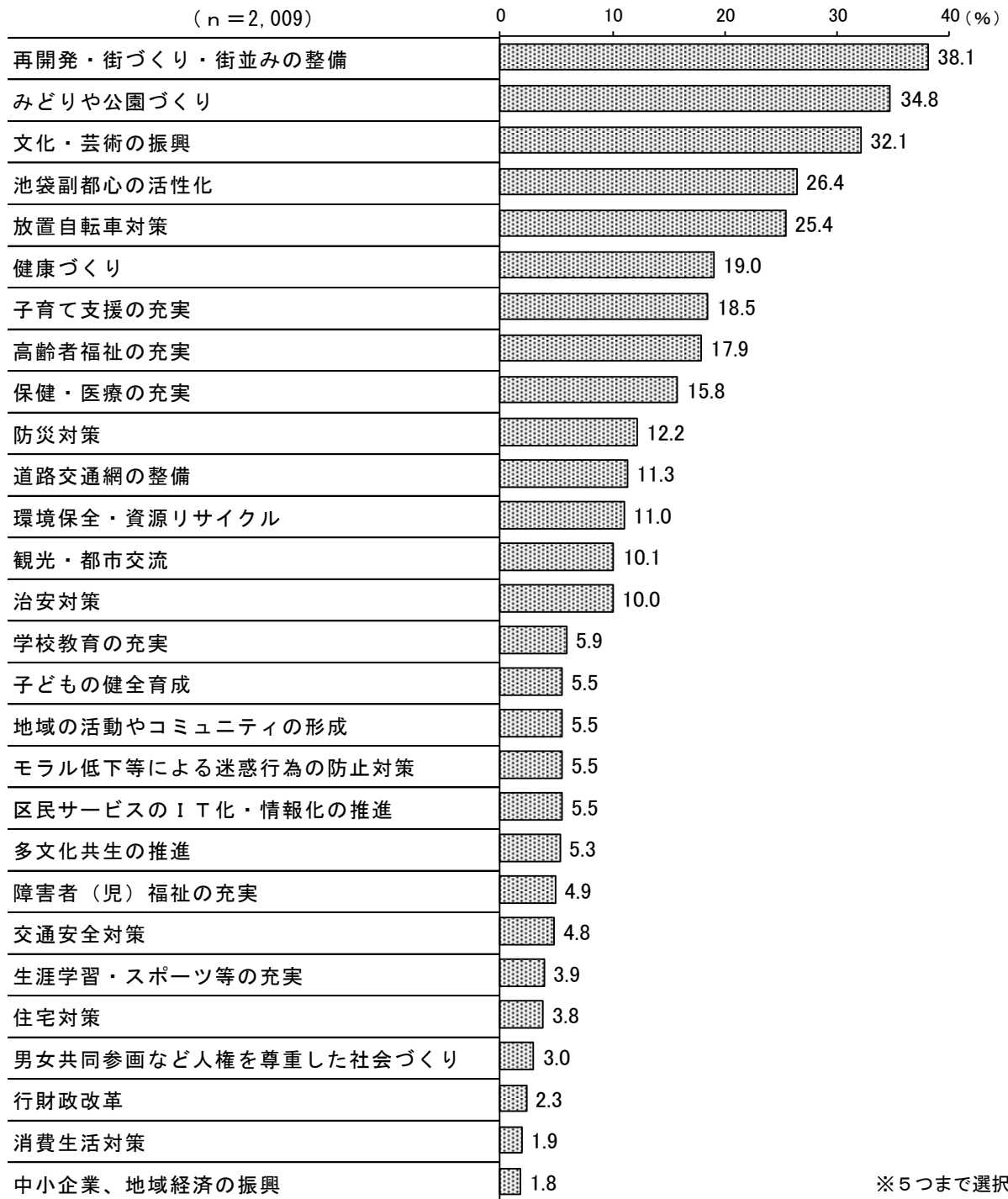


11. 区政全般への要望

(1) 現在、区が力を入れていると思う施策

問 27 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。
(○はそれぞれ5つまで)

現在、区が力を入れていると思う施策を聞いたところ、「再開発・街づくり・街並みの整備」(38.1%)が4割近くで最も高く、次いで「みどりや公園づくり」(34.8%)、「文化・芸術の振興」(32.1%)、「池袋副都心の活性化」(26.4%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位 10 項目の中で、令和 2 年度より順位が高くなったものは、「みどりや公園づくり」、「防災対策」の 2 項目となっている。

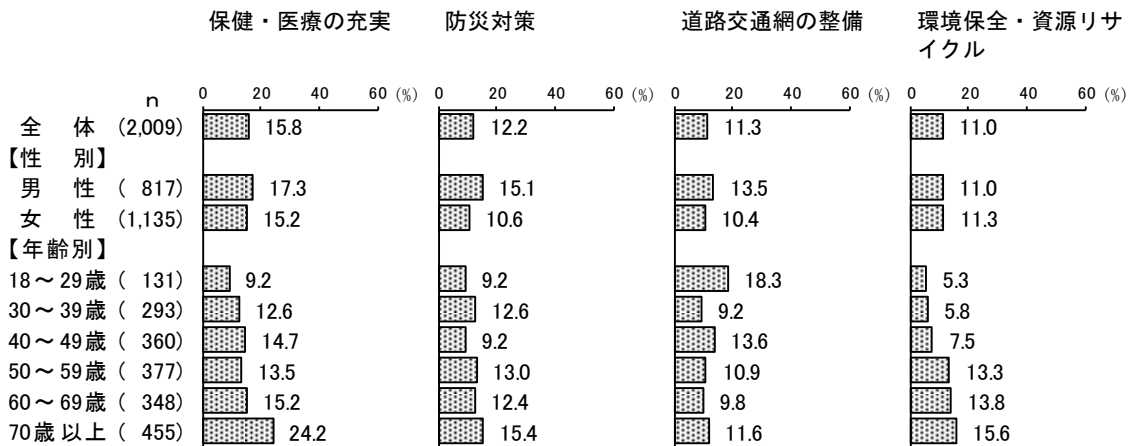
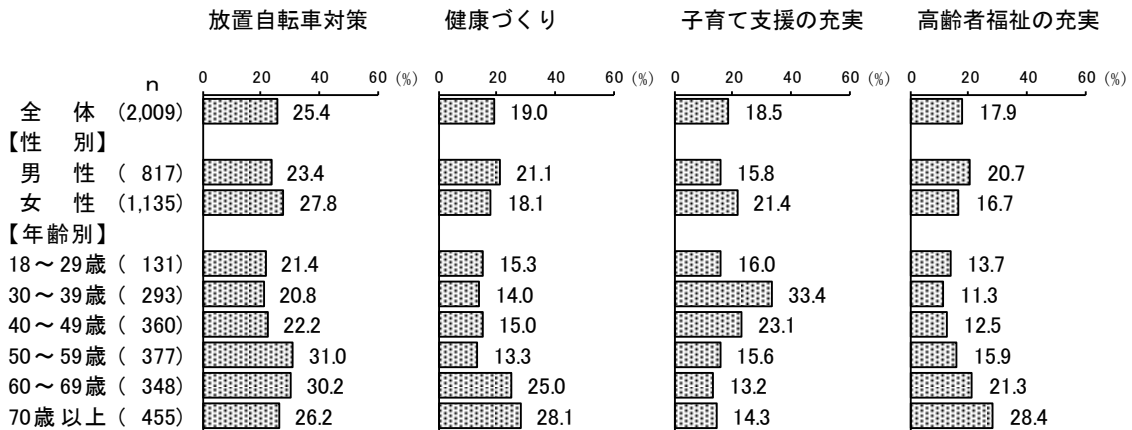
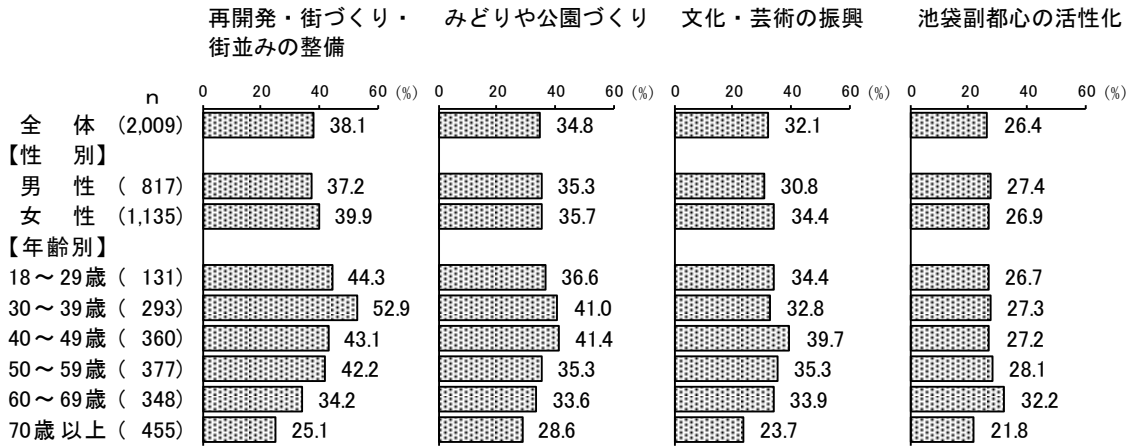
一方、上位 10 項目の中で、令和 2 年度より順位が低くなったものは、「文化・芸術の振興」、「池袋副都心の活性化」の 2 項目となっている。

<令和 3 年度>			順位比較	<令和 2 年度>	
順位		%		順位	%
1	再開発・街づくり・街並みの整備	38.1	←-----	1	38.7
2	みどりや公園づくり	34.8	←/	4	30.4
3	文化・芸術の振興	32.1	←/	2	36.4
4	池袋副都心の活性化	26.4	←/	3	32.7
5	放置自転車対策	25.4	←-----	5	25.7
6	健康づくり	19.0	←-----	6	16.1
7	子育て支援の充実	18.5	←-----	7	15.7
8	高齢者福祉の充実	17.9	←-----	8	15.2
9	保健・医療の充実	15.8	←-----	9	13.9
10	防災対策	12.2	←/	11	11.2
11	道路交通網の整備	11.3	←/	12	11.1
12	環境保全・資源リサイクル	11.0	←/	14	7.2
13	観光・都市交流	10.1	←/	10	13.2
14	治安対策	10.0	←/	13	8.0
15	学校教育の充実	5.9	←-----	15	6.2
16	子どもの健全育成	5.5	←/	18	5.3
16	地域の活動やコミュニティの形成	5.5	←-----	16	5.9
16	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	5.5	←/	19	4.8
16	区民サービスの IT 化・情報化の推進	5.5	←/	20	4.1
20	多文化共生の推進	5.3	←/	16	5.9
21	障害者（児）福祉の充実	4.9	←-----	21	3.9
22	交通安全対策	4.8	←-----	22	3.2
23	生涯学習・スポーツ等の充実	3.9	←/	24	2.8
24	住宅対策	3.8	←/	23	2.9
25	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	3.0	←-----	25	2.3
26	行財政改革	2.3	←-----	26	1.9
27	消費生活対策	1.9	←/	26	1.9
28	中小企業、地域経済の振興	1.8	←-----	28	1.8

【性別、年齢別】（上位12項目）

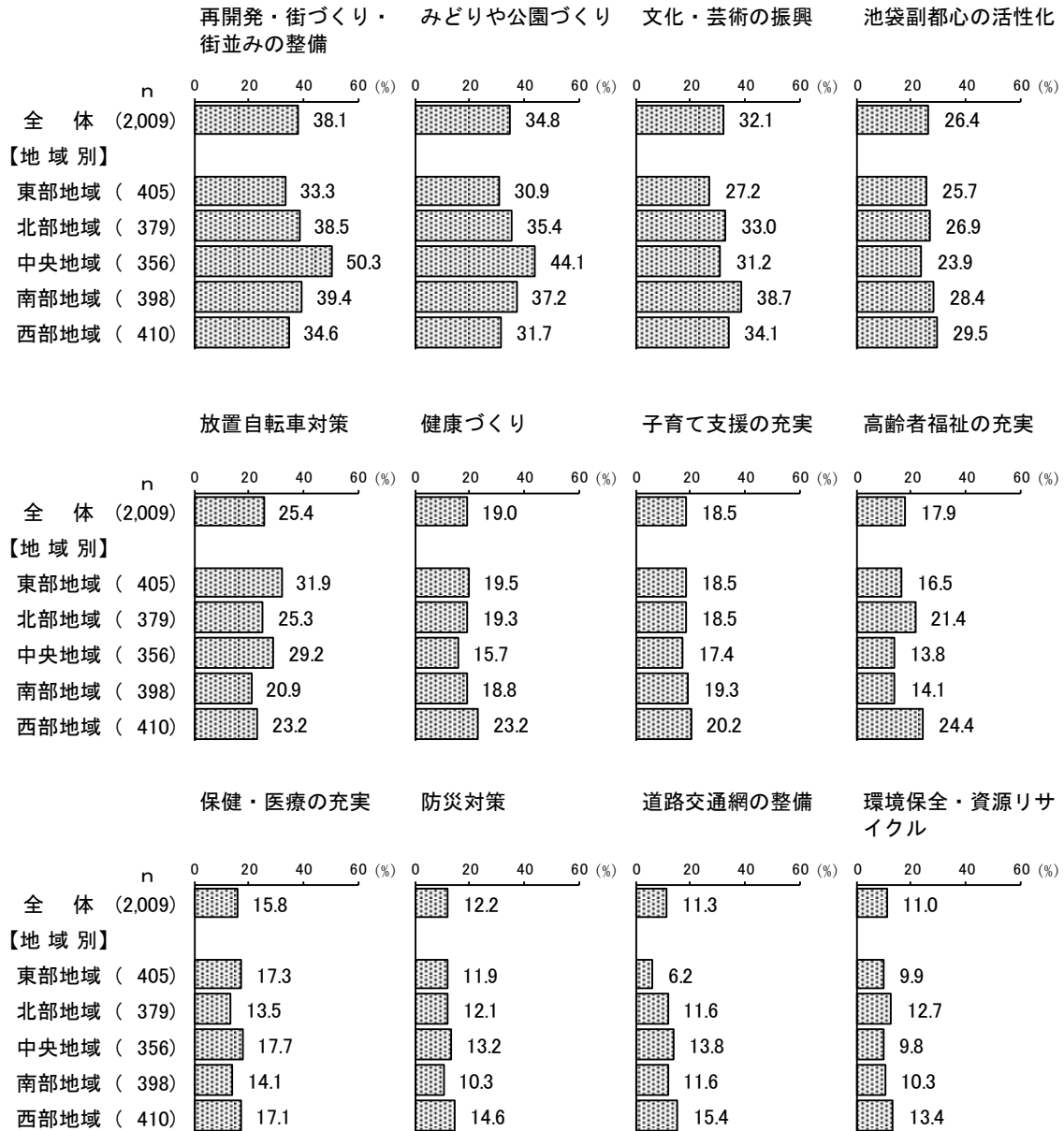
性別でみると、「子育て支援の充実」は女性（21.4%）が男性（15.8%）より5.6ポイント高くなっている。一方、「防災対策」は男性（15.1%）が女性（10.6%）より4.5ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は30～39歳（52.9%）で5割を超えて高くなっている。「みどりや公園づくり」は30～39歳（41.0%）、40～49歳（41.4%）で4割を超えて高くなっている。「文化・芸術の振興」は40～49歳（39.7%）で4割と高くなっている。「池袋副都心の活性化」は60～69歳（32.2%）で3割を超えて高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

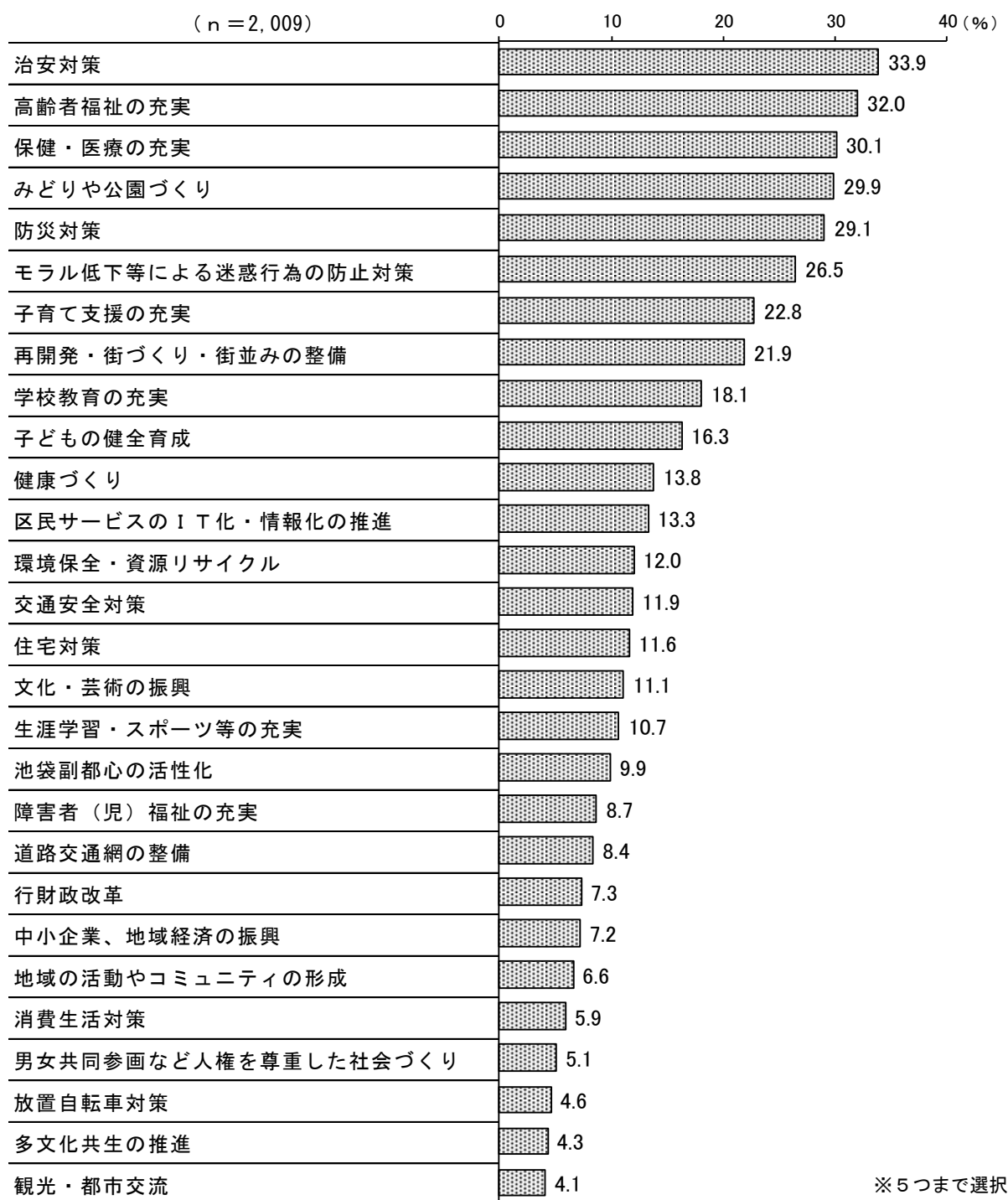
地域別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は中央地域（50.3%）で5割と高くなっている。「みどりや公園づくり」は中央地域（44.1%）で4割半ばと高くなっている。「文化・芸術の振興」は南部地域（38.7%）で4割近くと高くなっている。「放置自転車対策」は東部地域（31.9%）で3割を超えて高くなっている。



(2) 特に力を入れてほしいと思う施策

問27 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。
(〇はそれぞれ5つまで)

特に力を入れてほしいと思う施策を聞いたところ、「治安対策」(33.9%)が3割半ばで最も高く、次いで「高齢者福祉の充実」(32.0%)、「保健・医療の充実」(30.1%)、「みどりや公園づくり」(29.9%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位 10 項目の中で、令和 2 年度より順位が高くなったものは、「治安対策」、「高齢者福祉の充実」、「みどりや公園づくり」の 3 項目となっている。

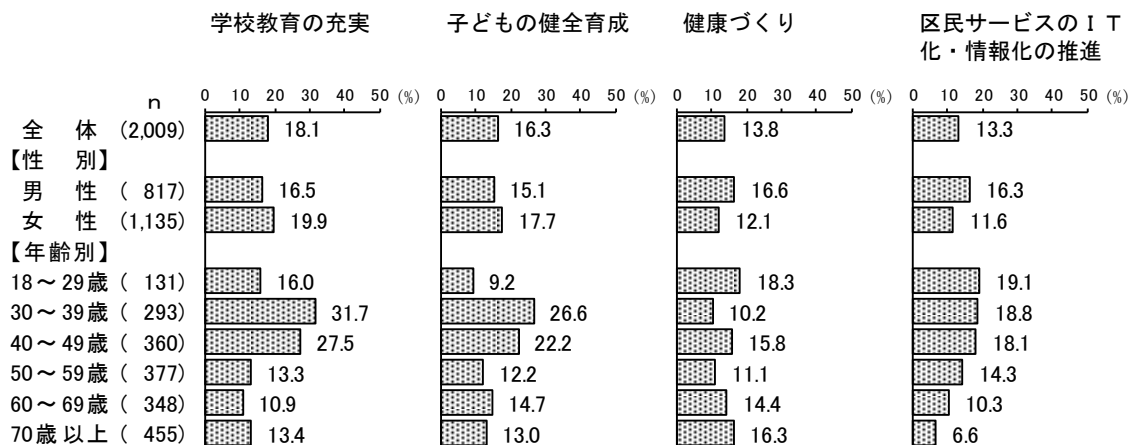
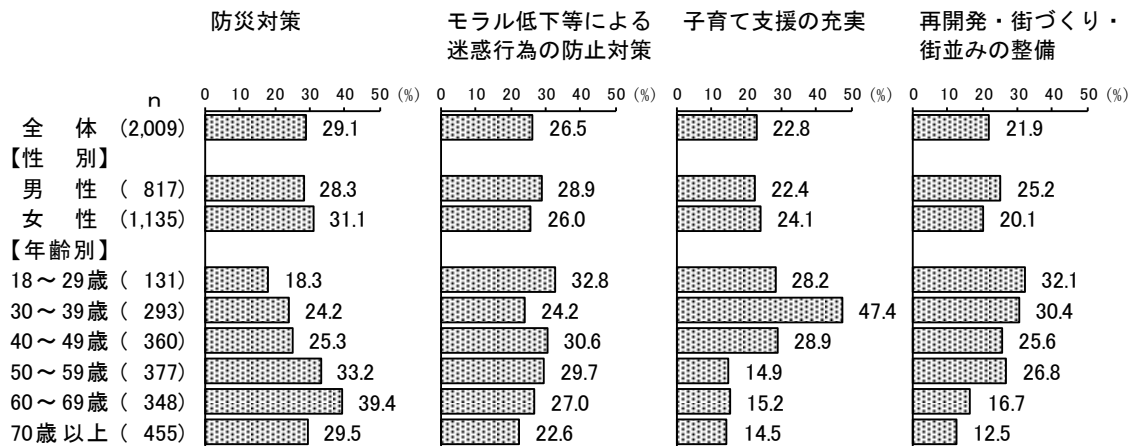
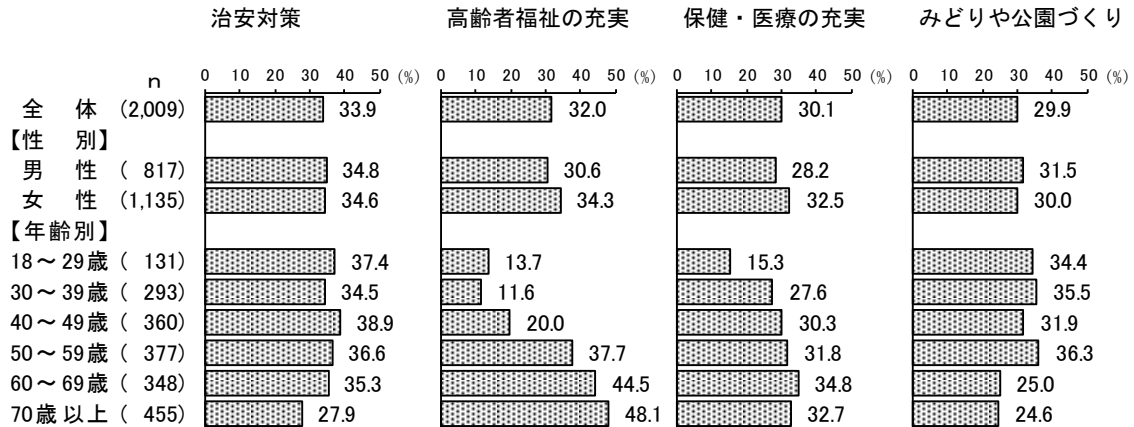
一方、上位 10 項目の中で、令和 2 年度より順位が低くなったものは、「保健・医療の充実」、「防災対策」の 2 項目となっている。

<令和 3 年度>			順位比較	<令和 2 年度>	
順位		%		順位	%
1	治安対策	33.9	↑	2	32.1
2	高齢者福祉の充実	32.0	↑	4	29.9
3	保健・医療の充実	30.1	↓	1	32.7
4	みどりや公園づくり	29.9	↑	5	27.8
5	防災対策	29.1	↓	3	31.0
6	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	26.5	→	6	25.2
7	子育て支援の充実	22.8	→	7	20.6
8	再開発・街づくり・街並みの整備	21.9	→	8	18.7
9	学校教育の充実	18.1	→	9	15.0
10	子どもの健全育成	16.3	→	10	14.2
11	健康づくり	13.8	↑	12	13.5
12	区民サービスの IT 化・情報化の推進	13.3	↑	11	14.1
13	環境保全・資源リサイクル	12.0	↑	15	10.2
14	交通安全対策	11.9	↑	16	9.5
15	住宅対策	11.6	↑	13	11.8
16	文化・芸術の振興	11.1	↑	17	9.3
17	生涯学習・スポーツ等の充実	10.7	↑	14	10.5
18	池袋副都心の活性化	9.9	↑	21	7.8
19	障害者（児）福祉の充実	8.7	→	19	8.3
20	道路交通網の整備	8.4	↑	18	8.4
21	行財政改革	7.3	↑	24	6.2
22	中小企業、地域経済の振興	7.2	↑	20	8.0
23	地域の活動やコミュニティの形成	6.6	↑	22	7.0
24	消費生活対策	5.9	↑	23	6.7
25	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	5.1	→	25	4.9
26	放置自転車対策	4.6	↑	25	4.9
27	多文化共生の推進	4.3	↑	28	3.1
28	観光・都市交流	4.1	↑	27	3.6

【性別、年齢別】(上位12項目)

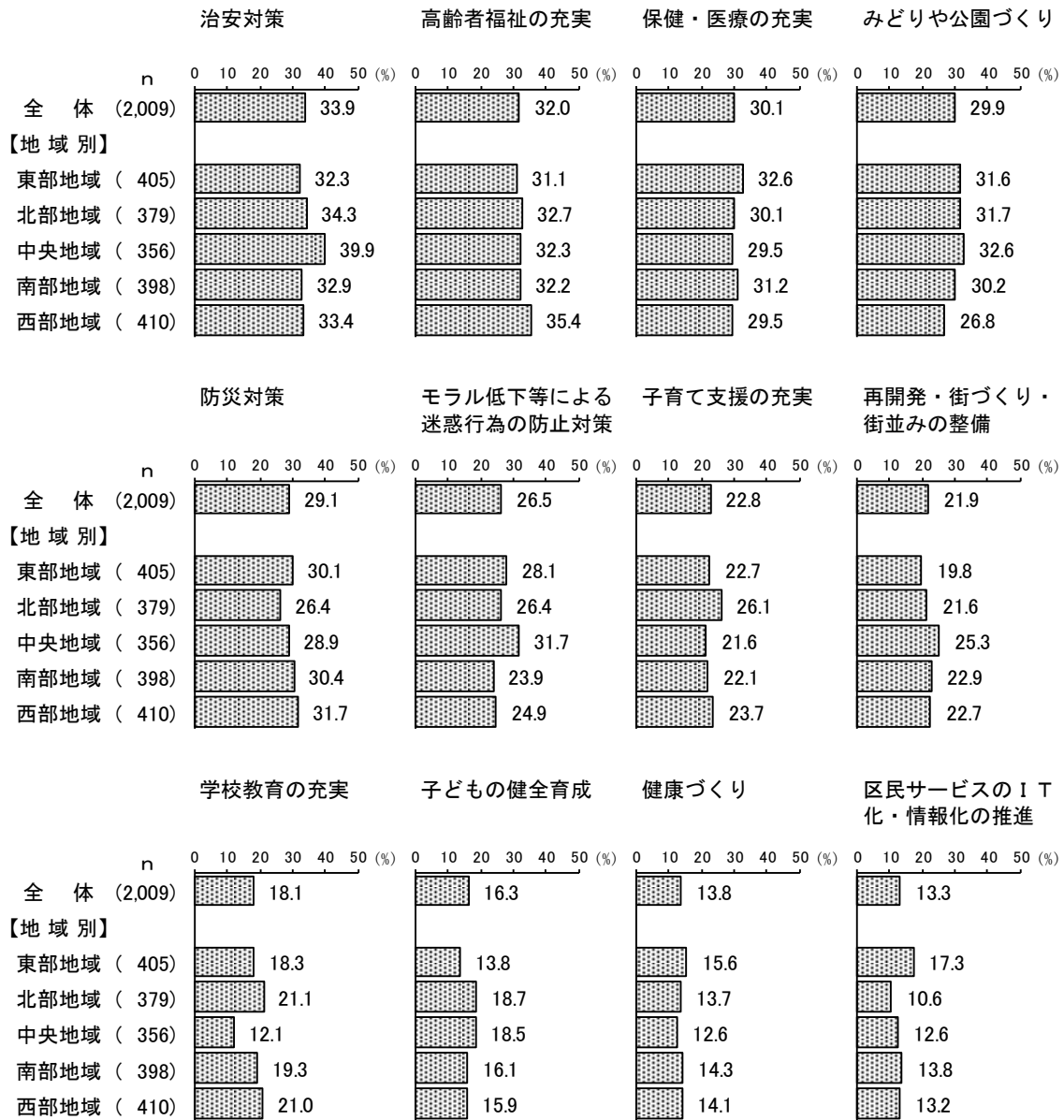
性別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は男性(25.2%)が女性(20.1%)より5.1ポイント高くなっている。一方、「保健・医療の充実」は女性(32.5%)が男性(28.2%)より4.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「治安対策」は40～49歳(38.9%)で4割近くと高くなっている。「高齢者福祉の充実」は60～69歳(44.5%)、70歳以上(48.1%)で4割台と高くなっている。「みどりや公園づくり」は18～29歳(34.4%)、30～39歳(35.5%)、50～59歳(36.3%)で3割半ばと高くなっている。「防災対策」は60～69歳(39.4%)で約4割と高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「治安対策」は中央地域（39.9%）で4割と高くなっている。「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」は中央地域（31.7%）で3割を超えて高くなっている。



(3) 総合分析

「現在、区が力を入れていると思う施策（現在の評価）」と「特に力を入れてほしいと思う施策（今後の優先度）」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。また、前回調査（令和2年度）と比較するため、●が今回調査、○が前回調査とし、前回から今回への推移を矢印で表した。

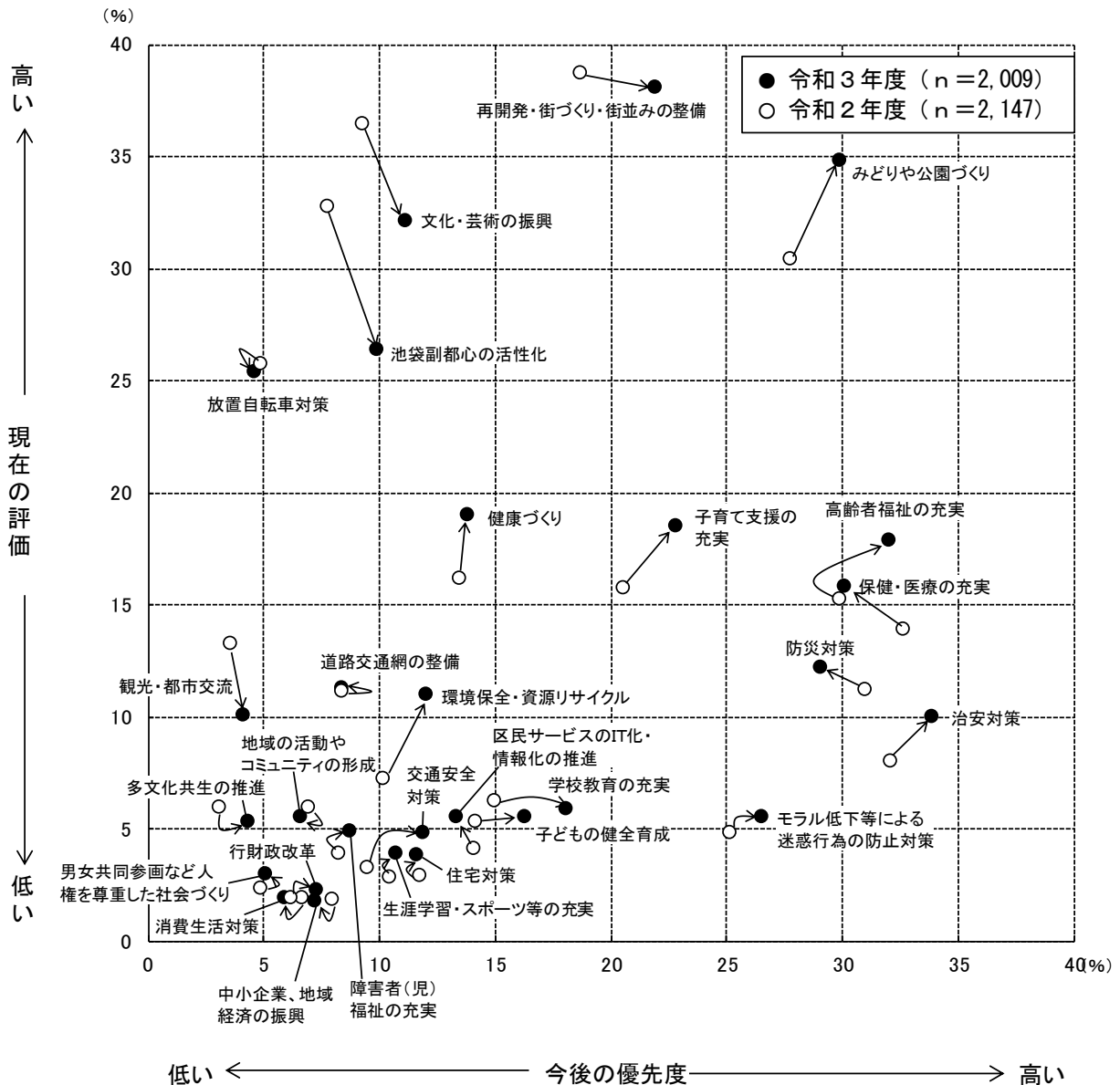
【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価 各項目の回答割合 (%)	■今後の優先度 各項目の回答割合 (%)
------------------------	-------------------------

このグラフで右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

現在の評価は低い、今後の優先度は高い項目は、優先度が高い順に「治安対策」、「高齢者福祉の充実」、「保健・医療の充実」、「みどりや公園づくり」、「防災対策」となっている。



12. 自由意見

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

これからの豊島区のまちづくりに対する自由意見の整理結果は以下のとおりである。756 人の方から回答を得られた。回答内容によって複数に分けた意見もあるため、全体の意見数は 1,096 件となっている。意見の分類は、問7：地域の生活環境の評価と今後の優先度の項目に沿って行った。

分 類 項 目	件 数
① 参画・協働	33
② 平和・人権	46
③ 福祉	76
④ 健康・保健	57
⑤ 子育て	71
⑥ 教育	30
⑦ みどり・環境	145
⑧ 都市再生・交通	209
⑨ 防災・治安	115
⑩ 商工・観光	49
⑪ 文化	58
⑫ 区政について	104
⑬ その他	67
⑭ 本調査について	36
合 計	1,096

Ⅲ 調査票

令和 3 年度 豊島区 協働のまちづくりに関する区民意識調査

～ご協力のお願い～

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
豊島区では、一人ひとりの区民の皆さまをはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかでお感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民の皆さまとの協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

実施に当たり、区内に2年以上お住まいの18歳以上の方から無作為に5,000名を選ばせていただきました。回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。

お忙しいことは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

令和3年7月 豊島区長 高野 之夫

《ご記入にあたってお願い》

1. 同封のアンケートへのご回答は、原則として封筒のあて名のご本人様が行ってください。
(ご本人様の回答が困難な場合には、ご家族様にご相談いただいても結構です。)
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問で、○をつける選択肢の番号を「1つに○」「○は3つまで」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」を選んだ場合や自由回答には、具体的な内容をご記入ください。

◎ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、

8月13日(金)までに 郵便ポストにご投函ください。

なお、返信用封筒にはバーコードがついていますが、これは返送先(区)の郵便番号を示すもので、個人を特定するものではありません。

記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03-4566-2511 (直通)

【FAX】 03-3980-5093



豊島区 PR キャラクター「としま ななまる」



協働のまちづくりに関する区民意識調査 調査票

I. 豊島区の印象について

1. 住み心地

問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|------------------|----------|
| 1. 住み良い | 3. どちらかといえば住みにくい | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば住み良い | 4. 住みにくい | |

問2 以前と比べて住み心地に変化はありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 以前より住み良くなった | 3. 変わらない |
| 2. 以前より住みにくくなった | 4. わからない |

《問2で、「1. 以前より住み良くなった」または「2. 以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》

問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて1つお答えください。(自由回答)

2. 居住の経緯

問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1. ずっと住んでいる (一時的に豊島区を離れた人も含む) | 2. 他の地域からきた |
|-------------------------------|-------------|

《問3で、「2. 他の地域からきた」とお答えの方におたずねします》

問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた |
| 2. 最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった |
| 3. 転居先が豊島区内に決まっていた (会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめめる家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど) |

《問3-1で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 買い物など日常生活に便利だから | 9. 治安が良いから |
| 2. 通勤・通学に便利だから | 10. 防災面で安全だから |
| 3. 出産や子育て環境が良いから | 11. 公共施設が充実しているから |
| 4. 教育環境が良いから | 12. 街並みや街の雰囲気が良いから |
| 5. 文化的な環境が良いから | 13. 豊島区またはその地域のイメージが良かったから |
| 6. 医療・福祉・介護が充実しているから | 14. 気に入った物件が豊島区内だったから |
| 7. 住環境が良いから | 15. 物価が安いから |
| 8. 自然環境が良いから | 16. その他 () |

3. 定住意向

問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. いつまでも住み続けたいと思っている |
| 2. 当分住み続けたいと思っている |
| 3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある |
| 4. 他の地域・区市町村に転居したいと思っている |
| 5. わからない |

《問4で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

▶問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 地域になじみがあるから | 13. 子どもの教育のため、住む必要があるから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地だから | 14. 教育環境が良いから |
| 3. 今の住まいが気に入っているから | 15. 文化的な環境が良いから |
| 4. 持ち家だから | 16. 医療・福祉・介護が充実しているから |
| 5. 親や子どもと一緒に(近く)に住んでいるから | 17. 住環境が良いから |
| 6. 親戚が近くに住んでいるから | 18. 家賃が適当だから |
| 7. 友人・知人が近くに住んでいるから | 19. 物価が安いから |
| 8. 近所づきあいがうまくいっているから | 20. 自然環境が良いから |
| 9. 買い物など日常生活に便利だから | 21. 治安が良いから |
| 10. 通勤・通学に便利だから | 22. 防災面で安全だから |
| 11. 仕事の関係上、住む必要があるから | 23. 公共施設が充実しているから |
| 12. 出産や子育て環境が良いから | 24. その他 () |

《問4で、「3」または「4」とお答えの方におたずねします》

▶問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 地域になじみがないから | 15. 出産や子育て環境が良くないから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地ではないから | 16. 子どもの教育のため、転居する必要があるから |
| 3. 今の住まいが気に入っていないから | 17. 教育環境が良くないから |
| 4. 持ち家に住みたいから | 18. 文化的な環境が良くないから |
| 5. 家が手狭になったから | 19. 医療・福祉・介護が充実していないから |
| 6. 親や子どもの近くに住みたいから | 20. 住環境が良くないから |
| 7. 親戚の近くに住みたいから | 21. 家賃が負担だから |
| 8. 友人・知人の近くに住みたいから | 22. 物価が高いから |
| 9. 結婚等で同居するから | 23. 自然環境が良くないから |
| 10. 近所づきあいがうまくいっていないから | 24. 治安が良くないから |
| 11. 買い物など日常生活に不便だから | 25. 防災面で不安だから |
| 12. 通勤・通学に不便だから | 26. 公共施設が充実していないから |
| 13. 仕事の関係上、転居する必要があるから | 27. 他の地域にも興味があるから |
| 14. 仕事・学校の関係で一時的に居住しているだけだから | 28. その他 () |

4. 地域への愛着

問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

1. 愛着を感じている	4. 愛着を感じていない
2. やや愛着を感じている	5. どちらともいえない
3. あまり愛着を感じていない	

問6 あなたは豊島区に住んでいることを誇りに感じますか。(1つに○)

1. 誇りに感じている	4. 誇りに感じていない
2. やや誇りに感じている	5. どちらともいえない
3. あまり誇りに感じていない	

II. 地域の生活環境の評価と今後の優先度について

問7 以下の設問は、地域の生活環境を11グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。「現在の評価」欄は、項目ごとに1つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	1	2	3	※1~4の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	1	2	3	
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
② 平和・人権	5	外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。 ※5～10の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	6	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	8	性別等により、差別されない社会である	1	2	3	
	9	女性が自ら望む形で働ける社会である	1	2	3	
	10	配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている	1	2	3	
③ 福祉	11	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	※11～17の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	12	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる	1	2	3	
	13	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている	1	2	3	
	14	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる	1	2	3	
	15	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい	1	2	3	
	16	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	1	2	3	
	17	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	
④ 健康・保健	18	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある	1	2	3	※18～21の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	19	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している	1	2	3	
	20	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	21	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
⑤ 子育て	22	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある	1	2	3	※22～26の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	23	子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している	1	2	3	
	24	児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	25	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる	1	2	3	
	26	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている	1	2	3	
⑥ 教育	27	学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている	1	2	3	※27～35の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	28	学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている	1	2	3	
	29	学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている	1	2	3	
	30	特別な配慮を要する子どもへの支援が充実している	1	2	3	
	31	子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている	1	2	3	
	32	家庭教育に対する支援が充実している	1	2	3	
	33	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている	1	2	3	
	34	伝統行事や伝統芸能、工芸技術など、地域の文化財への関心を高める環境が整えられている	1	2	3	
	35	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
⑦ みどり・環境	36	近くに好きな公園がある	1	2	3	※36～43の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	37	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	38	CO ₂ 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	1	2	3	
	39	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	1	2	3	
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	41	騒音、大気汚染などの公害に悩まされない	1	2	3	
	42	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	43	ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている	1	2	3	
⑧ 都市再生・交通	44	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※44～52の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	46	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	47	池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	1	2	3	
	49	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	50	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	
	51	身近な生活道路が安全・快適に通行できる	1	2	3	
52	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	1	2	3		

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に 良くしていくべき と思う項目の番号 を選んでください。
⑨ 防災・治安	53	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	※53～59の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	54	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	
	55	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています	1	2	3	
	56	電柱のない道路が増えている	1	2	3	
	57	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	58	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	59	交通事故が少ない	1	2	3	
⑩ 商工・観光	60	経営に関する相談体制や支援が充実し、経済活動が活発である	1	2	3	※60～66の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	61	商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている	1	2	3	
	62	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	
	63	豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる	1	2	3	
	64	区の観光情報を提供するための素材を簡単に手に入れられる	1	2	3	
	65	区内で地方の特産品や観光情報などを入手する機会がある	1	2	3	
	66	区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている	1	2	3	
⑪ 文化	67	文化芸術に触れる機会が多くなった	1	2	3	※67～70の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	68	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	69	学んだことを地域で生かして活動をしている	1	2	3	
	70	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	

Ⅲ. 区の情報・区の政策等について

1. 区の情報・区政への参加について

問8 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 新聞折り込みによる「広報としま」 | 9. 区の窓口や電話での問い合わせ |
| 2. 区内店舗や駅などで入手した「広報としま」 | 10. 区以外のインターネットサイト・SNS |
| 3. 戸別配達による「広報としま」 | 11. 区以外の新聞・雑誌・テレビ報道 |
| 4. 「広報としま」以外の区のパンフレットやチラシなど | 12. 町会などの回覧板 |
| 5. 区のホームページ | 13. 知人・家族から(口コミ) |
| 6. 区のメールマガジン・SNS・情報アプリ | 14. その他 |
| 7. 区のテレビ広報番組(ケーブルテレビ) | () |
| 8. 区の掲示板 | 15. 入手したことが無い |

問9 あなたは、区政情報が伝わっていると思いますか(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分に伝わっている | 3. あまり伝わっていない |
| 2. ある程度伝わっている | 4. まったく伝わっていない |

問10 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少しは関心がある | 4. 関心がない |

問11 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 反映されている | 3. あまり反映されていない |
| 2. 少しは反映されている | 4. 反映されていない |

問12 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 3. 少し不満である |
| 2. 少しは満足している | 4. 不満である |

問13 あなたは、区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

2. 地域との関わりについて

問 14 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。（1つに○）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 思っている | 3. あまり思っていない |
| 2. 少しは思っている | 4. 思っていない |

問 15 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 現在、参加している | 3. 関心はあるが、参加していない |
| 2. 以前、参加したことがある | 4. 関心がないので、参加していない |

3. SDGs（エス・ディー・ジーズ）について

問 16 豊島区は、SDGsについて先導的な取組を行う自治体として、2020年7月、東京都特別区で初めて「SDGs未来都市」に選定されました。

あなたは、SDGsについて知っていますか。（1つに○）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 知っている | 3. 言葉も聞いたことがない |
| 2. 言葉は聞いたことがある | |



SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは

- 2015年に国連サミットで採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）で、「地球上の誰一人取り残さない」社会の実現を目指すものです。
- 経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決し持続可能な世界を実現するため、17の目標が掲げられています。

SDGs未来都市とは

- SDGsの理念に沿った取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を国（内閣府）が選定するものです。

SDGsの17の目標



としまSDGsチャレンジブック

- 豊島区ならではのSDGs実践例をふんだんに盛り込み、いつもの生活に少し工夫を加えてSDGsにチャレンジするための冊子です。また、実践例だけでなく、本区のSDGs実現に向けた取組や、SDGs特命大使・区内企業が取り組むSDGs等についても、合わせて掲載しています。

豊島区ホームページからご覧いただけます→



4. 人権について

問 17 あなたは、人権についてどのようにお考えですか。(1つに○)

1. 一人ひとりの人権は、何よりも尊重されなければならない
2. できる限り、一人ひとりの人権を尊重すべきである
3. 社会生活においては、一人ひとりの人権はある程度制約されてもやむを得ない
4. 人権という名のもとに、権利の濫用がみられるので、むしろ制限すべきである
5. わからない

問 18 あなたはこれまでに、自分や家族が差別や人権侵害されたと感じたことがありますか。
(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 性の違いによる差別 | 9. 新型コロナウイルスなどの感染症に関する差別 |
| 2. 学校でのいじめによる差別 | 10. 刑を終えて出所したことに対する差別 |
| 3. 高齢であることに対する差別 | 11. 学歴による差別 |
| 4. 障害のあることに対する差別 | 12. 思想・信条による差別 |
| 5. 部落差別 | 13. 職業による差別 |
| 6. 民族の違いによる差別 | 14. 犯罪被害者やその家族への無配慮 |
| 7. 国籍の違いによる差別 | 15. 性自認・性的指向*による差別 |
| 8. エイズ患者・HIV感染者・ハンセン病患者であるがゆえの差別 | 16. インターネットによる人権侵害や名誉棄損 |
| | 17. その他 () |
| 18. 差別や人権侵害されたと感じたことはない | |

*性自認：自分の性別をどのように認識しているか。「心の性」を指す。
性的指向：恋愛や性的関心がどのような性に向くのか。どちらにも向かない場合も含む。

《問 18 で、「1」～「17」に○をつけた方におたずねします》

▶ 問 18-1 選んだ選択肢のうち、最もひどいと感じた差別や人権侵害はどのようなものでしたか。
具体的にご記入ください。

▶ 問 18-2 問 18-1 で記入した差別や人権侵害に対して、主にどのように対応しましたか。(1つに○)

- | | | |
|----------------------|-------------|--------------------|
| 1. 相手に抗議した | 4. 警察に相談した | 7. 法務省、人権擁護委員に相談した |
| 2. 身近な人に相談した | 5. 弁護士に相談した | 8. 我慢した |
| 3. 都や区役所などの公的機関に相談した | 6. 学校に相談した | 9. その他 () |

問 19 区民一人ひとりが尊重され、差別や偏見のない社会の実現に向けて、あなたは今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 啓発活動の充実 | 5. 地域における講座などの施策の充実 |
| 2. 人権問題に対する相談窓口の充実 | 6. その他 () |
| 3. 学校における人権教育の充実 | 7. 特にない |
| 4. 企業による社員への研修 | 8. わからない |

5. セーフコミュニティについて

問 20 豊島区は2012年11月、東京で初めて「セーフコミュニティ」の国際認証を取得しました(2018年2月再認証取得)。セーフコミュニティは、けがや事故など日常生活のなかで健康を阻害する要因を予防することで、生活の安全と健康の質を高めていくまちづくり活動のことです。あなたは、このセーフコミュニティ活動について知っていますか。(1つに○)

1. 考え方や活動内容を知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない
3. はじめて聞いた

問 21 過去1年間の、あなた自身のけがや事故の経験についてお聞きします。(1つに○、複数ある場合は、重症度の高いものについてお答えください)
※病気によるものは除いてお答えください。

1. 手当が必要なほどのけがはしたことがない
2. けがはしなかったが、一步間違えば大きなけがや事故になったようなヒヤリ体験がある
3. けがをして、医療機関に入院したことがある
4. けがをして、医療機関に通院したことがある

6. 環境保全活動について

問 22 豊島区内には、清掃・リサイクル活動、公園・広場・小中学校の花壇や植物等のみどりの維持管理活動など様々な環境保全活動に取り組んでいるグループがあります。あなたは、こうした活動に参加したいと思いませんか。(1つに○)

1. 既に参加しており、これからも参加したい
2. 既に参加しているが、今後参加するつもりはない
3. 今は参加していないが、これから参加したい
4. 参加しておらず、今後も参加するつもりはない

《問 22 で、「1」～「3」とお答えの方におたずねします》

→問 22-1 現在参加している、もしくはこれから参加したいと思っているグループとは具体的に何ですか。(いくつでも○)

1. 学校・PTA
2. 町会・地域団体
3. 自主団体・NPO法人
4. 区内企業・事業者
5. その他 ()

《問 22 で、「4」とお答えの方におたずねします》

→問 22-2 参加するつもりがない理由とは具体的に何ですか。(いくつでも○)

1. 忙しくて活動する時間がない
2. 環境保全活動に興味がない
3. グループで活動したくない
4. 活動しているグループを知らない
5. その他 ()

7. スポーツについて

問 23 あなた自身は、どの程度スポーツを実施していますか。(1つに○)

※本調査におけるスポーツの定義…ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキング、介護予防のためのトレーニングなどの他に、日常生活の中の階段の昇り降り、気分転換に行う軽い体操やレクリエーションなど、自発的に楽しむ運動をスポーツとして扱います。

1. 週に3日以上	4. 3か月に1～2日
2. 週に1～2日	5. 年に1～3日
3. 月に1～3日	6. 実施していない

《問 23 で、「4」～「6」とお答えの方におたずねします》

▶問 23-1 あまりスポーツを実施しない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 忙しくて時間が取れない	5. 大会やスポーツ教室などの情報がない
2. お金がかかる	6. 体調や体力に不安がある
3. 施設や場所がない	7. スポーツが好きでない
4. 指導者や仲間がいない	8. その他 ()

8. 生涯学習について

問 24 あなたは、豊島区には図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会があると思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

《問 24 で、「4」または「5」とお答えの方におたずねします》

▶問 24-1 多様な生涯学習活動を選択する機会があると思わない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 図書館の場所を知らない	5. 興味のある内容の講座等がない
2. 地域文化創造館の場所を知らない	6. 忙しくて時間が取れない
3. 公開講座などの情報がない	7. 生涯学習活動に興味がない
4. 指導者や仲間がいない	8. その他 ()

9. 新型コロナウイルス感染症に関することについて

問 25 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活であなたやあなたの家族が、現在、特に困っていることや不安に思うことを教えてください。

また、今後も感染症の影響が続いた場合に、予想される困りごとや不安に思うことを教えてください。(〇はそれぞれ5つまで)

困りごと・不安に思うこと		現在 (5つまで)	今後 (5つまで)
収入・雇用	収入の減少	1	1
	支出の増加	2	2
	失業	3	3
	休業(無給)	4	4
	労働時間の減少(半分以上)	5	5
	働き口が見つからない	6	6
	過重労働	7	7
家庭	学校や保育園等の休みに伴う子育ての負担の増加	8	8
	ご自身・ご家族の学習機会の確保、学力低下	9	9
	高齢者施設の利用自粛等に伴う介護の負担の増加	10	10
	家事の負担増加	11	11
	ご自身・ご家族の健康(身体面)	12	12
	ご自身・ご家族の健康(精神面)	13	13
その他	運動・スポーツの機会の減少	14	14
	外食の不安・制約	15	15
	旅行やイベント参加等余暇活動の制約	16	16
	地域や団体・グループ等での活動機会の減少	17	17
	オンラインによる手続き等の方法がわからない、そのための機器(パソコンやスマートフォン等)を持っていない	18	18
	その他()	19	19
	特になし	20	20

10. 区制施行90周年に向けて

問 26 豊島区は、令和4年度に区制施行90周年を迎えます。90周年を記念した事業を行う場合、あなたは、どのような取組が重要であると思いますか。(〇は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 多くの区民が参加できる 2. 子どもたちが参加し、思い出に残る 3. 区民(団体)が自主的に企画・運営できる 4. 90年を振り返り、豊島区の歴史や文化に触れることができる 5. 区の魅力をPRし、発信する 6. キャッチフレーズや愛称名募集など応募(提案)ができる 7. 90周年の記念となるもの、区のシンボルとなるようなものを製作する 8. その他() 9. 特になし
--

11. 区政全般への要望

問 27 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。

(○はそれぞれ5つまで)

主なSDGs目標	施策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5つまで)
	健康づくり	1	1
	高齢者福祉の充実	2	2
	障害者（児）福祉の充実	3	3
	保健・医療の充実	4	4
	子どもの健全育成	5	5
	子育て支援の充実	6	6
	学校教育の充実	7	7
	地域の活動やコミュニティの形成	8	8
	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	9	9
	みどりや公園づくり	10	10
	環境保全・資源リサイクル	11	11
	再開発・街づくり・街並みの整備	12	12
	道路交通網の整備	13	13
	住宅対策	14	14
	交通安全対策	15	15
	放置自転車対策	16	16
	池袋副都心の活性化	17	17
	中小企業、地域経済の振興	18	18
	消費生活対策	19	19
	防災対策	20	20
	治安対策	21	21
	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	22	22
	文化・芸術の振興	23	23
	多文化共生の推進	24	24
	観光・都市交流	25	25
	生涯学習・スポーツ等の充実	26	26
	区民サービスのIT化・情報化の推進	27	27
	行財政改革	28	28

IV. あなたご自身のことについて（※統計的に分析するために使用します。）

① あなたの自認する性をお答えください。（1つに○）

1. 男性	2. 女性	3. () ※自認する性を記載してください。
-------	-------	-------------------------

② あなたの年齢について、お答えください。（1つに○）

1. 18～19歳	5. 35～39歳	9. 55～59歳	13. 75～79歳
2. 20～24歳	6. 40～44歳	10. 60～64歳	14. 80歳以上
3. 25～29歳	7. 45～49歳	11. 65～69歳	
4. 30～34歳	8. 50～54歳	12. 70～74歳	

③ あなたの職業について、お答えください。（1つに○）

1. 自営業（家族従業含む）	5. 専業の主婦（主夫）
2. 勤め（全日・正規）	6. 学 生
3. 勤め（全日・非正規）	7. 無 職
4. 勤め（パートタイム）	8. その他（ ）

④ あなたのお住まいの町名について、お答えください。（町名の番号に○印を付け、（ ）内に何丁目かお書きください。） 記入例 ① 駒込（ 2 ）丁目

1. 駒 込（ ）丁目	8. 南池袋（ ）丁目	15. 南長崎（ ）丁目
2. 巢 鴨（ ）丁目	9. 西池袋（ ）丁目	16. 長 崎（ ）丁目
3. 西巢鴨（ ）丁目	10. 池 袋（ ）丁目	17. 千 早（ ）丁目
4. 北大塚（ ）丁目	11. 池袋本町（ ）丁目	18. 要 町（ ）丁目
5. 南大塚（ ）丁目	12. 雑司が谷（ ）丁目	19. 高 松（ ）丁目
6. 上池袋（ ）丁目	13. 高 田（ ）丁目	20. 千 川（ ）丁目
7. 東池袋（ ）丁目	14. 目 白（ ）丁目	

⑤ あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。（1つに○）

1. 2年以上～3年未満	3. 5年以上～10年未満	5. 15年以上～20年未満
2. 3年以上～5年未満	4. 10年以上～15年未満	6. 20年以上

⑥ 豊島区に住み始めたのはいつですか。お答えください。（1つに○）

1. 生まれた時から	3. 大学・専門学校生の頃	5. 結婚した頃
2. 子どもの頃（高校生まで）	4. 就職した頃	6. その他（ ）

⑦ あなたが豊島区に住む前に住んでいた地域について、お答えください。（1つに○）

1. 生まれてからずっと豊島区に住んでいる	6. 練馬区	11. 神奈川県
2. 新宿区	7. その他の特別区	12. その他の関東
3. 文京区	8. 東京都の市町村	13. その他の国内
4. 北区	9. 埼玉県	14. 外国
5. 板橋区	10. 千葉県	

⑧ あなたの国籍をお答えください。(1つに○)

1. 日本	2. 日本以外
-------	---------

⑨ あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	()

《⑨で、「3. 親と子」または「4. 三世代」とお答えの方におたずねします》

⑩ あなたの家族に中学生以下のお子さんは、何人いらっしゃいますか。(1つに○)

1. いない	2. 1人	3. 2人	4. 3人以上
--------	-------	-------	---------

⑪ あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに○)

1. 一戸建て	3. 集合住宅(賃貸)	5. その他
2. 集合住宅(分譲)	4. 社宅・官舎、寮	()

⑫ あなたの世帯の年収(税込)について、差し支えなければ、お答えください。(1つに○)

1. 200万円未満	5. 800万円～1,000万円未満
2. 200万円～400万円未満	6. 1,000万円～1,500万円未満
3. 400万円～600万円未満	7. 1,500万円以上
4. 600万円～800万円未満	

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて **令和3年8月13日(金)** までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)



協働のまちづくりに関する区民意識調査 報告書

令和4年(2022)年1月発行
(令和3年7月調査)

調査主体 豊島区 政策経営部 企画課
〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1
電話 03-3981-1111 (代表)

調査実施 一般社団法人輿論科学協会
〒151-8509 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-8-6
電話 03-3401-1131 (代表)